

Lenovo™

System x®

Lenovo NeXtScale nx360 M5

インストールとサービスのガイド



マシン・タイプ: 5465

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、mi ページの「ヘルプおよび技術サポートの入手」に記載されている一般情報、1007 ページの付録 E「注記」、「保証情報」、および *Lenovo Documentation* CD に収録されている「安全情報」および「環境通知とユーザー・ガイド」の各資料をお読みください。

第 5 版 (2016 3 月)

© Copyright Lenovo 2016.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

安全について	v	Integrated Management Module の使用	39
トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン	vi	リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用	40
危険な状況の検査	vi	組み込みハイパーバイザーの使用	42
電気機器の保守のガイドライン	vii	Ethernet コントローラーの構成	43
安全について	viii	Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化	43
第 1 章 . Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード	1	RAID アレイの構成	44
Lenovo Documentation CD	2	Lenovo Advanced Settings Utility プログラム	44
ハードウェアとソフトウェアの要件	2	汎用固有 ID (UUID) の更新	44
Documentation Browser	3	DMI/SMBIOS データの更新	47
関連資料	3	第 3 章 . トラブルシューティング	51
本書で使用される注記	4	ここから開始します	51
機能および仕様	5	問題の診断	51
ご使用の計算ノードの機能	9	文書化されていない問題	54
Lenovo XClarity Administrator	12	Service Bulletin	54
信頼性、可用性、保守容易性の機能	13	チェックアウト手順	54
計算ノードの主要コンポーネント	14	チェックアウト手順について	54
ストレージ・トレイの主要コンポーネント	14	チェックアウト手順の実行	55
GPU トレイの主要コンポーネント	15	診断ツール	56
2U GPU トレイの主要コンポーネント	16	パワー・サプライ LED	58
電源、コントロール、およびインディケーター	17	システム・パルス LED	60
計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED	17	イベント・ログ	60
コンソール・ブレイクアウト・ケーブル	19	POST	63
計算ノードの電源オン	20	Lenovo Dynamic System Analysis	63
計算ノードの電源オフ	20	自動サービス要求 (コール・ホーム)	66
システム・ボードのレイアウト	21	Lenovo Electronic Service Agent	66
システム・ボードの内部コネクタ	21	エラー・メッセージ	66
システム・ボードの外部コネクタ	22	エラー・メッセージ	66
システム・ボードのスイッチとジャンパー	23	現象別トラブルシューティング	66
システム・ボードの LED およびコントロール	25	一般的な問題	67
第 2 章 . 構成情報と説明	27	ハードディスク・ドライブの問題	67
ファームウェアの更新	27	ハイパーバイザーの問題	68
サーバーの構成	28	再現性の低い問題	68
ServerGuide セットアップとインストール CD の使用	29	キーボード、マウス、または USB デバイスの問題	69
Setup Utility の使用	31	メモリーの問題	70
Boot Manager の使用	38	マイクロプロセッサの問題	71
サーバー・ファームウェアのバックアップの開始	38	モニターおよびビデオの問題	72
UpdateXpress System Pack Installer	38	ネットワーク接続の問題	74
UEFI のデフォルトをロードした後の Power Policy オプションのデフォルトの設定値への変更	39	オプションのデバイスの問題	75
		電源問題	75
		シリアル・デバイスの問題	77
		ServerGuide の問題	77
		ソフトウェアの問題	78
		USB ポートの問題	79

ビデオの問題	79	前面ハンドルの取り付け	133
電源の問題の解決	79	背面ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し	134
イーサネット・コントローラーの問題の解決	81	背面ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け	136
未解決問題の解決	82	Tier 1 CRU の取り外しと交換	138
問題判別のヒント	82	RAID アダプター・バッテリーの取り外し	139
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)	84	RAID アダプター・バッテリーの再取り付け	140
インバンドの手動リカバリー方式	84	RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し	142
インバンドの自動ブート・リカバリー方式	86	RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの交換	144
アウト・オブ・バンド方式	86	オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し	145
自動ブート・リカバリー (ABR)	86	オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け	147
Nx 回ブート失敗	87	IMM インターポージャー・アセンブリーの取り外し	150
		IMM インターポージャー・アセンブリーの再取り付け	151
		GPU トレイからの電源パドル・カードの取り外し	152
		GPU トレイへの電源パドル・カードの再取り付け	154
		システム・バッテリーの取り外し	155
		システム・バッテリーの交換	156
		メモリー・モジュールの取り外し	158
		メモリー・モジュールの取り付け	159
		ハードディスク・ドライブ・バックプレートの取り外し	166
		ハードディスク・ドライブ・バックプレートの取り付け	167
		ドライブの取り外しと取り付け	168
		ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し	178
		ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け	179
		PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し	180
		PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け	181
		GPU トレイからの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し	182
		GPU トレイへの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの交換	183
		2U GPU トレイからの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し	185
		2U GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの交換	187
		アダプター/GPU アダプターの取り外し	188
		アダプター/GPU アダプターの再取り付け	191
		SD アダプターの取り外し	196
第 4 章. 部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード	89		
交換可能なサーバー・コンポーネント	89		
構成部品	102		
電源コード	102		
第 5 章. コンポーネントの取り外しと交換	105		
取り付けツール	105		
オプションのデバイスの取り付け	105		
取り付け作業上の注意事項	105		
システムの信頼性に関するガイドライン	107		
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い	107		
デバイスまたはコンポーネントの返却	108		
計算ノード構成の更新	108		
シャーシからの計算ノードの取り外し	108		
シャーシへの計算ノードの取り付け	109		
計算ノードからのストレージ・トレイの取り外し	111		
ストレージ・トレイの計算ノードへの取り付け	112		
計算ノードからの GPU トレイの取り外し	113		
GPU トレイの計算ノードへの取り付け	114		
計算ノードからの 2U GPU トレイの取り外し	115		
2U GPU トレイの計算ノードへの取り付け	116		
構成部品の取り外しと交換	117		
計算ノード・カバーの取り外し	117		
計算ノード・カバーの取り付け	119		
エアー・バッフルの取り外し	120		
エアー・バッフルの交換	121		
PCI ライザー・フィルターの取り外し	122		
PCI ライザー・フィルターの再取り付け	123		
ベゼルの取り外し	124		
ベゼルの再取り付け	127		
GPU トレイからのフィルターの取り外し	130		
GPU トレイへのフィルターの再取り付け	131		
前面ハンドルの取り外し	132		

SD アダプターの交換	197
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し	198
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換	199
USB フラッシュ・ドライブの取り外し	201
USB フラッシュ・ドライブの取り付け	202
Tier 2 の CRU の取り外しと交換	204
マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し	204
マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換	208
計算ノードの取り外し	216
計算ノードの取り付け	218
内部ケーブルの配線およびコネクター	220
プレーナー・ケーブルを使用したハードディスク・ドライブのケーブル接続	220
ハードディスク・ドライブと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続	222
2U GPU トレイ付きハードディスク・ドライブ・バックプレーンの配線	223
SAS ハードディスク・ドライブ・ケーブルを使用した 2U GPU トレイ付き前部 PCI ライザー・アSEMBリーの配線	224
GPU カード電源ケーブル付き 2U GPU トレイの前部/後部 PCI アSEMBリーの GPU アダプターの配線	226
2U GPU トレイつき前部ライザー電源の配線	227
2U GPU トレイ付き前部ライザー電源およびコントロールの配線	228
2U GPU トレイ付き後部ライザー電源およびコントロールの配線	228
2U GPU トレイ付き PCIE ブリッジの配線	229
2U GPU トレイ付き K80 GPU カード電源の配線	230

付録 A. Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ	231
IMM イベントのリスト	232

付録 B. UEFI (POST) エラー・コード	817
UEFI イベントのリスト	818

付録 C. DSA 診断テスト結果	843
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	843
DSA Broadcom ネットワーク・テストのテスト結果	843
DSA Brocade テスト結果	853
DSA Brocade テストのテスト結果	853
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	862
DSA チェックポイント・パネル・テストのテスト結果	863
DSA CPU ストレス・テスト結果	864
DSA CPU ストレス・テストのテスト結果	864

DSA Emulex アダプター・テスト結果	868
DSA Emulex アダプター・テストのテスト結果	868
DSA EXA ポート ping テスト結果	872
DSA EXA ポート ping テストのテスト結果	872
DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果	874
DSA ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果	874
DSA Intel ネットワーク・テスト結果	876
DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結果	876
DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト結果	882
DSA LSI hard driveoutputfilename=DSA_LSI_hard_drive テストのテスト結果	883
DSA Mellanox アダプター・テスト結果	884
DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結果	884
DSA メモリー分離テスト結果	887
DSA メモリー分離テストのテスト結果	887
DSA メモリー・ストレス・テスト結果	965
DSA メモリー・ストレス・テストのテスト結果	965
DSA Nvidia GPU テスト結果	968
DSA Nvidia GPU テストのテスト結果	969
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	975
DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結果	976
DSA システム管理テスト結果	980
DSA システム管理テストのテスト結果	980
DSA テープ・ドライブ・テスト結果	995
DSA テープ・ドライブ・テストのテスト結果	995
ヘルプおよび技術サポートの入手	mi
依頼する前に	mi
資料の使用	mi
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	mi
DSA データの送信方法	mii
個別設定したサポート Web ページの作成	mii
ソフトウェアのサービスとサポート	mii
ハードウェアのサービスとサポート	mii
台湾の製品サービス	mii

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手	1003
依頼する前に	1003
資料の使用	1004
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	1004
DSA データの送信方法	1004
個別設定したサポート Web ページの作成	1004
ソフトウェアのサービスとサポート	1005

ハードウェアのサービスとサポート	1005	EU EMC 指令適合性宣言書	1010
台湾の製品サービス	1005	ドイツ Class A 宣言書	1010
付録 E. 注記	1007	VCCI クラス A 情報技術装置	1011
商標	1008	電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示	1011
重要事項	1008	韓国通信委員会 (KCC) 宣言書	1012
リサイクル情報	1008	ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書	1012
粒子汚染	1009	中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書	1012
通信規制の注記	1009	台湾 Class A 適合性宣言書	1012
電波障害自主規制特記事項	1009	台湾 BSMI RoHS 宣言	1013
連邦通信委員会 (FCC) 宣言書	1009		
カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言	1010	付録 F. 作業に関するドイツの条例	
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada	1010	文	1015
オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書	1010	索引	1017

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information** (安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Ls sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας (safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.

تعليمات
السلامة
التي
تتضمن
معلومات
مهمة
تساعد
على
تثبيت
المنتج
بشكل
آمن

Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་རྒྱུ་འདི་བདེ་སྤྱོད་མ་བྱས་གོང་། སྐྱོར་གྱི་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡོད་པའི་འོད་སྟེང་བལྟ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員向けの情報が記載されています。

危険な状況の検査

この情報は、作業対象のデバイスでの潜在的に危険な状態の識別に役立ててください。

各装置には、設計され製造された時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全項目が義務付けられています。このセクションは、こうした項目のみを取り扱います。このセクションに記されていない、サポート対象外の改造箇所またはサポート対象外の機構やオプションのデバイスの接続によって起こりうる潜在的に危険な状態は、適切な判断によって識別してください。危険な状態を識別した場合、危険の重大度、および製品の作業を進める前に問題を解決する必要があるかどうかを判別してください。

以下の状態とそれがもたらす安全上の問題について考慮してください。

- 電氣的な危険。特に、1次側電源(フレームの1次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります。)
- 爆発の危険。たとえば、損傷を受けたCRT表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。たとえば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

危険な可能性がある製品を検査する場合は、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった個所の有無を調べます。
3. 以下について電源コードをチェックします。
 - 接地線を含む3線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。3線式接地線の導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1 オーム以下であることを確認します。

- 電源コードのタイプは正しいか。
 - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
4. カバーを取り外します。
 5. 明らかにサポート対象外の改造個所がないか確認します。サポート対象外の改造個所の安全については、適切な判断を行ってください。
 6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状況でないか、システムの内部をチェックします。
 7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
 8. パワー・サプライ・カバーの留め金具(ねじまたはリベット)が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器の保守のガイドライン

電気機器を扱うときにこれらのガイドラインを遵守してください。

- 作業域に電氣的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、たとえば、濡れたフロア、接地されていない電源延長コード、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを定期的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切断 (EPO) スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を確認してください。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを抜いておきます。電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。まず、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電気回路がむき出しの状態である機器で作業する必要がある場合、次の予防手段に従ってください。
 - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらおう。
 - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
 - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用する。
 - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。

- パワー・サプライ、ポンプ、ブロワー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。
- 電氣的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

安全について

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要：本書の「注意」と「危険」の各注意事項には番号が付いています。この番号は、「*Safety Information*」の英語の Caution と Danger に対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

たとえば、「Caution」の注意事項に Statement 1 が付いていた場合、*Safety Information* 小冊子の Statement 1 を見ればその注意事項に対応した翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意事項をすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はそのデバイスの取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 2



警告:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



警告:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。このデバイスの内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。





危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

Class 1 Laser Product

Laser Klasse 1

Laser Klass 1

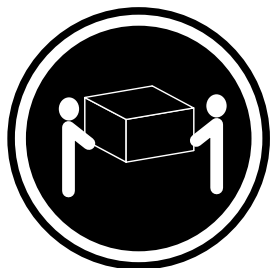
Luokan 1 Laserlaite

Appareil À Laser de Classe 1

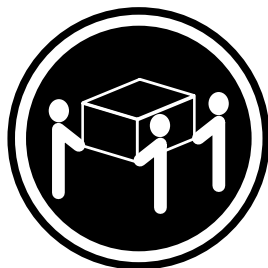
安全 4



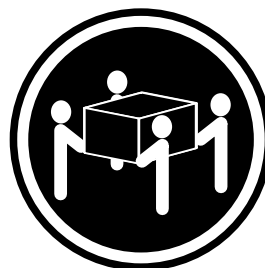
注意: 装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



18 kg (39.7 ポンド)



32 kg (70.5 ポンド)



55 kg (121.2 ポンド)

安全 5



警告:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には2本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



警告：

もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの電源側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



警告：

電源機構 (パワー・サプライ) または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12



警告：

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。

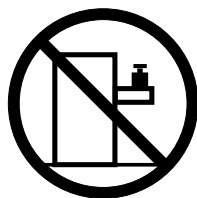


安全 26



警告：

ラックに装着されたデバイスの上には物を置かないでください。



安全 27



警告：
近くに動く部品が存在します。



ラック安全情報、安全 2



 危険

- ラック・キャビネットのレベル・パッドは、必ず下げてください。
- ラック・キャビネットには、必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- サーバーおよびオプションのデバイスは、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。
- 最も重量のあるデバイスは、必ずラック・キャビネットの下部に搭載してください。

第 1 章 Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード

Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノードは、次世代のマイクロプロセッサ・テクノロジーをサポートするために最適化されたスケーラブルな高可用性計算ノードで、中規模および大規模の企業に理想的です。

Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノードは、Lenovo NeXtScale n1200 Enclosure でのみサポートされます。

本書は、計算ノードのセットアップおよびトラブルシューティングに関する以下の情報を説明しています。

- 計算ノードの始動および構成
- オペレーティング・システムのインストール
- 問題の診断
- コンポーネントの取り付け、取り外し、および交換

計算ノードには、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立つソフトウェア CD が付属しています。

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、Lenovo Web サイトからダウンロードできます。このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのような機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。更新を確認するには、<http://support.lenovo.com/> にアクセスしてください。

ご使用の計算ノードには限定保証が付いています。保証の条件およびサービスと支援の利用については、ご使用の計算ノードの「*保証情報*」資料を参照してください。

Lenovo *ServerGuide* セットアップとインストール CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプションのデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、Lenovo *System x Documentation* CD にある資料「*ラック搭載手順*」を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の Lenovo サーバー製品に関する最新の情報は、<http://www.ibm.com/systems/x/> から入手できます。<http://support.lenovo.com/> では、目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

この計算ノードは、計算ノードに付属した資料に記載されていない機能を備えている場合があります。資料は、それらの機能に関する情報を記載するために時々更新されることがあります。計算ノードの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新が入手できる場合もあります。この製品の最新資料を入手するには、<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp> にアクセスしてください。

ご使用の計算ノードに関する情報更新を <http://www.ibm.com/support/mynotifications/> で購読することができます。

型式番号およびシリアル番号は、計算ノード前面のベゼル上の ID ラベル、および計算ノードが NeXtScale n1200 Enclosure に取り付けられていない場合に確認することができる計算ノード下部のラベルに記載され

ています。計算ノードに RFID タグが付属している場合、RFID タグが計算ノード前面のベゼル上の ID ラベルを覆っていますが、RFID タグを開いて裏にある ID ラベルを確認することができます。

注：本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

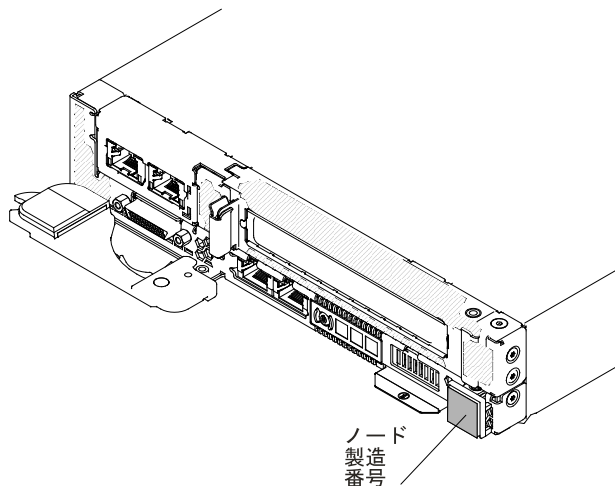


図1. NeXtScale nx360 M5 計算ノード

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています。



図2. QR コード

Lenovo Documentation CD

Lenovo *Documentation* CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ Lenovo Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

Lenovo *Documentation* CD のハードウェア要件とソフトウェア要件。

Lenovo *Documentation* CD を使用するには、最小限、以下のハードウェアとソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサ

- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser

Documentation Browser は、本 CD の内容のブラウズ、資料の簡単な記述の読み取り、および Adobe Acrobat Reader または xpdf による資料の表示などを行う場合に使用します。

Documentation Browser は、ご使用のサーバーで使用されている地域設定値を自動的に検出し、その地域の言語 (それが存在する場合) で資料を表示します。資料がその地域の言語で表示できない場合は、英語版が表示されます。以下の操作のいずれかを行って、Documentation Browser を開始できます。

- 自動再生が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。Documentation Browser は自動的に開始します。
- 自動始動が無効になっている場合、またはすべてのユーザーに対して有効になっていない場合は、次の手順のいずれかに従います。
 - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入し、「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。「名前」フィールドに、
`e:\win32.bat`
と入力します。ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「OK」をクリックします。
 - Red Hat Linux を使用している場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入し、次のコマンドを /mnt/cdrom ディレクトリーから実行します。
`sh runlinux.sh`

「製品」メニューからサーバーを選択します。「利用可能なトピック」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「トピックの説明」の下に表示されます。複数の文書を選択するには、Ctrl キーを押したままそれらの文書を選択します。「資料を表示する」をクリックすると、Acrobat Reader または xpdf に、選択した資料が表示されます。複数の文書を選択した場合は、選択したすべての文書が Acrobat Reader または xpdf で表示されます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「検索」フィールドに入力し、「検索」をクリックします。ワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。その資料をクリックして表示し、資料内で Ctrl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用法について詳しくは、「ヘルプ」をクリックしてください。

関連資料

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。

サーバーには、以下の資料も付属しています。

- **保証情報**

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。この資料には、保証条件と、Lenovo Web サイト上の「Lenovo 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

- **Important Notices** (重要な注意事項)

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。ご使用の Lenovo 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- **環境通知とユーザー・ガイド**

この資料は、Lenovo Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、翻訳された環境上の注意が記載されています。

- **Lenovo 機械コードのご使用条件**

この資料は、Lenovo Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「Lenovo 機械コードのご使用条件」が記載されています。

- **ライセンスと帰属ドキュメント**

この資料は、Lenovo Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- **安全情報**

この資料は、Lenovo Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険の注記の翻訳が記載されています。本書では「注意」と「危険」の注意事項には個々に番号が付いており、この番号を使用して、「Safety Information」資料内でご使用の言語で書かれた該当の注記を見つけることができます。

ご使用のサーバーのモデルによっては、Lenovo Documentation CD に追加資料が含まれている場合があります。

System x および BladeCenter の ToolsCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する情報が記載されているオンライン情報センターです。System x および BladeCenter の ToolsCenter は <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/> にあります。

サーバーは、サーバー付属の資料では説明されていないフィーチャーを備えていることがあります。それらの機能に関する情報を記載するために資料が更新されていたり、ご使用のサーバーの資料に記載されていない追加情報を提供する技術更新が入手可能になる場合があります。これらの更新情報は、Lenovo Web サイトから入手できます。更新を確認するには、<http://support.lenovo.com/> にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、Lenovo Documentation CD に収められている複数言語による「Safety Information」資料にも記載されています。それぞれの注記には番号が付けられており、「Safety Information」資料で対応する注記を自国語で参照できます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** これらの注記には、注意事項、説明、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。
- **重要:** また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

機能および仕様

計算ノードの具体的な情報(計算ノードのハードウェア機能や寸法など)を確認するには、この情報を使用します。

注：

1. 電源、冷却装置、およびシャーシ・システム管理は、NeXtScale n1200 Enclosure シャーシが提供します。
2. 計算ノードのオペレーティング・システムは、計算ノードが USB メディア・ドライブおよび USB 装置を認識して使用できるように USB をサポートしている必要があります。NeXtScale n1200 Enclosure シャーシは、これらのデバイスとの内部通信に USB を使用します。

以下の情報は、NeXtScale nx360 M5 計算ノードの機能および仕様の要約です。

マイクロプロセッサ (モデルにより異なる):

- Intel Xeon E5-2600 v3 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサを最大 2 個サポート (1 個は取り付け済み)
- レベル 3 キャッシュ
- 2 つの最大速度 9.6 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク

注：

- サーバーに使用されているマイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup Utility を使用します。
- サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。

メモリー:

- 16 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクター
- タイプ: Low-profile (LP) double-data rate (DDR4) DRAM
- 4 GB、8 GB、16 GB RDIMM、および 32 GB LRDIMM をサポートし、システム・ボード上で最大合計メモリー容量 512 GB をサポート

内蔵機能:

- Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) (複数の管理機能を単一のチップに統合)
- コンカレント COM/VGA/2x USB (KVM)
- システム・エラー LED
- 2 個のネットワーク・ポート (システム上に 2 個の 1 Gb イーサネット・ポート)
- 最大 1 個のオプション ML2 ネットワーク・アダプターをサポート
- 1 個のオプション・システム管理 RJ-45 (システム管理ネットワークに接続)。このシステム管理コネクターは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 機能専用です
- (オプション) RAID レベル 0、RAID レベル 1、RAID レベル 5、RAID レベル 6、または RAID レベル 10 のハードウェア RAID をサポート可能
- Wake on LAN (WOL)

ドライブ拡張ベイ (モデルにより異なる):

最大 8 個の 3.5 型 SATA (ストレージ・トレイが取り付けられている場合。ストレージ・トレイに最大 7 個、計算ノードに最大 1 個)、2 個の 2.5 型 SATA/SAS、6 個の 2.5 型ホット・スワップ SATA/SAS (PCIe アダプターが取り付けられていない場合)。2U GPU トレイが取り付けられている場合は、2U GPU トレイに最大 4 個、計算ノードに 2 個)、または 4 個の 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (6 Gb 信号のみ) をサポートしています。

注意：原則として、512 バイトの標準ドライブと 4 KB の拡張ドライブを同一の RAID アレイで混用しないでください。このような構成にすると、パフォーマンスの問題が生じる可能性があります。

表 1. ハードディスク・ドライブのサポートされる組み合わせ

HDD フォーム・ファクター	RAID アダプター	背面 HDD (シンプル・スワップ)			
		前面 HDD (ホット・スワップ)	3.5 型 x 1	2.5 型 x 2	1.8 型 x 4
計算ノードでサポートされる HDD 構成	背面 RAID アダプター (x8 背面 RAID ライザー)	V			
			V		
				V	
					V
	オンボード SATA モード (RAID なし)	V		V	
			V		
				V	
					V

アップグレード可能ファームウェア:

すべてのファームウェアは現場アップグレード可能です。

PCI 拡張スロット (モデルにより異なる):

- 計算ノード
 - 前面スロット: PCI Express x16 (PCIe3.0、フルハイト、ハーフサイズ)
 - ML2 スロット: PCI Express x16 (高さ 50 mm のみをサポートします)
 - 背面スロット: PCI Express x8 (PCIe3.0、フルハイト、ハーフサイズ)
- GPU トレイ
 - 2 個の PCI Express x16 スロット (PCIe3.0、フルハイト、フルサイズ)

サイズ:

- 計算ノード
 - 高さ: 41 mm
 - 奥行き: 659 mm
 - 幅: 216 mm
 - 質量見積もり (計算ノード内の LFF HDD に基づく): 6.17 kg
- ストレージ・トレイ
 - 高さ: 58.3 mm
 - 奥行き: 659 mm
 - 幅: 216 mm
 - 質量見積もり (ハードディスク・ドライブが 7 個取り付けられている場合): 8.64 kg
- GPU トレイ
 - 高さ: 58.3 mm
 - 奥行き: 659 mm
 - 幅: 216 mm
 - 質量見積もり (GPU アダプターが取り付けられていない場合): 3.33 kg

電源入力:

- 12 V DC

環境:

NeXtScale nx360 M5 計算ノードは、ASHRAE クラス A3 仕様に準拠します。

サーバー電源オン時¹

- 温度: 5°C から 40°C、最大 950 m²
- 湿度 (結露なし): -12°C の露点および 8% から 85% の相対湿度^{3, 4}
- 最大露点: 24°C
- 最大高度: 3,050 m、5°C から 28°C
- 最大温度変化率: ハードディスク・ドライブに対して 20°C/時⁵

サーバー電源オフ時⁶:

- 温度: 5°C から 45°C
- 相対湿度: 8% から 85%
- 最大露点: 27°C

Storage (非動作時):

- 温度: 1°C から 60°C
- 最大高度: 3,050 m
- 相対湿度: 5% から 80%
- 最大露点: 29°C

出荷時 (非動作時):⁷

- 温度: -40°C から 60°C
- 最大高度: 10,700 m
- 相対湿度: 5% から 100%
- 最大露点: 29°C⁸

サポートされる特定の環境

- プロセッサー E5-2699 v3、E5-2697 v3、E5-2667 v3、E5-2643 v3、E5-2637 v3: 温度: 5°C から 30°C、高度: 0 から 304.8 m
- GPU Intel 7120P: 温度: 5°C から 30°C、高度: 0 から 304.8 m
- 背面ハードディスク・ドライブが取り付けられている場合: 温度: 5°C から 30°C、高度: 0 から 304.8 m

特定の GPGPU がサポートされる環境

- TDP が 120W より高いすべての GPGPU の場合
 - 温度: 5°C ~ 30°C (41°F ~ 86°F)
 - 高度: 0 ~ 950 m (3,117 フィート)
 - シャーシ構成が同種でなければなりません。
- Intel コプロセッサー 7120p
 - 1 個および 2 個
 - 温度: 5°C ~ 30°C (41°F ~ 86°F)
 - 高度: 0 ~ 900 m (2,953 フィート)
 - 前面 HDD の厚み: 15 mm 以下
 - GPU - GPU トラフィック最適化モード: サポート
 - 3 個および 4 個
 - 温度: 5°C ~ 25°C (41°F ~ 77°F)

- 高度 : 0 ~ 900 m (2,953 フィート)
- 前面 HDD の厚み: 9 mm 以下
- GPU - GPU トラフィック最適化モード: サポートなし
- Nvidia K80
 - 1 個および 2 個
 - 温度: 5°C ~ 30°C (41°F ~ 86°F)
 - 高度 : 0 ~ 900 m (2,953 フィート)
 - 前面 HDD の厚み: 15 mm 以下
 - GPU - GPU トラフィック最適化モード: サポート
 - 3 個および 4 個
 - 温度: 5°C ~ 27°C (41°F ~ 80°F)
 - 高度 : 0 ~ 900 m (2,953 フィート)
 - 前面 HDD の厚み: 9 mm 以下
 - GPU - GPU トラフィック最適化モード: サポートなし
- Nvidia K40
 - 1 個から 4 個
 - 温度: 5°C ~ 30°C (41°F ~ 86°F)
 - 高度 : 0 ~ 900 m (2,953 フィート)
 - 前面 HDD の厚み: 15 mm 以下
 - GPU - GPU トラフィック最適化モード: サポート
- Nvidia K1
 - 1 個から 3 個
 - 温度: 5°C ~ 30°C (41°F ~ 86°F)
 - 高度 : 0 ~ 900 m (2,953 フィート)
 - 前面 HDD の厚み: 15 mm 以下
- Nvidia K2
 - 1 個から 4 個
 - 温度: 5°C ~ 30°C (41°F ~ 86°F)
 - 高度 : 0 ~ 900 m (2,953 フィート)
 - 前面 HDD の厚み: 15 mm 以下

粒子汚染:

注意 :

- サポートが緩和された ASHRAE クラス A3、温度: 36°C から 40°C まで対応の設計:
 - 性能低下を許容できないワークロードなどのクラウドをサポート (Turbo-Off)
 - どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。
 - 最悪のケースのワークロード (Linpack、turbo-on など) では、性能低下が発生する場合があります。

- 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、計算ノードにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、1009 ページの「粒子汚染」を参照してください。

注：

1. シャーシの電源がオンになっています。
2. A3 - 950 メートル以上の高度では、175 メートル上昇するごとに最大許容温度を 1°C ずつ下げてください。
3. クラス A3 の最小湿度レベルは、-12°C 露点と 8% 相対湿度のどちらか高い (湿気が多い) 方です。これらは約 25°C で交差します。この交点 (25°C) より下では、露点 (-12°C) が最小湿気レベルを表します。交点より上では相対湿度 (8%) が最小湿気レベルとなります。
4. 0.5°C DP より低く、かつ -10°C DP または相対湿度 8% を下らない湿度レベルは、データ・センター内の人員と機器における静電気の発生を抑えるために、適切な制御手段が実装されている場合にのみ受け入れられます。人体およびモバイル設備や機器はすべて、適切な静電気制御システムを使用してアースに接続されなければなりません。以下の項目が最小要件と見なされます。
 - a. 導電性のある材料 (導電性のある床、データ・センターに立ち入る全員の導電性のある履き物、モバイル設備と機器はすべて、導電性または静電気拡散性のある材料で作られています)。
 - b. ハードウェアのメンテナンス中、IT 機器に接触する人物はすべて、正しく機能するリスト・スワップを使用する必要があります。
5. 磁気テープ・ドライブを使用するデータ・センターの場合は 5°C/時、ディスク・ドライブを使用するデータ・センターの場合は 20°C/時。
6. シャーシが配送コンテナから取り出され、取り付けられていますが、使用中ではありません (たとえば、修理、メンテナンス、またはアップグレード中)。
7. 機器の順応期間は、配送環境から稼働環境への温度変化が 20°C ごとに 1 時間です。
8. 結露 (雨ではなく) は問題ない。
9. 1 個のレガシー VGA デバイスと 2 個以上の NVIDIA GRID K1 カードまたは 4 個以上の NVIDIA GRID K2 カードを使用して、Windows Server 2012 または Windows Server 2012 R2 をブートする場合、1 個の NVIDIA GPU が使用できません。Windows のデバイス・マネージャーで GPU の表示に黄色い感嘆符が付き、デバイスの状態には *問題が発生したのでこのデバイスは停止しました。(コード 43)* と表示されます。残りの 7 個の GPU は正常に機能します。
10. NVIDIA Grid K2 カードは特に、NeXtScale の 8 ピンと 6 ピンの両方の補助電源ケーブルではなく、1 個の 8 ピン補助電源ケーブルのみを使用する必要があります。
11. IMM では、これらのシンプル・スワップ・ディスクまたはエージェントレス機能をサポートする LSI RAID カードに接続されていないディスクを検出することができません。これらのディスクのヘルス状況は使用できません。IMM インターフェースはこれらのディスクをリストしません。IMM によって検出できるディスクが他にない場合は、IMM System Status ページで、ローカル・ストレージが *Unavailable* と表示されます。
12. n1200 Enclosure 内での nx360 M4 計算ノード・タイプ 5455 と nx360 M5 計算ノード・タイプ 5465 の混在はサポートされていません。

ご使用の計算ノードの機能

ご使用の計算ノードは、Integrated Management Module II、ハードディスク・ドライブのサポート、システム管理のサポート、マイクロプロセッサ・テクノロジー、内蔵ネットワークのサポート、I/O 拡張、大容量システム・メモリー、light path 診断 LED、PCI Express、および電力スロットルなどの機能を提供します。

- **Features on Demand**

Features on Demand 機能が計算ノードまたは計算ノードに取り付けられたオプション・デバイスに組み込まれている場合、アクティベーション・キーを購入してその機能をアクティブにすることができます。Features on Demand について詳しくは、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> を参照してください。

- **フレキシブルなネットワーク・サポート**

計算ノードは、以下のフレキシブルなネットワーク機能を備えています。

- **内蔵イーサネットを備えたモデル**

このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。

● ハードディスク・ドライブ・サポート

計算ノードは、最大 1 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA、2 個の 2.5 型ホット・スワップ SATA/SAS、2 個の 2.5 型シンプル・スワップ SATA/SAS、または 4 個の 1.8 型シンプル・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。ハードウェア RAID を使用して、ドライブに RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 6、または RAID 10 を実装することができます。さらに、一部の構成では、2 個のオプションの 2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・ベイを使用できます。

● Lenovo ServerGuide セットアップとインストール CD

Web からダウンロードできる *ServerGuide* セットアップとインストール CD には、サーバーのセットアップと、Windows オペレーティング・システムのインストールを支援するプログラムが収録されています。ServerGuide プログラムは、取り付け済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。*ServerGuide* セットアップとインストール CD についての詳細は、29 ページの「ServerGuide セットアップとインストール CD の使用」を参照してください。

● Integrated management module 2.1 (IMM2.1)

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、監視、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

追加情報については、39 ページの「Integrated Management Module の使用」、および「*Integrated Management Module 2.1* ユーザーズ・ガイド」(<http://support.lenovo.com/>) を参照してください。

● 大容量のシステム・メモリー

計算ノードは、最大 512 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、システム・ボード上のロー・プロファイル (LP) DIMM で最大 16 個の業界標準 registered ECC DDR4 をサポートします。サポートされる DIMM の最新のリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。

● Lenovo XClarity Administrator

Lenovo XClarity Administrator は、管理者がより速く手間をかけずにインフラストラクチャーをデプロイできるリソース集中管理ソリューションです。このソリューションは、Flex System が統合されたインフラストラクチャー・プラットフォームに加え、System x、ThinkServer、NeXtScale サーバーにシームレスに統合されます。

Lenovo XClarity Administrator には次のような機能があります。

- 自動ディスカバリー
- エージェントなしのハードウェア管理
- 監視
- ファームウェア更新とコンプライアンス
- パターン・ベースの構成管理
- オペレーティング・システムとハイパーバイザーのデプロイメント

管理者は、ダッシュボードで機能する整頓されたグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を使用して、正しい情報を参照し、よりすばやく重大なタスクを実行できます。一元化され自動化されたインフラストラクチャーの基本デプロイメントと大規模なシステムを横断したライフサイクル管理によって、管理者がそれに関わる時間を解放し、エンドユーザーに対するリソースの提供がより早くなります。

Lenovo XClarity は、Lenovo XClarity と呼ばれるソフトウェア・プラグインを使用して Microsoft や Vmware から簡単に最先端の仮想化管理プラットフォームに拡張できます。このソリューションを使用すると、サーバーのローリング・リポートやファームウェア更新中、またはハードウェアの障害予知が発生している場合に、クラスター内のアタッチされたホストからワークロードを動的に再配置することで、ワークロードの稼働時間やサービス・レベルの保証が向上します。

Lenovo XClarity Administrator について詳しくは、

<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/software/systems-management/xclarity/> および

http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.html を参照してください。

• Light path 診断

Light path 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、17 ページの「計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED」を参照してください。

• マイクロプロセッサ・テクノロジー

計算ノードは、最大 2 個のマルチコア Intel Xeon マイクロプロセッサをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサとその部品番号についての詳細は、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。

注：Lenovo がサポートするオプションのマイクロプロセッサは、計算ノードの容量および機能によって制限されています。取り付けるマイクロプロセッサはすべて、計算ノードに搭載されたマイクロプロセッサと同じ仕様でなければなりません。

• Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス

サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、1 ページの第 1 章「Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード」を参照してください。

• PCI Express

PCI Express は、チップ間相互接続および拡張アダプター相互接続に使用されるシリアル・インターフェースです。オプションの I/O デバイスおよびストレージ・デバイスを追加することができます。

オプションの拡張ノードは、ユーザーが計算ノードの機能の増加およびカスタマイズを行うコスト効率の良い方法を提供するために使用可能です。拡張ノードは、業界標準の PCI Express、ネットワーク、ストレージ、およびグラフィックス・アダプターを幅広くサポートします。

• 電力スロットル

電源ドメインのリソース負荷分散 (すべての電源リソースを使用) という電源ポリシーを実行することにより、NeXtScale n1200 Enclosure は 12 個のパワー・サプライ間で電源負荷を分配し、NeXtScale n1200 Enclosure 内の各デバイスに対して十分な電力を確実に供給できます。このポリシーは、NeXtScale n1200 Enclosure に最初に電源が供給された時、あるいは NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが挿入されたときに実行されます。

この方式には、以下の設定を使用できます。

- 基本的な電源管理
- 電源モジュールの冗長性
- 電源モジュールの冗長性 (計算ノードのスロットルを許可する場合)

Lenovo XClarity Administrator

Lenovo XClarity Administrator は、Lenovo® サーバー・システムおよびソリューションのインフラストラクチャー管理を単純化し、応答性と可用性を高めることを目的としてリソースを一元的に管理するソリューションです。安全な環境で Lenovo サーバー、Flex System サーバーおよび RackSwitch スイッチにおける検出、インベントリ、追跡、監視、プロビジョニングを自動化する仮想アプライアンスとして機能します。

Lenovo XClarity Administrator には一元管理インターフェースが用意されており、すべての管理対象エンドポイントに対して以下の機能を実行します。

• ハードウェア管理

Lenovo XClarity Administrator はエージェントなしでハードウェアを管理します。これは、Flex System シャーシおよびコンポーネント、System x、NeXtScale、ThinkServer サーバー、RackSwitch スイッチなどの管理可能エンドポイントを自動的に検出します。また、検出されたエンドポイントのインベントリが収集されるため、管理対象ハードウェア・インベントリとそのステータスをひと目で把握できます。

• ハードウェアの監視

Lenovo XClarity Administrator では、管理対象エンドポイントから生成されるすべてのイベントとアラートの一元管理ビューを利用できます。CMM または IMM によって問題が検出されると、アラートやイベントが Lenovo XClarity Administrator に渡され、イベント・ログまたはアラート・ログに表示されます。すべてのアラートやイベントのサマリーは、ダッシュボードおよびステータス・バーから確認できます。特定のエンドポイントに関するイベントとアラートは、そのエンドポイントのアラートとイベントの詳細ページから確認できます。

• オペレーティング・システム・デプロイメント

Lenovo XClarity Administrator を使用してオペレーティング・システム・イメージのリポジトリを管理し、オペレーティング・システム・イメージを管理対象サーバーにデプロイできます。

• 構成の管理

一貫した構成を使用して、すべてのサーバーを簡単にプロビジョニングおよび事前プロビジョニングできます。構成設定(ローカル・ストレージ、I/O アダプター、ブート設定、ファームウェア、ポート、IMM や UEFI の設定など)はサーバー・パターンとして保管され、1 つ以上の管理対象サーバーに適用できます。サーバー・パターンが更新されると、その変更は適用対象サーバーに自動的にデプロイされます。

• ファームウェアのコンプライアンスと更新

ファームウェア管理は管理対象エンドポイントに対してファームウェア・コンプライアンス・ポリシーを割り当てることによって簡略化されます。コンプライアンス・ポリシーを作成して管理対象エンドポイントに割り当てると、Lenovo XClarity Administrator はこれらのエンドポイントに対するインベントリの変更を監視し、コンプライアンス違反のエンドポイントにフラグを付けます。

• ユーザーの管理

Lenovo XClarity Administrator には集中型認証サーバーが用意されており、ユーザー・アカウントを作成して管理します。また、ユーザー資格情報を管理して認証します。認証サーバーは、管理サーバーを初めて起動する際に自動的に作成されます。Lenovo XClarity Administrator 用に作成したユーザー・アカウントは、管理対象シャーシやサーバーにログインするときにも使用されます。

• Security

お使いの環境が NIST SP 800-131A 標準または FIPS 140-2 標準に従う必要がある場合、それらに完全に準拠した環境を作成するのに Lenovo XClarity Administrator が役立ちます。自己署名 SSL 証明書(内部証明機関によって発行されたもの)および外部 SSL 証明書(プライベートまたは商用 CA によって発行されたもの)がサポートされています。シャーシおよびサーバーのファイアウォールを、Lenovo XClarity Administrator からの受信要求のみを受け入れるように構成できます。

● サービスおよびサポート

一定の保守可能イベントが Lenovo XClarity Administrator および管理対象エンドポイントで発生した場合に、診断ファイルを収集し自動的に優先サービス・プロバイダーに送信するように Lenovo XClarity Administrator をセットアップできます。コール・ホームを使用して診断ファイルを Lenovo Support に送信するか、SFTP を使用して別のサービス・プロバイダーに送信するかを選択できます。また、手動で診断ファイルを収集したり、問題レコードを開いたり、診断ファイルを Lenovo サポート・センターに送信したりもできます。

● スクリプトによるタスクの自動化

Lenovo XClarity Administrator は、オープンな REST アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を使用して、外部のより高レベルな管理プラットフォームや自動化プラットフォームに組み込むことができます。REST API を使用して、Lenovo XClarity Administrator は既存の管理インフラストラクチャーに容易に統合できます。また、Microsoft PowerShell セッションで Lenovo XClarity コマンドレットを実行して、特定の管理機能を自動化することができます。コマンドレットは Lenovo XClarity Administrator REST API を使用し、次のような機能を自動化できます。

● 他の管理ソフトウェアとの統合

Lenovo XClarity Administrator は、スタンドアロンまたは Lenovo XClarity Pro と呼ばれるバンドル・サービスとして入手できます。Lenovo XClarity Pro はベースとなる管理製品と 2 台の Lenovo XClarity Integrator モジュールで構成され、Microsoft Systems Center または VMware vCenter に組み込むことができます。これらのツールは、検出、監視、構成、および管理機能を提供し、System x、NeXtScale、および Flex System のエンドポイントのルーチン・システム管理に付き物のコストや複雑さを軽減します。

Lenovo XClarity Administrator に関する詳細は、
<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/software/systems-management/xclarity/> で入手できます。

信頼性、可用性、保守容易性の機能

計算ノードの設計上で最も重要な 3 つの要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守容易性 (serviceability) (RAS) です。これらの RAS 機能は、計算ノードに保管されたデータの保全性、必要時の計算ノードの可用性、問題の診断および修正の容易性を保証するために役立ちます。

計算ノードには、以下の RAS 機能があります。

- 拡張構成および電源インターフェース (ACPI)
- 自動サーバー再起動 (ASR)
- DSA Preboot を使用した組み込み診断
- 温度、電圧、およびハードディスク・ドライブの組み込みモニター機能
- 週 7 日、毎日 24 時間のカスタマー・サポート・センター¹
- お客さまによる Flash ROM 常駐コードのアップグレードおよび診断
- カスタマー・アップグレード対応の Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) コードと診断
- ECC 保護された DDR4 DIMM
- L2 キャッシュの ECC 保護
- エラー・コードとメッセージ
- Integrated Management Module II (IMM2)
- Light path 診断
- メモリー・パリティ・テスト
- 電源オン・セルフテスト (POST) 中に実行されるマイクロプロセッサのビルトイン・セルフテスト (BIST)
- マイクロプロセッサのシリアル番号アクセス
- プロセッサ存在検出
- ROM 常駐診断

1. サービスの可用性は、国ごとに異なります。対応時間は、着信の数量と内容により異なります。

- システム・エラー・ログ
- メモリー上の重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能
- Wake on PCI (PME) 機能

計算ノードの主要コンポーネント

計算ノードの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、計算ノードの主要コンポーネントを示しています。

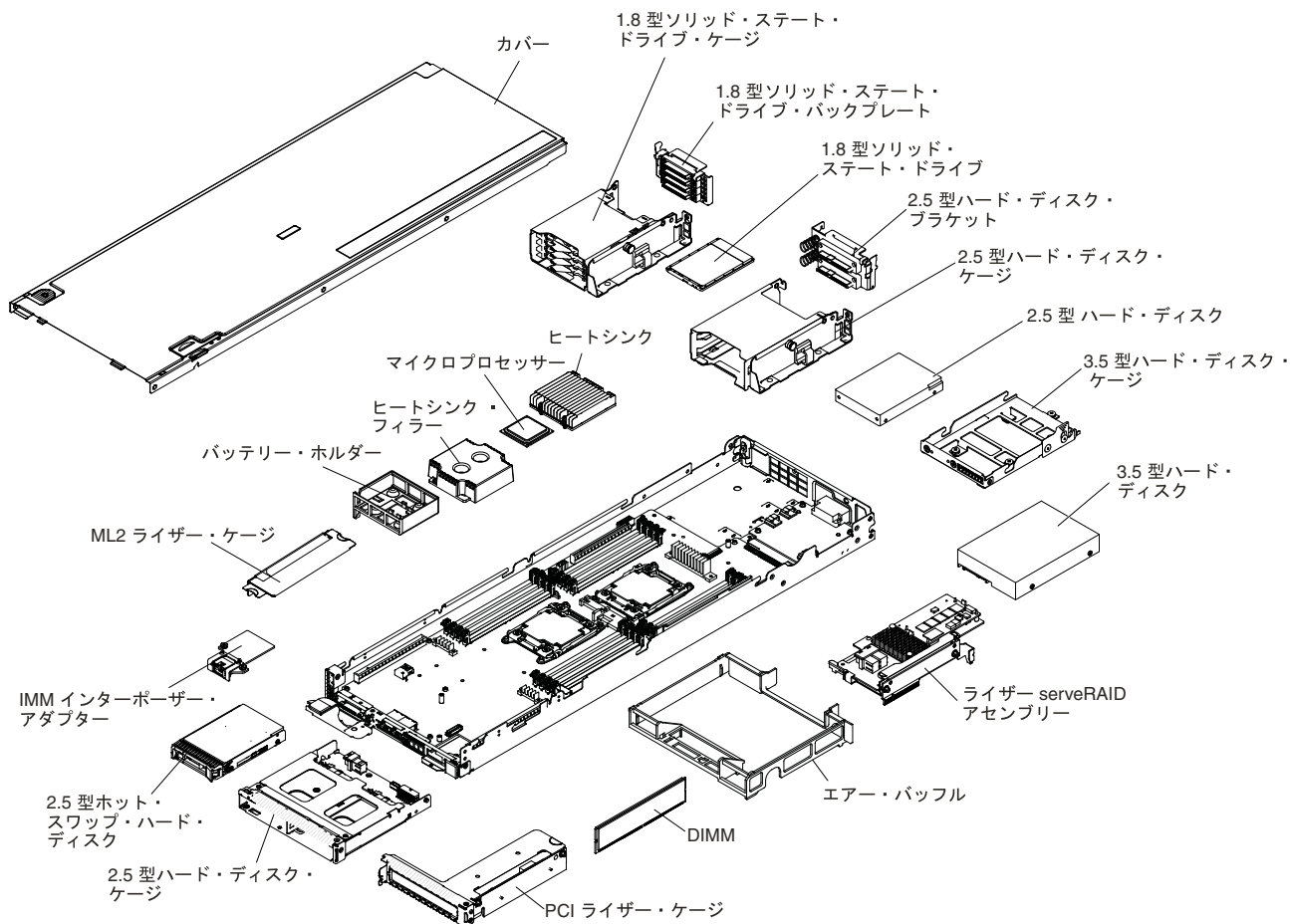


図3. 計算ノードの主要コンポーネント

ストレージ・トレイの主要コンポーネント

ストレージ・トレイの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

ストレージ・トレイは、計算ノードの上部に取り付けられます。各ストレージ・トレイは、最大 8 個の 3.5 型 LFF SATA ハードディスク・ドライブをサポートします (1 個は計算ノードに取り付け)。

ServeRAID アダプターは、計算ノードから PCIe インターフェースを介して接続することができ、RAID レベル 0、RAID レベル 1、RAID レベル 5、または RAID レベル 10 をサポートします。

次の図は、ストレージ・トレイの主要コンポーネントを示しています。

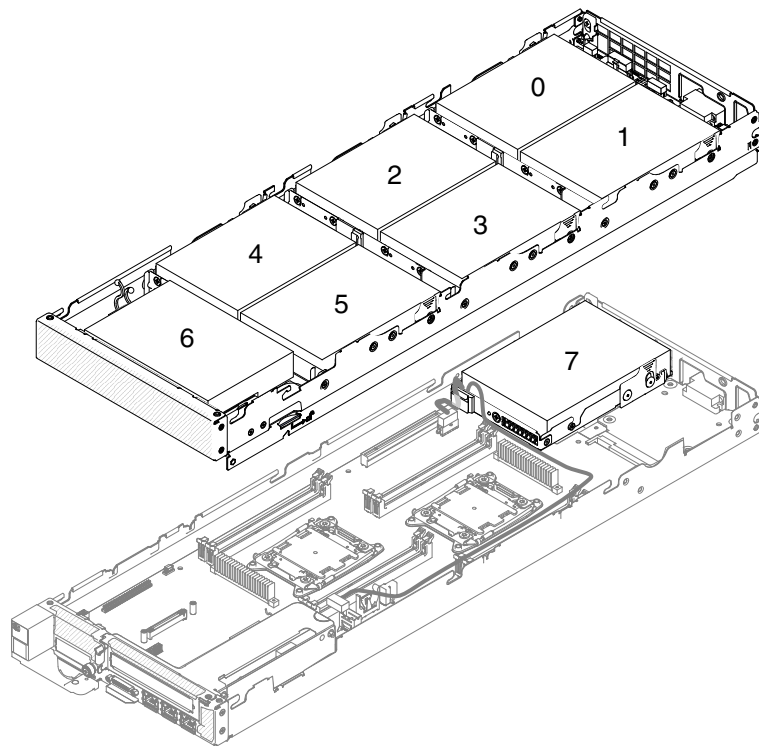


図4. ストレージ・トレイの主要コンポーネント

GPU トレイの主要コンポーネント

GPU トレイの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

GPU トレイは、計算ノードの上部に取り付けられます。GPU トレイは、2 台までのグラフィックス処理装置 (GPU) エンクロージャー (フルハイト、フルサイズ) をサポートします。

次の図は、GPU トレイの主要コンポーネントを示しています。

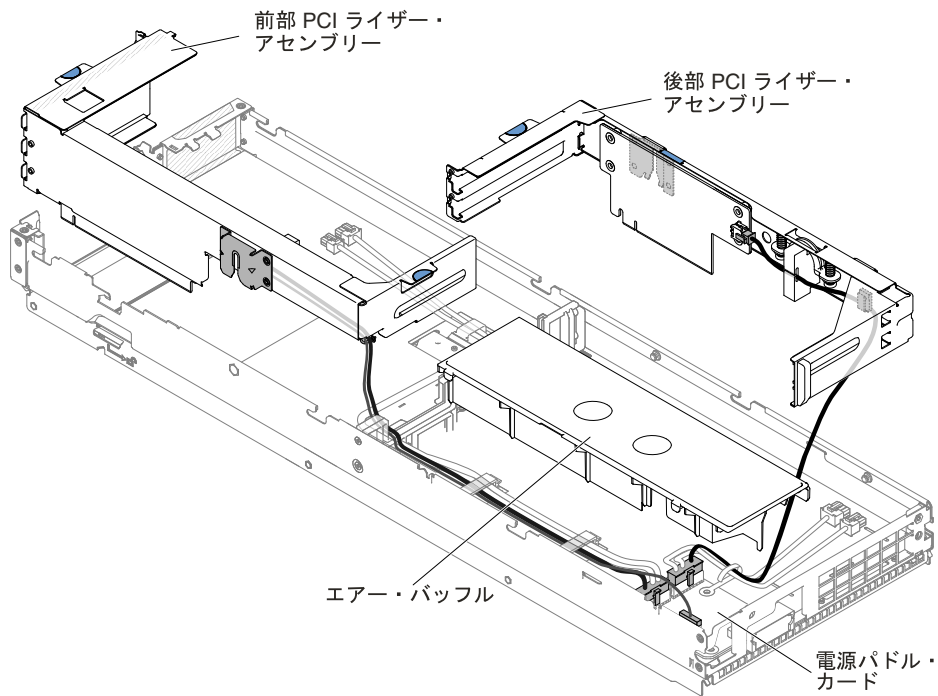


図5. GPU トレイの主要コンポーネント

2U GPU トレイの主要コンポーネント

2U GPU トレイの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

2U GPU トレイは、計算ノードの上部に取り付けられます。各 2U GPU トレイは、4 台までのグラフィックス処理装置 (GPU) エンクロージャー (フルハイト、フルサイズ) をサポートします。

次の図は、2U GPU トレイの主要コンポーネントを示しています。

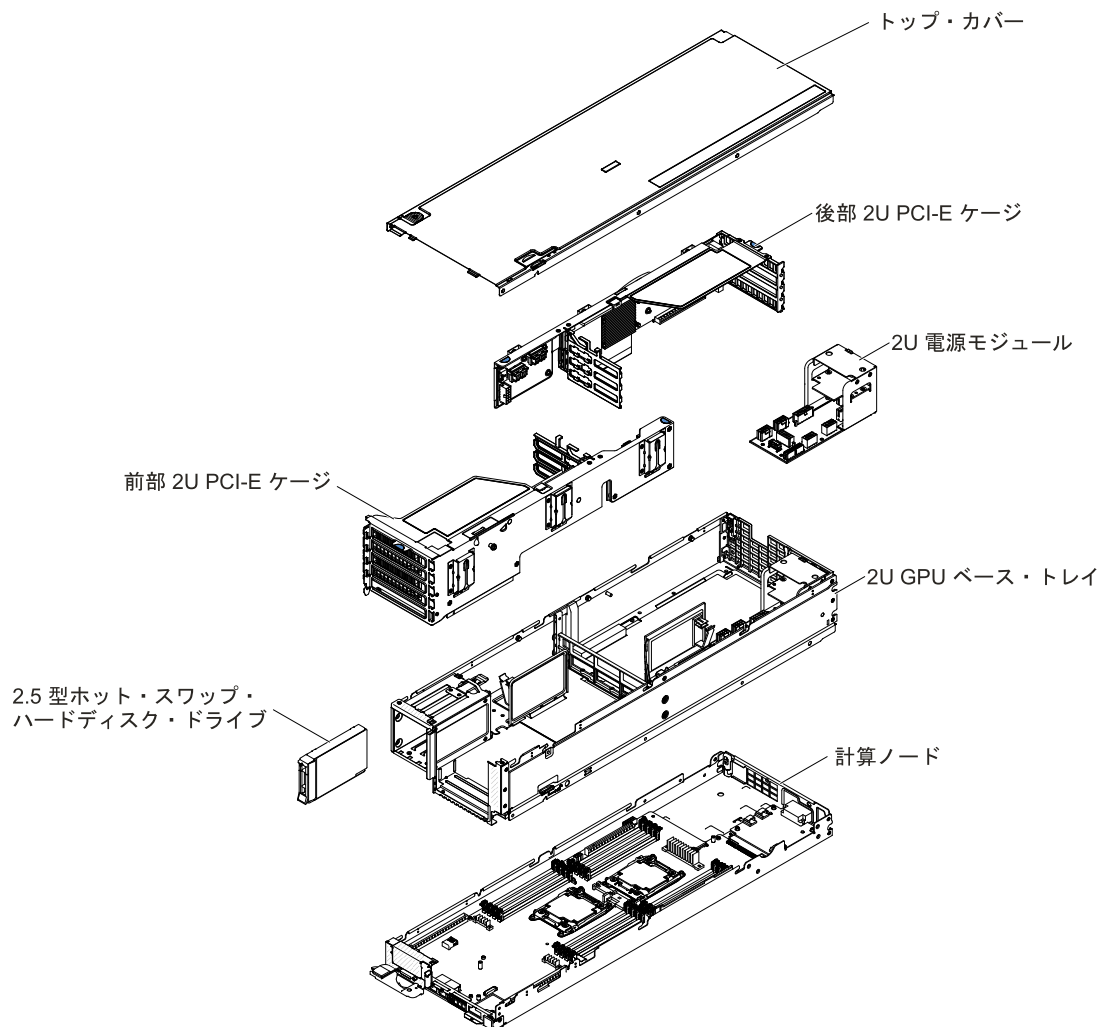


図6. 2U GPU トレイの主要コンポーネント

電源、コントロール、およびインディケータ

以下の情報を使用して、電源機構の確認、計算ノードの電源オン/オフ、およびコントロールとインディケータの機能の確認を行います。

計算ノードのコントロール、コネクタ、およびLED

コントロール、コネクタ、およびLEDの詳細については、以下の情報を使用します。

次の図は、コントロール・パネル上のボタン、コネクタ、およびLEDを示しています(2.5型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・アセンブリを取り付けた状態)。

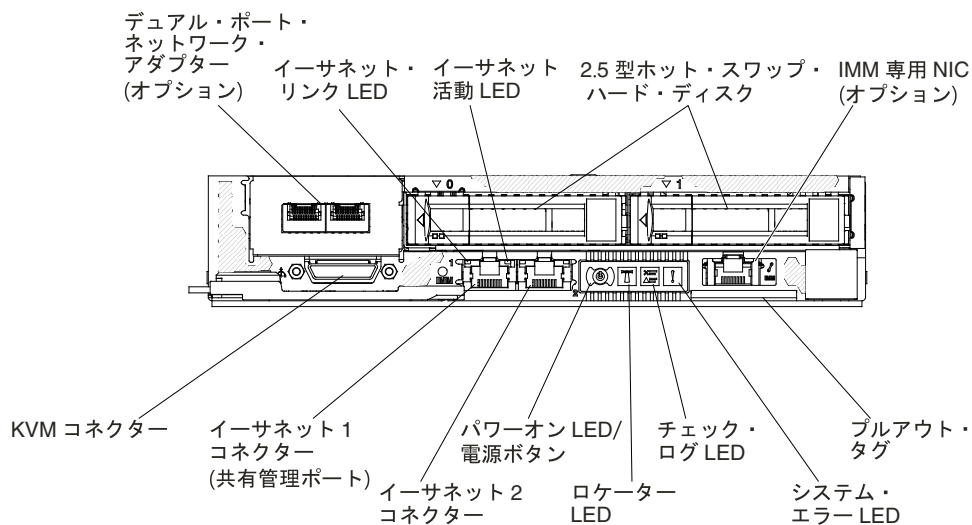


図7. 計算ノードのコントロール・パネルのボタン、コネクター、および LED

次の図は、コントロール・パネル上のボタン、コネクター、および LED を示しています (フルハイト PCIe アダプター・アセンブリーを取り付けた状態)。

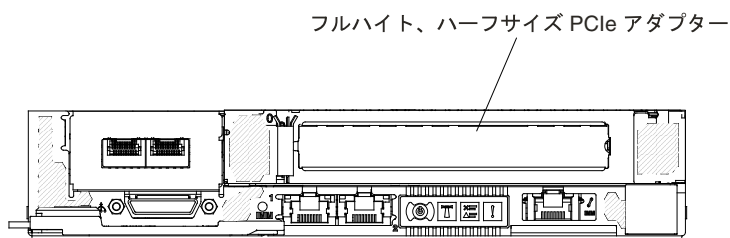


図8. 計算ノードのコントロール・パネルのボタン、コネクター、および LED

電源ボタン/LED

計算ノードが NeXtScale n1200 Enclosure 経由で電源に接続されている場合、計算ノードの電源をオン/オフするには、このボタンを押します。

このボタンは電源 LED でもあります。この緑色の LED は、計算ノードの電源状況を次のように示します。

- **高速で点滅:** 以下の理由により、LED は高速で点滅します。
 - 計算ノードがシャーシに取り付けられました。計算ノードを取り付けると、計算ノード内の Integrated Management Module (IMM2.1) が初期化を行っている間 (最大 90 秒間)、LED が高速で点滅します。
 - NeXtScale n1200 Enclosure に、計算ノードの電源をオンにするための十分な電力がありません。
 - 計算ノード内の IMM2.1 が、Chassis Management Module と通信していません。
- **低速で点滅:** 計算ノードは NeXtScale n1200 Enclosure を介して電源に接続されており、電源をオンにする準備ができています。
- **継続的に点灯:** 計算ノードは NeXtScale n1200 Enclosure を介して電源に接続されており、電源がオンにされています。

計算ノードの電源がオンの場合、このボタンを押すと計算ノードが正常シャットダウンされ、シャーシから安全に取り外すことができるようになります。この動作には、オペレーティング・システムのシャットダウン (可能な場合) および計算ノードからの電源の切り離しが含まれます。

オペレーティング・システムが稼働している場合、シャットダウンを開始するために約 4 秒間ボタンを押さなければならないことがあります。

注意：4 秒間ボタンを押すことで、強制的にオペレーティング・システムを即時にシャットダウンします。データ損失の可能性があります。

ロケーター LED

この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。この LED はプレゼンス検出ボタンとしても使用されます。IMM Web インターフェースを使用して、この LED をリモートから点灯させることができます。この LED は IMM によって制御されます。ロケーター・ボタンは、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために押します。

チェック・ログ LED

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。追加情報がないか、60 ページの「イベント・ログ」を確認してください。

システム・エラー LED

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・エラー LED は、サーバーの背面にもあります。システム・ボード上の LED も点灯して、エラーの切り分けに役立ちます。この LED は IMM によって制御されます。

KVM コネクター

このコネクターには、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを接続します (詳細については、19 ページの「 」を参照)。

注：ベスト・プラクティスとして、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルは、各 NeXtScale n1200 Enclosure 内で一度に 1 つの計算ノードのみに接続することが推奨されます。

イーサネット・コネクター

これらのコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。Setup Utility で IMM2.1 用の共有イーサネットを有効にすると、イーサネット 1 またはシステム管理イーサネット (デフォルト) コネクターを使用して IMM2.1 にアクセスすることができます。詳しくは、「Setup Utility の使用」を参照してください。

イーサネット・リンク活動/状況 LED

これらの LED のいずれかが点灯する場合、その LED に対応するイーサネット・ポートに接続されているイーサネット LAN にサーバーが信号を送信、またはその LAN から信号を受信していることを示しています。

管理コネクター

サーバーをネットワークに接続して、完全なシステム管理情報を制御するときはこのコネクターを使用します。このコネクターは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 専用です。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。Setup Utility を使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

共用モードでは、このポートで IMM2.1 にリモートで接続してシステム管理機能を実行できます。IMM2.1 へのイーサネット接続は 10/100 Mbps です。ホスト接続は、ネットワーク環境によってはシステム・リブートにともなって切断される場合があります。3 番目のイーサネット・ポートはオプション (IMM 管理変換コネクターを追加) です。IMM2.1 への 1 Gbps の専用イーサネット接続が可能です。

コンソール・ブレイクアウト・ケーブル

コンソール・ブレイクアウト・ケーブルについて詳しくは、この情報を参照してください。

コンソール・ブレイクアウト・ケーブルを使用して、外部の I/O デバイスを計算ノードに接続します。コンソール・ブレイクアウト・ケーブルは、KVM コネクタを介して接続します (17 ページの「計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED」を参照)。コンソール・ブレイクアウト・ケーブルには、ディスプレイ装置 (ビデオ) 用のコネクタ、USB キーボードおよびマウス用の 2 つの USB コネクタ、およびシリアル・インターフェース・コネクタがあります。

次の図は、コンソール・ブレイクアウト・ケーブルのコネクタおよびコンポーネントを示しています。

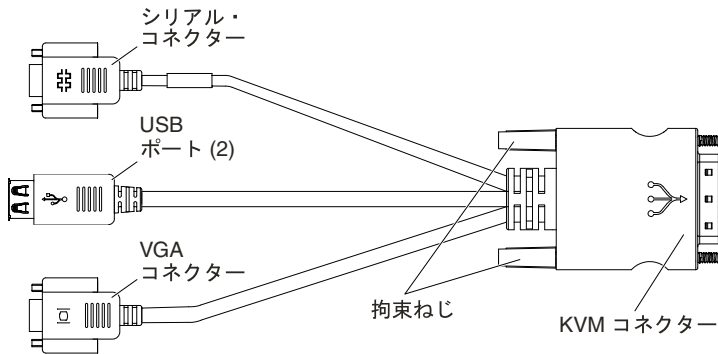


図9. コンソール・ブレイクアウト・ケーブル

注：KVM ケーブルを取り付ける際は、プルアウト・タグを慎重に少し押し下げて、KVM ケーブルの邪魔にならないようにします。

計算ノードの電源オン

計算ノードの電源をオンにする詳細については、以下の情報を使用します。

計算ノードは、NeXtScale n1200 Enclosure を介して電源に接続した後、以下のいずれかの方法で始動することができます。

- 計算ノード前面の電源ボタンを押して (17 ページの「計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED」を参照)、計算ノードを起動できます。電源ボタンは、計算ノードのローカル電源制御が使用可能になっている場合にのみ機能します。

注：

1. 計算ノードの電源 LED が低速で点滅するまで待ち、電源ボタンを押します。計算ノードの IMM2 が初期化および Chassis Management Module との同期を行っている間は、電源 LED が高速で点滅し、計算ノードの電源ボタンは応答しません。このプロセスには、計算ノードが取り付けられてから約 90 秒間かかる場合があります。
 2. 計算ノードの始動中は、計算ノード前面の電源 LED は点灯しています (点滅ではありません)。電源 LED の状態については、17 ページの「計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED」を参照してください。
- Wake on LAN 機能を使用して計算ノードの電源をオンにすることができます。計算ノードは電源に接続されていて (電源 LED は低速で点滅します)、Chassis Management Module と通信する必要があります。オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしていて、Wake on LAN 機能が Chassis Management Module の Web インターフェースから使用可能にされている必要があります。

計算ノードの電源オフ

計算ノードの電源をオフにする詳細については、以下の情報を使用します。

計算ノードは、電源をオフにしても NeXtScale n1200 Enclosure を介して電源に接続されています。計算ノードは、IMM2 からの要求 (計算ノードの電源をオンにするリモート要求など) に応答することができます。計算ノードからすべての電力を切り離すには、計算ノードを NeXtScale n1200 Enclosure から取り外す必要があります。

計算ノードの電源をオフにする前に、オペレーティング・システムをシャットダウンします。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

次のいずれかの方法で、計算ノードの電源をオフにすることができます。

- 計算ノードの電源ボタンを押します (17 ページの「計算ノードのコントロール、コネクタ、および LED」を参照)。これにより、オペレーティング・システムの正常シャットダウンが開始されます (この機能がオペレーティング・システムでサポートされている場合)。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源ボタンを 4 秒間を超えて押し続けると計算ノードの電源をオフにできます。

注意：電源ボタンを 4 秒間押すと、オペレーティング・システムは即時に強制シャットダウンされます。データ損失の可能性があります。

システム・ボードのレイアウト

システム・ボード上のコネクタ、LED、ジャンパー、およびスイッチの位置を確認するには、この情報を使用します。

システム・ボードの内部コネクタ

以下の図は、システム・ボード上の内部コネクタを示しています。

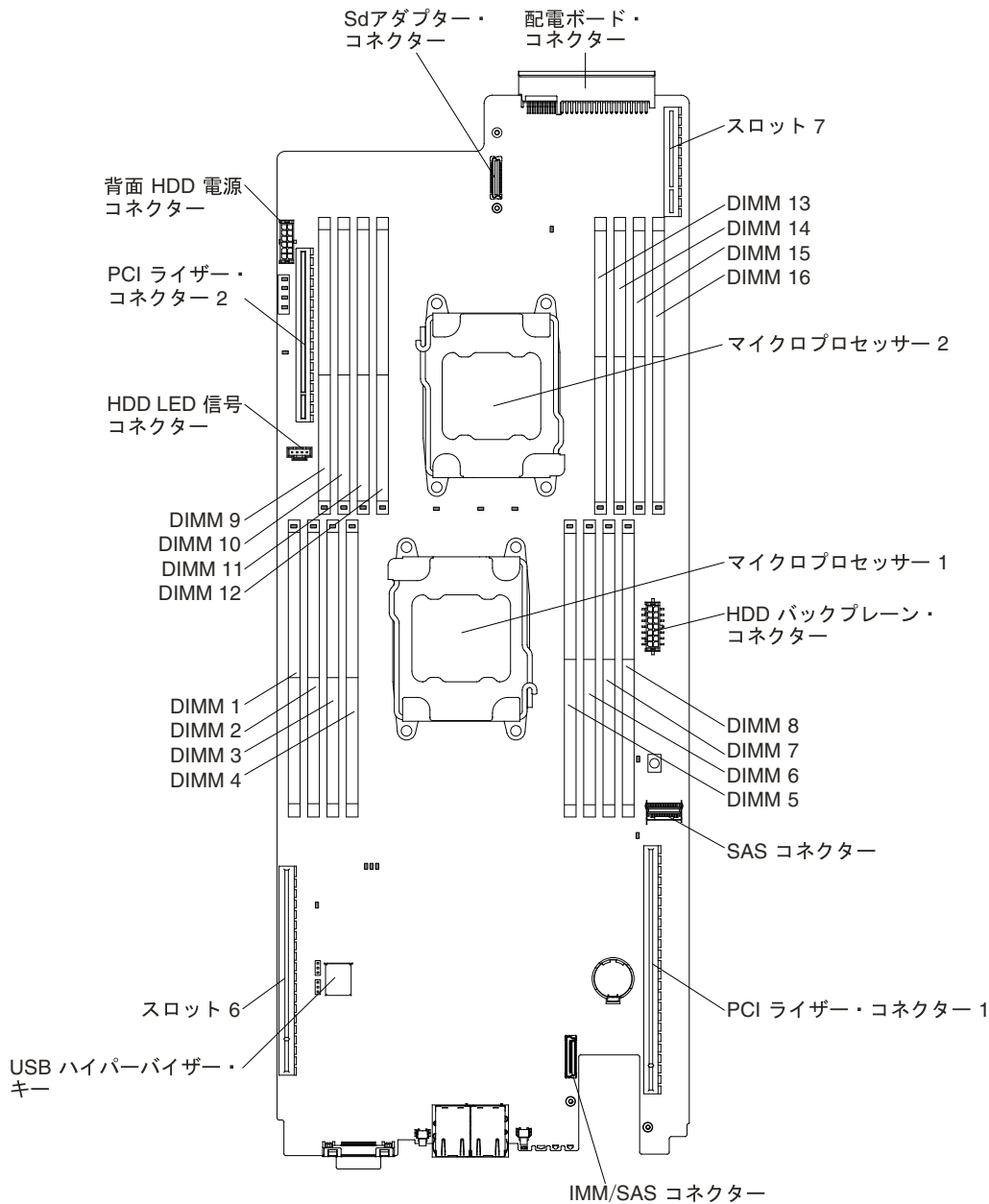


図 10. システム・ボード上の内部コネクタ

システム・ボードの外部コネクタ

次の図に、システム・ボード上の外部コネクタを示します。

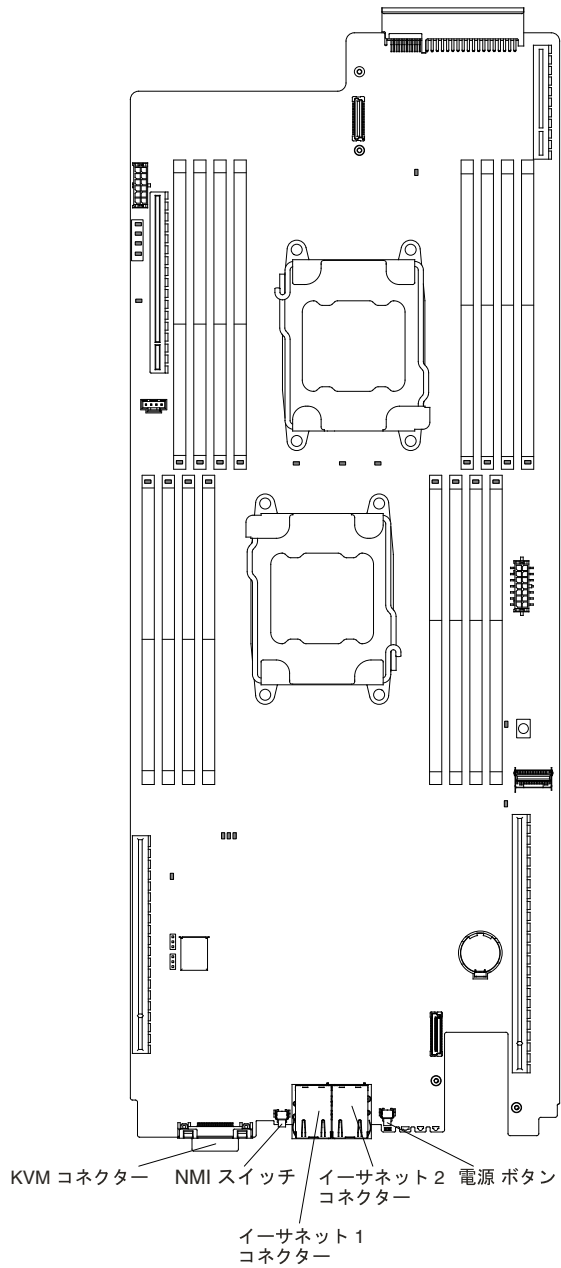


図 11. システム・ボード上の外部コネクター

システム・ボードのスイッチとジャンパー

以下の図でスイッチとジャンパーについての位置と説明を示します。

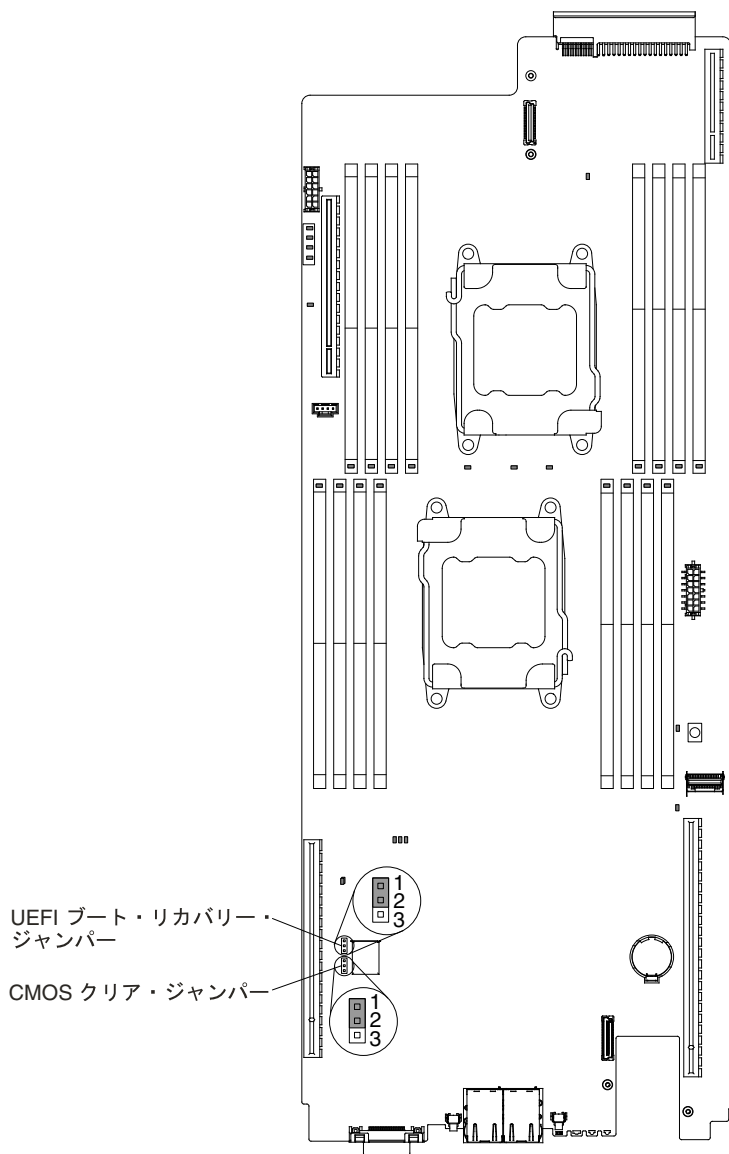


図12. スイッチおよびジャンパーの位置と説明

注：スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

注：

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにしてください。v ページの「安全について」、105 ページの「取り付け作業上の注意事項」、107 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」、および20 ページの「計算ノードの電源オフ」に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表 2. システム・ボードのジャンパー

ジャンパー名	ジャンパーの設定
CMOS クリア・ジャンパー	<ul style="list-style-type: none"> • ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: リアルタイム・クロック (RTC) レジストリーをクリアします。
UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー	<ul style="list-style-type: none"> • ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。プライマリー・ページからブートします。 • ピン 2 と 3: セカンダリー (バックアップ) ページからブートします。
注 : <ol style="list-style-type: none"> 1. ジャンパーがない場合、サーバーはピンがデフォルトに設定されているものとして対応します。 2. サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) の位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。 	

システム・ボードの LED およびコントロール

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

問題を切り分けるために、システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後にエラー LED を点灯させることができます。システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後、最大 90 秒間は電力が残り、これらの LED を使用することができます。エラー LED を確認するには、システム・ボード上の Light Path ボタンを押したままにして、エラー LED を点灯します。システム・ボード・トレイの稼働中に点灯したエラー LED が、このボタンを押している間、再度点灯します。

次の図は、システム・ボード上の LED およびコントロールを示しています。

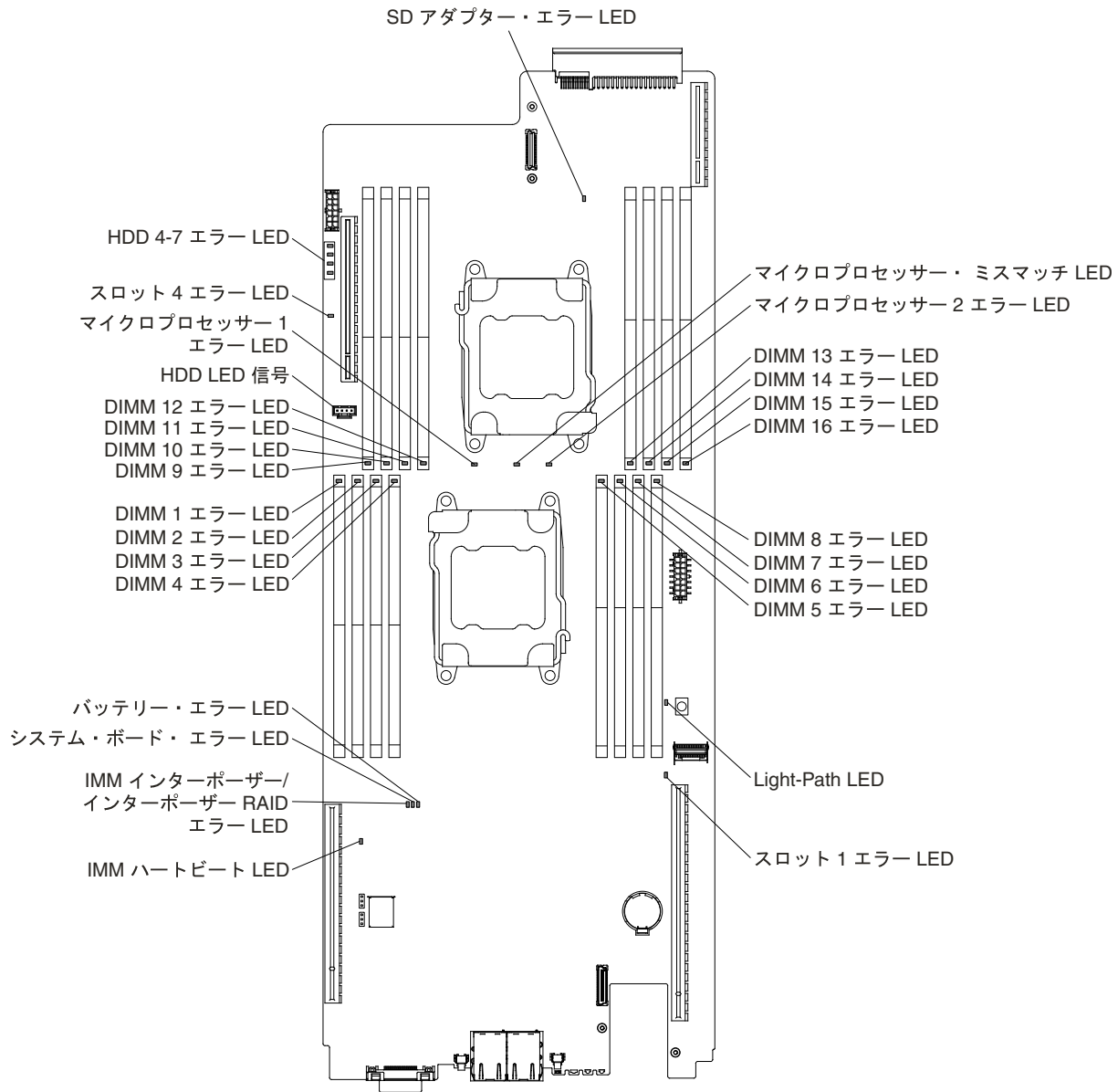


図 13. システム・ボード上の LED およびコントロール

第 2 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

システム・ファームウェアを更新するには、以下の情報を使用します。

重要：

- 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
- 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。UpdateXpress System Pack インストーラーを使用して、UpdateXpress System Pack および個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を獲得し、適用してください。UpdateXpress System Pack Installer の追加情報およびダウンロードについては、System x および BladeCenter の ToolsCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあるいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、Lenovo の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバ、および Integrated Management Module (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/> にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、次に、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用して、ファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。

- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボードの SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されています。

サーバーの構成

ご使用のサーバーでは、次のような構成プログラムが提供されます。

- **Setup Utility**

Setup Utility は、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、31 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup Utility でセットされる始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの先頭になるようにデバイスを一時的に割り当てます。このプログラムの使用については、38 ページの「Boot Manager の使用」を参照してください。

- **Lenovo ServerGuide セットアップとインストール CD**

ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを備えています。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本のハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムを簡単にインストールするには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、29 ページの「ServerGuide セットアップとインストール CD の使用」を参照してください。

- **Lenovo FastSetup**

Lenovo FastSetup は、選択された Lenovo BladeCenter シャーシ、サーバー、およびコンポーネントの保守および実装を単純化するのに役立つ、無料のソフトウェア・ツールです。直観的に使用できるグラフィカル・インターフェースが、ディスクバリー、アップデート、および構成を含むサーバー・セットアップのすべてのフェーズを初期設定します。機能には、複数のサーバーへの設定の複写および実践の時間とユーザー・エラーを減らす自動化を可能にする、テンプレートが含まれています。ウィザードおよびその他のデフォルトの設定値により、カスタマイズ機能が使用可能になります。操作回数が少なく、1 回の設定で済み、あとは気にせずすむ機能によって、何日もかかっていたサーバー・セットアップの実践時間が分単位に短縮され、特に大規模な実装では効果が大きくなります。このツールについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-FASTSET> を参照してください。

- **Integrated Management Module**

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。IMM の使用については、39 ページの「Integrated Management Module の使用」および「*Integrated Management Module 2.1 ユーザーズ・ガイド*」(<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタ 3 および 4 に取り付けること

ができます。組み込みハイパーバイザーの使用法については、42 ページの「組み込みハイパーバイザーの使用」を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、Integrated Management Module (IMM2) の内蔵機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

ブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出したときにサーバーを再起動する前に、ビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、40 ページの「リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用」を参照してください。

- **イーサネット・コントローラーの構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、43 ページの「Ethernet コントローラーの構成」を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、43 ページの「Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化」を参照してください。

- **Lenovo Advanced Settings Utility (ASU) プログラム**

このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup Utility の代替手段として使用します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup Utility を実行するためにサーバーを再起動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用については、44 ページの「Lenovo Advanced Settings Utility プログラム」を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

RAID アレイの構成については、44 ページの「RAID アレイの構成」を参照してください。

ServerGuide セットアップとインストール CD の使用

以下の情報は、ServerGuide セットアップとインストール CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide セットアップとインストール CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide セットアップとインストール CD のイメージを

<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-GUIDE> から無料でダウンロードできます。

オペレーティング・システムをインストールするには、*ServerGuide* セットアップとインストール CD の他に、オペレーティング・システムの CD も用意する必要があります。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。ご使用のバージョンについて確認するには、*ServerGuide* セットアップとインストール CD を開始して、オンラインで概要を表示してください。すべてのサーバー・モデルにおいてすべての機能がサポートされているわけではありません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムの機能は次のとおりです。

- システム日付と時刻の設定
- RAID アダプターまたはコントローラーの検出、および SAS/SATA RAID 構成プログラムの実行
- ServeRAID アダプターのマイクロコード (ファームウェア) のレベルの確認、および、もっと新しいレベルが CD から入手可能かどうかの判別
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールの提供。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成には、この情報を使用します。

ServerGuide セットアップとインストール CD を使用する場合、セットアップ・ディスクは必要ありません。この CD を使用して、サポートされている Lenovo サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを使用するサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを作成することができます。

注： ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて詳しく説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ハードウェアやインストールしようとするオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、標準的な ServerGuide オペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注： ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)

2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハードディスク・ドライブ・コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、選択されたオペレーティング・システムとインストール済みハードディスク・ドライブに基づき、オペレーティング・システム区画のオプションを表示します。
4. ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するようにプロンプトを出します。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、<http://support.lenovo.com/>からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup Utility の使用

これらの手順を使用して、Setup Utility を開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup Utility プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置および I/O ポートの割り当ての表示および変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動デバイス順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup Utility の開始

Setup Utility を開始するには、この情報を使用します。

Setup Utility を開始するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。

ステップ 3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup Utility のメニュー選択項目

サーバー構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup Utility メイン・メニューを使用します。

UEFI の Setup Utility のメイン・メニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

• System Information

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup Utility の他の選択項目を通じて変更を行うと、「System Information」にそれらの変更の一部が反映されます。「System Information」の設定値を直接変更することはできません。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

– System Summary

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、および取り付けられているメモリー容量などの構成情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup Utility の他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

– Product Data

システム・ボードの ID、ファームウェアと Integrated Management Module と診断コードの改訂レベルまたは発行日、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

• System Settings

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– Adapters and UEFI Drivers

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

– Processors

プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– メモリー

メモリーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– Devices and I/O Ports

デバイスや入出力 (I/O) ポートの割り当てを表示または変更するには、この選択項目を選択します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、SATA 光学式ドライブ・チャンネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可にすると、その装置は構成することができず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切り離すことと同じです)。

– Power

電力消費量、プロセッサ、およびパフォーマンス状態を制御するための電源キャッピングを表示または変更する場合、この選択項目を選択します。

– Operating Modes

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– Legacy Support

レガシー・サポートを表示または設定する場合、この項目を選択します。

注：Microsoft Windows Server 2012 および Microsoft Windows Server 2012 R2 では、レガシー・モードはサポートされていません。

- **Force Legacy Video on Boot**

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。
- **Rehook INT 19h**

デバイスがブート処理を制御することを有効または無効に設定するには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。
- **Legacy Thunk Support**

UEFI が UEFI 未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスと相互作用することを有効または無効にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。
- **Infinite Boot Retry**

この選択項目を選択して、UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を有効または無効にできます。デフォルトは「**Disable**」です。
- **BBS Boot**

BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。
- **System Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。
- **Integrated Management Module**

Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。
- **Power Restore Policy**

電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。
- **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを有効または無効にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。
- **Network Configuration**

この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。
- **IMM をデフォルトにリセット**

IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。
- **IMM のリセット**

IMM をリセットするには、この項目を選択します。
- **Recovery**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。
- **POST Attempts**

POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

 - **POST Attempts Limit**

Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

– System Recovery

システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **POST Watchdog Timer**

POST ウォッチドッグ・タイマーを表示する、または有効に設定する場合、この項目を選択します。

- **POST Watchdog Timer Value**

POST ローター・ウォッチドッグ・タイマーの値を表示または設定するには、この選択項目を選択します。

- **Reboot System on NMI**

この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再起動させる機能を有効または無効にします。「**Enable**」がデフォルトです。

- **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

– Storage

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

– Network

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

– Drive Health

サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

- **Date and Time**

この項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

- **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた起動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するためにデバイスをチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。たとえば、CD-RW/DVD ドライブにディスクが入っているかどうかをチェックしてから、ハードディスク・ドライブをチェックし、その後、ネットワーク・アダプターをチェックする始動シーケンスを定義できます。

この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

- **Boot Manager**

デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行うには、この選択項目を選択します。

- **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。矢印キーを使用して、エラー・ログ内のページ間を移動できます。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、Integrated Management Module (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要： サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、修復を完了するかエラーを修正した後も、システム・イベント・ログを消去して、サーバー前面のシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

POST イベント・ビューアーに入って POST エラー・メッセージを表示するには、この選択項目を選択します。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• **User Security**

パスワードを設定、変更、または削除する場合、この項目を選択します。詳しくは、36 ページの「パスワード」を参照してください。

この項目は、Setup Utility の完全および限定メニューにあります。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更する場合、この項目を選択します。詳しくは、36 ページの「始動パスワード」を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、36 ページの「始動パスワード」を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup Utility の完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードを設定している場合、パスワード・プロンプトが出されたときに管理者パスワードを入力したときにのみ、Setup Utility の完全メニューを使用できます。詳しくは、38 ページの「管理者パスワード」を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、38 ページの「管理者パスワード」を参照してください。

• **Save Settings**

設定値に加えた変更を保存する場合、この項目を選択します。

• **Restore Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。

- **Load Default Settings**

設定値に加えた変更を取り消し、工場出荷時設定値を復元する場合に、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

この項目を選択し、Setup Utility を終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」メニュー選択項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup Utility の完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup Utility の完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定している場合、システムの始動を完了するためにパスワードを入力する必要はありませんが、Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム始動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup Utility の完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup Utility の限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードを設定すると、Unattended Start モードを有効にできます。このモードでは、キーボードとマウスはロックしたままでオペレーティング・システムを始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup Utility を開始して、始動パスワードをリセットします。

注意：管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- 始動パスワードのスイッチの位置を変更して(システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW4) のスイッチ 3 を使用可能にする)、パスワード検査をバイパスします(詳しくは、23 ページの「システム・ボードのスイッチとジャンパー」を参照)。

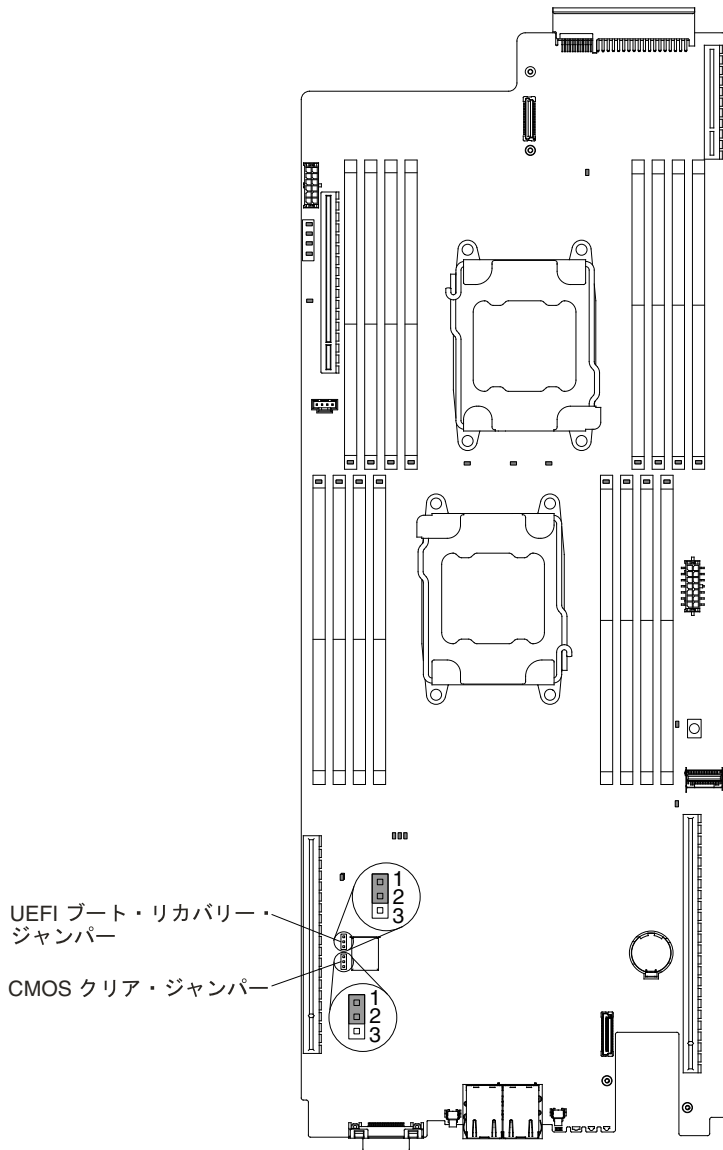


図 14. 始動パスワード・スイッチ

注意：スイッチの設定を変更する、あるいはジャンパーを移動する前には、サーバーの電源をオフにしてください。次に、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してください。v ページの「安全について」で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW3 上のすべてのスイッチのデフォルトは、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック (SW3) のスイッチ 4 を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。Setup Utility を開始して、始動パスワードをリセットできます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード

管理者パスワードを設定している場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

注意：管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

Boot Manager にはこの情報を使用します。

Boot Manager プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティ・プログラムであり、Setup Utility の設定を変更することなく、一時的に最初の始動デバイスを再定義するために使用できます。

注：すべての Intel Xeon™ E5-2600 v3 システムのセキュア・ブート、エージェントレス・サポートは、ServerProven プラン・オプションに関係なく、ファームウェア/ドライバーに依存します (<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照)。

Boot Manager プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. サーバーの電源を切ります。

ステップ 2. サーバーを再起動します。

ステップ 3. プロンプト「<F12> Select Boot Device」が表示されたら、F12 を押します。

ステップ 4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

次回にサーバーが始動するときには、Setup Utility で設定された始動シーケンスに戻ります。

サーバー・ファームウェアのバックアップの開始

バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始するには、この情報を使用します。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェアのバックアップ・コピー・エリアが入っています。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を変更し (SW4 のスイッチ 1 を on の位置に変更)、UEFI リカバリー・モードを有効にします。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまでは、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーがリストアされた後、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を元に戻します (SW4 のスイッチ 1 を off の位置に変更します)。

UpdateXpress System Pack Installer

UpdateXpress System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

UpdateXpress System Pack Installer の追加情報およびダウンロードについては、System x および BladeCenter の ToolsCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/>) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

UEFI のデフォルトをロードした後の Power Policy オプションのデフォルトの設定値への変更

電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値は IMM2 によって設定されます。

電源ポリシー・オプションをデフォルトの設定値に変更するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。

ステップ 3. 「System Settings」 → 「Integrated Management Module」を選択してから、「Power Restore Policy」の設定を Restore に設定します。

ステップ 4. 「System Configuration and Boot Management」 → 「Save Settings」に戻ります。

ステップ 5. 戻って、「Power Policy」の設定値をチェックし、これが「Restore」（デフォルト）に設定されていることを確認します。

注意：管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Integrated Management Module の使用

Integrated Management Module (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートしています。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)。
- 2 個のマイクロプロセッサ構成で 1 個のマイクロプロセッサが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサ使用不可および再始動。1 個のマイクロプロセッサが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再起動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリポートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために light path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保存とリストア。

- DIMM エラー・アシスタンス。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) は、POST 中に検出された障害のある DIMM を使用不可にし、IMM は、関連したシステム・エラー LED および障害のある DIMM のエラー LED を点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、および電源バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサ、ハードディスク・ドライブで発生したエラーとシステム・エラーを報告する light path 診断 LED インディケータ。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告。
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライの入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェアのフラッシュ更新
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティ・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

コマンド・ライン・インターフェースにより、IPMI 2.0 プロトコルを介してサーバー管理機能に直接アクセスできます。コマンド・ライン・インターフェースを使用し、サーバーの電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うコマンドを発行します。1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能を実行することができます。すべての標準 Telnet クライアント・アプリケーションは、SOL 接続へのアクセスが可能です。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」(<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) に組み込まれた機能です。

注：リモート・プレゼンス機能 (リモート制御) は Features on Demand アップグレードであり、すべての nx360 M5 構成で使用できるわけではありません。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

ブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出したときにサーバーを再起動する前に、ビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用できます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は「IMM-」(IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加)です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

- ステップ 1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (たとえば、5CF3FC5EAAD0)。
- ステップ 2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (たとえば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
- ステップ 3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
- ステップ 4. 12 文字の中央に「FF」と「FE」を追加します (たとえば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
- ステップ 5. 最初の 16 進文字のペアを 2 進数に変換します (たとえば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
- ステップ 6. 左から 7 番目の 2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
- ステップ 7. 2 進数を 16 進数に戻します (たとえば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM の IP アドレスは、Setup Utility を使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。

注：サーバーが電源に接続されてから約5秒から10秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1を押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早くF1を押してください。)始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup Utilityの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ3. Setup Utilityのメイン・メニューから「**System Settings**」を選択します。

ステップ4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。

ステップ5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。

ステップ6. IPアドレスを見つけ、書き留めます。

ステップ7. Setup Utilityを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

ステップ1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「**アドレス**」または「**URL**」フィールドに、接続するIMMのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

注：インストール後初めてIMMにログオンする場合、IMMのデフォルトはDHCPになっています。DHCPホストが使用できない場合、IMMは静的IPアドレス192.168.70.125を割り当てます。IMMネットワーク・アクセス・タグはIMMのデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

ステップ2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMMを初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注：IMMは、最初はユーザー名USERIDとパスワードPASSWORD(英字のOでなくゼロ)を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。

ステップ3. 「**ログイン**」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム・ステータスのクイック・ビューが表示されます。

注：IMM GUIを使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「**System Status**」→「**System State**」でメッセージ「Booting OS or in unsupported OS」が表示される場合は、Windows 2008 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmpパケットはWindowsファイアウォールによってブロックされます。WebインターフェースとCLIインターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUIは「OS booted」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付きLenovo USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上のUSBコネクタに取り付けることができます(これらのコネクタの位置については、220ページの「内部ケーブルの配線およびコネクタ」を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホスト・システム上で

同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB フラッシュ・デバイスは、ハイパーバイザー機能をアクティブにするために必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup Utility の始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。

ステップ 3. Setup Utility のメイン・メニューから「**Boot Manager**」を選択します。

ステップ 4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 → 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。

ステップ 5. 「**Change Boot Order**」 → 「**Change the order**」を選択します。上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス (+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「**Embedded Hypervisor**」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。

ステップ 6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、<http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/>からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」
(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html)

または「*VMware vSphere のインストールとセットアップ・ガイド*」

(<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf>)
を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーを構成するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーの設定やコントローラーの構成は必要ありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバーおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報については、<http://support.lenovo.com/> を参照してください。

Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化

Features on Demand RAID ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

Integrated Management Module に組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、『*Lenovo Features on Demand ユーザーズ・ガイド*』を参照してください。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/>にアクセスしてログインし、「**Help** (ヘルプ)」をクリックしてください。

RAID アレイの構成

RAID アレイを構成するには、Setup Utility を使用します。

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。ご使用の RAID コントローラー用のユーティリティにアクセスするには、次の手順を実行してください。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。

ステップ 3. 「**System Settings**」 → 「**Storage**」を選択します。

ステップ 4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。

ステップ 5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。

ステップ 6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

Lenovo Advanced Settings Utility プログラム

Lenovo Advanced Settings Utility (ASU) プログラムは、UEFI 設定を変更するために Setup Utility の代わりに使用できるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup Utility にアクセスするためにシステムを再起動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2.1 設定を構成できます。リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を提供します。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用してスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU>にアクセスしてください。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings Utility を使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。ASU は、Lenovo Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注：Lenovo Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

ステップ 1. Advanced Settings Utility (ASU) をダウンロードします。

- a. <http://support.lenovo.com/> に進みます。
- b. パネルの上部にある「Downloads」タブをクリックします。
- c. 「ToolsCenter」の下で、「View ToolsCenter downloads」を選択します。
- d. 「Advanced Settings Utility (ASU)」を選択します。
- e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。

ステップ 2. ASU は、Integrated Management Module (IMM) で UUID を設定します。次のいずれかの方法を選択して Integrated Management Module (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。

- ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
- ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
- ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)

ステップ 3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。

- Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *Lenovo_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
- Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*

ステップ 4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]

ここで、それぞれ以下の意味があります。

<uuid_value>

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
ここで、それぞれ以下の意味があります。

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM アカウント (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (0 ではなくゼロ 0 を使用) です。

注：いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、userid およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

userid および password のデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> -user <user_id>
-password <password>
```

userid および password のデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。「ASU Users Guide」には Lenovo Web サイトからアクセスできます。

注：Lenovo Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. <http://support.lenovo.com/> に進みます。
2. パネルの上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
3. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
4. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
5. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注：リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM アカウント (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (0 ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、userid およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

userid および password のデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> -host <imm_ip>
  -user <imm_user_id> -password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> -host <imm_ip>
  -user <imm_user_id> -password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> -host <imm_ip>
  -user <imm_user_id> -password <imm_password>
```

userid および password のデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> -host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> -host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> -host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト

(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**Lenovo ToolsCenter**」 ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

ステップ 5. サーバーを再起動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、この情報を使用します。

システム・ボードを交換した場合、デスクトップ管理インターフェース (DMI) を更新する必要があります。Advanced Settings Utility を使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。Lenovo Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: Lenovo Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

ステップ 1. Advanced Settings Utility (ASU) をダウンロードします。

- a. <http://support.lenovo.com/> に進みます。
- b. パネルの上部にある「**Downloads**」 タブをクリックします。
- c. 「**ToolsCenter**」 の下で、「**View ToolsCenter downloads**」 を選択します。
- d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」 を選択します。
- e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。

ステップ 2. ASU は、Integrated Management Module (IMM) で DMI を設定します。次のいずれかの方法を選択して Integrated Management Module (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。

- ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
- ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
- ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)

ステップ 3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。

- Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *Lenovo_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
- Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*

ステップ 4. ASU をインストールした後、以下のコマンドを入力して DMI を設定します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

<m/t_model>

サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。mtm xxxxyyy と入力してください。ここで、xxx はマシン・タイプ、yyy はサーバーの型式番号です。

<s/n>

サーバーのシリアル番号。sn zzzzzzz と入力します。ここで、zzzzzz はシリアル番号です。

<asset_method>

サーバーの資産タグ番号。asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa と入力します。ここで、aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa は資産タグ番号です。

[access_method]

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM アカウント (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注 : いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、userid およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

```
userid および password のデフォルト値を使用しない例:
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
  -user <imm_user_id> -password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> -user <imm_user_id>
```

```
-password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
-user <imm_user_id> -password <imm_password>

userid および password のデフォルト値を使用する例:
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合: このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

注: Lenovo Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. <http://support.lenovo.com/> に進みます。
2. パネルの上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
3. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
4. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
5. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- 以下のコマンドは、userid およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

```
userid および password のデフォルト値を使用しない例:
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- ブート可能メディア: リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM アカウント (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルト値は PASSWORD (0 ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、userid およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

userid および password のデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> -host <imm_ip>
  -user <imm_user_id> -password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> -host <imm_ip>
  -user <imm_user_id> -password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> -host <imm_ip>
  -user <imm_user_id> -password <imm_password>
```

userid および password のデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> -host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> -host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> -host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト

(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**Lenovo ToolsCenter**」 ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

ステップ 5. サーバーを再起動します。

第3章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報をを使用して問題の診断および修正ができない場合は、mi ページの「ヘルプおよび技術サポートの入手」で詳細を確認してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

Lenovo または認定保証サービス・プロバイダーに連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

ステップ 1. 問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。

問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。

- ハードウェア・コンポーネント
- デバイス・ドライバーおよびファームウェア
- システム・ソフトウェア
- UEFI ファームウェア
- システム入力電力またはネットワーク接続

ステップ 2. Light path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。

このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。

- **Light path 診断 LED:** ライト・パス診断 LED の使用については、「Lenovo NeXtScale n1200 Enclosure タイプ 5456 インストールとサービスのガイド」の『ファンと電源機構のコントローラーのインディケーター、コントロール、およびコネクタ』を参照してください。
- **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、60 ページの「イベント・ログ」を参照してください。
- **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

ステップ 3. Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。

ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。Lenovo または認定保証サービス・プロバイダーに連絡する際に、この情報を提供してください。DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis* インストールおよびユーザーズ・ガイド」を参照してください。

最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis* インストールおよびユーザーズ・ガイド」をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

ステップ 4. コードの更新を確認して、適用します。

多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/> にアクセスしてください。

注意：誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

重要：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

a. UpdateXpress システム更新をインストールします。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適したブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-XPRESS> および 27 ページの「ファームウェアの更新」を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC> を参照してください。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップを参照)。

b. 手動のシステム更新をインストールします。

1. 既存のコード・レベルを判別します。

DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

2. 最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、
<http://www.ibm.com/support/fixcentral/> にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

ステップ 5. 構成の誤りを確認して、訂正します。

サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバー構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。

- a. **インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。**

<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプションのデバイス、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。Lenovo または認定保証サービス・プロバイダーに連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。

- b. **サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。**

多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、54 ページの「チェックアウト手順について」を参照してください。サーバーの構成については、27 ページの第 2 章「構成情報と説明」を参照してください。

ステップ 6. コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。

問題が特定の機能に関連している場合 (たとえば、RAID ハードディスク・ドライブが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システムまたは Lenovo ソフトウェアやデバイスに関する問題については、<http://support.lenovo.com/> にアクセスしてください。

ステップ 7. トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。

トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、[こちら](#) にアクセスしてください。

ステップ 8. トラブルシューティング表を使用します。

識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、66 ページの「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が解決しない場合は、Lenovo または認定保証サービス・プロバイダーに連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの light path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、認定保証サービス・プロバイダーに連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

Lenovo は、サポート Web サイトを継続的に更新して、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法を掲載しています。

Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード サーバーで使用可能な Service Bulletin をを見つけるには、<http://support.lenovo.com/> にアクセスして **タイプ 5465**、および **retain** で検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- v ページの「安全について」ページから始まる『安全について』をお読みください。
- Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハードディスク・ドライブなど) の基本テスト方式を提供します。これらのプログラムを使用して、一部の外部デバイスをテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

重要：複数のエラー・コードあるいは複数の light path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサ内またはマイクロプロセッサ・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサ問題の診断については、71 ページの「マイクロプロセッサの問題」を参照してください。

- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハードディスク・ドライブ・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハードディスク・ドライブ) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
 - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
 - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。
- 重要:** サーバーが共用ハードディスク・ドライブ・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハードディスク・ドライブ診断テストが使用可能にされることがあります。
- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は、817 ページの付録 B「」を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、66 ページの「現象別トラブルシューティング」および 82 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
 - パワー・サプライの問題については、79 ページの「電源の問題の解決」、75 ページの「電源問題」、および 58 ページの「パワー・サプライ LED」を参照してください。
 - 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、60 ページの「」および 843 ページの付録 C「」を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順を実行するには、この情報を使用します。

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを行います。

ステップ 1. サーバーはクラスターの一部ですか。

- **いいえ:** ステップ 55 ページの ステップ 2 に進みます。
- **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。ステップ 55 ページの ステップ 2 に進みます。

ステップ 2. 次の手順を実行してください。

- パワー・サプライ LED を検査します (58 ページの「パワー・サプライ LED」を参照)。
- サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
- すべての内蔵装置および外付け装置の互換性を <http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> でチェックします。
- ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
- すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
- すべての外部デバイスの電源を入れます。
- サーバーの電源をオンにします。サーバーが起動しない場合は、66 ページの「現象別トラブルシューティング」を参照してください。
- オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、light path 診断 LED をチェックします (17 ページの「計算ノードのコントロール、コネクター、および LED」を参照)。
- 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (詳しくは、63 ページの「POST」を参照)

- 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)

ステップ 3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** 66 ページの「現象別トラブルシューティング」で障害の徴候を見つけ出します。必要があれば、82 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します (64 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。
 - DSA がエラーを報告する場合は、843 ページの付録 C「DSA 診断テスト結果」の指示に従ってください。
 - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、82 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。

診断ツール

このセクションでは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立つツールについて説明しています。

• Light path 診断

Light path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。

• イベント・ログ

イベント・ログには、サブシステム IMM2.1、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳しくは、60 ページの「イベント・ログ」を参照してください。

• Integrated Management Module 2.1

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わされています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、監視、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) についての詳細は、39 ページの「Integrated Management Module の使用」、231 ページの付録 A「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ」、および <http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346> の「*Integrated Management Module 2.1 ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

• Lenovo Dynamic System Analysis

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

– DSA ポータブル

DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- Drive Health 情報

- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- IMM 構成情報
- IMM 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
- カーネル・モジュール
- Light path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (Integrated Management Module) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、Integrated Management Module (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして Lenovo Support に送信する (Lenovo Support に必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注：最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。DSA の資料とダウンロード情報については、<http://www.ibm.com/systems/management/> を参照してください。

追加情報については、63 ページの「Lenovo Dynamic System Analysis」および843 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

- DSA プレブート

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- Drive Health 情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- IMM2 構成情報
- IMM2 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- LCD システム情報表示パネルのステータス
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (Integrated Management Module) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Broadcom ネットワーク・アダプター
2. Emulex ネットワーク・アダプター
3. FusionIO ストレージ
4. IMM I2C バス
5. LCD システム情報表示パネル
6. Intel GPU
7. LSI コントローラー
8. メモリー・モジュール
9. マイクロプロセッサ
10. Nvidia GPU
11. 光ディスク・デバイス (CD または DVD)
12. SAS または SATA ドライブ

DSA プリブート・プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、64 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。

● 現象別トラブルシューティング

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳しくは、66 ページの「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

パワー・サブライ LED

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- マイクロプロセッサ・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサ
- システム・ボード上に 1 個の 2 GB DIMM
- 1 個のパワー・サブライ
- 電源コード
- 冷却ファン 4 つ
- PCI コネクター 1 に 1 個の PCI ライザー・カード・アセンブリー

AC パワー・サブライ LED

以下の情報を使用して、AC パワー・サブライ LEDを確認します。

パワー・サブライ上の DC LED が点灯するためには、以下の最小構成が必要です。

- パワー・サブライ
- 電源コード

注：パワー・サブライ上の DC LED が点灯するには、サーバーの電源がオンになっている必要があります。

次の図は、AC 電源上のパワー・サブライ LEDの位置を示しています。

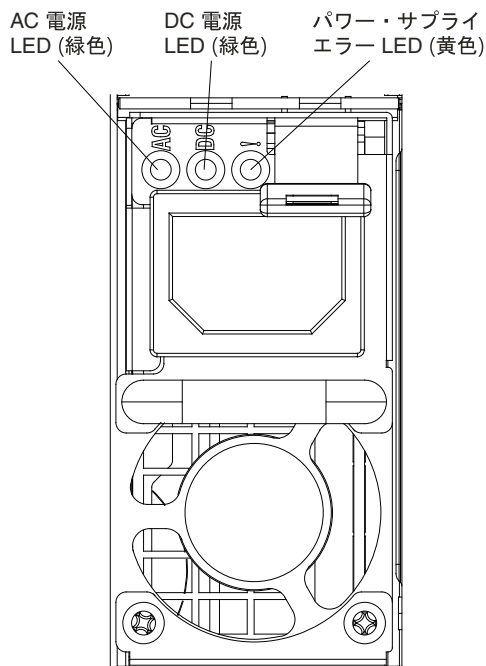


図 15. AC パワー・サプライ LED

次の表は、AC 電源上にあるパワー・サプライ LEDのさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

AC パワー・サプライ LED			説明	操作	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オン	オフ	正常動作。		
オフ	オフ	オフ	サーバーへの AC 電源供給がないか、AC 電源の問題。	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再起動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。 	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	電源機構に障害が発生しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オフ	電源機構に障害が発生しました。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	電源機構に障害が発生しました。	パワー・サプライを交換してください。	

AC パワー・サブライ LED			説明	操作	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オフ	オフ	パワー・サブライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、あるいはパワー・サブライに障害が発生しています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. パワー・サブライを取り付け直します。 2. 75 ページの「電源問題」のアクションに従います。 3. 問題が解決するまで、79 ページの「電源の問題の解決」のアクションに従います。 	一般的には、パワー・サブライが完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	電源機構に障害が発生しました。	パワー・サブライを交換してください。	
オン	オン	オン	電源機構に障害が発生しました。	パワー・サブライを交換してください。	

システム・パルス LED

システム・パルス LED を表示するには、この情報を使用します。

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターします (これらの LED の場所については、25 ページの「システム・ボードの LED およびコントロール」を参照してください)。

表 3. システム・パルス LED

LED	説明	操作
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	<ol style="list-style-type: none"> 1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、操作は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
IMM2 ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	<p>以下のステップは、IMM2 ハートビート順序付けプロセスの各種ステージを説明しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この LED が高速 (約 4Hz) で点滅している場合、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになった後に低速 (約 1Hz) で点滅を開始すると、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーをパワーオンできます。 4. 電源をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、Integrated Management Module (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに表示されるエラー・コードとメッセージ。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は、Setup Utility から表示できます (31 ページの「Setup Utility の開始」を参照)。POST エラー・コードについては、817 ページの付録 B「UEFI (POST) エラー・コード」を参照してください。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、Integrated Management Module (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup Utility および Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup Utility を使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。システム・イベント・ログについては詳しくは、231 ページの付録 A「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ」を参照してください。
 メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。
 一部の IMM センサーでは、それぞれの設定値に達すると、検出イベントがログに記録されます。設定値の条件がなくなると、対応する解消検出イベントがログに記録されます。ただし、すべてのイベントが検出タイプのイベントというわけではありません。
- **Integrated Management Module II (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。詳しくは、42 ページの「Web インターフェースへのログオン」を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。IMM エラー・メッセージについては詳しくは、231 ページの付録 A「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ」を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (61 ページの「サーバーを再起動せずにイベント・ログを表示する」を参照)。DSA および DSA メッセージについては詳しくは、63 ページの「Lenovo Dynamic System Analysis」および 843 ページの付録 C「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

Setup Utility からのイベント・ログの表示 -

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ 3. 「System Event Logs」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。

- POST イベント・ログを表示するには、「POST Event Viewers」を選択します。
- システム・イベント・ログを表示するには、「System Event Log」を選択します。

サーバーを再起動せずにイベント・ログを表示する

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再起動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方式があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント

ト・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再起動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。IPMI の概要については、<http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/> にアクセスして「Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on Lenovo Linux platforms」をクリックします。

IMM イベント・ログは、Integrated Management Module II (IMM2) Web インターフェースの「イベント・ログ」リンクを通して表示できます。詳しくは、42 ページの「Web インターフェースへのログオン」を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態では、サーバーの再起動は通常必要ありません。

表 4. イベント・ログを表示する方法

状態	操作
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	<p>以下の方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーはハング状態ではなく、Integrated Management Module II (IMM2) がネットワークに接続されている。	<p>Web ブラウザーで IMM2 の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。詳しくは、41 ページの「IMM ホスト名の取得」、および 42 ページの「Web インターフェースへのログオン」を参照してください。</p>
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	<ul style="list-style-type: none"> • DSA プリブートがインストールされている場合は、サーバーを再起動し、F2 を押して DSA プリブートを開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、64 ページの「 」を参照)。 • または、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup Utility を始動して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することができます。詳しくは、61 ページの「Setup Utility からのイベント・ログの表示 -」を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

イベント・ログを消去するには、次のステップを実行してください。

注：サーバーが再起動されるたびごとに、POST エラー・ログが自動的に消去されます。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ 3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」 → 「**Clear System Event Log**」を選択してから、「**Enter**」キーを2回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを電源オン・セルフテストまたは POST と呼びます。

注：このサーバーでは、サーバー・ステータスに関するビープ・コードは使用されません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、「**Enter**」キーを押す必要があります。

POST で問題が検出された場合は、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、817 ページの付録 B 「UEFI (POST) エラー・コード」を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、60 ページの「イベント・ログ」を参照してください。

Lenovo Dynamic System Analysis

Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- Drive Health 情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリ情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (Integrated Management Module) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、843 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、82 ページの「未解決問題の解決」を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注： DSA Preboot は、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis* インストールおよびユーザーズ・ガイド」を入手するには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

• DSA ポータブル

DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再起動する必要はありません。このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

サーバーを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

• DSA プレブート

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再起動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。詳しくは、BoMC の「インストールおよびユーザーズ・ガイド」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=TOOL-BOMC>) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行すると障害が発生する可能性があります (デバイスのリセットやネットワーク接続性の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

- Emulex ネットワーク・アダプター
- 光ディスク・デバイス (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー
- マイクロプロセッサ
- チェックポイント・パネル
- I2C バス
- SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再起動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA> に進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

注： DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

ステップ 1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。

ステップ 2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。

ステップ 3. プロンプト「<F2> **Diagnostics**」が表示されたら、F2 を押します。

注： DSA Preboot 診断プログラムは、プログラムを起動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。

ステップ 4. オプションで、スタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了する場合は「**Quit to DSA**」を選択します。

注： スタンドアロン・メモリー診断環境を終了した後、再びスタンドアロン・メモリー診断環境にアクセスするためにはサーバーを再起動する必要があります。

ステップ 5. 「**gui**」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「**cmd**」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。

ステップ 6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出ることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed (パス): テストはエラーなしに完了しました。

Failed (失敗): テストでエラーが検出されました。

Aborted (異常終了): サーバー構成が原因で、テストを進めることができませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は :x と入力して「Execute Tests」メニューを終了する、あるいはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで **copy** コマンドを入力します。

ステップ 1. DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。

ステップ 2. DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、:x と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを Lenovo Support に送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

Lenovo は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に Lenovo Support をコールできるツールを提供しています。これらのツールは、Lenovo Support による問題診断処理の迅速化に役立ちます。

以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

Lenovo Electronic Service Agent

Lenovo Electronic Service Agent は、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリ情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を Lenovo Support に直接報告します。データを手動で収集するよう選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、Lenovo の Web サイトからダウンロードすることができます。

Lenovo Electronic Service Agent の詳細な情報およびダウンロードについては、<http://www-01.ibm.com/support/esa/> にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題が検出されたときに生成される、UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、817 ページの付録 B 「UEFI (POST) エラー・コード」、231 ページの付録 A 「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ」、および 843 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題が検出されたときに生成される、UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、817 ページの付録 B 「UEFI (POST) エラー・コード」、231 ページの付録 A 「Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ」、および 843 ページの付録 C 「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては 63 ページの「Lenovo Dynamic System Analysis」を、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 64 ページ

の「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、51 ページの「ここから開始します」を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプションのデバイスを追加した直後に、サーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、light path 診断 LED をチェックします。
- ステップ 2. 追加したソフトウェアを除去、または追加したデバイスを取り外します。
- ステップ 3. Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、63 ページの「Lenovo Dynamic System Analysis」を参照)。
- ステップ 4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

一般的な問題

一般的な問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> ● 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 ● 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 ● Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	部品が CRU であれば、交換してください。その部品がマイクロプロセッサまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup Utility を開始できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 詳しくは、87 ページの「Nx 回ブート失敗」を参照してください。 2. 詳しくは、84 ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)」を参照してください。

ハードディスク・ドライブの問題

表 5. ハードディスク・ドライブの現象と処置

<ul style="list-style-type: none"> ● 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 ● 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 ● Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
ハードディスク・ドライブ診断テストで認識されないドライブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外し、再度ハードディスク・ドライブ診断テストを実行します。残りのドライブが認識された場合、取り外したドライブを新しいドライブと交換します。
ハードディスク・ドライブ診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハードディスク・ドライブを取り外し、再度診断テストを実行します。ハードディスク・ドライブの診断テストが正常に実行される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。

表 5. ハードディスク・ドライブの現象と処置 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
オペレーティング・システムの起動中にハードディスク・ドライブが検出されない。	すべてのハードディスク・ドライブとケーブルを付け直して、もう一度ハードディスク・ドライブ診断テストを実行してください。
ハードディスク・ドライブがハードディスク・ドライブ診断テストにパスしたが、問題は継続する。	SCSI ハードディスク診断テストを実行します (64 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。 注：このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハードディスク・ドライブを備えるサーバーでは使用できません。

ハイパーバイザーの問題

ハイパーバイザーの問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	<ol style="list-style-type: none"> オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの「<F12> Select Boot Device」で選択されていることを確認します。 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します (201 ページの「USB フラッシュ・ドライブの取り外し」および 202 ページの「USB フラッシュ・ドライブの取り付け」を参照)。 オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	<ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログを検査します (60 ページの「イベント・ログ」を参照)。
サーバーが時々リセット (再起動) される。	<ol style="list-style-type: none"> POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが有効になっている場合 (POST ウォッチドッグ設定を参照するには、Setup Utility で「System Settings」→「Recovery」→「System Recovery」→「POST Watchdog Timer」をクリックします)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (「POST Watchdog Timer」) に十分な時間が使用可能になっていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、817 ページの付録 B「UEFI (POST) エラー・コード」および 63 ページの「Lenovo Dynamic System Analysis」を参照してください。 どちらの条件も当てはまらない場合は、システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックしてください (60 ページの「イベント・ログ」を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo サポート Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 サーバーとモニターの電源がオンになっている。 USB キーボードを使用している場合は、Setup Utility を実行してキーボードなし操作を有効にします。 USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 キーボードを交換します。
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されている。 マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされている。 サーバーとモニターの電源がオンになっている。 マウス・オプションが Setup Utility で有効にされている。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo サポート Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
	<ol style="list-style-type: none"> USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
表示されているシステム・メモリー容量が、取り付けられている物理メモリー容量より少ない。	<p>注： DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> オペレーター情報パネル上のエラー LED がどれも点灯していない。 システム・ボードの DIMM エラー LED が何も点灯していない。 メモリー・ミラーリング・チャンネルが不一致の原因ではない。 メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 メモリーを変更した場合、Setup Utility でメモリー構成を更新した。 すべてのメモリー・バンクが有効になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性がある。 サーバーを最小メモリー構成にしたときに、メモリー・ミスマッチがない。 DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。 以下のようにして、POST エラー・ログをチェックします。 <ul style="list-style-type: none"> DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって無効にされていた場合は、その DIMM を交換します。 DIMM がユーザーまたは POST によって無効にされた場合は、DIMM を取り付け直します。その後、Setup Utility を実行して、DIMM を有効にします。 Setup Utility ですべての DIMM が初期化されていることを確認し、次にメモリー診断を実行します (64 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。 (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再起動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 Setup Utility を使用してすべての DIMM を再度有効にし、サーバーを再起動します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
	<ol style="list-style-type: none"> (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクタ (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクタに関するものでないことを確認します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
1 つのチャンネル内の複数の DIMM で障害の発生が確認された。	<p>注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再起動します。 識別された中から最も大きい番号の DIMM を取り外し、同一で良品と判明している DIMM と取り替えて、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクタに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を、同一で正常と判明している DIMM と交換し、各 DIMM を交換するごとにサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM のテストが完了するまで、ステップ 3 を繰り返します。 確認された DIMM のうち、最も数字の大きいものを交換し、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクタ (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクタに関するものでないことを確認します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサの問題

マイクロプロセッサの問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	<ol style="list-style-type: none"> Light path 診断 LED によって示されているエラーがあればすべて訂正します。 サーバーがすべてのマイクロプロセッサをサポートし、マイクロプロセッサの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサ情報を表示するには、Setup Utility を実行し、「System Information」 → 「System Summary」 → 「Processor Details」と選択します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
	<ol style="list-style-type: none"> (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に1つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 <ol style="list-style-type: none"> (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

モニターおよびビデオの問題を解決するには、この情報を使用してください。

Lenovo モニターの中には、セルフテスト機能を備えているものがあります。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
モニターのテスト。	<ol style="list-style-type: none"> モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
画面に何も表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクタに直接接続してみます。 オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、IMM2 リモート・プレゼンス機能は使用不可になります。IMM2 リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。 サーバーの電源をオンにしたときにサーバーにグラフィック・アダプターが取り付けられている場合、約3分後に Lenovo ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> サーバーの電源がオンになっている。サーバーの電源がオフの場合は、75 ページの「電源問題」を参照してください。 モニター・ケーブルが正しく接続されている。 モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- **Lenovo Support Web** サイト (<http://support.lenovo.com/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	操作
	<ol style="list-style-type: none"> 5. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 6. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。27 ページの「ファームウェアの更新」を参照してください。 7. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 8. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 <ol style="list-style-type: none"> a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 9. 82 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
<p>サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 ● アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (64 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。 <ul style="list-style-type: none"> ● サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。82 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。 ● (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。
<p>モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。そのような場合は、モニターの電源をオフにしてください。 <p>注意： 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。</p> <p>装置とモニターの間を 305 mm 以上離してから、モニターの電源をオンにします。</p> <p>注：</p> <ol style="list-style-type: none"> a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスク・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 b. Lenovo 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測不能な問題が発生することがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再起動します。 <ol style="list-style-type: none"> a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
	<ul style="list-style-type: none"> c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。
画面に誤った文字が表示される。	<ol style="list-style-type: none"> 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (27 ページの「ファームウェアの更新」を参照)。 モニター・ケーブルを取り付け直します。 ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再起動します。 <ul style="list-style-type: none"> a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

ネットワーク接続の問題

ネットワーク接続の問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
Wake on LAN 機能を使用してサーバーを起動できない。	<ol style="list-style-type: none"> デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを使用しており、サーバーがイーサネット 5 コネクタを使用してネットワークに接続されている場合、システム・エラー・ログまたは IMM2 システム・イベント・ログを確認して (60 ページの「イベント・ログ」を参照)、次のことを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> a. Emulex デュアル・ポート 10GBase-T 組み込みアダプターが取り付けられている場合、ファン 3 がスタンバイ・モードで稼働していること。 b. 室温が高すぎないこと (5 ページの「機能および仕様」を参照)。 c. 通風孔がふさがれていないこと。 d. エアー・バッフルがしっかりと取り付けられていること。 デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付け直します。 サーバーの電源をオフにして電源から切り離します。その後、10 秒間待ってからサーバーを再始動します。 問題が解決しない場合は、デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを交換します。
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	<ol style="list-style-type: none"> ライセンス・キーが有効であることを確認します。 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプションのデバイスの問題

オプションのデバイスの問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo サポート Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
新たに取り付けられた Lenovo オプション・デバイスが作動しない。	<ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスがサーバー用に設計されている (http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/ を参照)。 デバイスに付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 取り付けた他の装置やケーブルを外していない。 Setup Utility で構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 取り付けたデバイスを取り付け直します。 取り付けたデバイスを交換します。
前に動作していた Lenovo オプション装置が動作しなくなった。	<ol style="list-style-type: none"> 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 デバイスにテスト手順が付属している場合は、その手順を使用してデバイスをテストします。 障害が起きた装置が SCSI 装置である場合は、以下の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 外付け SCSI 装置のケーブルが、すべて正しく接続されているか。 各 SCSI チェーン内の最後の装置または SCSI ケーブル端が正しく終端されているか。 外付け SCSI 装置の電源がオンになっているか。サーバーの電源をオンにする前に、外付け SCSI 装置の電源をオンにする必要があります。 障害のある装置を取り付け直します。 障害のある装置を交換します。

電源問題

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンも作動しない(サーバーは始動しない)。注：電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約5秒から10秒経過するまで機能しません。	<ol style="list-style-type: none"> 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 <ol style="list-style-type: none"> サーバーの電源コードを切り離します。 電源コードを再接続します。 (トレーニングを受けた技術員のみ)オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none"> (トレーニングを受けた技術員のみ)サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします。サーバーが起動する場合は、オペ

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- Lenovo Support Web サイト (<http://support.lenovo.com/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	操作
	<p>レーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 <ol style="list-style-type: none"> a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 2a および 2b を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none"> ● (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 ● サーバーが起動しない場合は、ステップ 3 に進みます。 3. サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。サーバー内で異なるパワー・サプライを混用すると、システム・エラーの原因となります (前面パネルのシステム・エラー LED がオンになる)。 4. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 ● 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 ● DIMM が完全に差し込まれている。 ● パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 ● マイクロプロセッサが正しい順序で取り付けられている。 5. 以下のコンポーネントを取り付け直します。 <ol style="list-style-type: none"> a. オペレーター情報パネル・コネクタ b. 電源機構 6. ステップ 5 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 7. オプション・デバイスを取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再起動してください。これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 8. 58 ページの「パワー・サプライ LED」を参照してください。 9. 82 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。
サーバーの電源がオフにならない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 拡張構成と電力インターフェース (ACPI) オペレーティング・システムを使用しているか、非 ACPI オペレーティング・システムかを調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> a. Ctrl+Alt+Delete を押します。 b. 電源制御ボタンを 5 秒間押し続けたままにして、サーバーの電源をオフにします。 c. サーバーを再起動します。 d. もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 20 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再起動してください。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
	2. それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性がります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	82 ページの「 」を参照してください。

シリアル・デバイスの問題

シリアル・デバイスの問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	<ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> Setup Utility で各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも無効にされていない。 シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 シリアル・ポート・アダプターを交換します。
シリアル・デバイスが動作しない。	<ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスはサーバーと互換性がある。 シリアル・ポートは有効になっており、固有のアドレスが割り当てられている。 デバイスは適切なコネクタに接続されている (21 ページの「システム・ボードの内部コネクタ」を参照)。 以下のコンポーネントを取り付け直します。 <ol style="list-style-type: none"> 障害を起こしているシリアル装置 シリアル・ケーブル ステップ 77 ページのステップ 2 にリストされたコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

ServerGuide の問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo サポート Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	<ol style="list-style-type: none"> ハードディスク・ドライブが正しく接続されていることを確認します。 SAS/SATA ハードディスク・ドライブのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハードディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない(オプションが選択不可能)。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 Lenovo サポート Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。 	
現象	操作
ソフトウェアが原因と思われる問題	<ol style="list-style-type: none"> その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。メモリー所要量については、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

Universal Serial Bus (USB) ポートの問題を解決するには、この情報を使用します。

<ul style="list-style-type: none">● 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。● 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。● Lenovo Support Web サイト (http://support.lenovo.com/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	操作
USB デバイスが機能しない。	<ol style="list-style-type: none">1. 次の点を確認します。<ul style="list-style-type: none">● 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。● オペレーティング・システムが USB デバイスをサポートしている。2. USB 構成のオプションが Setup Utility で正しく設定されていることを確認します (詳細については、31 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。3. USB ハブを使用している場合は、USB デバイスをハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

ビデオの問題を解決するには、この情報を使用します。

72 ページの「モニターおよびビデオの問題」を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。たとえば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源の問題を診断するために使用する一般的な手順は、次のとおりです。

ステップ 1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。

ステップ 2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (たとえば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。

ステップ 3. オペレーター情報パネル上で点灯している LED を確認します。

ステップ 4. **Light path** 診断パネル上のチェック・ログ LED が点灯している場合は、**IMM** イベント・ログで **Pwr rail** の障害がないかを確認し、以下のステップを実行します。80 ページの表 6「**Pwr Rail** エラーに関連付けられたコンポーネント」は、各 **Pwr rail** に関連付けられているコンポーネントと、それらのコンポーネントのトラブルシューティングを行う順序を示しています。

- a. すべての内部デバイスおよび外部デバイスに接続されているケーブルおよび電源コードを外します (220 ページの「内部ケーブルの配線およびコネクタ」を参照)。パワー・サプライのコードは接続したままにしておいてください。
- b. **Pwr Rail A** エラーの場合、以下のステップを実行します。
 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを交換します。
- c. その他の rail エラーの場合 (**Pwr rail A** エラーについては、ステップを参照)、過電流条件の原因が判明するまで、障害のある **Pwr rail** に関連付けられた各コンポーネントを、80 ページ

ジの表 6「Pwr Rail エラーに関連付けられたコンポーネント」に示されている順序で一度に1つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。

表 6. Pwr Rail エラーに関連付けられたコンポーネント

IMM イベント・ログ内の Pwr Rail エラー	コンポーネント
Pwr Rail A エラー	<ul style="list-style-type: none"> • マイクロプロセッサ 1
Pwr Rail B エラー	<ul style="list-style-type: none"> • マイクロプロセッサ 2
Pwr Rail C エラー	<ul style="list-style-type: none"> • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 1 • DIMM 1 から 6
Pwr Rail D エラー	<ul style="list-style-type: none"> • デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター • ファン 2 • DIMM 7 から 12
Pwr Rail E エラー	<ul style="list-style-type: none"> • ハードディスク・ドライブ • DIMM 13 から 18
Pwr Rail F エラー	<ul style="list-style-type: none"> • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 4 • DIMM 19 から 24
Pwr Rail G エラー	<ul style="list-style-type: none"> • PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • ファン 3 • ハードディスク・ドライブ • ハードディスク・ドライブ・バックプレーン・アセンブリー
Pwr Rail H エラー	<ul style="list-style-type: none"> • ハードディスク・ドライブ電源ケーブル • ハードディスク・ドライブ • ハードディスク・ドライブ・バックプレーン または <ul style="list-style-type: none"> • PCI アダプター電源ケーブル • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に取り付けられているアダプター • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2

d. 識別したコンポーネントを交換します。

ステップ 5. サーバーがサーバーの起動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部デバイスおよび外部デバイスへのケーブルおよび電源コードを切り離します (最小構成については、58 ページの「パワー・サプライ LED」を参照)。

ステップ 6. すべての電源コードを再接続し、サーバーの電源を入れます。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に1つずつ取り付け直します。

サーバーが最小構成でも起動しない場合は、58 ページの「パワー・サプライ LED」を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に1つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。オペレーティング・システムの資料でイーサネット・コントローラーに関する情報を調べ、イーサネット・コントローラーのデバイス・ドライバーの readme ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

ステップ 1. サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。

ステップ 2. イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。

- ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
- イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴリ 5 の配線を使用する必要があります。
- 2つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。

ステップ 3. ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。

ステップ 4. サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。

- イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク・ステータス LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
- イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

ステップ 5. サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

ステップ 6. 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。

ステップ 7. クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できなかった場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用してください。

ソフトウェア問題が障害(連続的または断続的)の原因であると思われる場合は、78 ページの「ソフトウェアの問題」を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損または UEFI ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、23 ページの「システム・ボードのスイッチとジャンパー」を参照してください。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、84 ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)」を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、次のステップを実行してください。

ステップ 1. サーバーの電源を切ります。

ステップ 2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。

ステップ 3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。

- 外付けデバイス
- サージ抑制デバイス (サーバー上)
- プリンター、マウス、および Lenovo 以外のデバイス
- 各アダプター
- ハードディスク・ドライブ
- メモリー・モジュール。必要な最小構成は、スロット 1 に 2 GB DIMM です。

ステップ 4. サーバーの電源をオンにします。

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワークングの問題があると思われる、サーバーがすべてのシステム・テストに合格した場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。

可能であれば、Lenovo に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

モデル名とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載されています。

注：本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

シリアル番号 ラベル

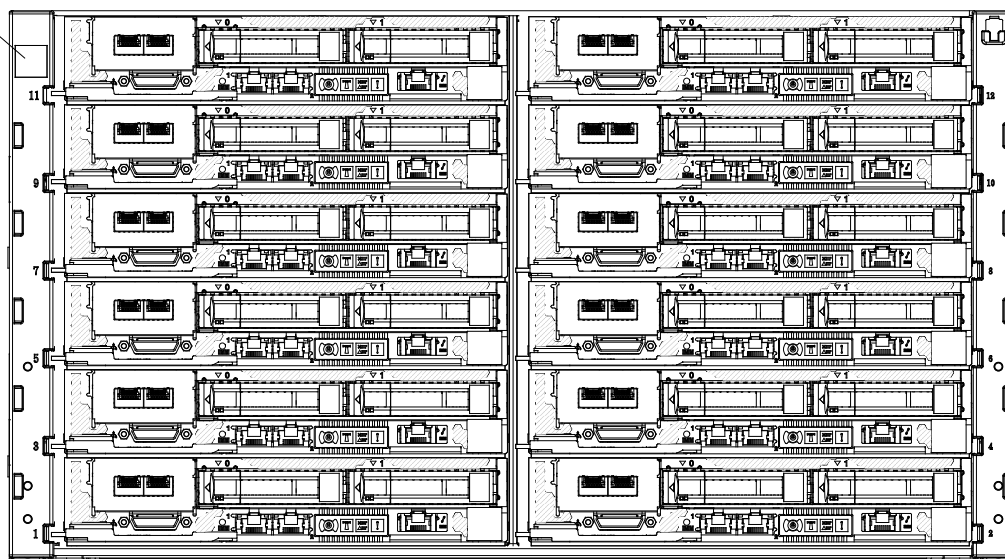


図 16. ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサまたはハードディスク・ドライブのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは診断テストに失敗しますか?
 - 起こったことは何ですか? いつ? どこで?
 - 障害は単一のサーバーで起きましたか、それとも複数のサーバーで起きましたか?
 - その障害は再現可能か。
 - この構成が正常に作動したことがあったか。
 - 構成が失敗する前に何か変更を行いましたか?
 - これは、元々報告されていた障害か。
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線

- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

Lenovo に保守を依頼する方法については、mi ページの「ヘルプおよび技術サポートの入手」を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパーを使用する (自動ブート・リカバリー) か、サーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアを回復します。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注：サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブからサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードする。
- Lenovo サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、<http://support.lenovo.com/> にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を1次バンクに復元するには、この情報を使用します。

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を1次バンクに復元するには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. v ページの「安全について」から始まる『安全について』および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

ステップ 2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。

ステップ 3. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 4. システム・ボード上で UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) を見つけます。

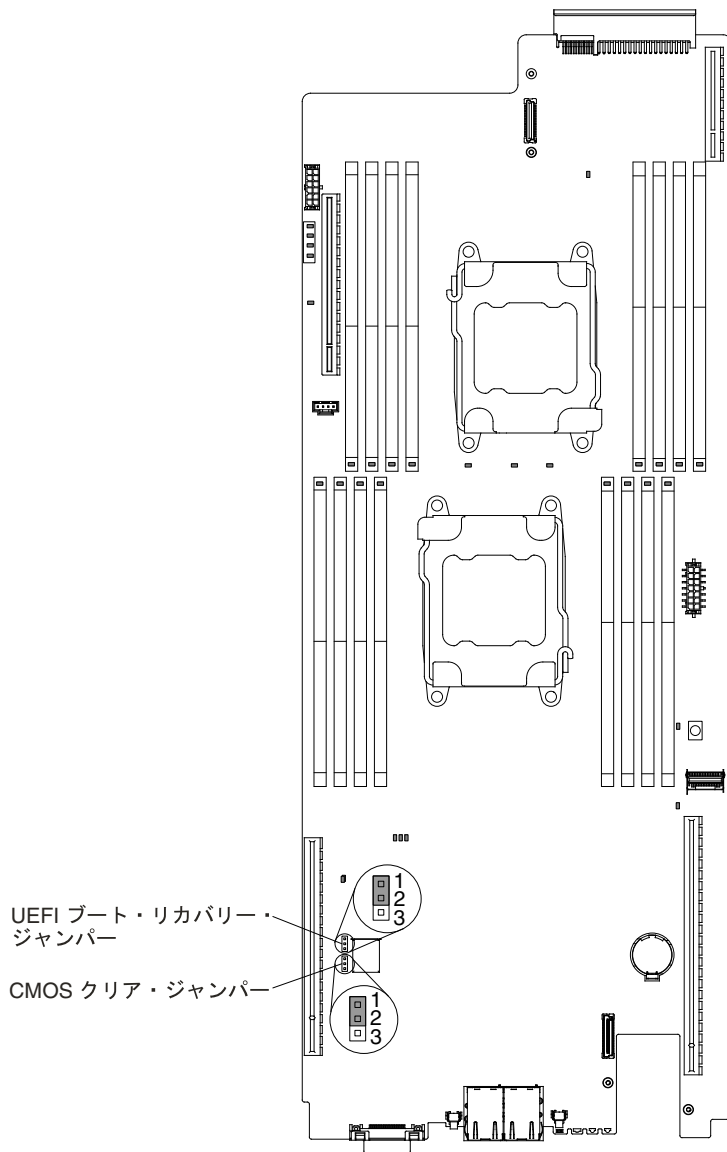


図17. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) のロケーション

- ステップ5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン1と2からピン2と3に移動させ、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
- ステップ6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
- ステップ7. サーバーを再起動します。システムは電源オン・セルフテスト (POST) を開始します。
- ステップ8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージがサポートするオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
- ステップ9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従って、ファームウェア更新を実行します。
- ステップ10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン2と3から基本位置 (ピン1と2) に戻します。

ステップ 12.カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ 13.取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 14.サーバーを再起動します。システムは電源オン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。

ステップ 15.カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 16.システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (155 ページの「システム・バッテリーの取り外し」を参照)。

ステップ 17.システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。

ステップ 18.システム・バッテリーを再取り付けします (156 ページの「システム・バッテリーの交換」を参照)。

ステップ 19.カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ 20.取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 21.サーバーを再起動します。システムは電源オン・セルフテスト (POST) を開始します。

ステップ 22.これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、Lenovo サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

インバンドの自動ブート・リカバリー方式を使用するには、この情報を使用します。

注：オペレーター情報パネル上でシステム・エラー LED が点灯しており、ログ・エントリーがあるか、**Booting Backup Image** がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合は、インバンドの手動リカバリー方式を使用してください。

ステップ 1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージがサポートするオペレーティング・システムにサーバーをブートします。

ステップ 2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従って、ファームウェア更新を実行します。

ステップ 3. サーバーを再起動します。

ステップ 4. 1 次バンクの復元のプロンプトが出されたら、ファームウェア・スプラッシュ画面で F3 キーを押します。サーバーはプライマリー・バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

アウト・オブ・バンド方式を使用するには、この情報を使用します。

<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>にある IMM2 の資料 (「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

サーバーが始動するときに、Integrated Management Module II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。

UEFI ファームウェアを回復する手順については、84 ページの「サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)」を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. サーバーを再起動します。

ステップ 2. 「Press F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (電源オン・セルフテスト) が失敗することがあります。

これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再起動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再起動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup Utility が開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再起動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup Utility で、「**System Settings**」 → 「**Recovery**」 → 「**POST Attempts**」 → 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 4 章 部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード

Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノードの部品リスト。

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、89 ページの「交換可能なサーバー・コンポーネント」で特に指定されている場合を除き、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノードサーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、<http://support.lenovo.com/> にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノードの交換可能なサーバー・コンポーネント。

交換可能なコンポーネントは、構造部品と現場交換可能ユニット (FRU) から構成されます。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、トップ・カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、102 ページの「構成部品」を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様での取替え可能部品 (CRU):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様での取替え可能部品 (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「保証情報」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法については詳しくは、mi ページの「ヘルプおよび技術サポートの入手」を参照してください。

最新のオプション・サポート計画については、Lenovo ServerProven Web サイトを参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。構造部品のリストについては、102 ページの「構成部品」を参照してください。

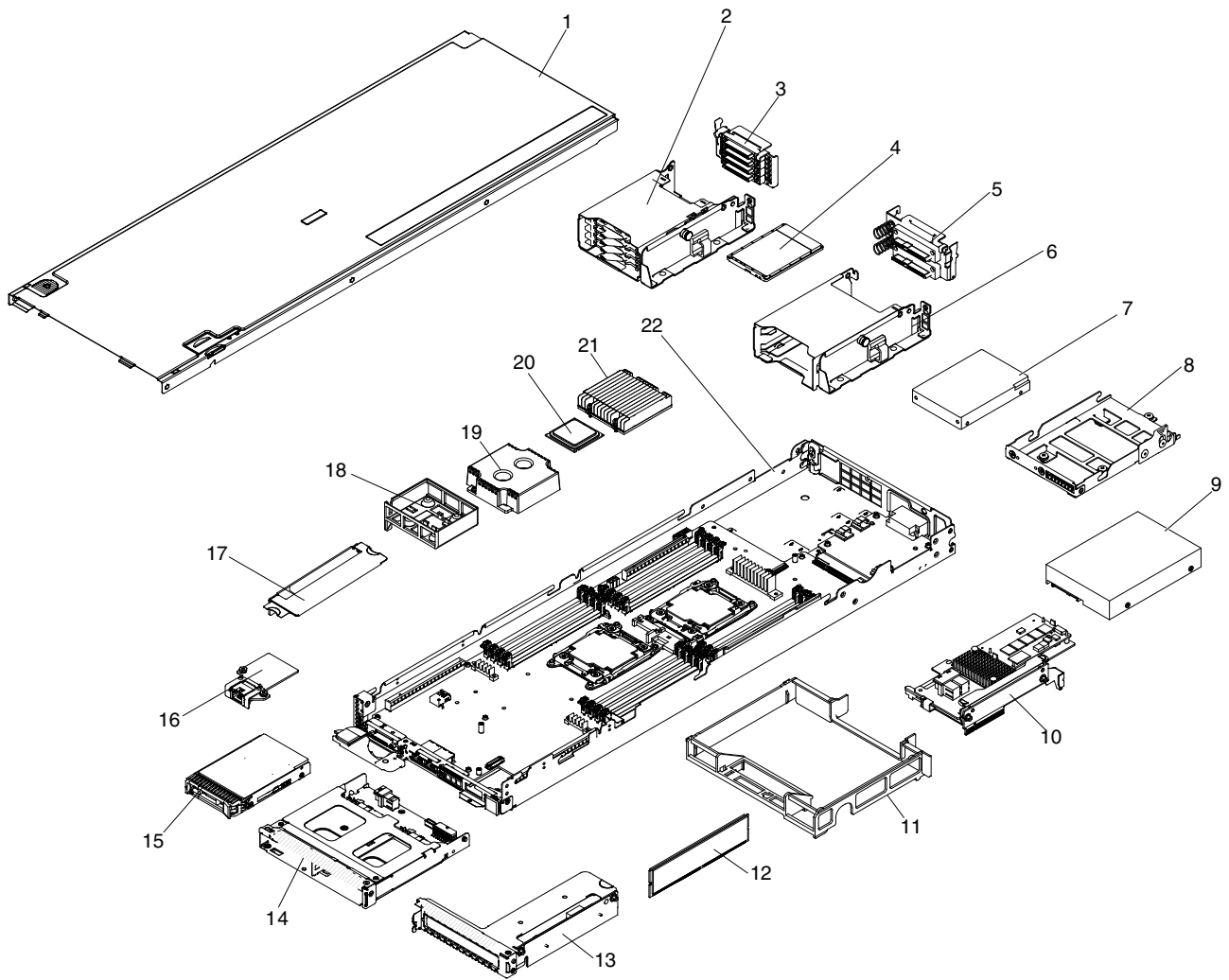


図 18. サーバーのコンポーネント

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

表 7. 部品リスト、タイプ 5465

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
2	1.8 型 SSD ケージ・アセンブリー	00AM451	
2	1.8 型 SSD ケージ・アセンブリー	00KA978	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 MLC エンタープライズ値、SATA、S3500 80 GB	00AJ041	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 MLC エンタープライズ値、SATA、240 GB	00AJ046	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 MLC エンタープライズ値、SATA、400 GB	00AJ051	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 SATA、200 GB	41Y8367	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 SATA、400 GB	41Y8372	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
6	2.5 型背面ドライブ・ケージ・アセンブリー	00KA973	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 250 GB、7.2 K 6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD031	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 500 GB、7.2 K 6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD036	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 1 TB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD041	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 300 GB、15 K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD051	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 300 GB、10 K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD056	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 600 GB、10 K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD061	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 900 GB、10 K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD066	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 600 GB、15 K 6 Gbps SAS	00AJ291	
7	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 1.2 TB、10K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00FN041	
7	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 1.92 TB、SATA 非ホット・スワップ	00YG863	
8	3.5 型 HDD ケージ・アセンブリー	00KA971	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 1 TB、6 Gbps、SATA 非ホット・スワップ	00AD011	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 2 TB、6 Gbps、SATA 非ホット・スワップ	00AD016	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 3 TB、6 Gbps、SATA 非ホット・スワップ	00AD021	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 4 TB、7.2 K 6 Gbps、SATA 非ホット・スワップ	00AD026	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 2 TB、6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN124	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 3 TB、6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN139	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 4 TB、6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN154	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 5 TB、6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN169	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 6 TB、6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN184	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 2 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN194	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 4 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN214	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 6 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN234	
9	ハードディスク・ドライブ、3.5 型 8 TB、6 Gbps 512e ニアライン SATA	00WH132	
9	自己暗号化ドライブ、3.5 型 2 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN244	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
9	自己暗号化ドライブ、3.5 型 4 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN254	
9	自己暗号化ドライブ、3.5 型 6 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN264	
10	ServeRAID M5110 SAS/SATA コントローラー	00AE807	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9027	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9029	
10	ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー	46C9111	
10	ServeRAID M1215 SAS/SATA コントローラー	46C9115	
10	ServeRAID M5200 シリーズ 512 MB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8657	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8661	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 2 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8665	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 4 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8669	
11	エアー・バッフル	00MU743	
12	メモリー、4 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1600 MHz、VLP NVDIMM	00KA733	
12	メモリー、8 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0794	
12	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0798	
12	メモリー、4 GB single-rank 1.2 V、TruDDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0786	
12	メモリー、8 GB single-rank 1.2 V、TruDDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0790	
12	メモリー、32 GB quad-rank 1.2 V、TruDDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0802	
12	メモリー、8 GB single-rank 1.2 V、TruDDR4、2400 MHz、LP RDIMM	46W0823	
12	メモリー、8 GB dual-rank 1.2 V、TruDDR4、2400 MHz、LP RDIMM	46W0827	
12	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、TruDDR4、2400 MHz、LP RDIMM	46W0831	
12	メモリー、32 GB dual-rank 1.2 V、TruDDR4、2400 MHz、LP RDIMM	46W0835	
12	メモリー、32 GB dual-rank 1.2 V、TruDDR4、2133 MHz、LP RDIMM	95Y4810	
12	メモリー、64 GB quad-rank 1.2 V、TruDDR4、2133 MHz、LP LRDIMM	95Y4814	
13	PCI ライザー・ケージ	00KG523	
14	2.5 型前面ホット・スワップ・ドライブ・ケージ	00FK109	
14	2.5 型前面ホット・スワップ・ドライブ・ケージ	00KA961	
14	2.5 型前面ホット・スワップ・ドライブ・ケージ	00YD794	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 600 GB、10 K 6 Gbps SAS	00AJ092	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 300 GB、10 K 6 Gbps SAS	00AJ097	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 600 GB、15 K 6 Gbps SAS	00AJ127	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 1 TB、7.2 K 12 Gbps、ニアライン SAS	00NA492	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 2 TB、7.2 K 12 Gbps、ニアライン SAS	00NA497	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 512e 2 TB、7.2 K 6 Gbps ニアライン SATA	00NA567	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3510 G3 ホット・スワップ 120 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00WG621	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3510 G3 ホット・スワップ 240 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00WG626	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3510 G3 ホット・スワップ 480 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00WG631	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3510 G3 ホット・スワップ 800 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00WG636	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3510 480 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00WG651	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 300 GB、15 K 12 Gbps SAS	00WG661	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 600 GB、15 K 12 Gbps SAS	00WG666	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 300 GB、15 K 12 Gbps SAS	00WG671	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 300 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG686	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 600 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG691	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 900 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG696	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 1.2 TB、10 K 12 Gbps SAS	00WG701	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 1.92 TB、SATA	00YG858	
15	自己暗号化ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 300 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG706	
15	自己暗号化ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 600 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG711	
15	自己暗号化ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 900 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG716	
15	自己暗号化ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 1.2 TB、10 K 12 Gbps SAS	00WG721	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 300 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG726	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 600 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG731	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 900 GB、10 K 12 Gbps SAS	00WG736	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 1.2 TB、10 K 12 Gbps SAS	00WG741	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3510 120 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00WG796	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 500 GB、7.2 K 6 Gbps ニアライン SATA	00AJ137	
15	ハードディスク・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 1 TB、7.2 K 6 Gbps ニアライン SATA	00AJ142	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ 120 GB SATA	00AJ396	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ 240 GB SATA	00AJ401	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ 480 GB SATA	00AJ406	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ 800 GB SATA	00AJ411	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ 120 GB SATA	00FN021	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ 240 GB SATA	00FN026	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ 480 GB SATA	00FN031	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ 800 GB SATA	00FN036	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ S3500 1.6 TB SATA	00FN279	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、S3500 1.6 TB SATA	00FN294	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3710 G3 ホット・スワップ 200 GB エンタープライズ・パフォーマンス SATA	00YC321	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3710 G3 ホット・スワップ 400 GB エンタープライズ・パフォーマンス SATA	00YC326	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3710 G3 ホット・スワップ 800 GB エンタープライズ・パフォーマンス SATA	00YC331	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3710 200 GB エンタープライズ・パフォーマンス SATA	00YC351	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3710 400 GB エンタープライズ・パフォーマンス SATA	00YC356	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 S3710 800 GB エンタープライズ・パフォーマンス SATA	00YC361	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 120 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00YC386	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 240 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00YC391	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 480 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00YC396	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 960 GB エンタープライズ・エントリー SATA	00YC401	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 240 GB エンタープライズ・エ ントリー SATA	00YC431	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 960 GB エンタープライズ・エ ントリー SATA	00YC441	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 400 GB 12 Gbps エンタープライズ・メインストリーム SAS	00YC461	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 800 GB 12 Gbps エンタープライズ・メインストリーム SAS	00YC466	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 G3 ホット・スワップ 1.6 TB 12 Gbps エンタープライズ・メインストリーム SAS	00YC471	
16	IMM 管理インターポーター・アセンブリー	00MW962	
17	ML2 ライザー・ケージ・アセンブリー	00KG518	
18	リモート・バッテリー・ホルダー	00KA963	
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2697 v3 2.6 GHz、35 MB、2133 MHz、145 W (14 コア)		00AE680
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2695 v3 2.3 GHz、35 MB、2133 MHz、120 W (14 コア)		00AE681
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2690 v3 2.6 GHz、30 MB、2133 MHz、135 W (12 コア)		00AE682
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2680 v3 2.5 GHz、25-30 MB、 2133 MHz、120 W (12 コア)		00AE683
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2670 v3 2.3 GHz、30 MB、2133 MHz、120 W (12 コア)		00AE684
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2660 v3 2.6 GHz、25 MB、2133 MHz、105 W (10 コア)		00AE685
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650 v3 2.3 GHz、25 MB、2133 MHz、105 W (10 コア)		00AE686
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650L v3 1.8 GHz、30 MB、 2133 MHz、65 W (12 コア)		00AE687
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2640 v3 2.6 GHz、20 MB、1866 MHz、90 W (8 コア)		00AE688
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2630 v3 2.4 GHz、15-20 MB、 1866 MHz、85 W (8 コア)		00AE689

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2620 v3 2.4 GHz、15 MB、1866 MHz、85 W (6 コア)		00AE690
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2630L v3 1.8 GHz、20-25 MB、1866 MHz、55 W (8 コア)		00AE691
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2609 v3 1.9 GHz、15 MB、1600 MHz、85 W (6 コア)		00AE692
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2603 v3 1.6 GHz、15 MB、1600 MHz、85 W (6 コア)		00AE693
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2667 v3 3.2 GHz、20 MB、2133 MHz、135 W (8 コア)		00AE694
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2643 v3 3.4 GHz、25 MB、2133 MHz、135 W (6 コア)		00AE695
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2637 v3 3.5 GHz、25 MB、2133 MHz、135 W (4 コア)		00AE696
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2603 v3 1.6 GHz、15 MB、1600 MHz、85 W (6 コア)		00KC788
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2699 v3 2.3 GHz、45 MB、2133 MHz、145 W (18 コア)		00KC789
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2698 v3 2.3 GHz、40 MB、2133 MHz、135 W (16 コア)		00KG109
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2683 v3 2.0 GHz、35 MB、2133 MHz、120 W (14 コア)		00KG110
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2685 v3 2.6 GHz、30 MB、2133 MHz、120 W (12 コア)		00KJ036
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2623 v3 3.0 GHz、10 MB、1866 MHz、105 W (4 コア)		00KJ038
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2698 v4 2.2 GHz、50 MB、2400 MHz、135 W (20 コア)		00MW771
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2695 v4 2.1 GHz、45 MB、2400 MHz、120 W (18 コア)		00MW772
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2683 v4 2.1 GHz、40 MB、2400 MHz、120 W (16 コア)		00MW774
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2667 v4 3.4 GHz、25 MB、2400 MHz、135 W (8 コア)		00MW776
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650L v4、1.7 GHz、35 MB、2400 MHz、65 W (14 コア)		00MW777
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2643 v4 3.5 GHz、20 MB、2400 MHz、135 W (6 コア)		00MW778
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2637 v4 3.4 GHz、15 MB、2400 MHz、135 W (4 コア)		00MW779
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2630L v4、1.8 GHz、25 MB、2133 MHz、55 W (10 コア)		00MW780

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2623 v4 2.6 GHz、10 MB、2133 MHz、85 W (4 コア)		00MW781
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2609 v4 1.7 GHz、20 MB、1866 MHz、85 W (8 コア)		00MW782
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2603 v4 1.7 GHz、15 MB、1866 MHz、85 W (6 コア)		00MW783
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2699 v4 2.2 GHz、55 MB、2400 MHz、145 W (22 コア)		00YD967
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2697 v4 2.3 GHz、45 MB、2400 MHz、145 W (18 コア)		00YD968
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2690 v4 2.6 GHz、35 MB、2400 MHz、135 W (14 コア)		00YD969
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2680 v4 2.4 GHz、35 MB、2400 MHz、120 W (14 コア)		00YD970
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2660 v4 2.0 GHz、35 MB、2400 MHz、105 W (14 コア)		00YD971
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650 v4 2.2 GHz、30 MB、2400 MHz、105 W (12 コア)		00YD972
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2640 v4 2.4 GHz、25 MB、2133 MHz、90 W (10 コア)		00YD973
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2630 v4 2.2 GHz、20 MB、2133 MHz、85 W (10 コア)		00YD974
20	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2620 v4 2.1 GHz、20 MB、2133 MHz、85 W (8 コア)		00YD975
21	ヒートシンク、前部		00KA920
21	ヒートシンク、後部		00KA921
22	ノード・プレーナー・トレイ (nx360 M4 でのみサポート)		00MU753
22	ノード・プレーナー・トレイ		00MU798
22	スナーフ・プレーナー		00YE757
	3.5 型 HDD ハードウェア RAID ケージ (SAS 6G、第 8 HDD 用)	00KA972	
	3.5 型 HDD ハードウェア RAID ケージ (SAS 12G、第 8 HDD 用)	00MU544	
	エアー・バッフル・ハードディスク・ドライブ・ケージ・アセンブリ	46W2801	
	バックプレーン、Persian HDD	00KG126	
	バックプレーン、Whitesnake	00KH403	
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	ブラケット、Mellanox ConnectX-3 10 GbE アダプター用 3U	00D9692	
	Broadcom NetXtreme 2x10GbE BaseT アダプター	00E2714	
	Broadcom NetXtreme I クワッド・ポート GbE アダプター	90Y9355	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
	Brocade 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297	
	Brocade 8Gb FC シングル・ポート HBA	46M6061	
	Brocade 8Gb FC デュアル・ポート HBA	46M6062	
	Brocade 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1671	
	Brocade 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	
	デュアル・ポート・アダプター	94Y5166	
	クアッド・ポート・アダプター	94Y5167	
	Broadcom NetXtreme デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	94Y5182	
	Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	94Y5231	
	Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	94Y5233	
	ケーブル、構成	00AM460	
	ケーブル、GPU 電源	00YD781	
	ケーブル、1x2、2.5 型 12G HDD、短、ハードウェア RAID (stack-up)	00KA975	
	ケーブル、1x2、2.5 型 12G HDD、短、ハードウェア RAID (stack-up) ポート 1	00KA976	
	ケーブル、2.5 型 HDD 2x 直角 (RAID なし)	00KA977	
	ケーブル、1.8 型背面 SSD サーバー・ノード 4 SSD - プレーナー間 (RAID なし)	00KA979	
	ケーブル、4x SDD ハードウェア、長	00KA980	
	ケーブル、1.8 型 12G SSD、短、垂直、ハードウェア RAID	00KA981	
	ケーブル、外部 mini SAS 1m (SFF-8088 から SFF-8088) 6Gbps	00YE299	
	ケーブル、外部 mini SAS 2m (SFF-8088 から SFF-8088) 6Gbps	00YE300	
	ケーブル、外部 mini SAS 4m (SFF-8088 から SFF-8088) 6Gbps	00YE301	
	ケーブル、外部 mini SAS 6m (SFF-8088 から SFF-8088) 6Gbps	00YE302	
	ケーブル、外部 mini SAS 0.5m (SFF-8644 から SFF-8088) 6Gbps	00YE303	
	ケーブル、外部 mini SAS 1m (SFF-8644 から SFF-8088) 6Gbps	00YE304	
	ケーブル、外部 mini SAS 2m (SFF-8644 から SFF-8088) 6Gbps	00YE305	
	ケーブル、外部 mini SAS 4m (SFF-8644 から SFF-8088) 6Gbps	00YE306	
	ケーブル、外部 mini SAS 6m (SFF-8644 から SFF-8088) 6Gbps	00YE307	
	ケーブル、ハードディスク・ドライブ・バックプレーン電源 (1 対 1)	00FK110	
	ケーブル、ハードディスク・ドライブ・バックプレーン電源 (Y ケーブル)	00MU547	
	ケーブル、ハードディスク・ドライブ・バックプレーン	00YD780	
	ケーブル、PCIe ブリッジ	00YD784	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ケーブル、背面 SSD、1.8 型 4 SSD - プレーナー間	00AM452	
	ケーブル、背面 SSD、1.8 型 4 計算ノード 4 SSD - ServeRAID コントローラー間	00AM453	
	ケーブル、900 mm SAS HD	00KF713	
	ケーブル、12G SFF ハードウェア、長	00KA974	
	ケーブル、K80 電源	00YD786	
	ケーブル、0.75 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF026	
	ケーブル、1 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF027	
	ケーブル、1.25 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF028	
	ケーブル、1.5 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF029	
	ケーブル、3 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF030	
	ケーブル、ハイブリッド 3 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF037	
	ケーブル、3 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP569	
	ケーブル、5 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP570	
	ケーブル、10 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP571	
	ケーブル、15 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP572	
	ケーブル、20 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP573	
	ケーブル、30 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP574	
	ケーブル、ServeRAID M5200 シリーズ・フラッシュ電源モジュール、925 mm	46C9793	
	ケーブル・カバー・アセンブリー	00AM459	
	ケーブル・カバー・アセンブリー	00MU546	
	ケーブルの仕切り	00KA959	
	カム・ハンドル	00KA957	
	計算ノード・ラベル GBM	00KA982	
	DIMM フィラー	00KG569	
	Emulex VFA5.2 2x10GbE SFP+ PCIe アダプターおよび FCoE/iSCSi SW	00AG583	
	Emulex VFA5.2 ML2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	00AG563	
	Emulex VFA5.2 2x10 GbE SFP+ PCIe アダプター	00AG573	
	Emulex VFA5 ML2 デュアル・ポート 10 GbE SFP+ アダプター	94Y5195	
	Emulex VFA IIIr デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	00D8543	
	Emulex FC シングル・ポート 8 Gb HBA	00JY847	
	Emulex FC シングル・ポート 16 Gb HBA	00D8546	
	Emulex FC デュアル・ポート 8 Gb HBA	00JY848	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	Emulex FC デュアル・ポート 16 Gb HBA	00JY849	
	Emulex VFA5 ML2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C8153	
	E-net デュアル・ポート 10 アダプター	49Y7912	
	E-net NetX II 1K デュアル・ポート・アダプター	49Y7947	
	フラッシュ・アダプター、io3 1.25 TB エンタープライズ・メインストリーム	00YA801	
	フラッシュ・アダプター、io3 1.6 TB エンタープライズ・メインストリーム	00YA804	
	フラッシュ・アダプター、io3 3.2 TB エンタープライズ・メインストリーム	00YA807	
	フラッシュ・アダプター、io3 6.4 TB エンタープライズ・メインストリーム	00YA810	
	フラッシュ・アダプター、P3700 1.6 TB エンタープライズ・パフォーマンス NVMe	00YA813	
	フラッシュ・アダプター、P3700 2 TB エンタープライズ・パフォーマンス NVMe	00YA816	
	前面電源およびコントロール	00YD783	
	Mellanox ConnectX-3 40 GbE/ FDR IB VPI アダプター	00D9552	
	Mellanox QSFP - SFP+ アダプター間	00D9678	
	Mellanox ConnectX-3 Pro ML2 2x40 GbE/FDR VPI アダプター	00FP652	
	GPU トレイ	00KA793	
	GPU トレイ	00MU761	
	ハードディスク・ドライブ・ケージ、第 8	00AM461	
	ハードディスク・ドライブ・フィラー、3.5 型 (1U 内部ストレージ・トレイ用)	00AM462	
	ハードディスク・ドライブ・フィラー・アセンブリー、Gen 3	00FW856	
	USB メモリー・キー 4G	00WH143	
	USB メモリー・キー	42D0545	
	Intel I350-F1 1xGbE ファイバー・アダプター	00AG502	
	Intel I350-T2 2xGbE BaseT アダプター	00AG512	
	Intel X540 ML2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	00JY912	
	Intel PRO/1000 PF サーバー・アダプター	42C1752	
	Intel x520 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	49Y7962	
	Intel x540-T2 10G デュアル・ポート BaseT アダプター	49Y7972	
	インターポーザー・カード・フィラー	00KA967	
	ラベル、GPU システム・サービス	00KG622	

表 7. 部品リスト、タイプ 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	マイクロプロセッサ・ブランク・フィラー	00KA968	
	マイクロプロセッサ・ホット・スワップ・キー	00KA960	
	各種キット	00KA984	
	各種キット、ストレージ・トレイ	00AM463	
	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
	nVidia Tesla K10 PCI express x16	90Y2338	
	nVidia Grid K1	90Y2355	
	nVidia Grid K2	90Y2359	
	nVidia Tesla K40	90Y2412	
	nVidia Tesla K80	90Y2424	
	PCI ブラケット・キット	00KA969	
	PCI-E ダミー・フィラー	00KA966	
	PDU、DPI ユニバーサル 7 C13	39Y8914	
	QLogic 16Gb FC シングル・ポート HBA	00Y3340	
	QLogic 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y3344	
	QLogic 8Gb FC シングル・ポート HBA	00Y5628	
	QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y5629	
	QLogic 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1816	
	Qlogic 8200 デュアル・ポート 10GbE SFP+ VFA	90Y4605	
	冗長 SD カード RAID アダプター	00YK624	
	ライザー、前部	00YD782	
	ライザー、RAID	00KG132	
	後部ライザー電源	00YD785	
	SD フラッシュ・メモリー・カード、32 GB	00ML701	
	Solarflare SFN5162F 2x10GbE SFP+ SFP+ Performant アダプター	47C9955	
	Solarflare SFN7122F 2x10GbE SFP+ Flareon ultra アダプター	47C9980	
	ストレージ・ネイティブ拡張トレイ、12G	00MU633	
	ストレージ・トレイ、12G 内部	00MW470	
	2U PCIe およびストレージ・ネイティブ拡張トレイ	00MW476	
	スーパーキャップ・パック	47C8696	
	T8 トルクス・ドライバー (シャーシ背面で提供)	00FK488	
	熱伝導グリース・キット		41Y9292
	アルコール・ワイプ		59P4739

構成部品

構成部品は、Lenovo の「保証の内容と制限」の対象外です。構成部品は Lenovo 小売店で注文できます。

以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 8. 構成部品、タイプ 5465

索引	説明	部品番号
1	トップ・カバー	00AM442
	ML2 フィラー・ブラケット	00KA962
	ベゼル	00MU752
	nx360 M5 ネーム・ベゼル	00YD799
	Lenovo ロゴ・ベゼル	00MU782
	シリアル・ラベル・プレート	00KA970

構成部品は、以下の手順で注文してください。

注：Lenovo Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. <http://www.lenovo.com>に進みます。
2. 「製品」メニューから、「アップグレード、アクセサリ、および部品」を選択します。
3. 「保守部品の入手」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの Lenovo 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される Lenovo 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国における) 用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、タンデム・ブレード型、15 アンペア 250 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの部品番号	使用される国または地域
39M5206	中国
39M5102	オーストラリア、フィジー、キリバス、ナウル、ニュージーランド、パプアニューギニア
39M5123	アフガニスタン、アルバニア、アルジェリア、アンドラ、アンゴラ、アルメニア、オーストリア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ベルギー、ベニン、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、ブルガリア、ブルキナ・ファソ、ブルンジ、カンボジア、カメルーン、カーボベルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、コートジボアール、クロアチア共和国、チェコ共和国、ダオメー、ジブチ、エジプト、赤道ギニア、エリトリア、エストニア、エチオピア、フィンランド、フランス、仏領ギアナ、仏領ポリネシア、ドイツ、ギリシャ、グアドループ島、ギニア、ギニアビサウ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、イラン、カザフスタン、キルギスタン、ラオス、ラトビア、レバノン、リトアニア、ルクセンブルグ、マケドニア (旧ユーゴスラビア共和国)、マダガスカル、マリ、マルチニーク島、モーリタニア、モーリシャス、マヨット島、モルドバ共和国、モナコ、モンゴル、モロッコ、モザンビーク、オランダ、ニューカレドニア、ニジェール、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、レユニオン島、ルーマニア、ロシア連邦、ルワンダ、サントメプリンシペ、サウジアラビア、セネガル、セルビア、スロバキア、スロベニア共和国、ソマリア、スペイン、スリナム、スウェーデン、シリアアラブ共和国、タジキスタン、タヒチ、トーゴ、チュニジア、トルコ、トルクメニスタン、ウクライナ、上ボルタ、ウズベキスタン、バヌアツ、ベトナム、ウォリス・フテュナ、ユーゴスラビア、ザイール
39M5130 39M5179	デンマーク
39M5144	バングラデシュ、レソト、マカオ、モルジブ、ナミビア、ネパール、パキスタン、西サモア、南アフリカ、スリランカ、スワジランド、ウガンダ
39M5151	アブダビ、バーレーン、ボツワナ、ブルネイ・ダルサラーム、チャンネル諸島、中国 (香港)、キプロス、ドミニカ、ガンビア、ガーナ、グレナダ、イラク、アイルランド、ヨルダン、ケニヤ、クウェート、リベリア、マラウイ、マレーシア、マルタ、ミャンマー (ビルマ)、ナイジェリア、オマーン、ポリネシア、カタール、セントクリストファー・ネイビス、サンタルチア、セントビンセント・グレナディーン、セイシェル、シエラ・レオネ、シンガポール、スーダン、タンザニア (共和国)、トリニダード・トバゴ、UAE (ドバイ)、英国、イエメン、ザンビア、ジンバブエ
39M5158	リヒテンシュタイン、スイス
39M5165	チリ、イタリア、社会主義人民リビア・アラブ国
39M5172	イスラエル
39M5095	220 - 240 V アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バーミューダ、ボリビア、カイクス諸島、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアム島、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ミクロネシア (連邦)、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、タイ、台湾、アメリカ合衆国、ベネズエラ
39M5081	110 - 120 V アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バーミューダ、ボリビア、カイクス諸島、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアム島、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ミクロネシア (連邦)、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、タイ、台湾、アメリカ合衆国、ベネズエラ

電源コードの部品番号	使用される国または地域
39M5076 39M5512	米国
39M5463	台湾
39M5087	タイ
39M5219	北朝鮮、韓国
39M5199	日本
39M5068	アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ
39M5226	インド
39M5240 39M5241	ブラジル
39M5375 39M5378 39M5509	カナダ、ドイツ、米国

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

交換可能なコンポーネントには、次のタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、トップ・カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様での取替え可能部品 (CRU):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様での取替え可能部品 (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、89 ページの第 4 章「部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード」を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法については、mi ページの「ヘルプおよび技術サポートの入手」を参照してください。

取り付けツール

LenovoNeXtScale nx360 M5 計算ノード で部品の取り外しまたは交換を行うには、以下のツールが必要です。

- プラス・ドライバー
- T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
- マイナス・ドライバー

オプションのデバイスの取り付け

一部の計算ノード・コンポーネントは、オプション装置としても交換可能コンポーネントとしても使用可能です。取り付け手順は、オプションのデバイスでも交換可能コンポーネントでも同じです。

取り付け作業上の注意事項

取り付けについて、以下の情報を使用します。

注意: 計算ノードの電源が入っているときに、計算ノード内のコンポーネントへ静電気が放出されると、システムが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題が起きないように、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプションのデバイスを取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- v ページの「安全について」および 107 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」に記載されている安全上の注意をお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。

- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。計算ノードでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/>を参照してください。
- 新規の計算ノードを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、計算ノードが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。計算ノードのファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/>に進みます。

重要：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、System x および BladeCenter の ToolsCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/>) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、計算ノードが正しく作動していることを確認してください。計算ノードを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みの場合はそのオペレーティング・システムが始動することを確認します。または、19990305 エラー・コードが表示されていることを確認します。このエラー・コードは、オペレーティング・システムが検出されていないが、計算ノードが正しく作動していることを示します。計算ノードが正常に作動しない場合は、64 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分1人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
 - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 - ゆっくりと力を入れて持ち上げます。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
 - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- 計算ノード、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分であることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する場合は重要なデータをすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) を用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、計算ノードを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、計算ノードの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もって計算ノードの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もって計算ノードから電源を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青色の表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントを計算ノードから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉したりするときなどに、このタッチ・ポイントをつかみます。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上やその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、計算ノードとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、計算ノードの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。(オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。)特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。

- 計算ノードに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- 各ドライブ・ベイに、ドライブまたはフィルター・パネルと電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはフィルターが取り付けられている。
- 計算ノードに冗長電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- 計算ノード冷却システムが正しく機能するように、計算ノードの回りに十分なスペースを確保してあること。約 50 mm の空きスペースを計算ノードの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、計算ノード・カバーを元通りに取り付けてから計算ノードの電源をオンにしてください。計算ノードのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) 計算ノードを操作すると、計算ノードのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害の起きたファンは 48 時間以内に取り替えること。
- ホット・スワップ・ファンを、取り外してから 30 秒以内に交換している。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に元どおりに取り付けること。
- 障害のあるホット・スワップ・パワー・サプライは、取り外してから 2 分以内に取り替えること。
- エアー・バッフルを取り付けずに計算ノードを作動させないこと。エアー・バッフルを取り付けずに計算ノードを動作させると、マイクロプロセッサがオーバーヒートする原因となる場合があります。
- マイクロプロセッサのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサとヒートシンクが常にある。
- 2 つ目のマイクロプロセッサ・オプションを取り付けた場合、4 つ目および 6 つ目のファンが取り付け済みであること。

静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い

静電気の影響を受けやすいデバイスを取り扱うには、この情報を使用します。

注意：静電気によって計算ノードやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気の影響を受けやすいデバイスは、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。たとえば、静電気放電用リスト・ストラップがある場合は、これを利用してください。電源をオンにした計算ノードの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- デバイスは、端またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 他の人が手で触ったり、デバイスに損傷を与える可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、計算ノードの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。

- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かず直接計算ノードに取り付けてください。デバイスを下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに入れます。部品を計算ノードのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるためです。

デバイスまたはコンポーネントの返却

デバイスまたはコンポーネントの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

計算ノード構成の更新

計算ノード構成を更新するには、この情報を使用します。

内部デバイスの追加または取り外しを行った後に初めて計算ノードを始動する場合、構成が変更されたことを示すメッセージが表示される場合があります。このとき新しい構成設定値を保存できるように Setup Utility が自動的に開始します。Setup Utility については、31 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。

一部のデバイスには、デバイス・ドライバーのインストールが必要です。必要なデバイス・ドライバーのインストールについては、デバイスに付属の資料を参照してください。

計算ノードは、取り付けられているマイクロプロセッサの数に関わらず、対称マルチプロセッシング (SMP) 計算ノードとして作動します。最適のパフォーマンスを発揮するためには、SMP をサポートするオペレーティング・システムにアップグレードする必要があります。詳しくは、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

シャーシからの計算ノードの取り外し

NeXtScale nx360 M5 計算ノードから計算ノードを取り外すには、この情報を使用します。

計算ノードを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. 計算ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押して計算ノードの電源をオフにします (詳細については、20 ページの「計算ノードの電源オフ」を参照)。

計算ノードをシャーシから取り外すには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. 図に示されているように、前面ハンドルを開きます。計算ノードが、ノード・ベイから約 0.6 cm 外に出ます。

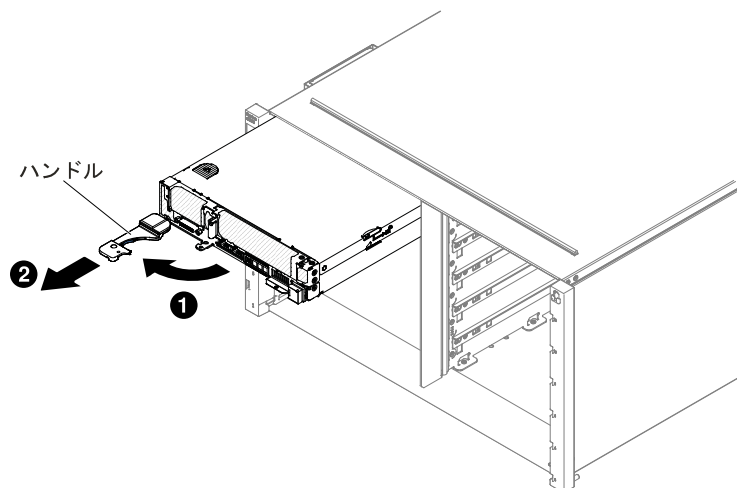


図 19. シャーシからの NeXtScale nx360 M5 計算ノードの取り外し

注意：

- 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイに計算ノードまたはノード・ベイ・フィルターのいずれも取り付けずに NeXtScale n1200 Enclosure を稼働させないでください。
- 計算ノードを取り外す場合は、ノード・ベイ番号をメモしてください。計算ノードを取り外したときとは別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。一部の構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。計算ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、計算ノードの再構成が必要になる場合があります。

ステップ 2. 計算ノードをノード・ベイから引き出します。

ステップ 3. 1 分以内にノード・ベイにノード・ベイ・フィルターまたは別の計算ノードのいずれかを取り付けてください。

計算ノードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シャーシへの計算ノードの取り付け

NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードを取り付けるには、この情報を使用します。

計算ノードをシャーシに取り付ける前に、v ページの「安全について」および 105 ページの「」をお読みください。

安全 21



警告：

電源に計算ノードを接続すると危険な電力が印加されます。計算ノードを取り付ける前には、必ず計算ノード・カバーを交換してください。

内蔵イーサネット・コントローラーのない計算ノード・モデルを取り付けている場合、計算ノードをシャーシに取り付ける前に、管理ネットワーク通信用にネットワーク・インターフェース・アダプターを取り付ける必要があります。計算ノードでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/>を参照してください。

計算ノードをシャーシに取り付けるには、以下のステップを実行してください。

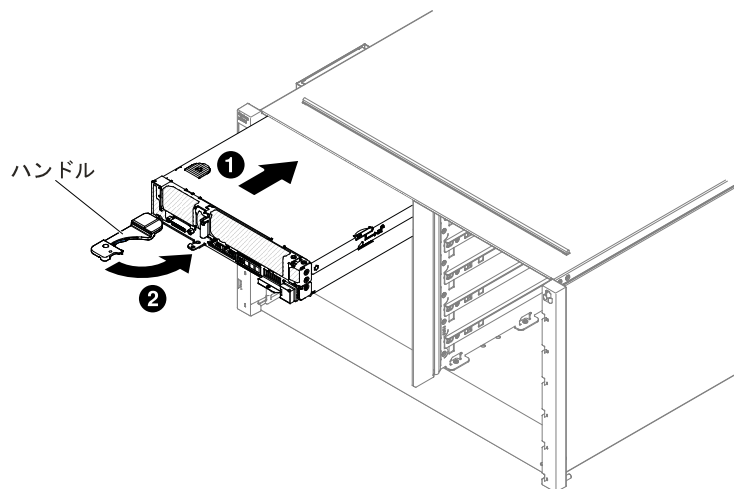


図 20. NeXtScale n1200 Enclosureへの計算ノードの取り付け

ステップ 1. ノード・ベイを選択します。

注：

1. 取り外した計算ノードを再取り付けする場合は、取り外したときと同じノード・ベイに取り付ける必要があります。一部の計算ノードの構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。計算ノードを別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。計算ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、計算ノードの再構成が必要になる場合があります。
2. 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイに計算ノードまたはノード・ベイ・フィラーのいずれも取り付けずに NeXtScale n1200 Enclosureを稼働させないでください。

ステップ 2. 計算ノードの前面ハンドルがオープン位置にあることを確認します。

ステップ 3. 計算ノードを、止まるまでノード・ベイに押し込みます。

ステップ 4. 計算ノード前面にある前面ハンドルを閉じた位置まで押しします。

注： 計算ノードを取り付けると、計算ノード内の IMM2 が初期化および Chassis Management Module との同期を行います。このプロセスは約 90 秒かかります。電源 LED が高速で点滅し、計算ノード上の電源ボタンは、このプロセスが完了するまで応答しません。

ステップ 5. 計算ノードの電源をオンにします (手順については 20 ページの「計算ノードの電源オン」を参照)。

ステップ 6. 計算ノードのコントロール・パネル上の電源 LED が継続的に点灯していることを確認します。これは、計算ノードに電力が供給され、電源がオンになっていることを示します。

ステップ 7. 他に取り付ける計算ノードがある場合は、ここで取り付けます。

ステップ 8. 計算ノードの前面からアクセスできるラベル・タブに、識別情報を記載することができます。

計算ノードを初めてシャーシに取り付ける場合は、Setup Utility を使用して計算ノードを構成し、計算ノードのオペレーティング・システムをインストールする必要があります (108 ページの「計算ノード構成の更新」を参照)。

計算ノードの構成を変更した場合、あるいは取り外した計算ノードとは別の計算ノードを取り付ける場合は、Setup Utility を使用して計算ノードを構成する必要があります。また、計算ノードのオペレーティング・システムをインストールする必要がある場合があります (31 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。

計算ノードからのストレージ・トレイの取り外し

ストレージ・トレイを NeXtScale nx360 M5 計算ノードから取り外すには、この情報を使用します。

ストレージ・トレイを計算ノードから取り外すには、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. 計算ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押して計算ノードの電源をオフにします (詳細については、20 ページの「計算ノードの電源オフ」を参照)。

ストレージ・トレイを計算ノードから取り外すには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. イージー・スワップ・ハードディスク・ドライブ #6 を取り外します (169 ページの「3.5 型ハードディスク・ドライブの取り外し」を参照)。
- ステップ 3. 構成ケーブル、ハードウェア RAID (信号) ケーブル、および mini-SAS ケーブルをストレージ・トレイから切り離します。
- ステップ 4. リリース・ラッチを押し、ストレージ・トレイを計算ノードの後部に向けてスライドさせます。

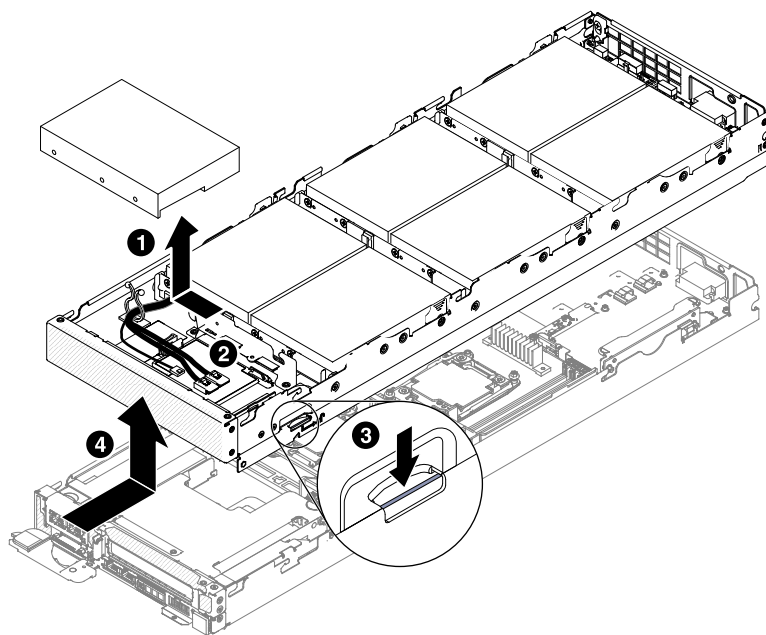


図 21. ストレージ・トレイの取り外し

ステップ 5. ストレージ・トレイを計算ノードから引き出します。

ストレージ・トレイの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

ストレージ・トレイの計算ノードへの取り付け

ストレージ・トレイをNeXtScale nx360 M5 計算ノードに取り付けるには、この情報を使用します。

計算ノードをシャーシに取り付ける前に、v ページの「安全について」および105 ページの「」をお読みください。

ストレージ・トレイを計算ノードに取り付けるには、以下のステップを実行してください。ハードディスク・ドライブがフル装着されていない場合は、以下の表を参照して、ハードディスク・ドライブ・フィルターを取り付ける必要があります。

表 9. ストレージ・トレイ用のハードディスク・ドライブ構成

凡例: HDD⇒ハードディスク・ドライブ									
	HDD の数量	7	6	5	4	3	2	1	0
内部ストレージ・ノード	ドライブ・ベイ 0	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィルター
	ドライブ・ベイ 1	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィルター	フィルター
	ドライブ・ベイ 2	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィルター	フィルター	フィルター
	ドライブ・ベイ 3	HDD	HDD	HDD	HDD	フィルター	フィルター	フィルター	フィルター
	ドライブ・ベイ 4	HDD	HDD	HDD	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク
	ドライブ・ベイ 5	HDD	HDD	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク
	ドライブ・ベイ 6	HDD	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク

ハードディスク・ドライブに障害がある場合は、新しいハードディスク・ドライブまたはフィルターを取り付けるまで、その障害のあるハードディスク・ドライブをストレージ・トレイ内に入れておくことをお勧めします。

- ステップ 1. ストレージ・トレイのリリース・ラッチを右側にして、帯電防止されている平らな面にストレージ・トレイを注意して置きます。
- ステップ 2. ストレージ・トレイ内側の円柱が計算ノードのスロットに差し込まれるように、ストレージ・トレイの向きを合わせます。

注： ストレージ・トレイを取り付ける前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、計算ノード内部に工具や部品を置き忘れていることを確認してください。

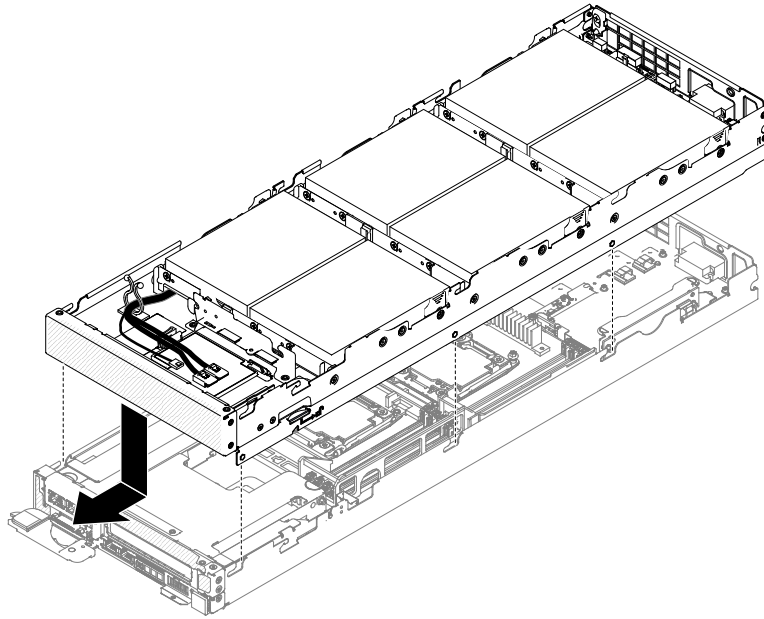


図22. ストレージ・トレイの取り付け

- ステップ3. 計算ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでストレージ・トレイを前方にスライドさせて閉じます。
- ステップ4. 構成ケーブル、ハードウェア RAID (信号) ケーブル、および mini-SAS ケーブルをストレージ・トレイに接続します。
- ステップ5. イージー・スワップ・ハードディスク・ドライブ #6 を取り付けます (169 ページの「3.5 型ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照)。
- ステップ6. カバーを取り付け直します (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

計算ノードからのGPUトレイの取り外し

GPUトレイをNeXtScale nx360 M5 計算ノードから取り外すには、この情報を使用します。

GPUトレイを計算ノードから取り外すには、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. 計算ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押して計算ノードの電源をオフにします (詳細については、20 ページの「計算ノードの電源オフ」を参照)。

GPUトレイを計算ノードから取り外すには、以下のステップを実行してください。

- ステップ1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ2. GPUトレイから PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外します (182 ページの「GPUトレイからの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」を参照)。
- ステップ3. リリース・ラッチを押し、GPUトレイを計算ノードの後部に向けてスライドさせます。

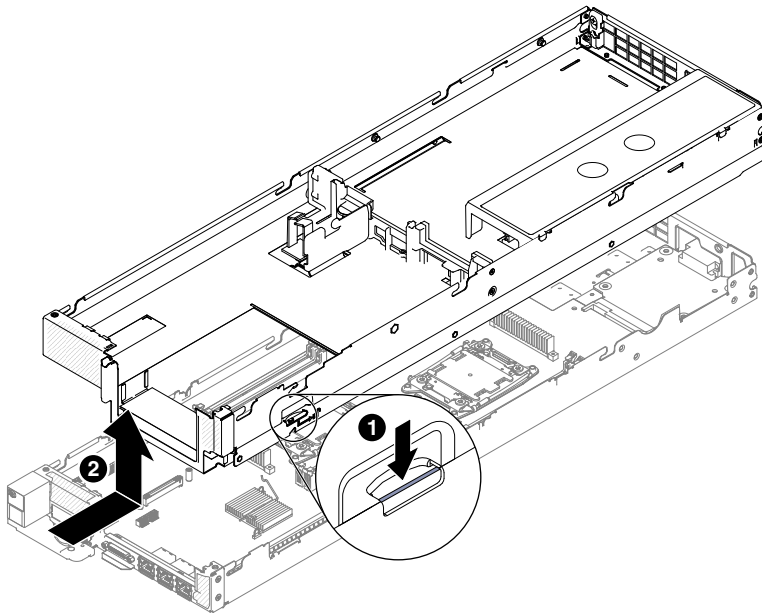


図 23. GPU トレイの取り外し

ステップ 4. GPU トレイを計算ノードから引き出します。

GPU トレイの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

GPU トレイの計算ノードへの取り付け

GPU トレイをNeXtScale nx360 M5 計算ノードに取り付けるには、この情報を使用します。

重要：新しい GPU トレイを取り付ける際は、最新のファームウェアで GPU トレイを更新する必要があります。最新のファームウェアがあることを確認してから作業を進めてください。詳しくは、27 ページの「ファームウェアの更新」を参照してください。

注：GPU トレイは、高回線 Vin の 1300 ワット・パワー・サプライ・ユニット (AC 200 ボルトから 240 ボルト) のみをサポートします。

計算ノードをシャーシに取り付ける前に、v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

GPU トレイを計算ノードに取り付けるには、以下の手順を実行します。

ステップ 1. GPU トレイのリリース・ラッチを右側にして、帯電防止されている平らな面に GPU トレイを注意して置きます。

ステップ 2. GPU トレイ内側の円柱が計算ノードのスロットに差し込まれるように、GPU トレイの向きを合わせます。

注：GPU トレイを取り付ける前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、計算ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。

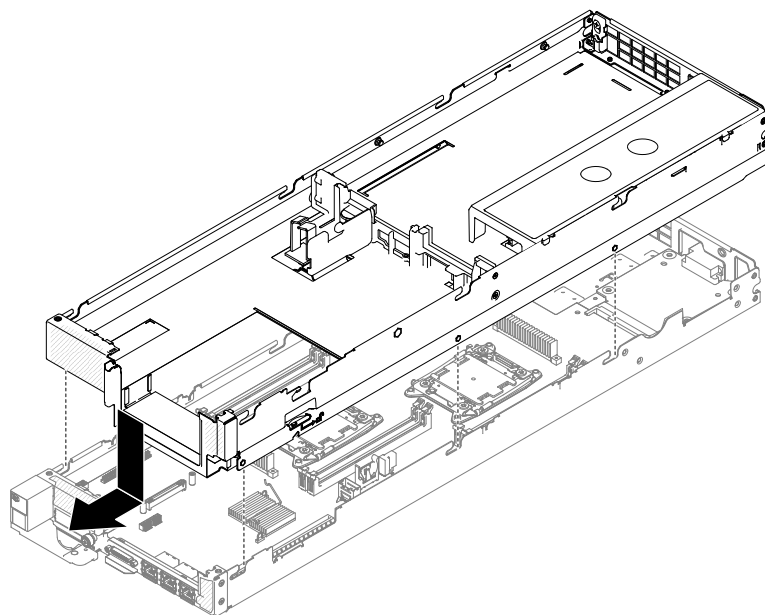


図 24. GPU トレイの取り付け

- ステップ 3. 計算ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでGPU トレイを前方にスライドさせて閉じます。
- ステップ 4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを GPU トレイに再取り付けします (183 ページの「GPU トレイへの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの交換」を参照)。
- ステップ 5. GPU トレイから切り離れたケーブルを接続します。
- ステップ 6. カバーを取り付け直します (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

計算ノードからの2U GPU トレイの取り外し

2U GPU トレイを NeXtScale nx360 M5 計算ノードから取り外すには、この情報を使用します。

2U GPU トレイを計算ノードから取り外すには、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. 計算ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押して計算ノードの電源をオフにします (詳細については、20 ページの「計算ノードの電源オフ」を参照)。

2U GPU トレイを計算ノードから取り外すには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. 2U GPU トレイから PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外します (185 ページの「2U GPU トレイからの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」を参照)。
- ステップ 3. リリース・ラッチを押し、2U GPU トレイを計算ノードの後部に向けてスライドさせます。

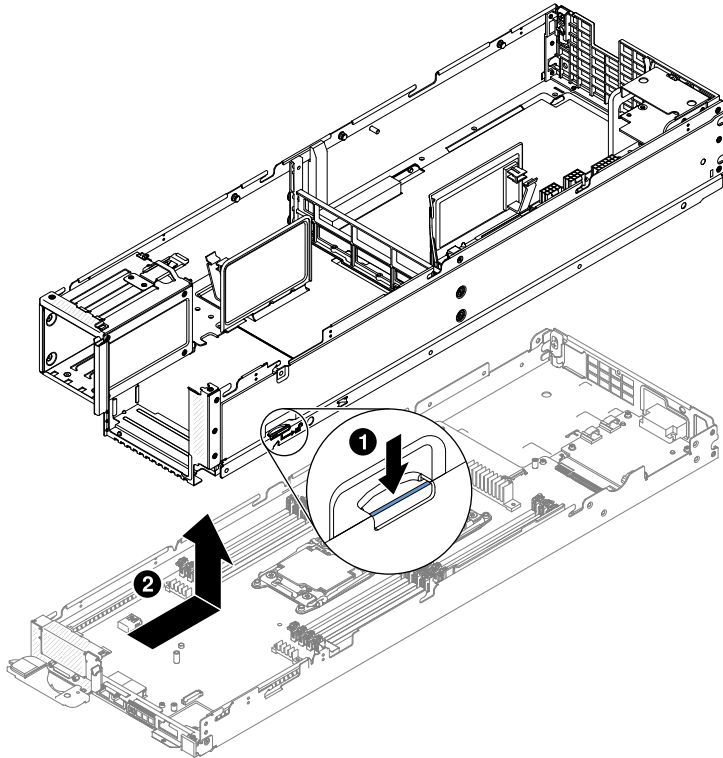


図 25. 2U GPU トレイの取り外し

ステップ 4. 2U GPU トレイを計算ノードから引き出します。

2U GPU トレイの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

2U GPU トレイの計算ノードへの取り付け

2U GPU トレイをNeXtScale nx360 M5 計算ノードに取り付けるには、この情報を使用します。

重要：新しい 2U GPU トレイを取り付ける際は、最新のファームウェアで 2U GPU トレイを更新する必要があります。最新のファームウェアがあることを確認してから作業を進めてください。詳しくは、27 ページの「ファームウェアの更新」を参照してください。

注：2U GPU トレイは、高回線 Vin の 1300 ワット・パワー・サプライ・ユニット (AC 200 ボルトから 240 ボルト) のみをサポートします。

計算ノードをシャーシに取り付ける前に、v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

2U GPU トレイを計算ノードに取り付けるには、以下の手順を実行します。

ステップ 1. 2U GPU トレイのリリース・ラッチを右側にして、帯電防止されている平らな面に 2U GPU トレイを注意して置きます。

ステップ 2. 2U GPU トレイ内側の円柱が計算ノードのスロットに差し込まれるように、2U GPU トレイの向きを合わせます。

注： 2U GPU トレイを取り付ける前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、計算ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。

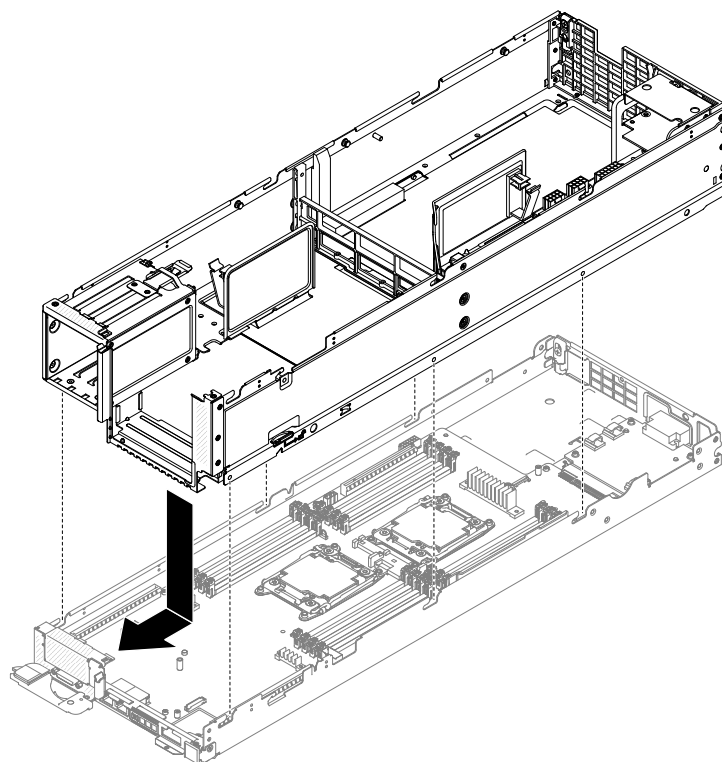


図 26. 2U GPU トレイの取り付け

- ステップ 3. 計算ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまで2U GPU トレイを前方にスライドさせて閉じます。
- ステップ 4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを 2U GPU トレイに再取り付けします (187 ページの「2U GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの交換」を参照)。
- ステップ 5. 2U GPU トレイから切り離れたケーブルを接続します。
- ステップ 6. カバーを取り付け直します (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

構成部品の取り外しと交換

消耗部品および構造部品の取り外しおよび交換を行うには、この情報を使用します。

構成部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

計算ノード・カバーの取り外し

計算ノードからカバーを取り外すには、この情報を使用します。

計算ノード・カバーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

安全 12



警告：

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 21



警告：

電源に計算ノードを接続すると危険な電力が印加されます。計算ノードを取り付ける前には、必ず計算ノード・カバーを交換してください。

計算ノード・カバーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. リリース・ラッチおよびプッシュ・ポイントを同時に押し、カバーを計算ノードの後部に向けてスライドさせます。

ステップ 2. カバーを持ち上げて計算ノードから取り外します。

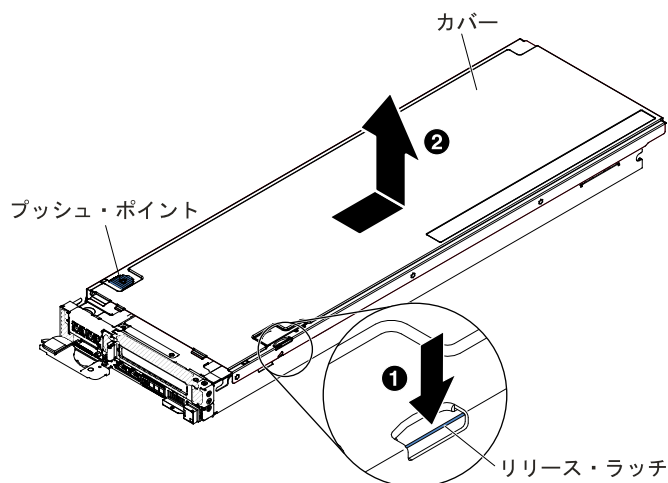


図 27. 計算ノード・カバーの取り外し

注意：リリース・ラッチを押す場合には、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。それらを使用すると、リリース・ラッチに永久的な損傷を与える可能性があります。

ステップ3. カバーを平らな場所に置くか、将来の利用に備えて保管します。

カバーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

計算ノード・カバーの取り付け

計算ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

計算ノード・カバーを取り付ける前に、v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

カバーの交換(取り付け)を行う場合は、手順で使用するシステム・サービス・ラベル・キットが準備されていることを確認してください(89 ページの第4章「部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード」を参照)。

注意：カバーを取り付けて閉じなければ、計算ノードを NeXtScale n1200 Enclosure に挿入することはできません。この保護措置は必ず実施してください。

安全 21



警告：

電源に計算ノードを接続すると危険な電力が印加されます。計算ノードを取り付ける前には、必ず計算ノード・カバーを交換してください。

計算ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

- ステップ1. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- ステップ2. カバー内側の円柱が計算ノードのスロットに差し込まれるように、カバーの向きを合わせます。

注：カバーを閉じる前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、計算ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。

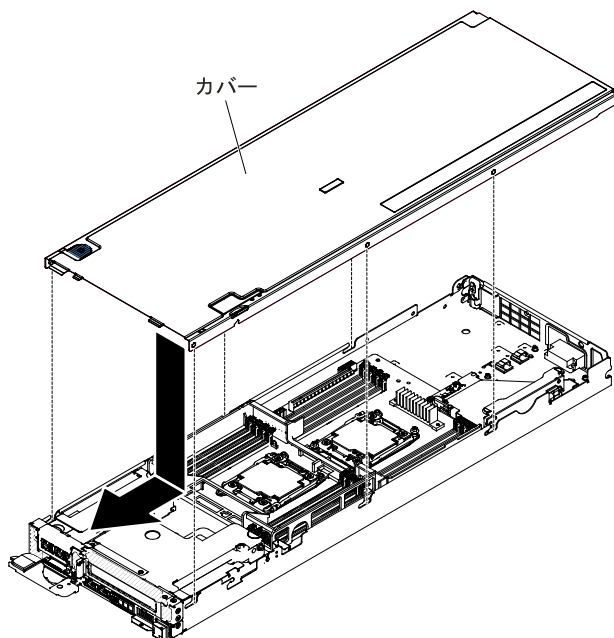


図28. 計算ノード・カバーの取り付け

ステップ3. 計算ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでカバーを前方にスライドさせて閉じます。

計算ノード・カバーを取り付けた後、計算ノードをシャーシに取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

エアー・バッフルの取り外し

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り外します。

このエアー・バッフルを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

ステップ1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ2. エアー・バッフルをつかみ、ピン・ホールからピンを外したら、エアー・バッフルを持ち上げます。

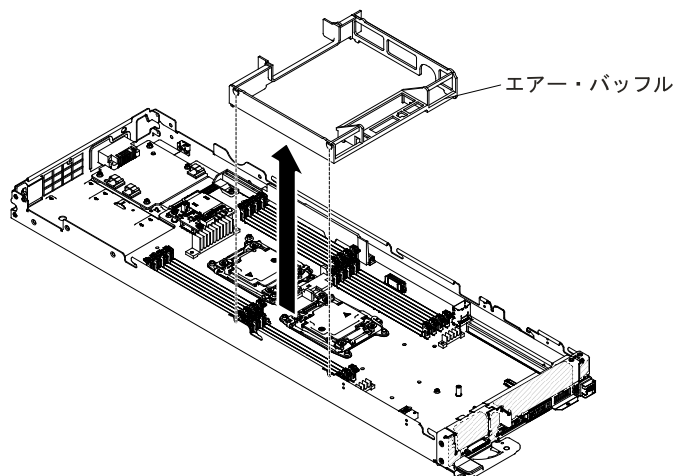


図29. エアール・バッフルの取り外し (計算ノード)

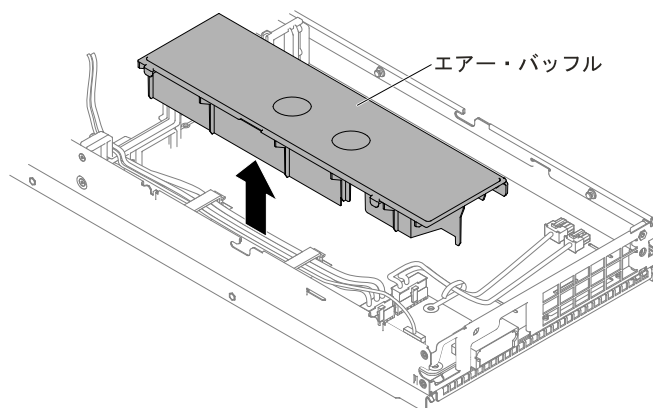


図30. エアール・バッフルの取り外し (GPU トレイ)

ステップ3. 計算ノード/GPU トレイからエアール・バッフルを取り外して横に置きます。

注意：適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアール・バッフルを元通りに取り付けてから計算ノードの電源をオンにしてください。エアール・バッフルを取り外した状態で計算ノードを作動させると、計算ノード・コンポーネントが損傷する可能性があります。

エアール・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアール・バッフルを取り付けます。

このエアール・バッフルを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

エアール・バッフルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

- ステップ1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ2. エアー・バッフル・フックを、左側のエアー・バッフル用のシャーシ左側のバッフル・フック・スロットに位置合わせし、エアー・バッフルを計算ノード内に下ろします。エアー・バッフルを下に押し、しっかりと収まった状態にします。

注：適切な冷却を確保するために、エアー・バッフルを取り付ける前に DIMM コネクターの両端の保持クリップを閉じます。

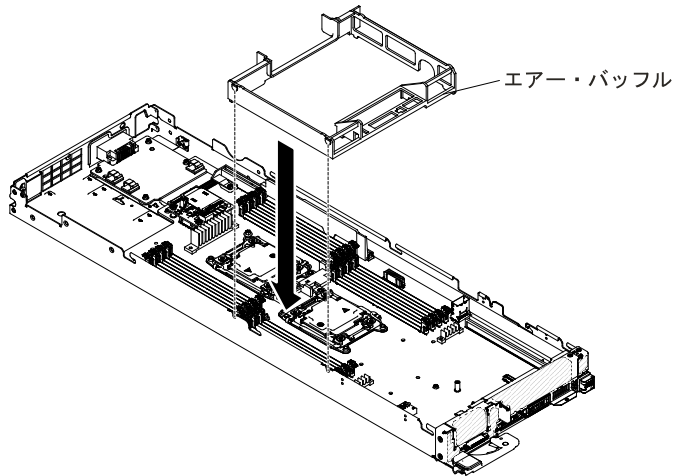


図 31. エアー・バッフルの取り付け (計算ノード)

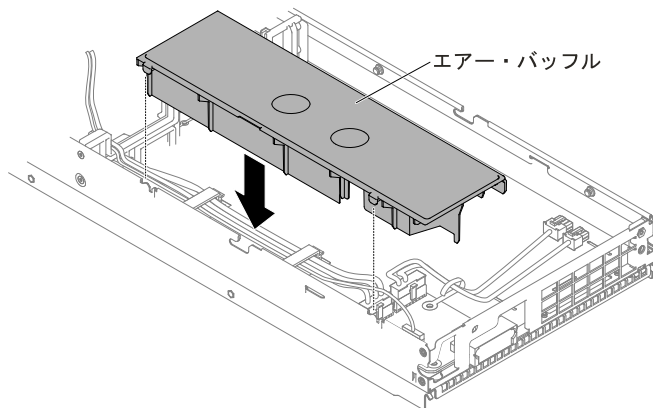


図 32. エアー・バッフルの取り付け (GPU トレイ)

- ステップ3. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ4. 計算ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
- ステップ5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ6. 周辺装置と計算ノードの電源をオンにします。

PCI ライザー・フィラーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・フィラーを取り外します。

PCI ライザー・フィラーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

PCI ライザー・フィラーを取り外すには、次のステップを実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. PCI ライザー・フィラーをつかんで持ち上げます。

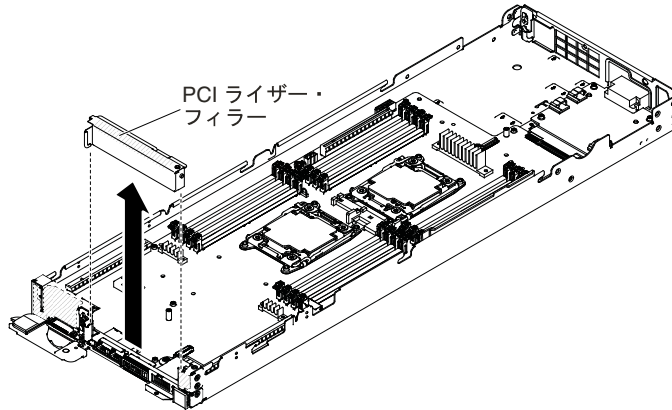


図 33. PCI ライザー・フィラーの取り外し

ステップ 3. 計算ノードから PCI ライザー・フィラーを取り外して横に置きます。

注意：適切な冷却と空気の流れを確保するために、PCI ライザー・フィラーを元通りに取り付けてから計算ノードの電源をオンにしてください。PCI ライザー・フィラーを取り外した状態で計算ノードを作動させると、計算ノードのコンポーネントが損傷する場合があります。

PCI ライザー・フィラーの再取り付け

以下の情報を使用して、PCI ライザー・フィラーを取り付けます。

PCI ライザー・フィラーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

PCI ライザー・フィラーを取り付けるには、次のステップを実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. PCI ライザー・フィラーのピンをシャーシ右側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、PCI ライザー・フィラーを計算ノード内に下ろします。PCI ライザー・フィラーを下に押し、しっかりと収まった状態にします。

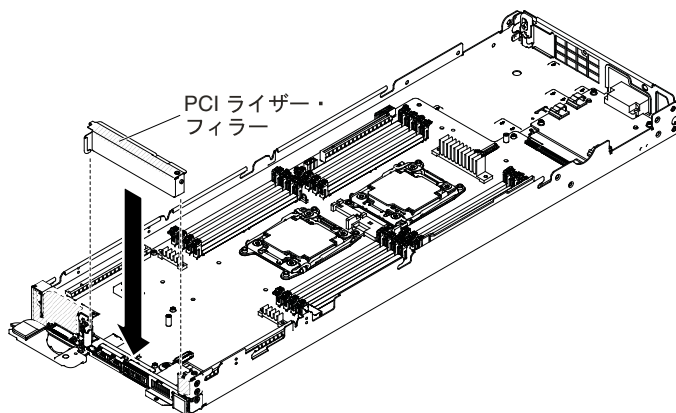


図 34. PCI ライザー・フィルターの取り付け

- ステップ 3. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
ステップ 4. 計算ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
ステップ 5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
ステップ 6. 周辺装置と計算ノードの電源をオンにします。

ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

ベゼルを取り外す前に、次の手順を行います。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ベゼルを取り外すには、次のステップを行います。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
ステップ 2. 六角ねじドライバーで 2 本の六角ねじを取り外します。

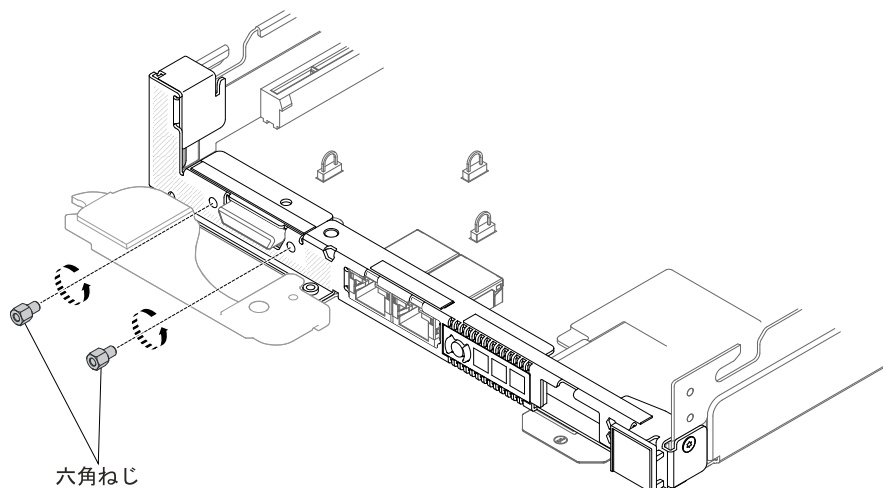


図35. 六角ねじの取り外し

ステップ3. T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) で3本の M3 ねじを取り外します。

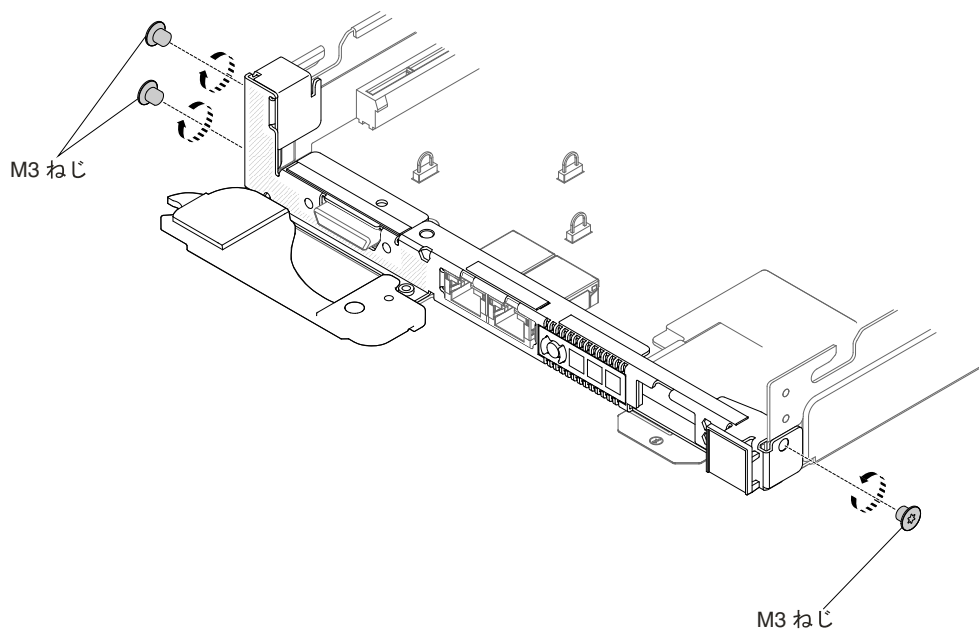


図36. M3 ねじの取り外し

ステップ4. #2 のプラス・ドライバーでカム・ハンドルねじを取り外します。

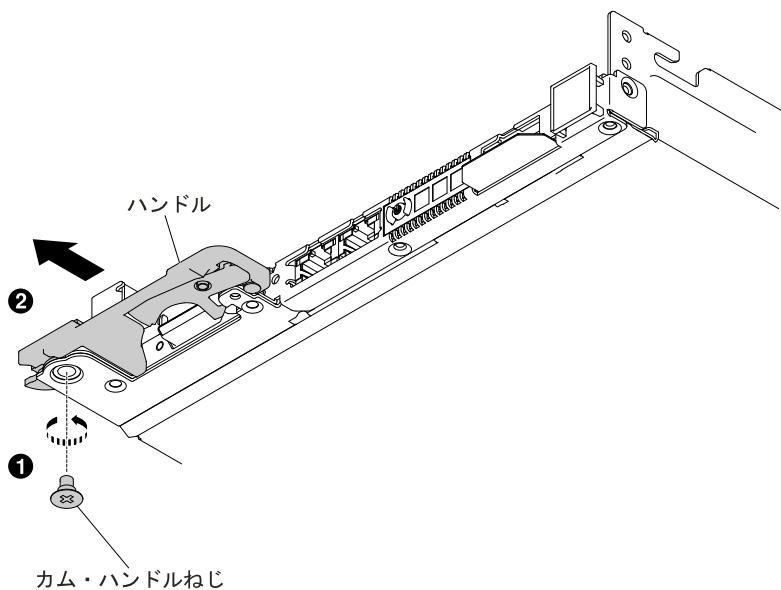


図37. カム・ハンドルねじの取り外し

ステップ5. T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) で4本の M3 ねじを取り外します。

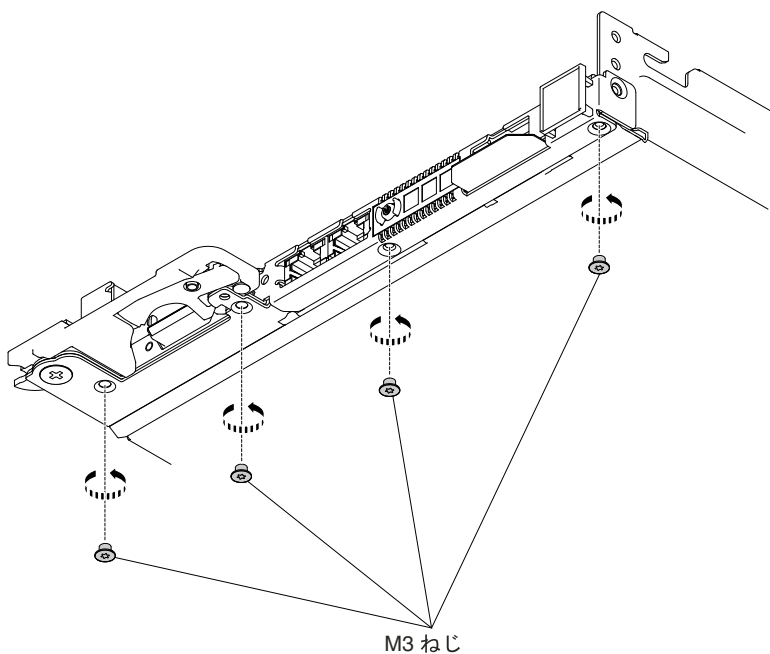


図38. M3 ねじの取り外し

ステップ6. ベゼルをつかんで、ベゼルを計算ノードから取り外します。

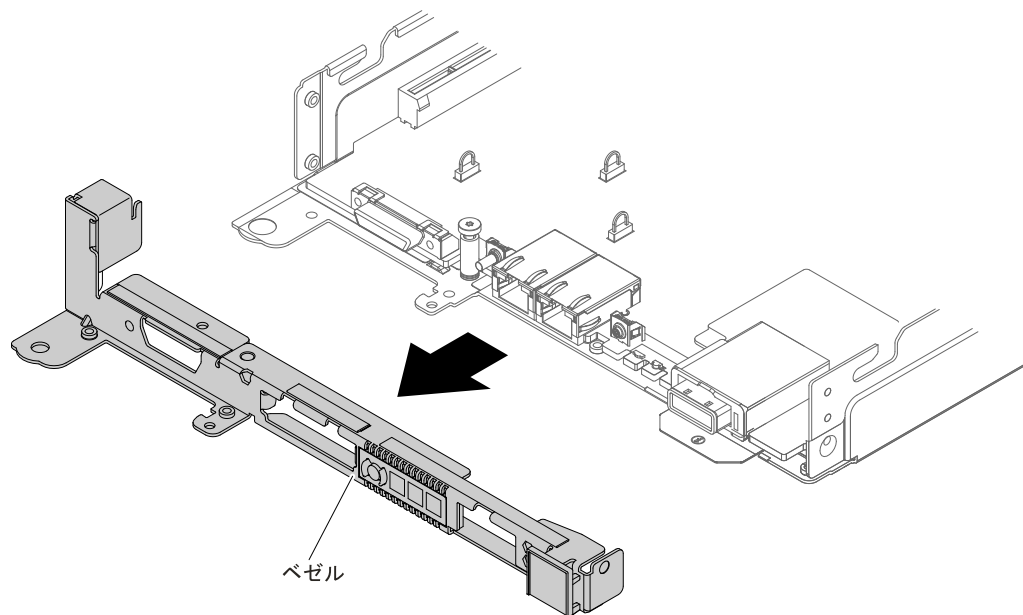


図39. 前面ベゼルの取り外し

ベゼルの再取り付け

ベゼルを取り付けるには、この情報を使用します。

ベゼルを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ベゼルを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

ステップ1. カバーを取り外します(117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ2. ベゼルをつかんで、ベゼルを計算ノードに取り付けます。

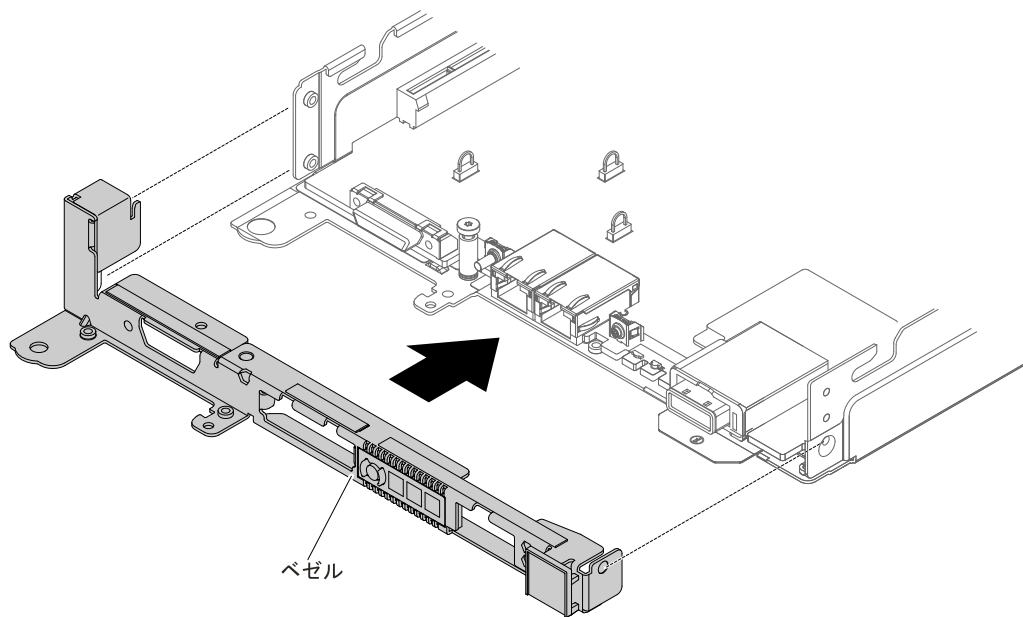


図40. 前面ベゼルの取り付け

ステップ3. T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) で4本の M3 ねじを取り付けます。

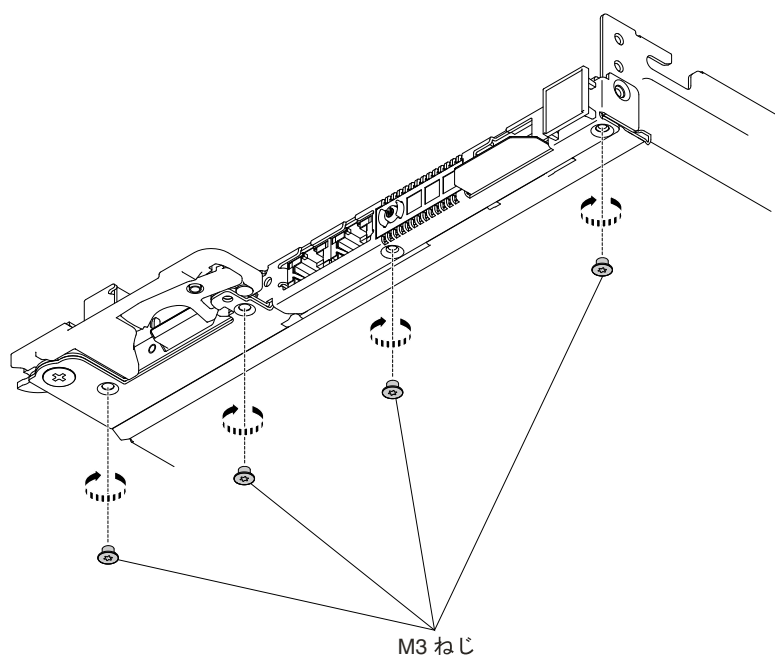


図41. M3 ねじの取り付け

ステップ4. #2 のプラス・ドライバーでカム・ハンドルねじを取り付けます。

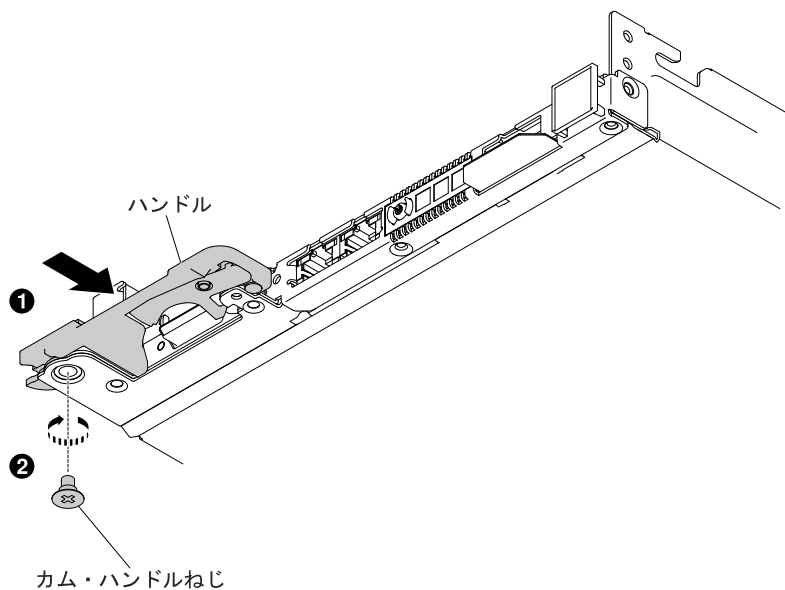


図42. カム・ハンドルねじの取り付け

ステップ5. T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) で3本の M3 ねじを取り付けます。

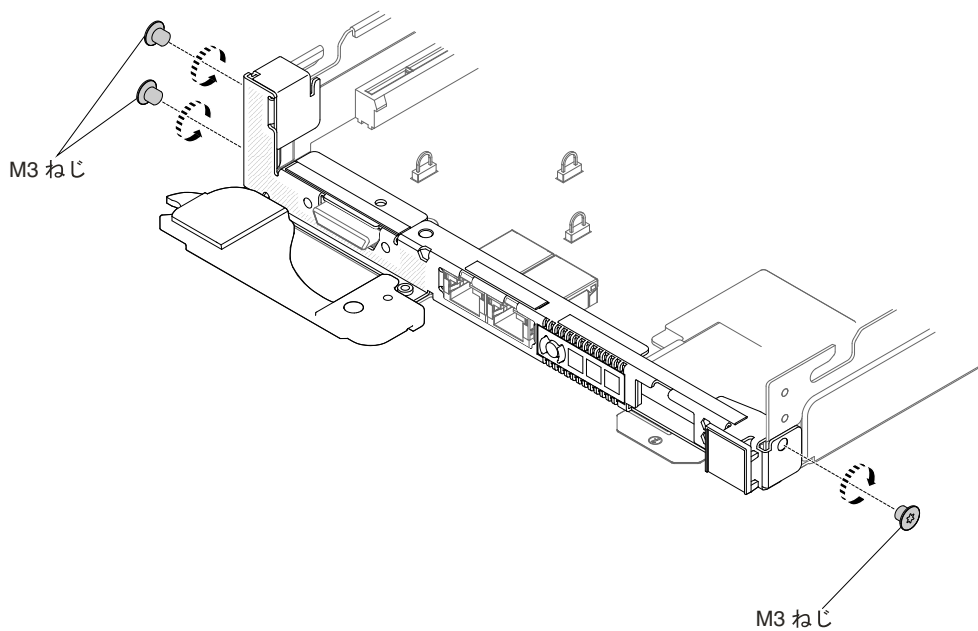


図43. M3 ねじの取り付け

ステップ6. 六角ねじドライバーで2本の六角ねじを取り付けます。

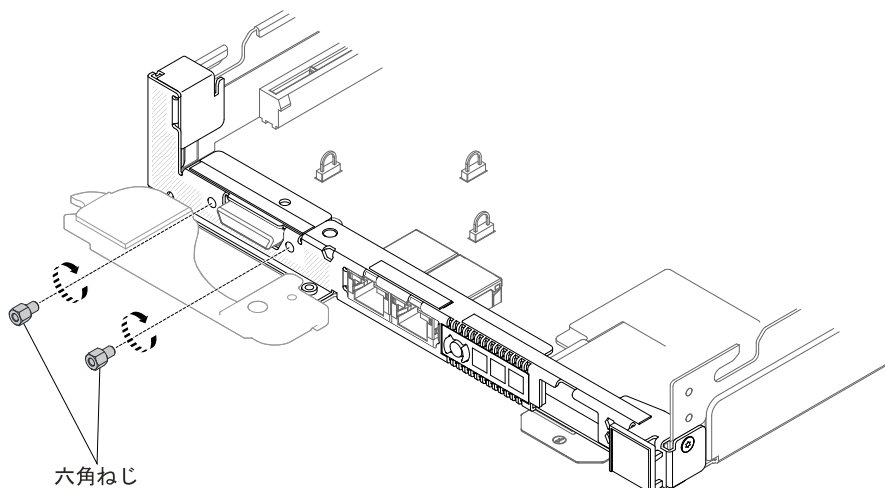


図44. 六角ねじの取り付け

ステップ7. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ8. 計算ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。

ステップ9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ10. 周辺装置と計算ノードの電源をオンにします。

GPU トレイからのフィルターの取り外し

フィルターを GPU トレイから取り外すには、以下の情報を使用します。

GPU トレイからフィルターを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

フィルターを GPU トレイから取り外すには、以下の手順を実行します。

ステップ1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ2. フィルターのタッチ・ポイントを押して、フィルターを持ち上げます。

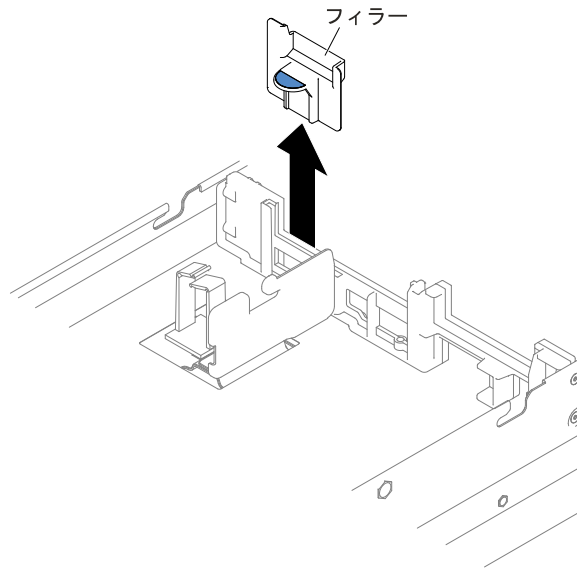


図45. フィラーの取り外し

ステップ3. フィラーをGPUトレイから取り外し、横に置きます。

注意：適切な冷却と空気の流れを確保するために、フィラーを元通りに取り付けてから計算ノードの電源をオンにしてください。フィラーを取り外した状態で計算ノードを作動させると、GPUトレイのコンポーネントが損傷する可能性があります。

GPUトレイへのフィラーの再取り付け

フィラーをGPUトレイに取り付けるには、以下の情報を使用します。

GPUトレイにフィラーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

フィラーをGPUトレイに取り付けるには、以下の手順を実行します。

ステップ1. カバーを取り外します(117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ2. フィラーをGPUトレイ中央のブラケットと位置合わせし、GPUトレイ内にフィラーを下ろします。フィラーがしっかり収まるまで押し下げます。

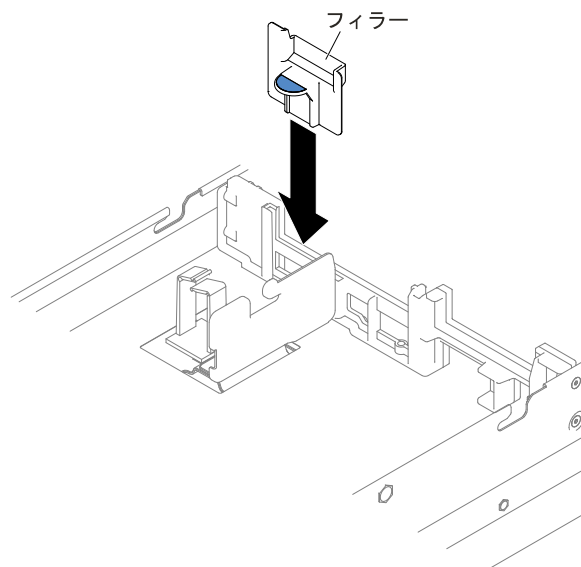


図46. フィラーの取り付け

- ステップ3. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ4. 計算ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
- ステップ5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ6. 周辺装置と計算ノードの電源をオンにします。

前面ハンドルの取り外し

前面ハンドルを取り外すには、この情報を使用します。

前面ハンドルを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にして計算ノードを注意して置きます。

前面ハンドルを取り外すには、以下のステップを実行してください。

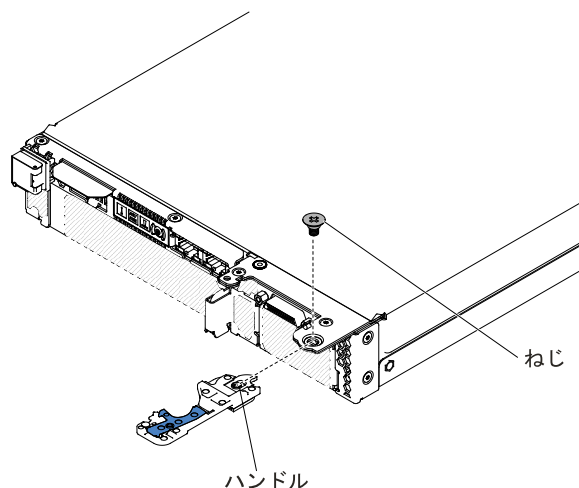


図 47. 前面ハンドルの取り外し

ステップ 1. ハンドルを計算ノードに取り付けているねじを見つけてます。

ステップ 2. プラス・ドライバーを使用して、前面ハンドルからねじを取り外し、ねじを安全な場所に保管します。前面ハンドルを取り付けるときに、そのねじを使用します。

前面ハンドルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

前面ハンドルの取り付け

前面ハンドルを取り付けるには、この情報を使用します。

前面ハンドルを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にして計算ノードを注意して置きます。

前面ハンドルを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

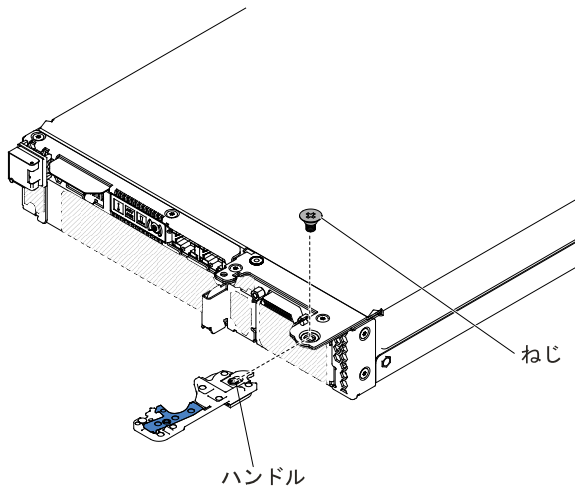


図 48. 前面ハンドルの取り付け

ステップ 1. 青色のリリース・ラッチが計算ノードの中央に向くように、前面ハンドルの向きを合わせます。

ステップ 2. ハンドルの穴を、ハンドルを取り付ける計算ノードの穴に位置合わせします。

ステップ 3. プラス・ドライバーを使用して、ハンドルを固定する #2 プラスねじを取り付けます。ハンドルを取り外したときに取り外したねじを取り付けます。

前面ハンドルを取り付けた後、計算ノードをシャーシに取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

背面ハードディスク・ドライブ・ケースの取り外し

背面ハードディスク・ドライブ・ケースを取り外すには、この情報を使用します。

背面ハードディスク・ドライブ・ケースを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

背面ハードディスク・ドライブ・ケースを取り外すには、以下のステップを実行します。

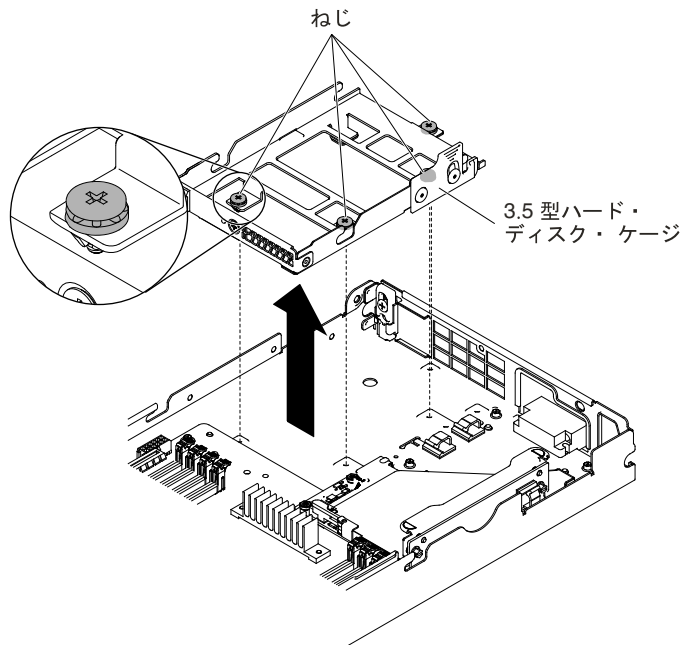


図49. ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し (3.5 型)

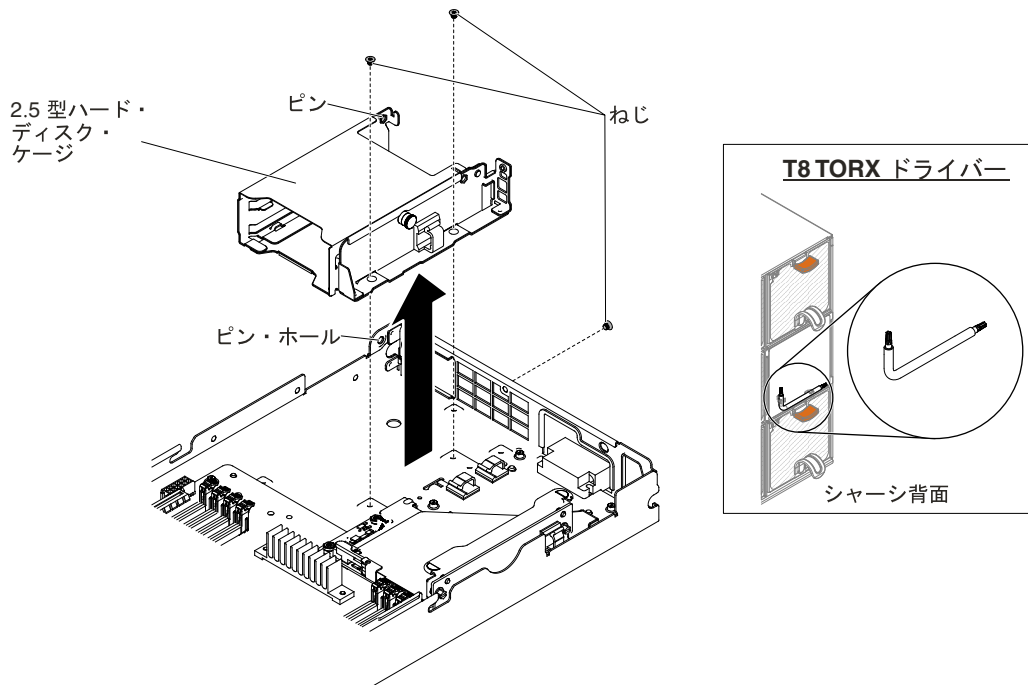


図50. ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し (2.5 型)

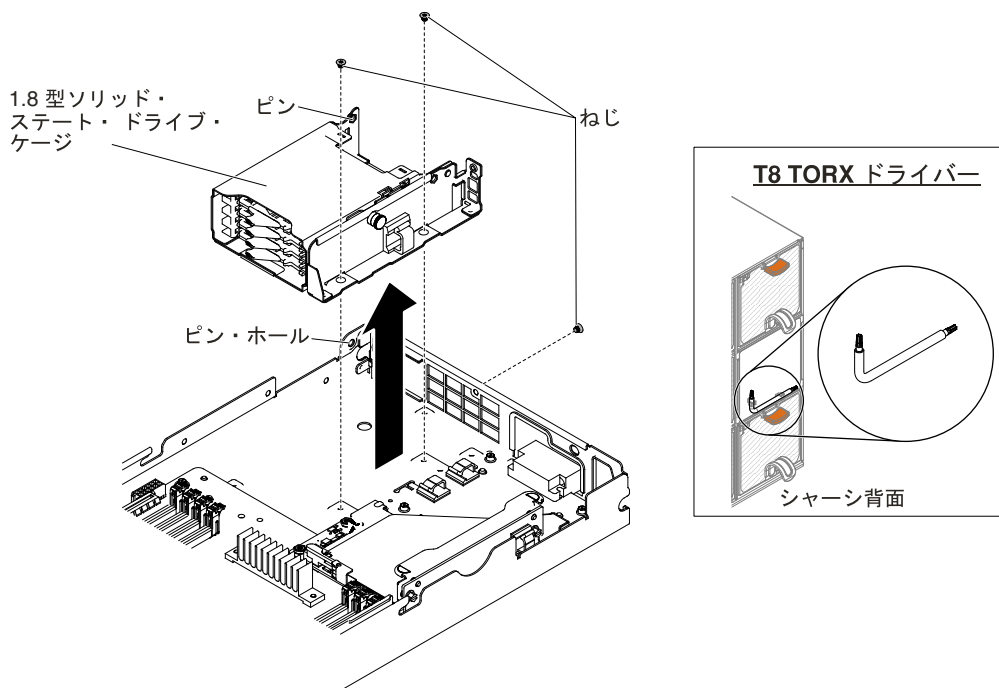


図 51. ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し (1.8 型)

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. イージー・スワップ・ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを取り外します (168 ページの「ドライブの取り外しと取り付け」を参照)。
- ステップ 3. ハードディスク・ドライブ・バックプレートがある場合は、取り外します (166 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレートの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. プラス・ドライバー (3.5 型ハードディスク・ドライブ・ケージの場合) または T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、2.5 型または 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケージの場合。シャーシ背面で提供) を使用して、ねじ (3.5 型ハードディスク・ドライブ・ケージの場合は 4 本、2.5 型または 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケージの場合は 3 本) をケージから取り外します。次に、ケージを計算ノードから斜めに取り外します。
- ステップ 5. ケーブルの配線については、220 ページの「内部ケーブルの配線およびコネクター」を参照してください。

ハードディスク・ドライブ・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

背面ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け

背面ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付けるには、この情報を使用します。

背面ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

背面ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行します。

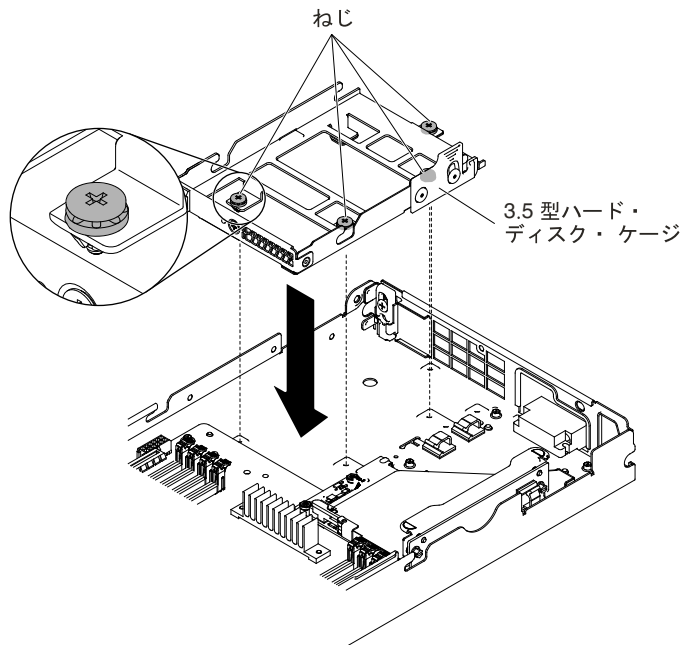


図52. ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け (3.5 型)

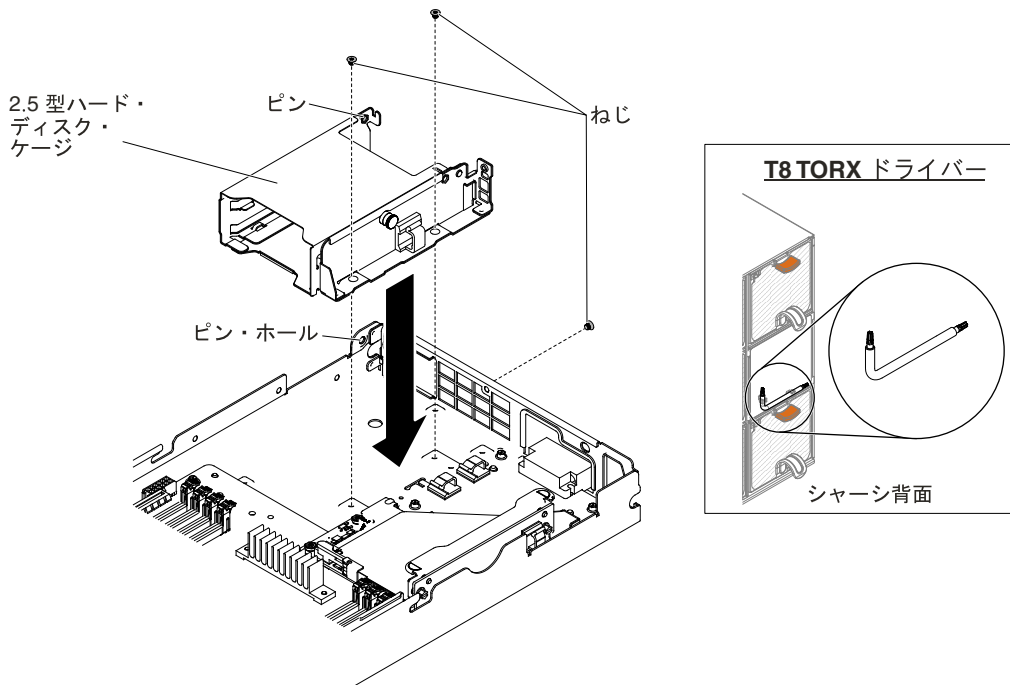


図53. ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け (2.5 型)

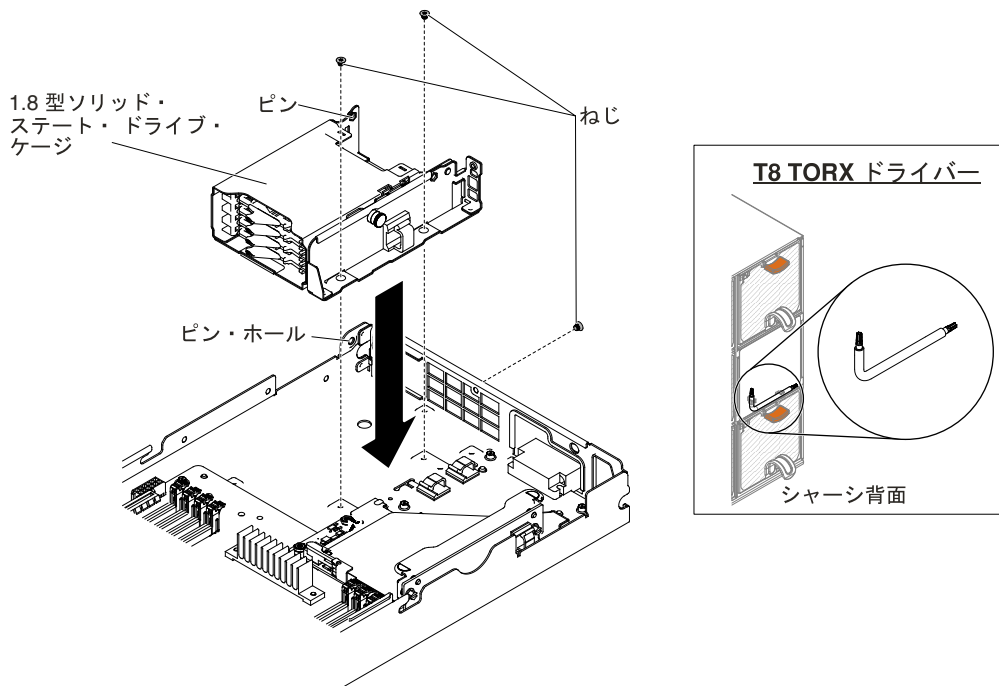


図54. ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け (1.8 型)

- ステップ1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ2. ケージを斜めに配置して、ケージをシステム・ボード上の所定の位置に回転させます。
- ステップ3. ケージをプレーナー・トレイ上のねじ穴に位置合わせします。
- ステップ4. プラス・ドライバー (3.5 型ハードディスク・ドライブ・ケージの場合) または T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、2.5 型または 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケージの場合。シャーシ背面で提供) を使用して、ねじ (3.5 型ハードディスク・ドライブ・ケージの場合は 4 本、2.5 型または 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケージの場合は 3 本) を挿入し、ケージを計算ノードに固定します。
- ステップ5. ハードディスク・ドライブ・バックプレートがある場合は、取り付けます (167 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレートの取り付け」を参照)。
- ステップ6. イージー・スワップ・ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを挿入します (168 ページの「ドライブの取り外しと取り付け」を参照)。
- ステップ7. ケーブルの配線については、220 ページの「内部ケーブルの配線およびコネクタ」を参照してください。

ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換は、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

RAID アダプター・バッテリーの取り外し

以下の情報を使用して、リモート・バッテリーとして取り付けられた RAID アダプター・バッテリーを取り外します。

RAID アダプター・バッテリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

RAID アダプター・バッテリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. バッテリーをつかんでバッテリー・ホルダーから取り外します。

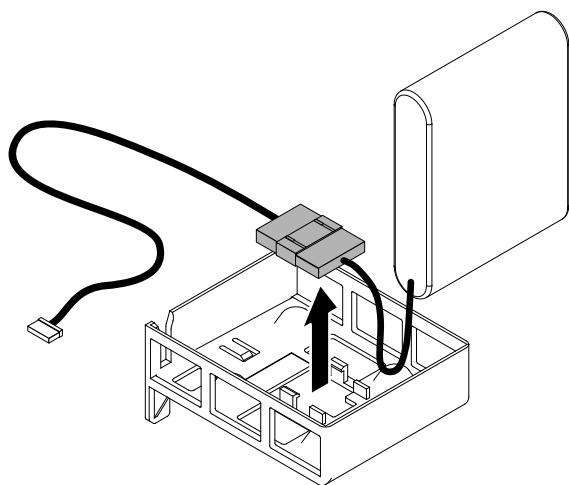


図 55. RAID アダプター・バッテリーの取り外し

ステップ 3. スーパーキャップ・ケーブル・ラッチからバッテリー・ケーブルを取り外します。

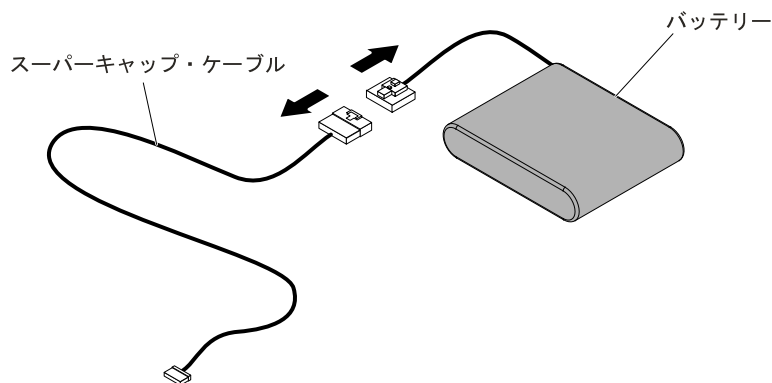


図 56. RAID アダプター・バッテリー・ケーブルの取り外し

RAID アダプター・バッテリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプター・バッテリーの再取り付け

RAID アダプター・バッテリーを再取り付けするには、この情報を使用します。

RAID アダプター・バッテリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

バッテリーが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

RAID アダプター・バッテリーをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. スーパーキャップ・ケーブルを RAID アダプター・バッテリーに接続します。

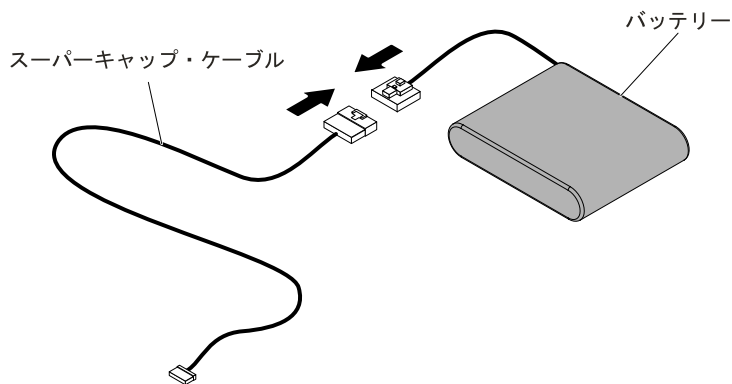


図 57. ケーブルの取り付け

ステップ 3. バッテリー・ケーブル・ラッチ (下向き) を RAID アダプター・バッテリー・ホルダー内に取り付けます。ラッチが切り欠きの中に取まり、しっかりと取り付けられていることを確認します。

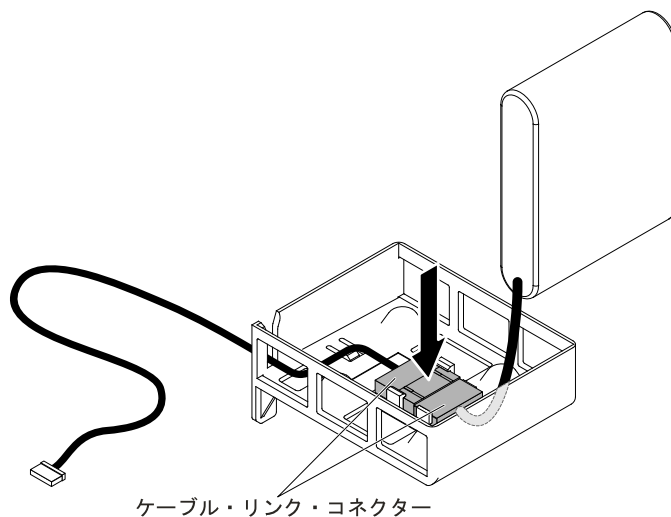


図 58. ケーブル・ラッチの取り付け

ステップ 4. RAID アダプター・バッテリー・ホルダー内にバッテリーを取り付け、バッテリーがホルダーにしっかりと固定されていることを確認します。

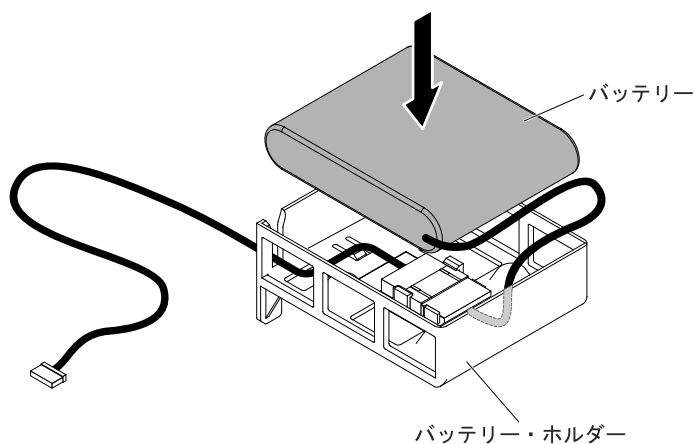


図 59. RAID アダプター・バッテリーの取り付け

注意：このケーブルが何かに挟まっていないこと、ケーブルがどのコネクタも覆っていないこと、またはケーブルがシステム・ボード上のどのコンポーネントの障害にもなっていないことを確認してください。

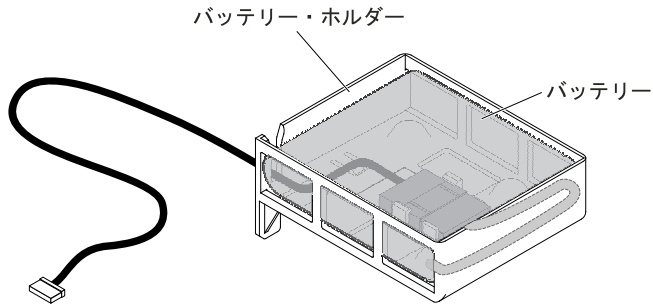


図 60. 取り付けられた RAID アダプター・バッテリー

- ステップ 5. ケーブルのもう一方の端をプレーナー・トレイに接続します。
- ステップ 6. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ 7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
- ステップ 8. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにします。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り外すには、この情報を使用します。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り外すには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. リモートに取り付けられた RAID アダプター・バッテリーを取り外します。
- ステップ 3. エアー・バッフルを取り外します (120 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. マイナス・ドライバーなどの工具を使用して、ラッチを押します。次に、バッテリー・ホルダーを解放します。

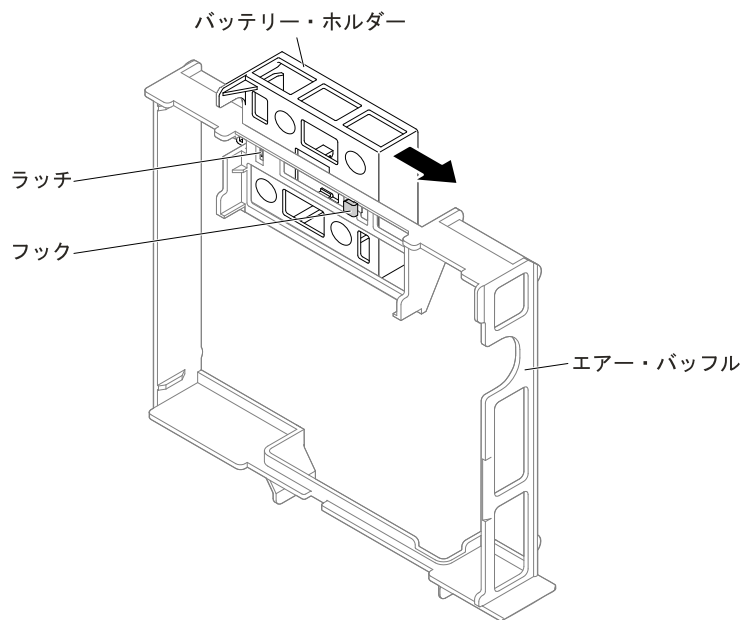


図 61. 解放された RAID アダプター・バッテリー・ホルダー

ステップ 5. バッテリー・ホルダーを持ち上げて、エアー・バッフルからバッテリー・ホルダーを取り外します。

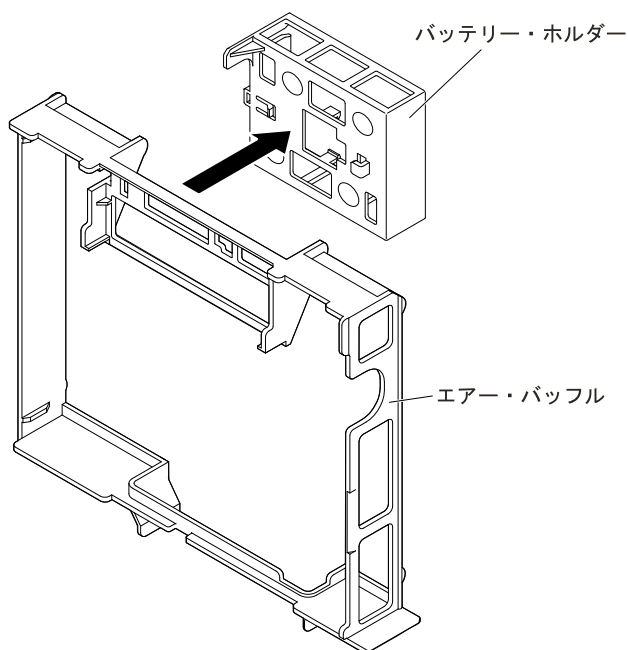


図 62. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの交換

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付けるには、この情報を使用します。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. バッテリー・ホルダー・フックを位置合わせし、エアー・バッフル上にバッテリー・ホルダーを設置します。

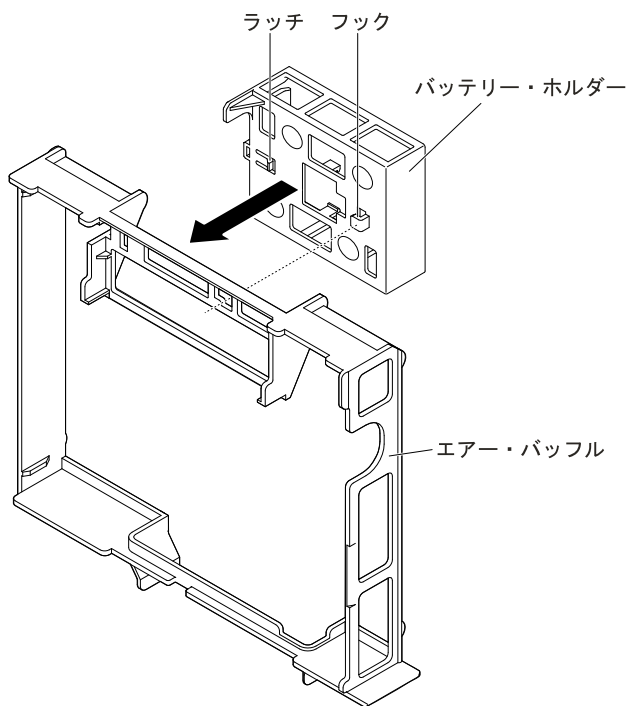


図 63. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの位置合わせ

ステップ 3. ラッチを押し、フックに向かってバッテリー・ホルダーを押します。

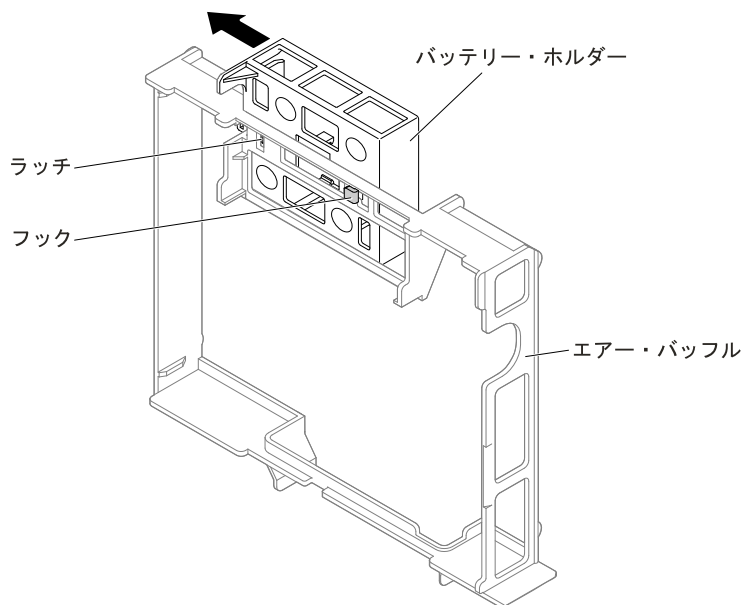


図 64. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り付け

- ステップ 4. エアー・バッフルを再取り付けします (121 ページの「エアー・バッフルの交換」を参照)。
 ステップ 5. カバーを取り付け直します (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
 ステップ 6. ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
 ステップ 7. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにします。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージを取り外すには、この情報を使用します。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージを取り外すには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
 ステップ 2. ハードディスク・ドライブがある場合は、取り外します (168 ページの「ドライブの取り外しと取り付け」を参照)。
 ステップ 3. プランジャーを引き上げ、バックプレーンを内側にスライドさせてバックプレーンを取り外します。

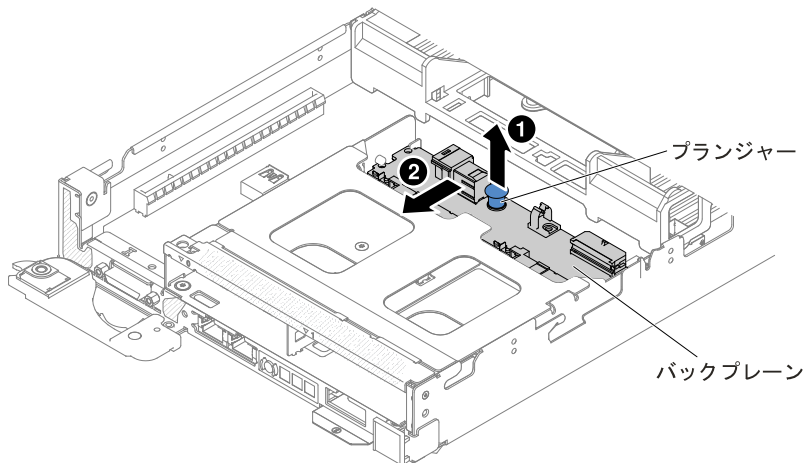


図 65. バックプレーンの取り外し

ステップ 4. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージから 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを取り外します。

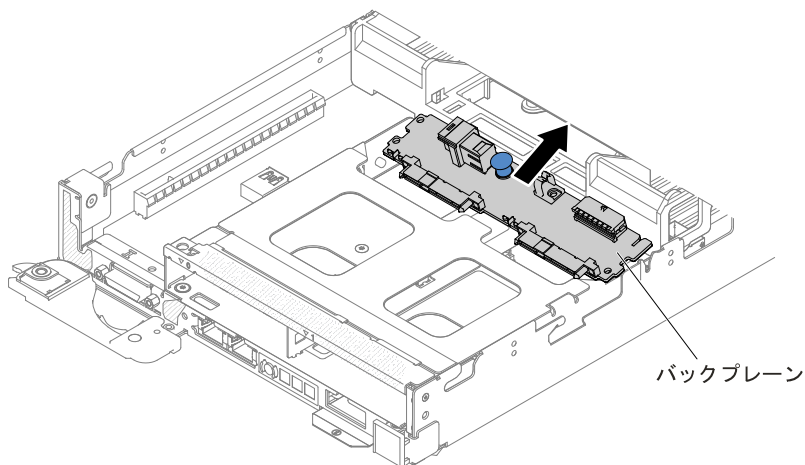


図 66. バックプレーンの取り外し

ステップ 5. Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルを、2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレーンおよび電源コネクタから取り外します (223 ページの図 161 「ServeRAID SAS コントローラー・ケーブル接続を使用した 2.5 型ハードディスク・ドライブ (2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付けなし)」を参照)。

ステップ 6. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージからねじを取り外します。

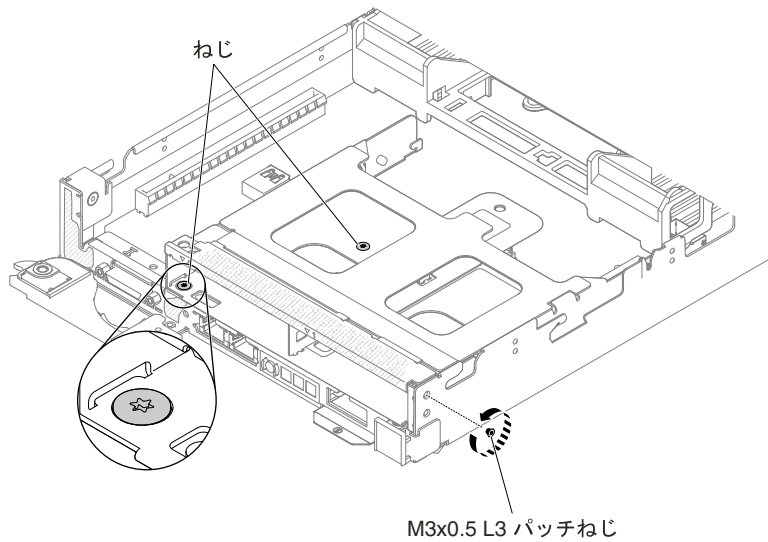


図67. ねじの取り外し

ステップ7. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージをゆっくりとノードから持ち上げます。

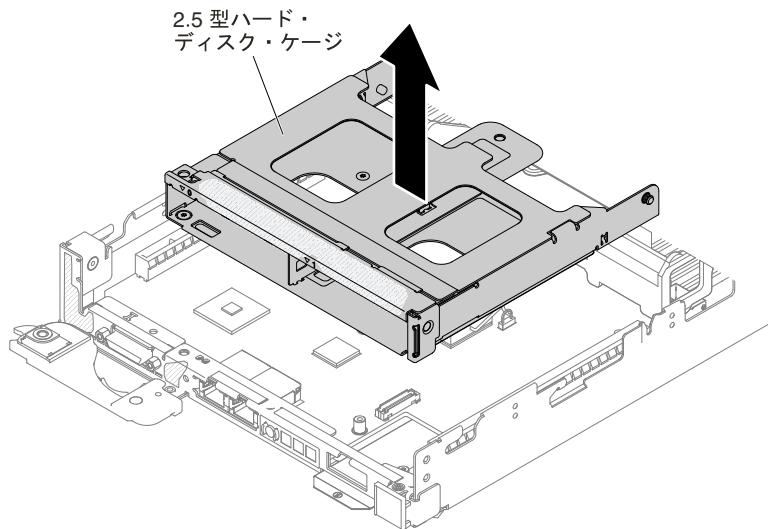


図68. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し

ステップ8. オプションの前面ハードディスク・ドライブ・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付けるには、この情報を使用します。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注： 16 個すべての DIMM スロットに、DIMM または DIMM フィラーを取り付ける必要があります。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. PCI ケージ・フィラー、右側の PCI ブラケット、および左側の PCI ブラケットが取り付けられている場合は取り外します。

ステップ 3. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージをゆっくりとノードに下ろします。

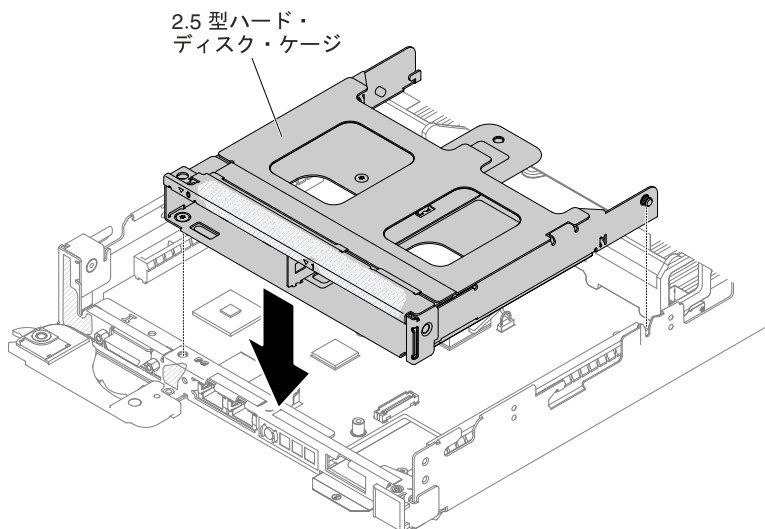


図 69. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け

ステップ 4. ねじを締め、オプションの前面ハードディスク・ドライブ・ケージをノードに固定します。

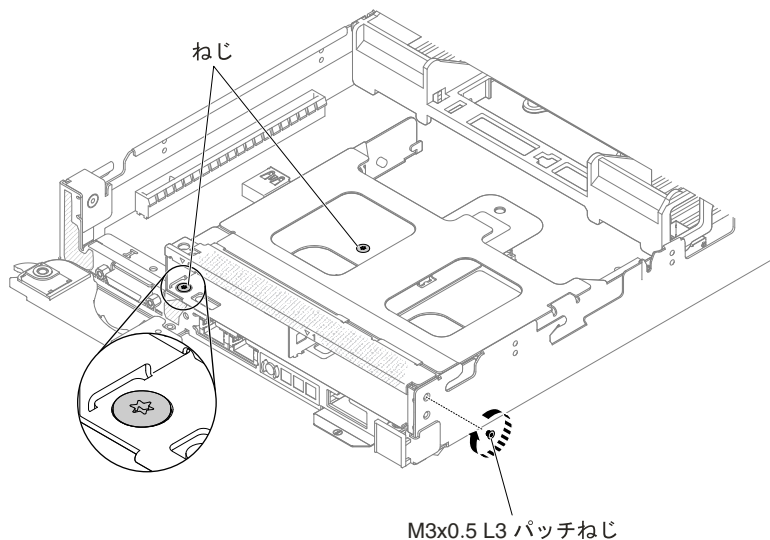


図70. ねじの位置

- ステップ5. Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルを、オプションの前面ホット・スワップ・バックプレーンに接続します (223 ページの図 161 「ServeRAID SAS コントローラー・ケーブル接続を使用した 2.5 型ハードディスク・ドライブ (2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付けなし)」を参照)。
- ステップ6. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージにバックプレーンを取り付けます。

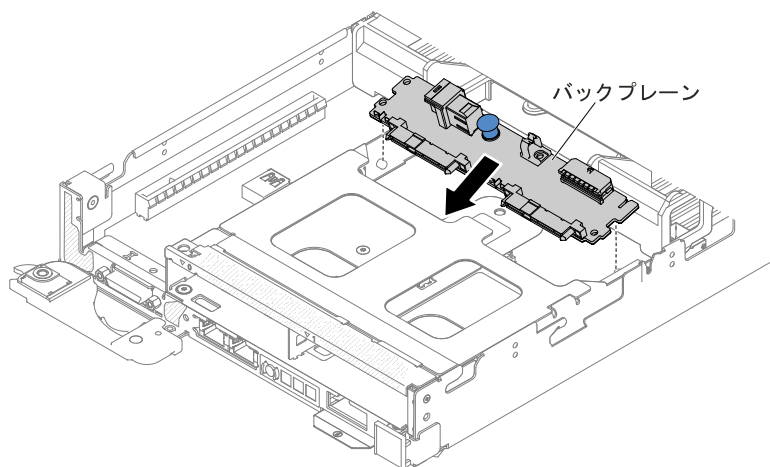


図71. バックプレーンの取り付け

- ステップ7. バックプレーンがカチッと音を立てて所定の位置にはまるまで、バックプレーンを押し下げ、スライドさせます。

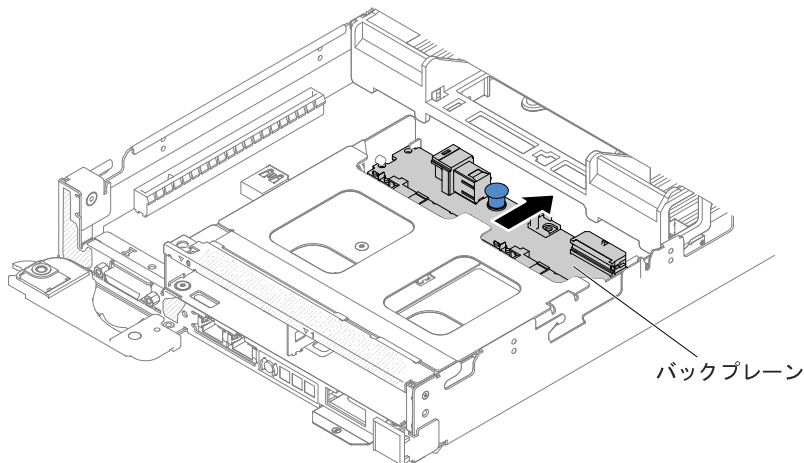


図 72. バックプレーンの取り付け完了

- ステップ 8. ケーブルを配線し、Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルのもう一方の端を RAID アダプターおよびプレーナー電源コネクタに接続します (222 ページの「ハードディスク・ドライブと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続」を参照)。
- ステップ 9. ハードディスク・ドライブがある場合は、取り付けます (168 ページの「ドライブの取り外しと取り付け」を参照)。
- ステップ 10. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ 11. ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
- ステップ 12. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 13. 周辺装置とノードの電源をオンにします。

IMM インターポージャー・アセンブリーの取り外し

IMM インターポージャー・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

IMM インターポージャー・アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

IMM インターポージャー・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. IMM インターポージャー・アセンブリーを計算ノードに固定している 2 本のねじを外します。ねじは後で使用するために取っておきます。

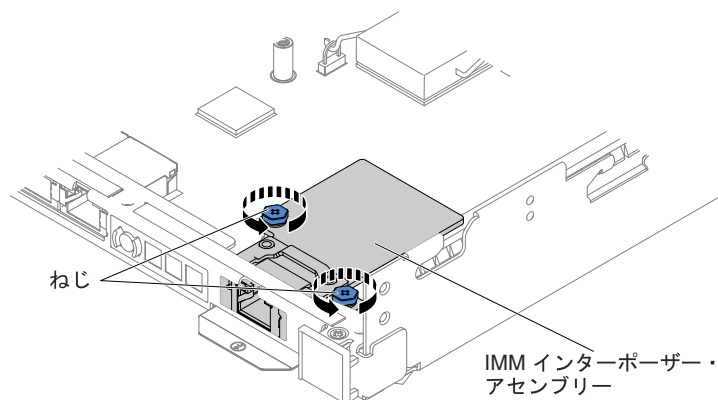


図 73. IMM インターポザー・アセンブリーから外されるねじ

ステップ 3. IMM インターポザー・アセンブリーをスライドさせて計算ノードから取り外します。

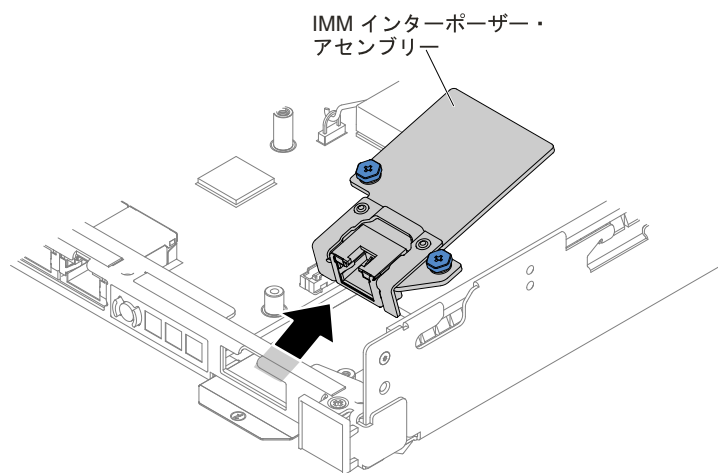


図 74. IMM インターポザー・アセンブリーの取り外し

ステップ 4. IMM インターポザー・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

IMM インターポザー・アセンブリーの再取り付け

IMM インターポザー・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

IMM インターポザー・アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

IMM インターポザー・アセンブリーを取り付けるには、以下の手順を実行します。

- ステップ1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
ステップ2. IMM インターポザー・アセンブリを計算ノード内に取り付けます。

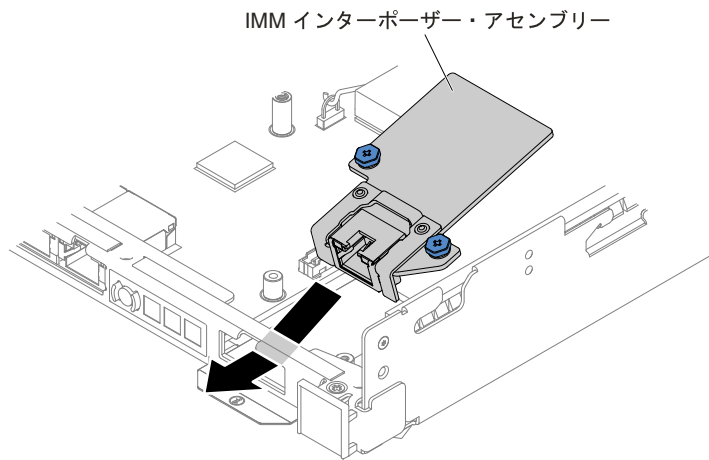


図 75. IMM インターポザー・アセンブリの取り付け

- ステップ3. IMM インターポザー・アセンブリを計算ノードに固定する 2 本のねじを取り付けます。

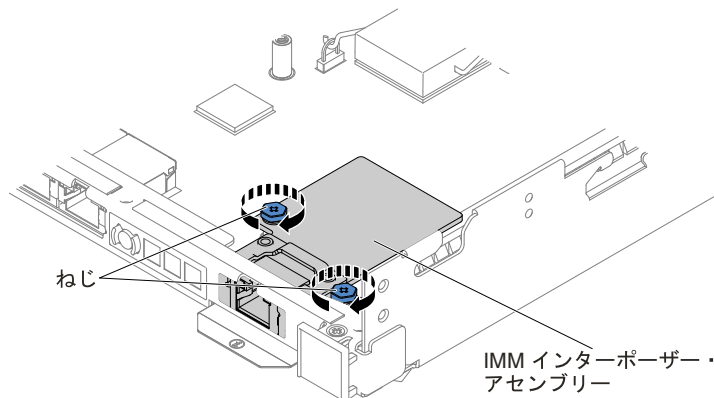


図 76. IMM インターポザー・アセンブリの取り付け

- ステップ4. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
ステップ5. 計算ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
ステップ6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
ステップ7. 周辺装置と計算ノードの電源をオンにします。

GPU トレイからの電源パドル・カードの取り外し

パドル・カードを GPU トレイから取り外すには、以下の情報を使用します。

パドル・カードを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。

3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

パドル・カードを GPU トレイから取り外すには、以下の手順を実行します。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. GPU エアー・バッフルを取り外します (120 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照)。

ステップ 3. 電源パドル・カードに接続されているケーブルの接続位置を書き留めてから、ケーブルを切り離します。

ステップ 4. 電源パドル・カードを GPU トレイに固定している 4 つのねじを取り外します。ねじは後で使用するために取っておきます。

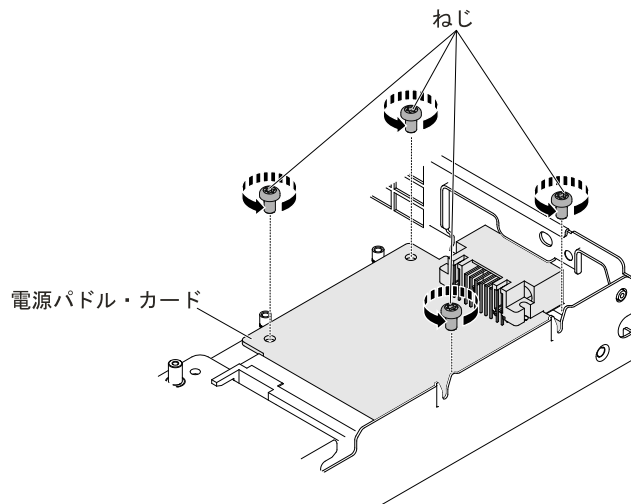


図 77. 電源パドル・カードねじの取り外し

ステップ 5. 電源パドル・カードを GPU トレイから斜めに取り外します。

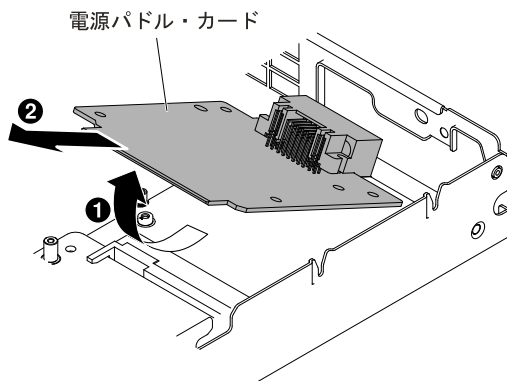


図 78. 電源パドル・カードの取り外し

ステップ 6. 電源パドル・カードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従ってください。部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

GPU トレイへの電源パドル・カードの再取り付け

電源パドル・カードを GPU トレイに取り付けるには、以下の情報を使用します。

パドル・カードを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

電源パドル・カードを GPU トレイに取り付けるには、以下の手順を実行します。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. 電源パドル・カードを GPU トレイの止め金具上に斜めに置きます。

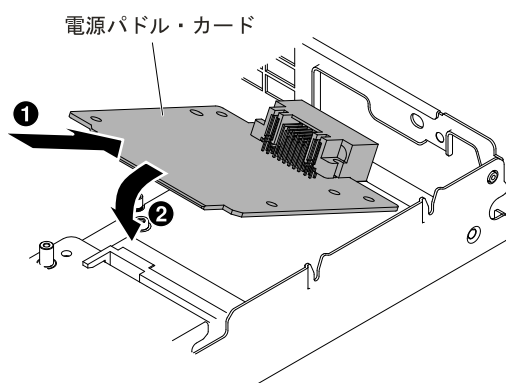


図 79. 電源パドル・カードの取り付け

ステップ 3. 電源パドル・カードを GPU トレイに固定する 4 本のねじを取り付けます。

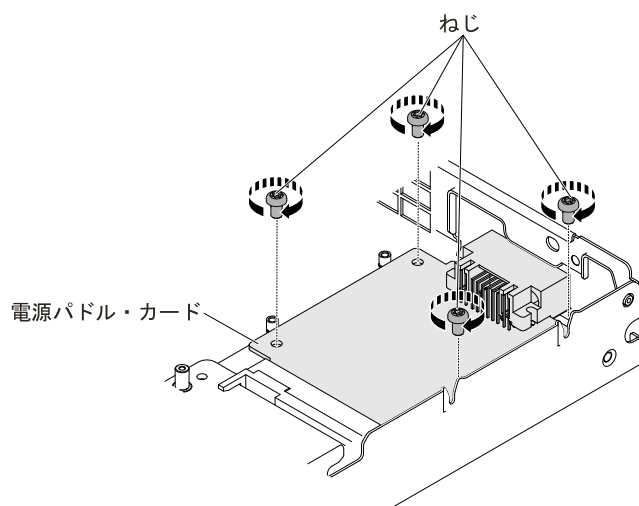


図 80. 電源パドル・カードねじの取り付け

ステップ 4. 電源パドル・カードのケーブルを再接続します。

ステップ 5. GPU エアー・バッフルを再び取り付けます (121 ページの「エアー・バッフルの交換」を参照)。

ステップ 6. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ 7. 計算ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。

ステップ 8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 9. 周辺装置と計算ノードの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

以下の情報を使用して、CMOS バッテリーを取り外します。

システム・バッテリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。リチウム・バッテリーは適切に取り扱い、危険を避ける必要があります。バッテリーを交換するときは、以下の指示に従ってください。

注： 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常のご家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注： バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻を再設定する必要があります。

安全 2



警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、Lenovo 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・バッテリーを取り外すには、以下のステップを行います。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を完全に引き上げます (180 ページの「PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」を参照)。

ステップ 3. 次のように、システム・バッテリーを取り外します。

- a. 指の爪で、バッテリー・クリップの上部を押してバッテリーから離します。バッテリーは解放されると持ち上がります。
- b. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。

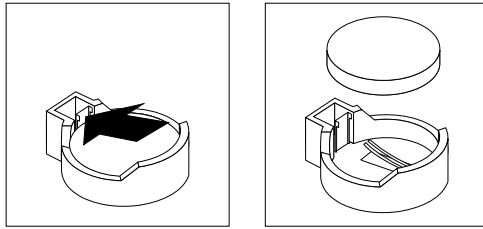


図 81. システム・バッテリーの取り外し

注意：過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

ステップ 4. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。詳しくは、Lenovo Documentation CD の「Lenovo 環境通知とユーザーズ・ガイド」を参照してください。

システム・バッテリーの交換

システム・バッテリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

以下の注では、サーバー内でシステム・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、Lenovo 営業担当員または認定リセラーに電話してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全 2



警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、Lenovo 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

交換用システム・バッテリーを取り付けるには、次のステップを行います。

ステップ 1. 交換バッテリーに付属している取扱説明書や手順書に従ってください。

ステップ 2. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 3. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を完全に引き上げます (180 ページの「PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」を参照)。

ステップ 4. 新しいバッテリーを次のように挿入します。

- a. バッテリーの向きを、プラス側が上を向くようにします。
- b. バッテリーを斜めにして、バッテリーをバッテリー・クリップの反対側のソケットに挿入できるようにします。

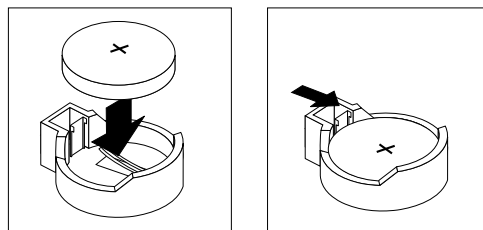


図 82. システム・バッテリーの取り付け

- c. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップにバッテリーがしっかり収まっているか確認します。

ステップ 5. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を再び取り付けます (181 ページの「PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け」を参照)。

ステップ 6. カバーを取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ 7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

ステップ 8. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ステップ 9. Setup Utility を始動して、構成をリセットします。

- システムの日付と時刻を設定します。
- 始動パスワードを設定します。
- サーバーを再構成します。

詳しくは、31 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. エアー・バッフルを取り外します (120 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照)。
- ステップ 3. DIMM 13、DIMM 14、DIMM 15、または DIMM 16 を取り外す場合は、先に ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します。
- ステップ 4. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

注意： 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

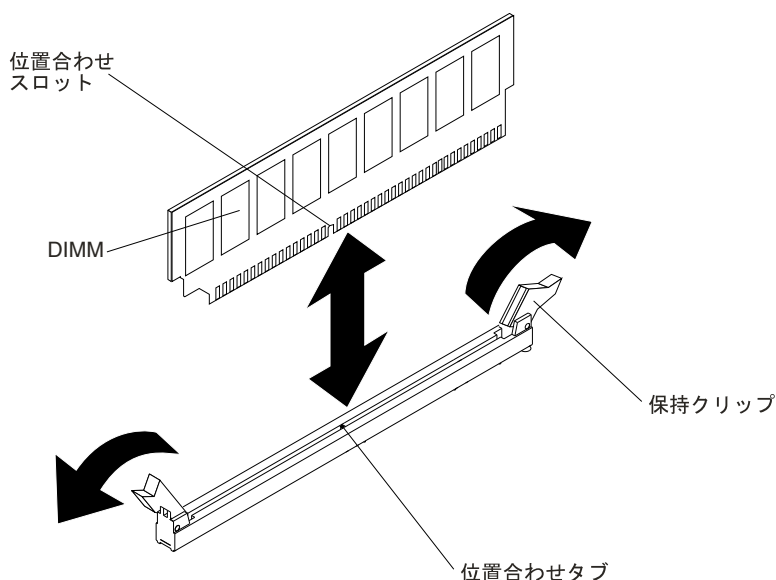


図 83. DIMM の取り外し

- ステップ 5. DIMM を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意事項は、計算ノードがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、計算ノードの構成情報が変更されます。計算ノードを再起動すると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージがシステムで表示されます。
- この計算ノードは、業界標準の double data rate 4 (DDR4)、1600、1866、2133、または 2400 MHz、PC4-12800、PC4-14900、PC4-17000、または PC4-19200 Registered あるいは Load Reduction、SDRAM エラー修正コード (ECC) 付きデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のみをサポートします。この計算ノードに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。
 - DDR4 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。 *gggggRxffPC3v-wwwwwm-aa-bb-ccd*
ここで、それぞれ以下の意味があります。
 - *ggggg* は DIMM の合計容量です (たとえば 1 GB、2 GB、または 4 GB)。
 - *eR* はランク数です。
 - 1R = single-rank
 - 2R = dual-rank
 - 4R = quad-rank
 - *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
 - x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 本の DQ 線)
 - x8 = x8 編成
 - x16 = x16 編成
 - *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
 - ブランク = 1.2 V 指定
 - *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 12800 = 12.80 GBps (DDR4-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 14900 = 14.93 GBps (DDR4-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 17000 = 17.00 GBps (DDR4-2133 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - L = 負荷軽減 DIMM (LRDIMM)
 - R = Registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
 - *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
 - *bb* は、JEDEC SPD 改訂のエンコードおよび追加レベルです。
 - *cc* は、DIMM 設計のリファレンス設計ファイルです。
 - *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注： DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベル上の情報は、 *xxxxx nRxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx* という形式です。6 番目の数値は、DIMM が single-rank (*n*=1) か、dual-rank (*n*=2) か、あるいは quad-rank (*n*=4) を表します。

- DDR4 RDIMM の速度はチャンネル内の RDIMM 数に応じて異なるため、以下のルールが適用されます (Intel Xeon E5-26xx v4 マイクロプロセッサ搭載)。

- チャンネルごとに1つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2400 MHz で稼働します。
- チャンネルごとに2つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2400 MHz で稼働します (RDIMM が 8 GB dual-rank の場合は 2133 MHz に低下)。
- チャンネルごとに1つの LRDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2400 MHz で稼働します。
- チャンネルごとに2つの LRDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2133 MHz で稼働します。
- サーバー内のすべてのチャンネルは、最も高速な共通周波数で稼働します。
- registered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けしないでください。
- DDR4 RDIMM の速度はチャンネル内の RDIMM 数に応じて異なるため、以下のルールが適用されます (Intel Xeon E5-26xx v3 マイクロプロセッサ搭載)。
- チャンネルごとに1つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2133 MHz で稼働します。
- チャンネルごとに2つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2133 MHz で稼働します。
- チャンネルごとに1つの LRDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2133 MHz で稼働します。
- チャンネルごとに2つの LRDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2133 MHz で稼働します。
- サーバー内のすべてのチャンネルは、最も高速な共通周波数で稼働します。
- registered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けしないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサ、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャンネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャンネルごとに2個の DIMM) 構成では、計算ノードは以下の条件を満たす場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で作動します。
- 2個の 1.35 V single-rank、dual-rank、または quad-rank RDIMM、または LRDIMM が同じチャンネルに取り付けられている。Setup Utility で、「**Memory speed**」が「**Max performance**」モードに設定されており、「**LV-DIMM power**」が「**Enhance performance**」モードに設定されている。1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- 計算ノードは、最大 16 個の single-rank、dual-rank RDIMM または 16 個の quad-rank LRDIMM をサポートします。
- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 10. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
16	シングル・ランク RDIMM	4 GB	64 GB
16	シングル・ランク RDIMM	8 GB	128 GB
16	デュアル・ランク RDIMM	8 GB	128 GB
16	デュアル・ランク RDIMM	16 GB	256 GB
16	Quad-rank LRDIMM	32 GB	512 GB

- この計算ノードで使用可能な RDIMM オプションは、4 GB、8 GB および 16 GB です。この計算ノードは、RDIMM を使用した場合、最小 4 GB、最大 256 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB です。この計算ノードは、LRDIMM を使用した場合、最小 32 GB、最大 512 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- 各マイクロプロセッサには、少なくとも1個の DIMM を取り付ける必要があります。たとえば、計算ノードに2個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合、少なくとも2個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、マイクロプロセッサごとに最小4個の DIMM を取り付けてください。

- 計算ノードが適切に作動することを確実にするために、計算ノード内の DIMM は同じタイプでなければなりません。
- チャンネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサから最も遠い DIMM コネクターに取り付けてください。

注：

1. マイクロプロセッサ 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサ 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。
2. DIMM スロット 9 から 16 は、マイクロプロセッサ 2 用に予約されています。したがって、DIMM スロット 9 から 16 は、マイクロプロセッサ 2 を取り付けた場合に使用可能になります。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

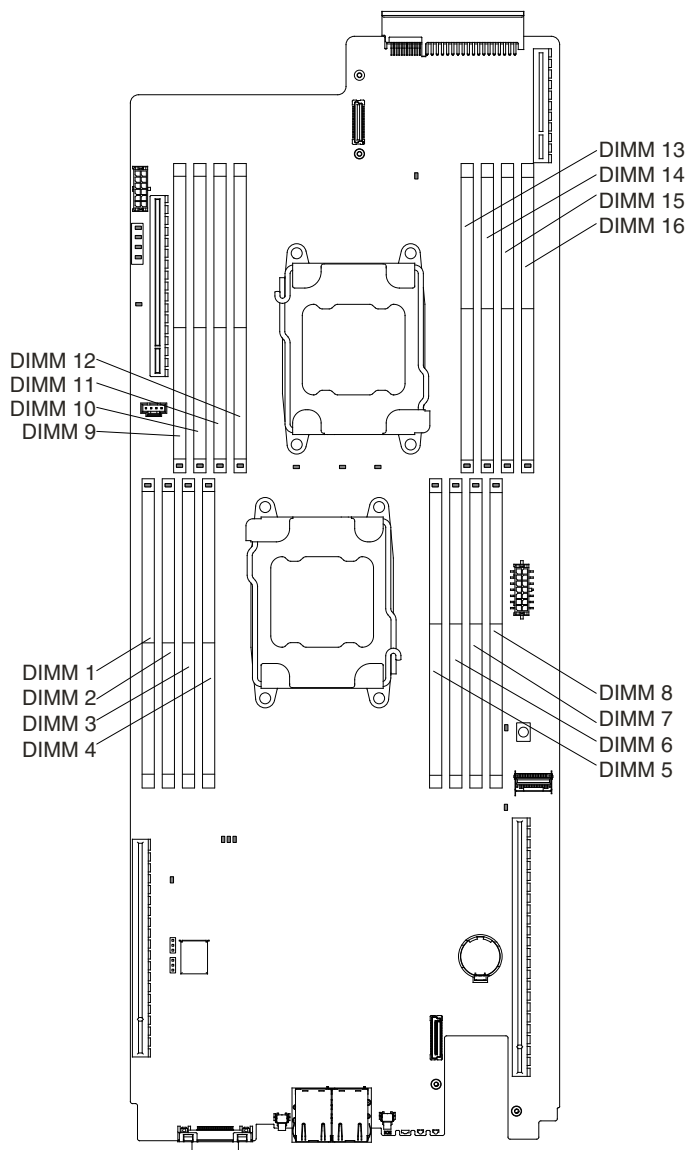


図 84. DIMM コネクターの位置

DIMM の取り付け順序

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも1つの4 GB DIMM がスロット 4 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサのメモリー・インターフェース上のチャンネルには、いずれも任意の順序で装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 11. 通常モードでの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクター取り付け順序
マイクロプロセッサを1つ取り付け済み	8, 1, 6, 3, 7, 2, 5, 4
マイクロプロセッサを2つ取り付け済み	8, 9, 1, 16, 6, 11, 3, 14, 7, 10, 2, 15, 5, 12, 4, 13

メモリー・ランク・スペアリング

メモリー・ランク・スペアリング機能により、障害があるメモリーはシステム構成で使用不可にされ、ランク・スペアリング DIMM がアクティブにされて障害があるアクティブ DIMM と置き換えられます。

Setup Utility で「**System Settings**」 → 「**Memory**」を選択して、ランク・スペアリング・メモリーを有効にすることができます。詳しくは、31 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。

メモリー・ランク・スペアリング・モードが使用可能になっている場合、最大使用可能メモリーが減少します。

次の図は、各メモリー・チャンネルの DIMM コネクターの一覧です。

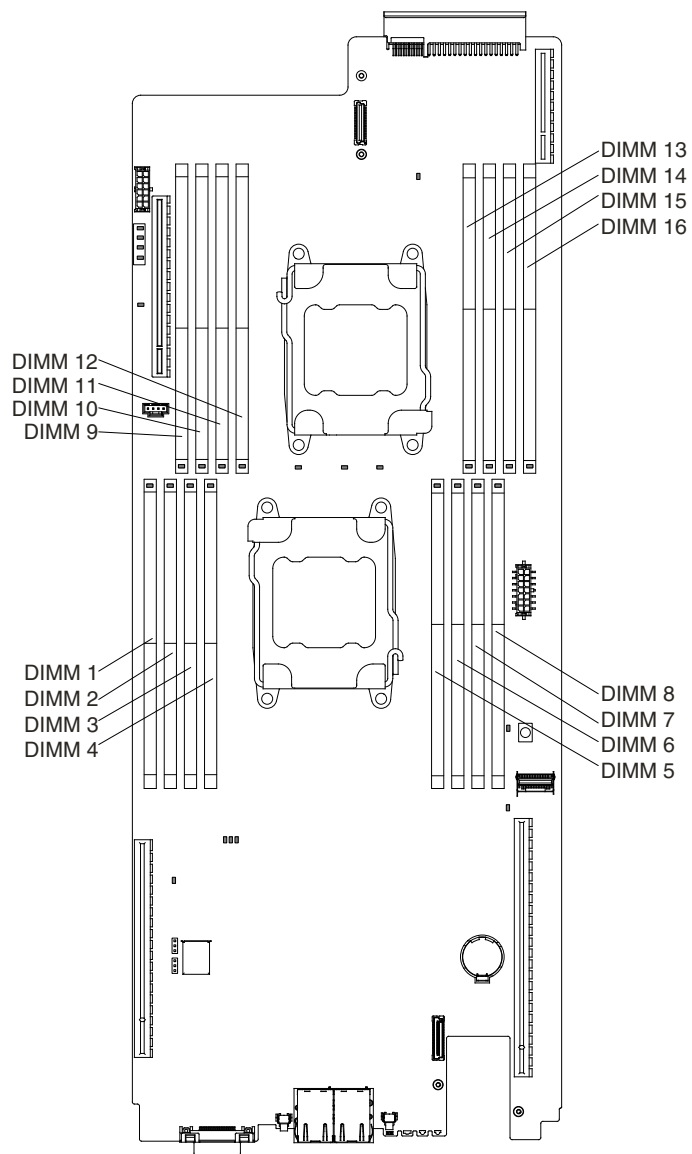


図 85. 各メモリー・チャンネルのコネクター

次のランク・スペアリング・モードでの取り付け順序に従ってください。

- チャンネル内に少なくとも 1 つの quad-rank DIMM を取り付けます。
- チャンネル内に少なくとも 2 つの single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。
- 偶数個の single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。

表 12. quad-rank RDIMM のみを取り付けられた場合の、メモリー・ランク・スペアリング・モードでの DIMM の装着順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ数	システム・ボード上の DIMM コネクタ装着順序
マイクロプロセッサを1つ取り付け済み	7, 8-> 1, 2-> 5, 6-> 3, 4
マイクロプロセッサを2つ取り付け済み	7, 8-> 9, 10-> 1, 2-> 15, 16-> 5, 6-> 11, 12-> 3, 4-> 13, 14

メモリー・ミラーリング・チャンネル

メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでは、データが2つのチャンネル内の2ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。

メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでは、メモリーの内容がチャンネル0とチャンネル1の間およびチャンネル2とチャンネル3の間でミラーリングされます。ミラーリングの結果、システムで使用可能な物理メモリーの合計は装着されているサイズの半分になります。ミラーリング・チャンネル・モードでは、チャンネル0とチャンネル1の間およびチャンネル2とチャンネル3の間で、装着されているサイズと編成が同一である必要があります。チャンネル内での DIMM スロットの装着が同一である必要はありませんが、チャンネル0とチャンネル1、およびチャンネル2とチャンネル3における同じ DIMM スロットの位置は同様に装着されていなければなりません。

障害が発生すると、メモリー・コントローラーはプライマリー・ペアの DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替えます。Setup Utility を使用してメモリー・ミラーリング・チャンネルを有効にするには、「System Settings」→「Memory」を選択します。詳しくは、31 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。メモリー・ミラーリング・チャンネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。各ペアの2個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャンネルは、すべてのチャンネル内で最も遅い速度の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用可能にした場合、最大使用可能メモリーは取り付け済みのメモリーの半分に減少します。たとえば、RDIMM を使用して 8 GB のメモリーを取り付ける場合、メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用すると 4 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。

次の表は、メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでの取り付け順序を示しています。

表 13. メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでの DIMM の装着順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクタ取り付け順序
マイクロプロセッサを1つ取り付け済み	6, 8-> 1, 3-> 5, 7-> 2, 4
マイクロプロセッサを2つ取り付け済み	6, 8-> 9, 11-> 1, 3-> 14, 16-> 5, 7-> 10, 12-> 2, 4-> 13, 15

メモリー・モジュールの交換

DIMM を取り付けるには、この情報を使用します。

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り付ける前に、以下のステップを実行します。

- v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

- ステップ1. カバーを取り外します(117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
ステップ2. エアー・バッフルを取り外します(120 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照)。
ステップ3. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

注意: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

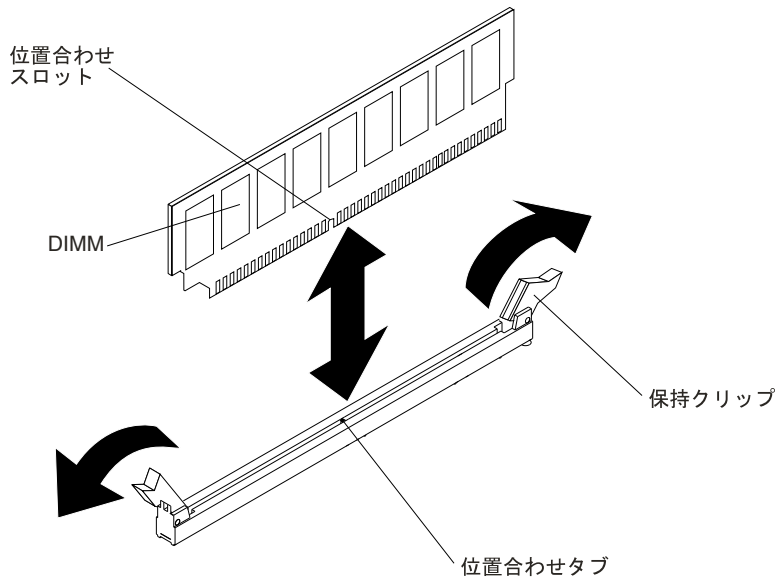


図 86. DIMM の取り付け

- ステップ4. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
- ステップ5. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
- ステップ6. DIMM の両端を DIMM コネクターの両端のスロットに位置合わせして、DIMM をコネクターに挿入します。
- ステップ7. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

- ステップ8. エアー・バッフルを再取り付けします(121 ページの「エアー・バッフルの交換」を参照)。

注: エアー・バッフルを交換する前に、DIMM の取り付けられていないスロットも含め、すべての保持クリップを閉じてください。

- ステップ9. カバーを取り付け直します(119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートの取り外し

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り外すには、この情報を使用します。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り外すには、以下のステップを実行してください。

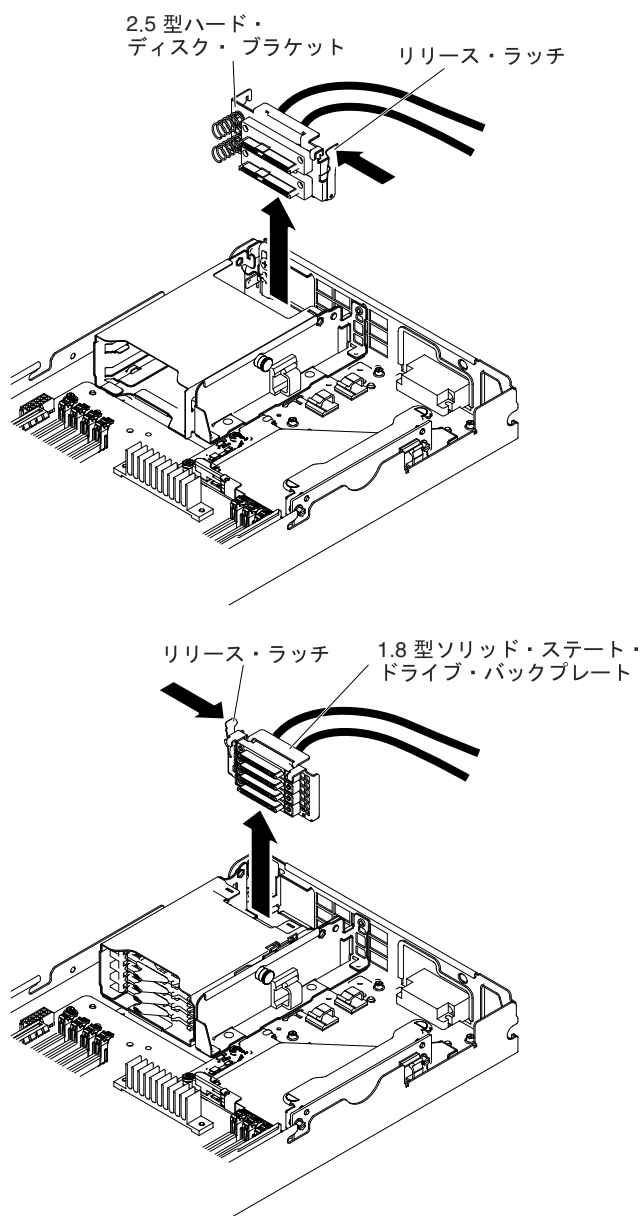


図 87. 2.5 型および 1.8 型それぞれにおける HDD バックプレートの取り外し

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. ハードディスク・ドライブを取り外します (168 ページの「ドライブの取り外しと取り付け」を参照)。
- ステップ 3. イージー・スワップ・ハードディスク・ドライブのラッチを解除して、(ドライブまたはフィルターを外せるようになるまで) わずかに外側に引き出します。
- ステップ 4. プレーナーまたは RAID アダプターからケーブルを取り外します。
- ステップ 5. リリース・ラッチを解除し、ハードディスク・ドライブ・バックプレートを持ち上げて取り外します。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートの取り付け

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り付けるには、この情報を使用します。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り付けるには、次のステップを実行してください。

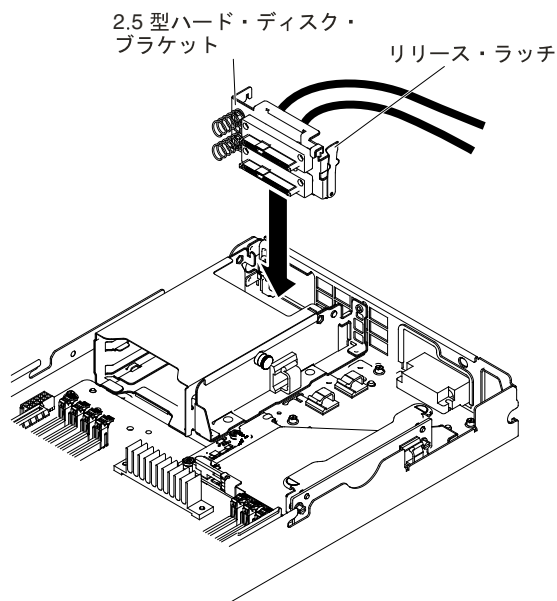


図 88. 2.5 型のバックプレートの取り付け

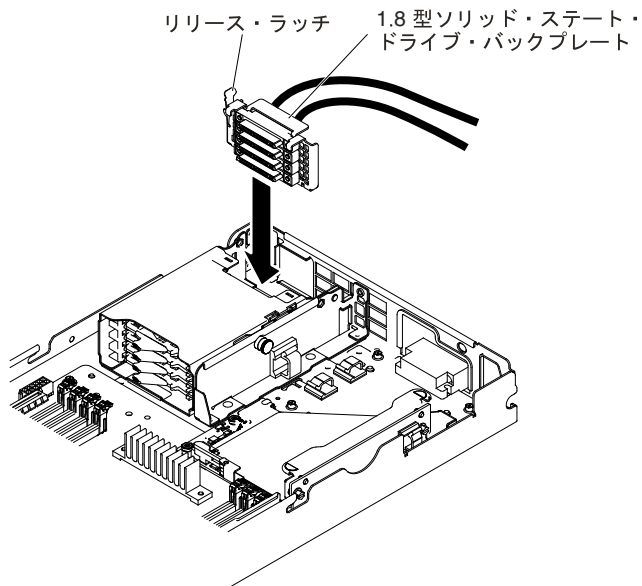


図 89. 1.8 型のバックプレートの取り付け

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. ハードディスク・ドライブを取り外します (168 ページの「ドライブの取り外しと取り付け」を参照)。
- ステップ 3. バックプレートとハードディスク・ドライブ・ケースの位置を合わせ、バックプレートを所定の位置に押し込みます。
- ステップ 4. リリース・ラッチを閉じます。
- ステップ 5. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをプレーナー・コネクタまたは RAID アダプターに接続します。
- ステップ 6. ハードディスク・ドライブをベイの中にスライドさせて入れ、コネクタにしっかり装着します。
- ステップ 7. 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの場合は、リリース・レバーを閉じて、ハードディスク・ドライブを所定の位置にロックします。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

ドライブの取り外しと取り付け

ドライブの取り外しと取り付けを行うには、この情報を使用します。

以下の注記には、このサーバーがサポートするハードディスク・ドライブのタイプと、ハードディスク・ドライブの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされているハードディスク・ドライブのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハードディスク・ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。

- ドライブに付属の説明書で指定されたすべてのケーブルと他の装置が揃っているかどうかを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判断してください。SAS または SATA ハードディスク・ドライブを取り付けている場合、そのデバイスの SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- 計算ノードは、最大2個の2.5型ホット・スワップSFF、1個の3.5型、2個の2.5型、イージー・スワップSAS または SATA ハードディスク・ドライブ、または4個の1.8型ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。
- サーバーでサポートされているオプション・デバイスの完全なリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。

3.5 型ハードディスク・ドライブの取り外し

以下の情報を使用して、3.5 型 SAS/SATA ハードディスク・ドライブを取り外します。

3.5 型 SAS/SATA ハードディスク・ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
- ステップ 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- ステップ 4. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. リリース・ラッチを押し下げます。
- ステップ 6. ハードディスク・ドライブを外側に押し、持ち上げてベイから外します。

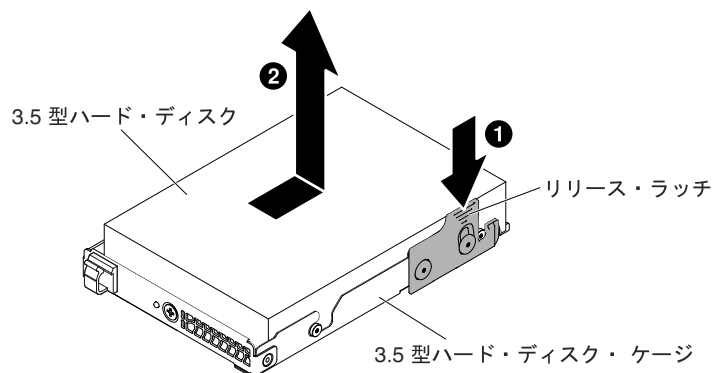


図 90. 3.5 型ハードディスク・ドライブの取り外し

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

3.5 型ハードディスク・ドライブの取り付け

以下の情報を使用して、3.5 型 SAS/SATA ハードディスク・ドライブを取り付けます。

3.5 型ハードディスク・ドライブを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷の形跡がないか調べます。

- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィルター・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

3.5 型 SAS/SATA ハードディスク・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
- ステップ 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- ステップ 4. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. ディスク・ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからディスク・ドライブを取り出して、帯電防止面に置きます。
- ステップ 6. ドライブをベイのガイド・レールに位置合わせし、ドライブ・アセンブリーが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

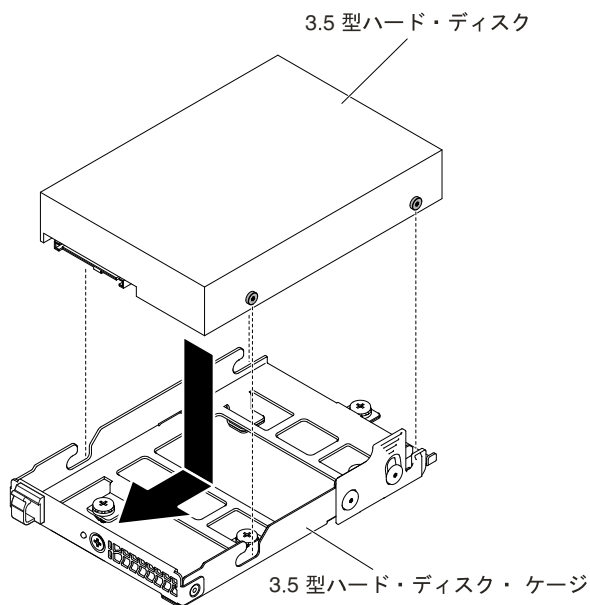


図 91. 3.5 型ハードディスク・ドライブの取り付け

- ステップ 7. ハードディスク・ドライブ状況インジケータをチェックして、ハードディスク・ドライブが正しく稼働していることを確認します。故障したハードディスク・ドライブを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED はゆっくり点滅し、緑色の活動 LED は再構築プロセス中は点灯しています。黄色の LED が点灯し続ける場合、67 ページの「ハードディスク・ドライブの問題」で詳細を参照してください。

注：ハードディスク・ドライブを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要がある場合があります。RAID アダプターについて詳しくは、Lenovo Web サイト (<http://support.lenovo.com/>) の RAID 資料を参照してください。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

2.5 型ハードディスク・ドライブの取り外し

以下の情報を使用して、2.5 型ハードディスク・ドライブを取り外します。

注意：サーバーの電源がオンになっているときにサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止するおそれがあり、それによってデータが失われる可能性があります。このような問題が起きないように、電源をオンにしたサーバー内部の作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の静電気防止対策を採用してください。

2.5 型ハードディスク・ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
- ステップ 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- ステップ 4. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

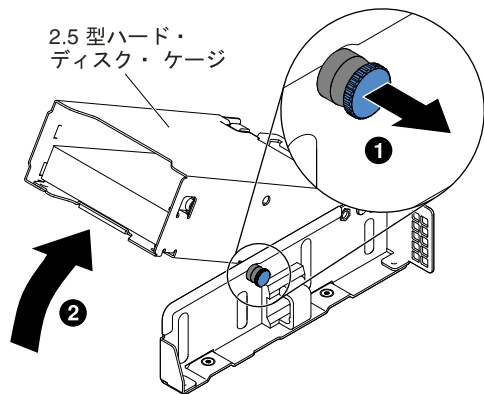


図 92. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・ケージを持ち上げる

- ステップ 6. このラッチを慎重に外側に少し押して、ねじをラッチ・ホールから解放します。次に、ハードディスク・ドライブを取り外します。

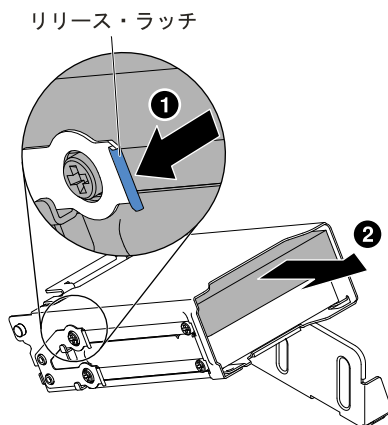


図 93. 2.5 型ハードディスク・ドライブの取り外し

ステップ 7. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

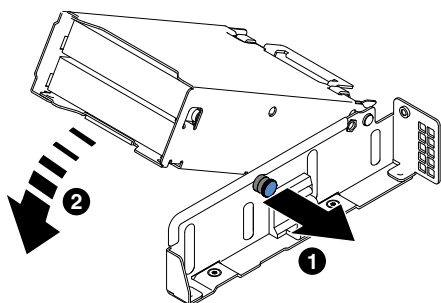


図 94. 2.5 型ハードディスク・ドライブを下げる

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

2.5 型ハードディスク・ドライブの取り付け

以下の情報を使用して、2.5 型ハードディスク・ドライブを取り付けます。

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハードディスク・ドライブのタイプ、およびハードディスク・ドライブを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 計算ノードはそのモデルに応じて、ベイ内に最大 2 個の 2.5 型 SAS/SATA ハードディスク・ドライブをサポートします。
- サーバーでサポートされているオプションのデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを調べて、損傷が発生した形跡がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハードディスク・ドライブの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット定格速度でなければなりません。異なる定格速度のドライブを使用した場合、すべてのドライブが最低のスループット速度で作動することがあります。

- ケーブルの取り付けまたは取り外しを含む手順を実行する場合、計算ノードの電源をオフにする必要があります。

注意：サーバーの電源がオンになっているときにサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止するおそれがあり、それによってデータが失われる可能性があります。このような問題が起きないように、電源をオンにしたサーバー内部の作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の静電気防止対策を採用してください。

2.5 型ハードディスク・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
- ステップ 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- ステップ 4. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・ケースのプランジャーを外側に引き、ケースを上側に回転させます。

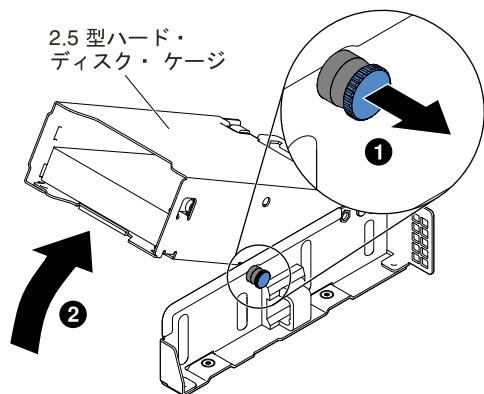


図 95. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・ケースを持ち上げる

- ステップ 6. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
- ステップ 7. ドライブをハードディスク・ドライブ・ケースのベイに位置合わせし、ドライブが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

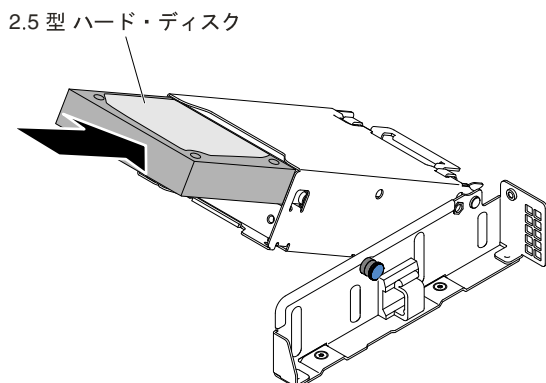


図96. 2.5 型ハードディスク・ドライブの取り付け

ステップ 8. 2.5 型ハードディスク・ドライブ・ケースのプランジャーを外側に引き、ケースがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケースを下側に回転させます。

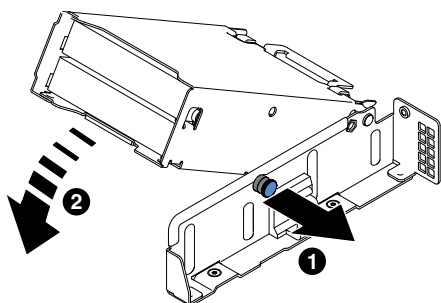


図97. 2.5 型ハードディスク・ドライブを下げる

注：

1. ハードディスク・ドライブを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハードディスク・ドライブが正常に動作していることを確認します。黄色のハードディスク・ドライブ状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。
2. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ハードディスク・ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*Lenovo ServeRAID Support CD* に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

1.8 型ハードディスク・ドライブの取り外し

以下の情報を使用して、1.8 型ハードディスク・ドライブを取り外します。

注意：サーバーの電源がオンになっているときにサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止するおそれがあり、それによってデータが失われる可能性があります。このような問題が起きないように、電源をオンにしたサーバー内部の作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の静電気防止対策を採用してください。

1.8 型ハードディスク・ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
- ステップ 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- ステップ 4. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケースのプランジャーを外側に引き、ケースを上側に回転させます。

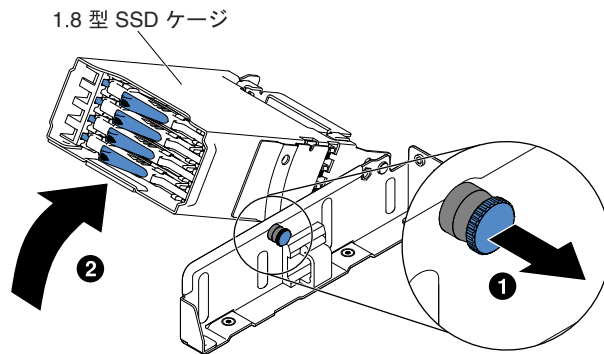


図 98. 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケースを持ち上げる

ステップ 6. リリース・ラッチを外側に押し、ドライブ・ハンドルを解放します。

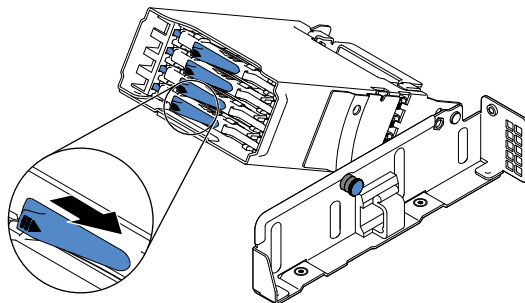


図 99. 1.8 型ハードディスク・ドライブの取り外し

ステップ 7. ドライブ・ハンドルのラッチを解除します。

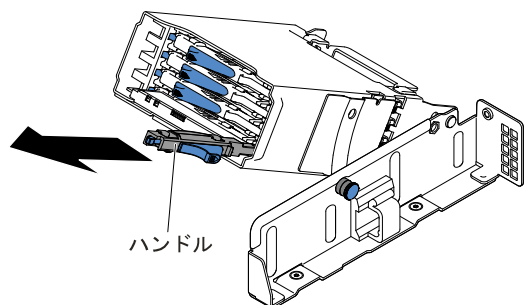


図 100. 1.8 型ハードディスク・ドライブの取り外し

ステップ 8. 次に、ドライブ・ベイからドライブを引き抜きます。

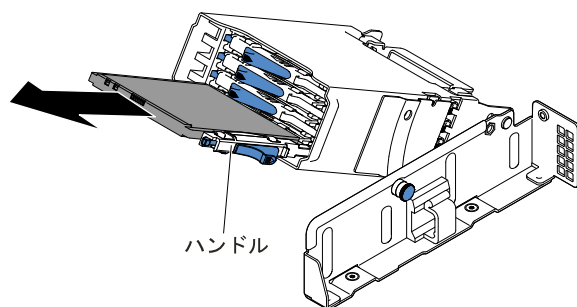


図 101. 1.8 型ハードディスク・ドライブの取り外し

ステップ 9. ケージ・ハンドルを所定の位置まで閉じます。

ステップ 10. 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

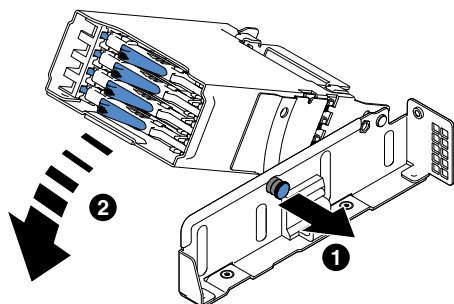


図 102. 1.8 型ハードディスク・ドライブを下げる

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

1.8 型ハードディスク・ドライブの取り付け

以下の情報を使用して、1.8 型ハードディスク・ドライブを取り付けます。

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハードディスク・ドライブのタイプ、およびハードディスク・ドライブを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 計算ノードはそのモデルに応じて、ベイ内で最大4個の1.8型 SAS/SATA ハードディスク・ドライブをサポートします。
- サーバーでサポートされているオプションのデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを調べて、損傷が発生した形跡がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハードディスク・ドライブの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット定格速度でなければなりません。異なる定格速度のドライブを使用した場合、すべてのドライブが最低のスループット速度で作動することがあります。
- ケーブルの取り付けまたは取り外しを含む手順を実行する場合、計算ノードの電源をオフにする必要があります。

注意：サーバーの電源がオンになっているときにサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止するおそれがあり、それによってデータが失われる可能性があります。このような問題が起きないように、電源をオンにしたサーバー内部の作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の静電気防止対策を採用してください。

1.8 型ハードディスク・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については 108 ページの「 」を参照)。
- ステップ 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- ステップ 4. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

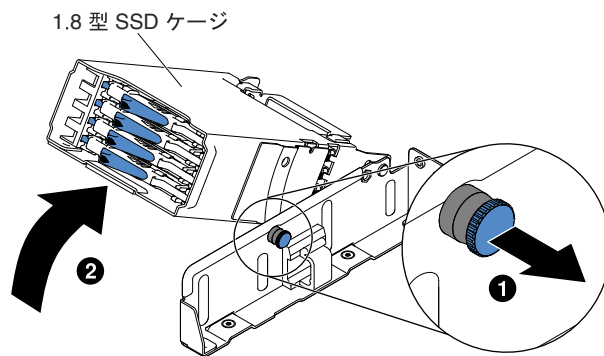


図 103. 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケージを持ち上げる

- ステップ 6. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
- ステップ 7. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
- ステップ 8. トレイ・ハンドルが開いていることを確認し、ドライブが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

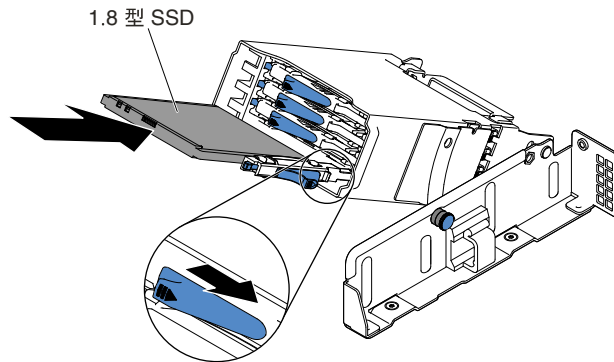


図 104. 1.8 型ハードディスク・ドライブの取り付け

ステップ 9. 1.8 型ハードディスク・ドライブ・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

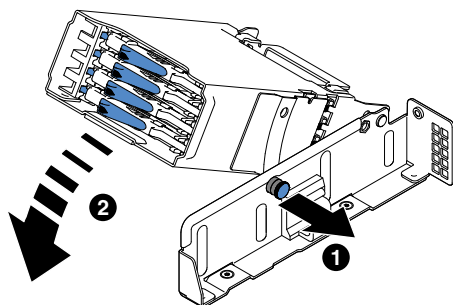


図 105. 1.8 型ハードディスク・ドライブを下げる

注：

1. ハードディスク・ドライブを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハードディスク・ドライブが正常に動作していることを確認します。黄色のハードディスク・ドライブ状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。
2. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ハードディスク・ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*Lenovo ServeRAID Support CD* に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

ハードディスク・ドライブ・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. ML2 ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの前部 ML2 ライザー・ケージの適切な場所をつかみます。親指で計算ノードの左側のベゼル (小さい四角の面) を押し下げ、システム・ボードの ML2 ライザー・ケージ・スロットから持ち上げて取り外します。

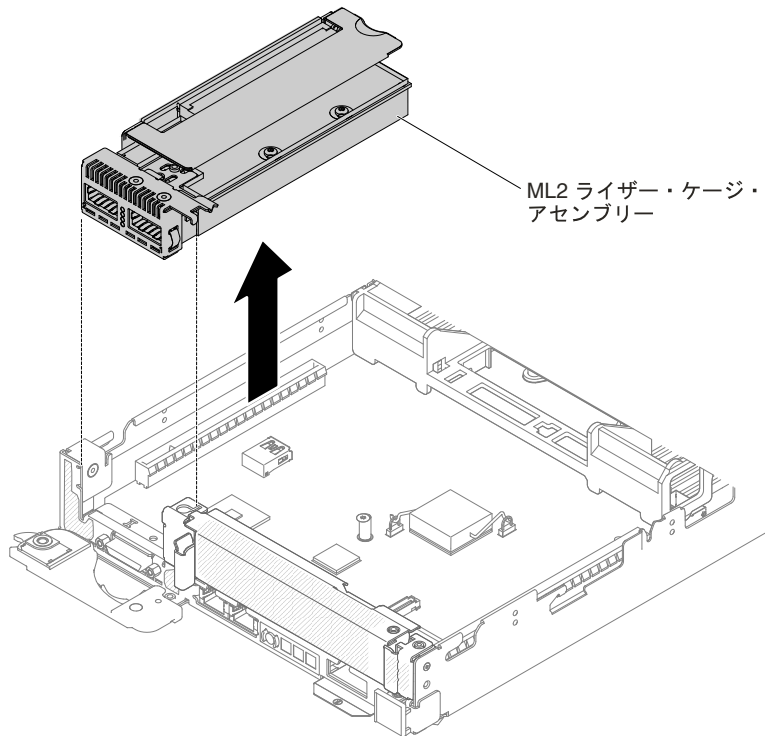


図 106. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

- ステップ 3. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
- ステップ 4. アダプターがある場合は、それを ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーから取り外します (188 ページの「アダプター/GPU アダプターの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. アダプターと ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを脇に置いておきます。
- ステップ 6. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注：16 個すべての DIMM スロットに、DIMM または DIMM フィラーを取り付ける必要があります。

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します(117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. ML2 フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それをサーバー前面から取り外します。
- ステップ 3. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを、システム・ボードにある ML2 ライザー・コネクタと位置合わせしてから、ML2 ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの前部の適切な場所をつかみます。
- ステップ 4. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボードのコネクタに正しく収まるまで、しっかりと押し下げます。

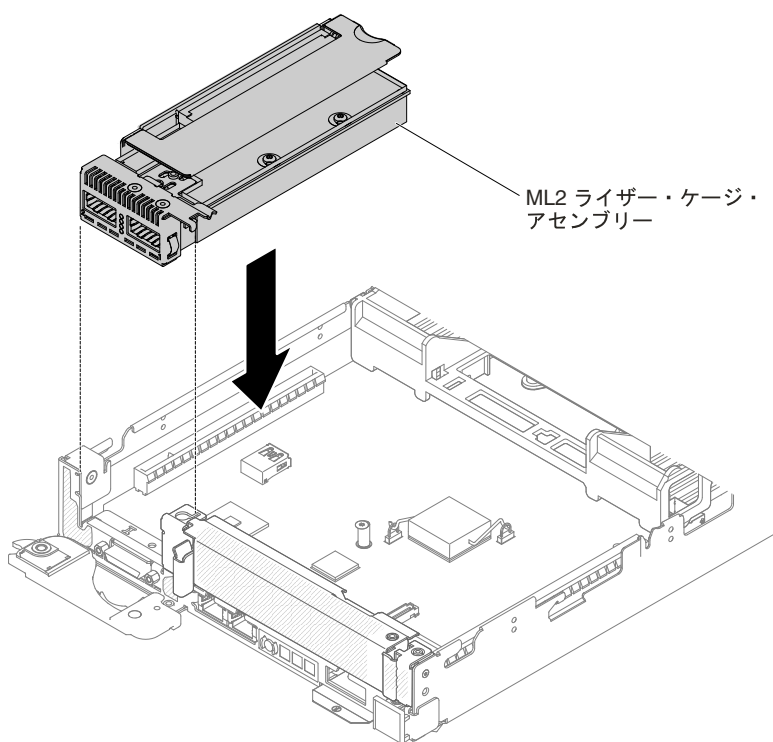


図 107. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

- ステップ 5. カバーを取り付け直します(119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ 6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
- ステップ 7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注：アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部 PCI ライザー・ケージの適切な場所をつかみます。親指で計算ノードの右側のベゼル (小さい四角の面) を押し下げ、持ち上げてシステム・ボードの PCI ライザー・ケージ・スロットから出します。

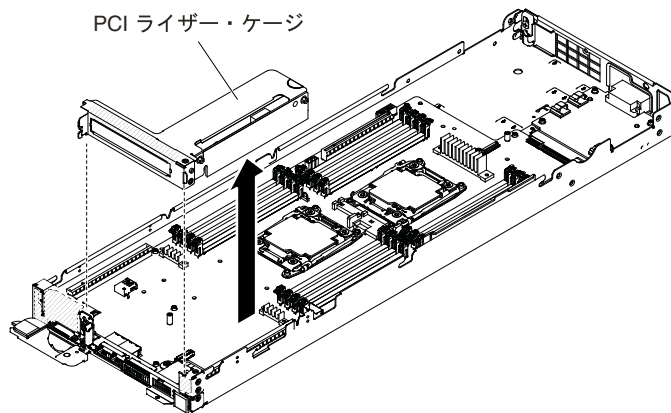


図 108. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

- ステップ 3. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
- ステップ 4. アダプターがある場合は、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから取り外します (188 ページの「アダプター/GPU アダプターの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. アダプターと PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを脇に置いておきます。
- ステップ 6. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注：

1. アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。
2. 16 個すべての DIMM スロットに、DIMM または DIMM フィラーを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. PCI フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それをサーバー前面から取り外します。
- ステップ 3. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを、システム・ボードにある PCI ライザー・コネクタと位置合わせしてから、PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部の適切な場所をつかみます。
- ステップ 4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボードのコネクタに正しく収まるまで、しっかりと押し下げます。

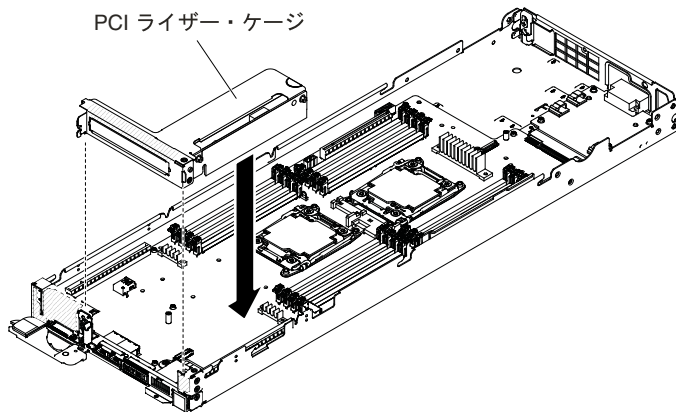


図 109. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

- ステップ 5. カバーを取り付け直します (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ 6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
- ステップ 7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

GPU トレイからの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを GPU トレイから取り外す前に、以下の手順を実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注： GPU アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

GPU トレイから PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外すには、以下の手順を実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部 PCI ライザー・ケージの適切な場所をつかみます。親指で GPU トレイの右側のベゼル (小さい四角の面) を押し下げ、PCI ライザー・ケージから持ち上げて GPU トレイから出します。

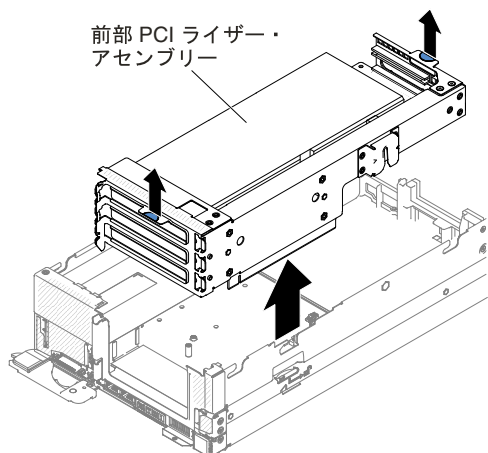


図 110. 前部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

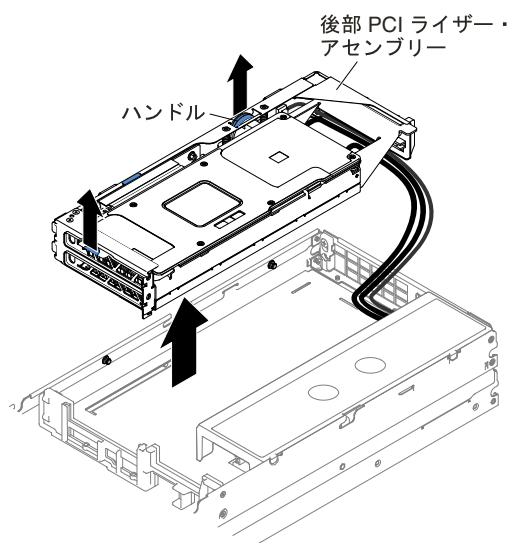


図 111. 後部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

- ステップ 3. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーに GPU アダプターが取り付けられている場合は、そのアダプターに接続されているケーブルをすべて切り離します。
- ステップ 4. GPU アダプターがある場合は、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから取り外します (188 ページの「アダプター/GPU アダプターの取り外し」を参照)。
- ステップ 5. GPU アダプターと PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを脇に置いておきます。
- ステップ 6. GPU トレイを計算ノードから取り外します (113 ページの「計算ノードからの GPU トレイの取り外し」を参照)。
- ステップ 7. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

GPU トレイへの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの交換

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを GPU トレイに取り付ける前に、以下の手順を実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注：GPU アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを GPU トレイに取り付けるには、以下の手順を実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します(117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. 新しい PCI ライザー・ケージ・アセンブリーに GPU アダプターを取り付けます(191 ページの「アダプター/GPU アダプターの再取り付け」を参照)。
- ステップ 3. PCI フィラー・パネル(取り付けられている場合)をサーバーから取り外します。
- ステップ 4. GPU トレイを計算ノードに再び取り付けます(114 ページの「GPU トレイの計算ノードへの取り付け」を参照)。
- ステップ 5. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを、GPU トレイにある PCI ライザー・コネクターと位置合わせしてから、PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部の適切な場所をつかみます。
- ステップ 6. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボードのコネクターに正しく収まるまで、しっかりと押し下げます。

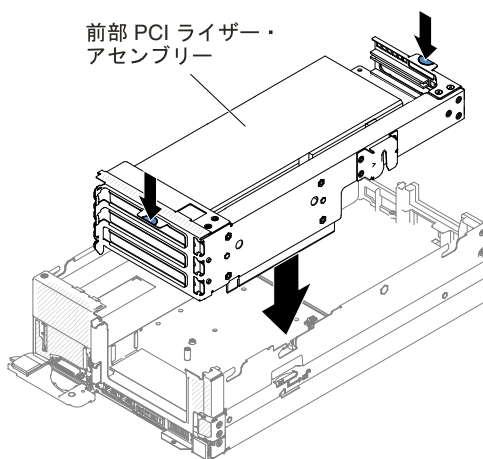


図 112. 前部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

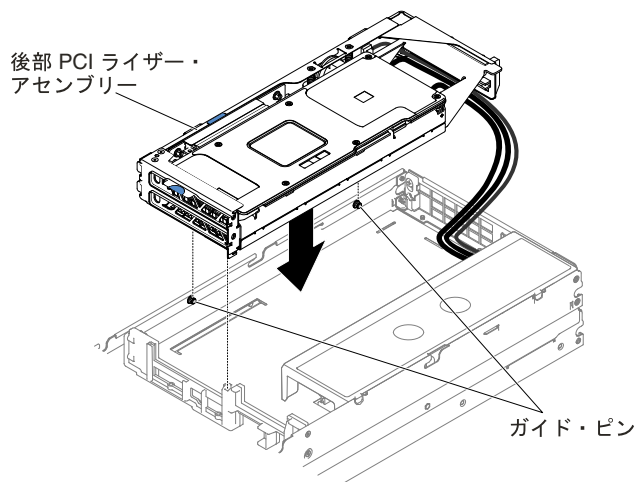


図 113. 後部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

- ステップ 7. カバーを取り付け直します (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ 8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
- ステップ 9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

2U GPU トレイからの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを 2U GPU トレイから取り外す前に、以下の手順を実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注： GPU アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

2U GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外すには、以下の手順を実行します。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. PCI ライザー・アセンブリーからリリース・ハンドルを引き上げます。
- ステップ 3. PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部 PCI ライザー・ケージの適切な場所をつかみます。親指で 2U GPU トレイの右側のベゼル (小さい四角の面) を押し下げ、PCI ライザー・ケージから持ち上げて 2U GPU トレイから出します。

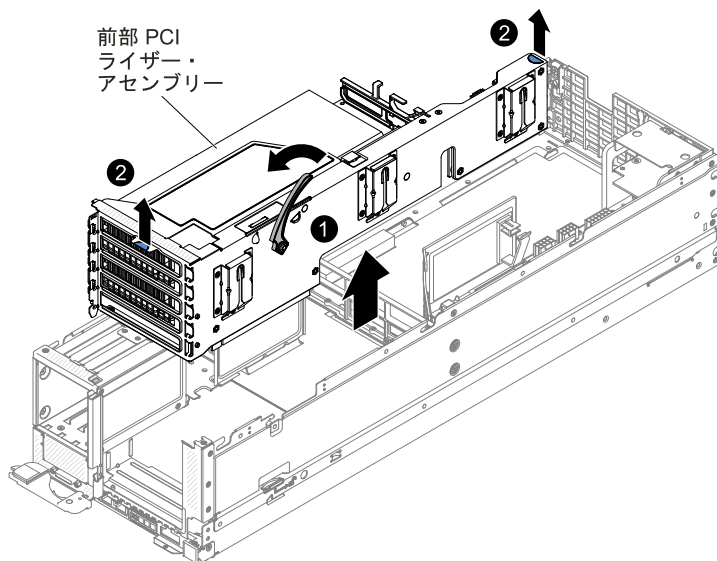


図 114. 前部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

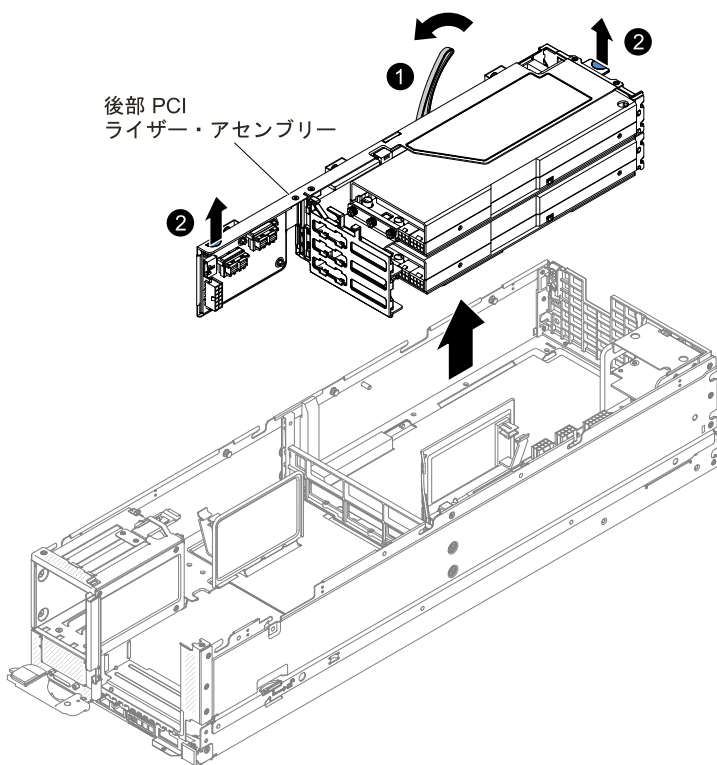


図 115. 後部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

ステップ 4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーに GPU アダプターが取り付けられている場合は、そのアダプターに接続されているケーブルをすべて切り離します。

ステップ 5. GPU アダプターがある場合は、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから取り外します (188 ページの「アダプター/GPU アダプターの取り外し」を参照)。

- ステップ6. GPUアダプターとPCIライザー・ケージ・アセンブリーを脇に置いておきます。
- ステップ7. 2U GPUトレイを計算ノードから取り外します(115ページの「計算ノードからの2U GPUトレイの取り外し」を参照)。
- ステップ8. PCIライザー・ケージ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

2U GPUトレイのPCIライザー・ケージ・アセンブリーの交換

PCIライザー・ケージ・アセンブリーを2U GPUトレイに取り付ける前に、以下の手順を実行します。

1. vページの「安全について」および105ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

注：GPUアダプターを取り付けない場合でも、PCIライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCIライザー・ケージ・アセンブリーをGPUトレイに取り付けるには、以下の手順を実行します。

- ステップ1. カバーを取り外します(117ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ2. 新しいPCIライザー・ケージ・アセンブリーにGPUアダプターを取り付けます(191ページの「アダプター/GPUアダプターの再取り付け」を参照)。
- ステップ3. PCIフィルター・パネル(取り付けられている場合)をサーバーから取り外します。
- ステップ4. 2U GPUトレイを計算ノードに再び取り付けます(114ページの「GPUトレイの計算ノードへの取り付け」を参照)。
- ステップ5. PCIライザー・ケージ・アセンブリーを、2U GPUトレイにあるPCIライザー・コネクタと位置合わせしてから、PCIライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、およびPCIライザー・ケージ・アセンブリーの前部の適切な場所をつかみます。
- ステップ6. PCIライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボードのコネクタに正しく収まるまで、しっかりと押し下げます。

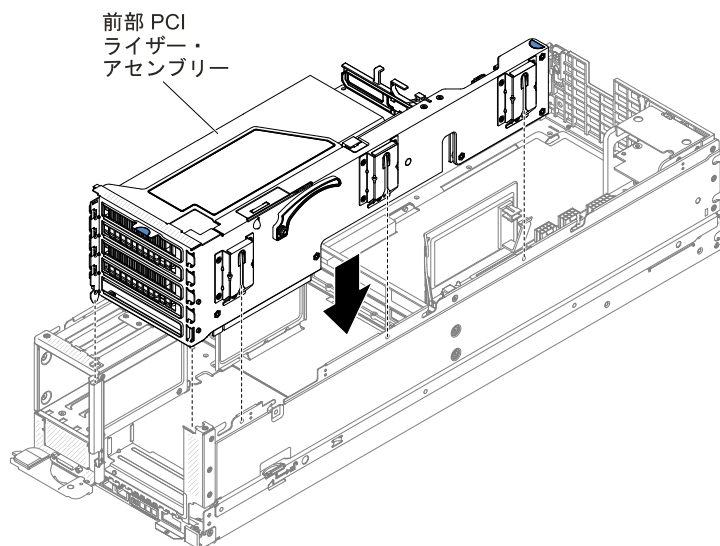


図116. 前部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

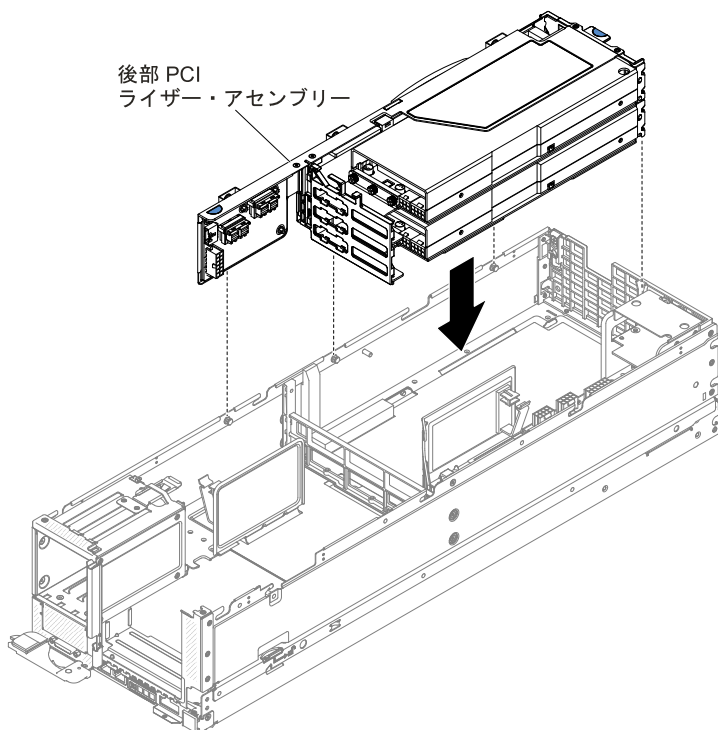


図 117. 後部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

ステップ 7. カバーを取り付け直します (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ 8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

ステップ 9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

アダプター/GPU アダプターの取り外し

アダプター/GPU アダプターを取り外すには、以下の情報を使用します。

アダプター/GPU アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

アダプター/GPU アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーをサーバーから取り外します (180 ページの「PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」、182 ページの「GPU トレイからの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」、または 185 ページの「2U GPU トレイからの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」を参照)。

ステップ 3. アダプター/GPU アダプターからケーブルをすべて切り離します。

ステップ 4. 平らな帯電防止面の上に PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを置きます。

ステップ 5. アダプター/GPU アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから引き抜きます。

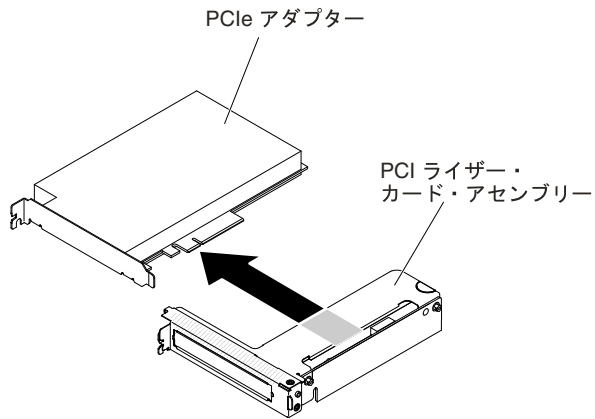


図 118. アダプターの取り外し

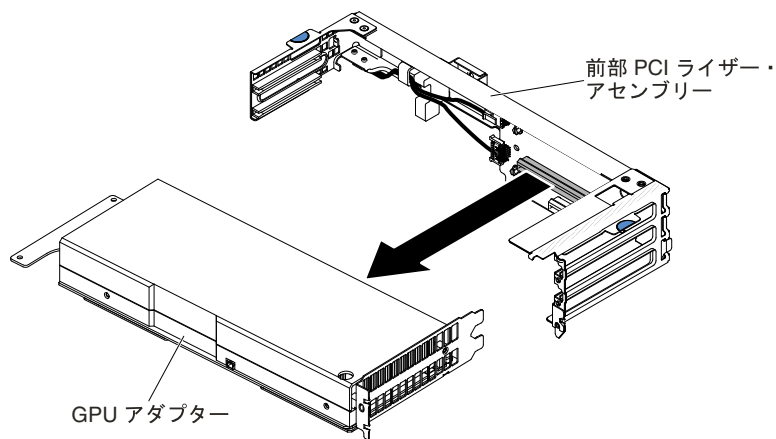


図 119. GPU アダプターの取り外し (前部 PCI ライザー・アセンブリー)

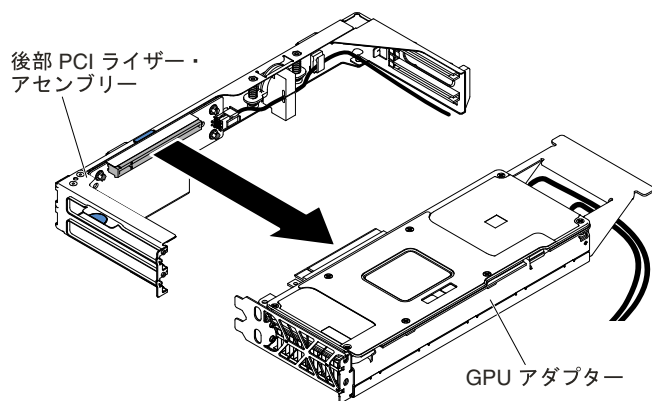
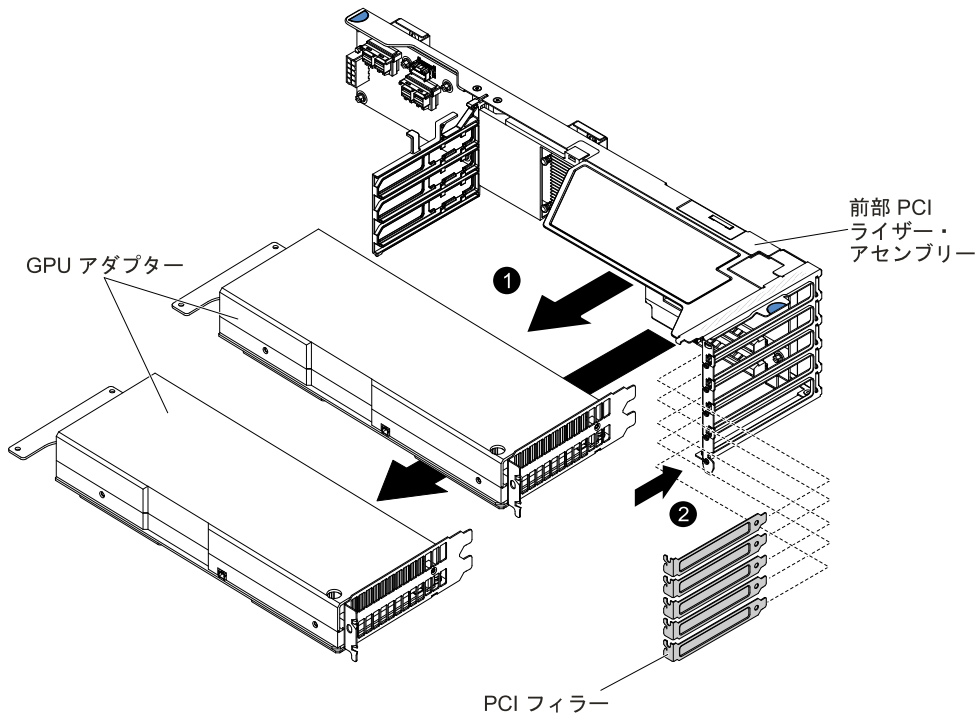
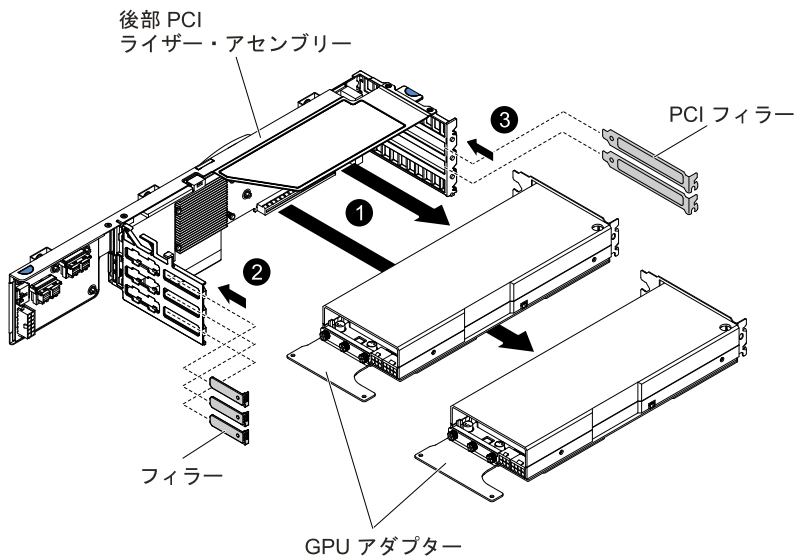


図 120. GPU アダプターの取り外し (後部 PCI ライザー・アセンブリー)



注： GPU アダプターを前部 PCI ライザー・アセンブリーから取り付けた後に、PCI フィラーおよびフィラーを取り付けます。

図 121. GPU アダプターの取り外し (2U GPU トレイの前部 PCI ライザー・アセンブリー)



注： GPU アダプターを後部 PCI ライザー・アセンブリーから取り付けた後に、PCI フィラーおよびフィラーを取り付けます。

図 122. GPU アダプターの取り外し (2U GPU トレイの後部 PCI ライザー・アセンブリー)

アダプター/GPU アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法のすべての説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプター/GPU アダプターの再取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

アダプター/GPU アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
 2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します(手順については108 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- このセクションの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
 - 構成情報については、ServeRAID 資料 (<http://support.lenovo.com/>) を参照してください。
 - どの PCI アダプターを取り付ける場合も、PCI Express ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外す前に、電源から電源コードを切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。

アダプター/GPU アダプターを取り付けるには、以下の手順を実行します。

注：アダプターが既に構成されている場合は、可能な場合はアダプターを交換する前に構成情報をバックアップまたは記録します。詳しい手順については、ご使用のアダプターの資料を参照してください。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. アダプター/GPU アダプターに付属している配線指示書があれば、その指示に従います。アダプター/GPU アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
- ステップ 3. アダプター/GPU アダプター上のエッジ・コネクタと PCI ライザー・ケージ・アセンブリーのコネクタとを位置合わせして、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプター/GPU アダプターを挿入します。コネクタの端を、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプター/GPU アダプターが PCI ライザー・ケージ・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかりと収まったか確認してください。

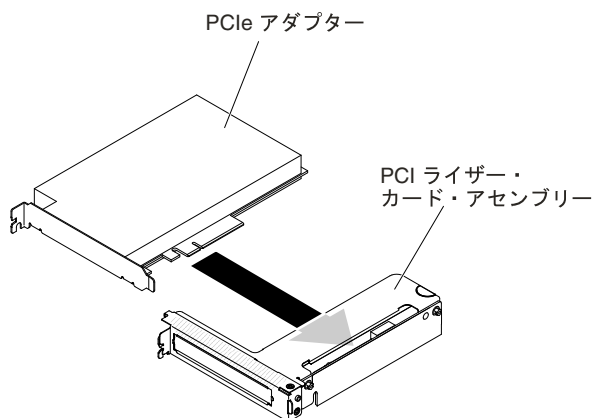


図 123. アダプターの取り付け

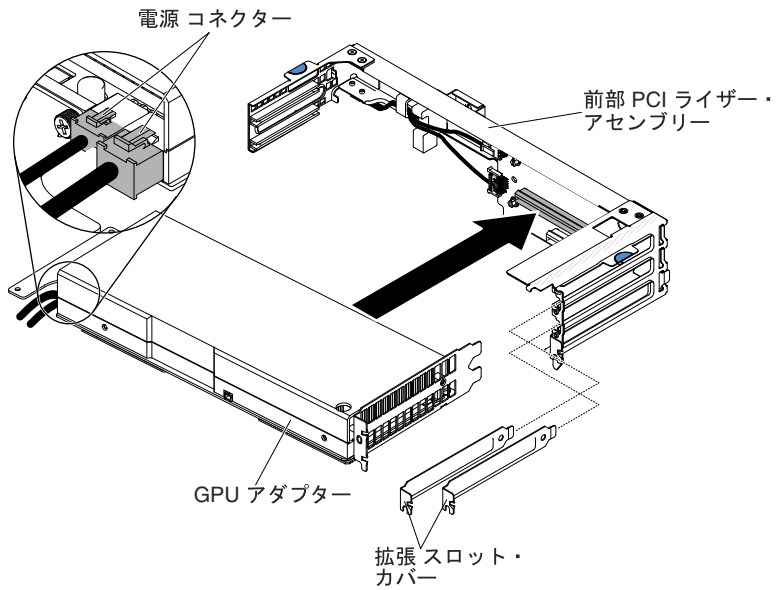


図 124. GPU アダプターの取り付け (前部 PCI ライザー・アセンブリー)

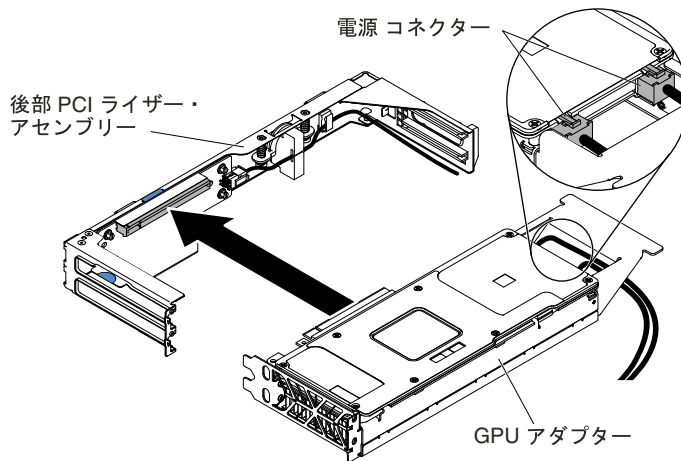
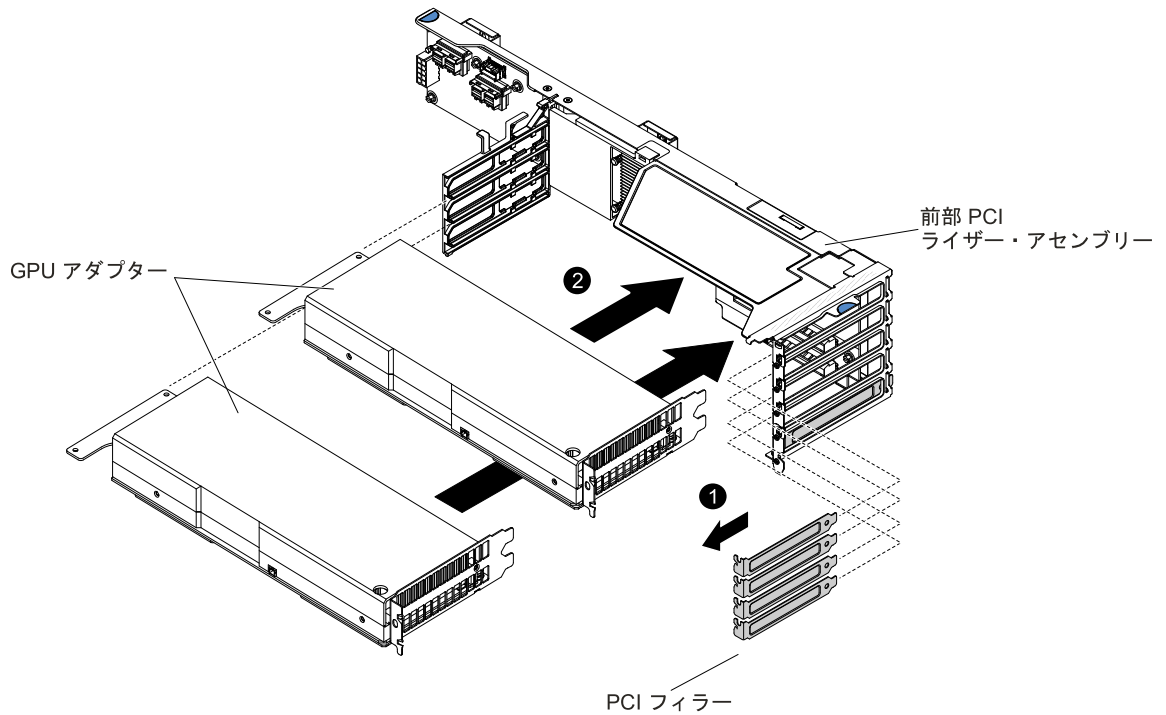
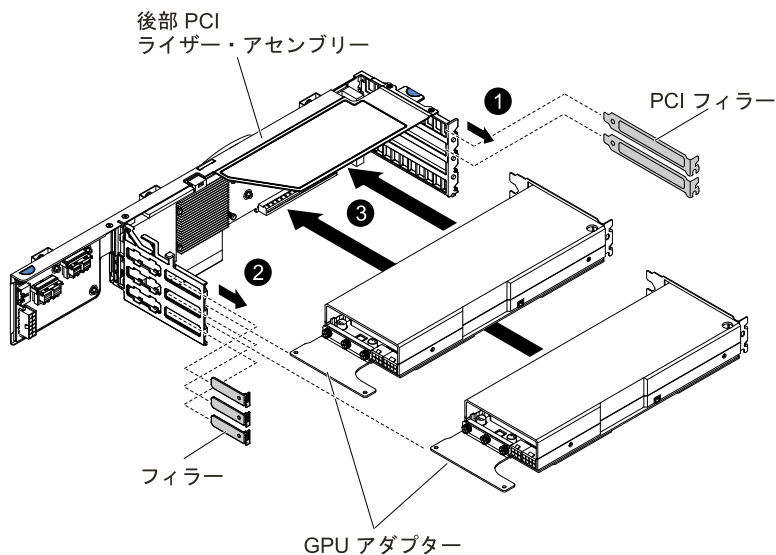


図 125. GPU アダプターの取り付け (後部 PCI ライザー・アセンブリー)



注： GPU アダプターを前部 PCI ライザー・アセンブリーに取り付ける前に、PCI フィラーおよびフィラーを取り外します。

図 126. GPU アダプターの取り付け (2U GPU トレイの前部 PCI ライザー・アセンブリー)



注： GPU アダプターを後部 PCI ライザー・アセンブリーに取り付ける前に、PCI フィラーおよびフィラーを取り外します。

図 127. GPU アダプターの取り付け (2U GPU トレイの後部 PCI ライザー・アセンブリー)

注意： アダプター/GPU アセンブリーの取り付け時に、アダプター/GPU アダプターがライザー・ケージ・アセンブリーに正しく収まっていること、およびライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・ケージ・コネクタにしっかり取り付けられている

ることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプター/GPU アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、ライザー・ケージ・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

- ステップ 4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーをサーバー内に取り付けます (181 ページの「PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け」、183 ページの「GPU トレイへの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの交換」、または 187 ページの「2U GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの交換」を参照)。
- ステップ 5. 新しく取り付けたアダプター/GPU アダプターがある場合は、ケーブルを接続します。
- ステップ 6. アダプター/GPU アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
- ステップ 7. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
- ステップ 8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
- ステップ 9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

2U GPU トレイの GPU アダプターの取り付け順序

追加の GPU アダプターを 2U GPU トレイに取り付ける場合は、システムのパフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順に取り付けてください。

注：2U GPU トレイには同じタイプの GPU アダプターのみを使用します。

表 14. 2U GPU トレイの GPU アダプターの取り付け順序

取り付けられている GPU アダプターの数量	GPU アダプター装着順序
最初に取り付ける GPU アダプター	スロット 2
2 番目に取り付ける GPU アダプター	スロット 3
3 番目に取り付ける GPU アダプター	スロット 4
4 番目に取り付ける GPU アダプター	スロット 5

nVidia Grid K2 GPU アダプターを取り付ける場合は、次の表に示されている順序で取り付けてください。

表 15. 2U GPU トレイに nVidia Grid K2 GPU アダプターを取り付ける場合の GPU アダプター取り付け順序

取り付けられている GPU アダプターの数量	GPU アダプター装着順序
最初に取り付ける GPU アダプター	スロット 3
2 番目に取り付ける GPU アダプター	スロット 4
3 番目に取り付ける GPU アダプター	スロット 2
4 番目に取り付ける GPU アダプター	スロット 5

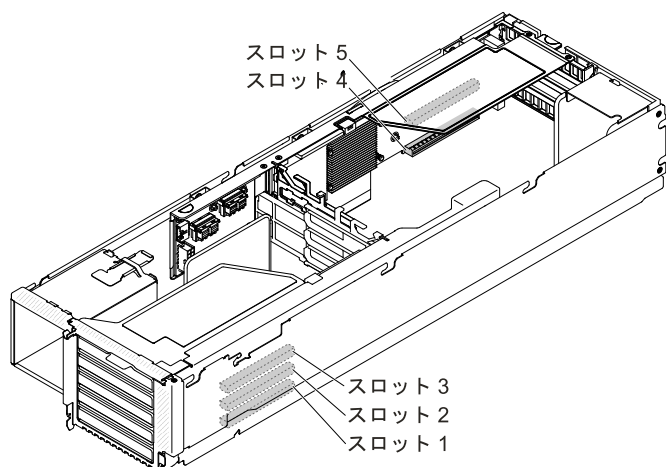


図 128. 2U GPU トレイの GPU スロット

2U GPU トレイの GPU 構成

次の表は、2U GPU トレイの GPU 構成を示しています。

注：2U GPU トレイには同じタイプの GPU アダプターのみを使用します。

表 16. 2U GPU トレイ S の GPU 構成: サポート

GPU 数量	Intel 7120p (300W)				nVidia K80 (300W)				nVidia K40 (235W)				nVidia K2 (225W)			
	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
周囲 (°C)	25		30		27		30		30		30		30		30	
高度 (メートル)	900		900		900		900		900		900		900		900	
前面 HDD の厚み (mm)	9 mm 以下		15 mm 以下		9 mm 以下		15 mm 以下		15 mm 以下		15 mm 以下		15 mm 以下		15 mm 以下	
2つのマイクロプロセッサで GPU - GPU トラフィック最適化モード無効	S		S		S		S		S		S		S		S	
2つのマイクロプロセッサで GPU - GPU トラフィック最適化モード有効	いいえ		S		いいえ		S		S		S		いいえ		S	
1つのマイクロプロセッサで GPU - GPU トラフィック最適化モード有効	いいえ		S		いいえ		S		S		S		S		S	

2U GPU トレイには、2つのオプションがサポートされています。オプションは、マイクロプロセッサ 2 つおよび 2U GPU トレイが取り付けられている場合にのみ使用できます。

- GPU - GPU トラフィック最適化モードの有効化

このオプションが有効になっている場合、最初のマイクロプロセッサが内部 PCIe ブリッジ・ケーブルを使用して 3 つ以上の GPU アダプターをサポートできます。

- GPU - GPU トラフィック最適化モードの無効化

このオプションが無効になっている場合、両方のマイクロプロセッサが取り付けられているときに、各マイクロプロセッサで2つのGPUアダプターをサポートできます。

注：デフォルトでは、GPU-GPUトラフィック最適化モードは有効になっています。GPU-GPUトラフィック最適化モードを無効にする場合は、PCIeブリッジ・ケーブル (FRU 部品番号については、89ページの第4章「部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード」を参照) を取り外す必要があります。

SD アダプターの取り外し

SD アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

SD アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

SD アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します (180 ページの「PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」を参照)。

ステップ 3. 2 つのねじを緩めます。

ステップ 4. SD アダプターを持ち上げてサーバーから取り出します。

ステップ 5. SD カードを取り外します。

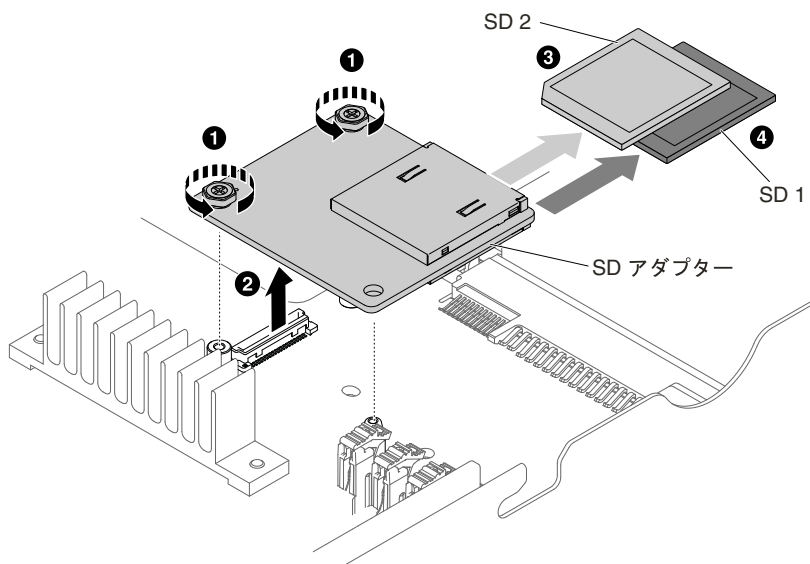


図 129. SD アダプターの取り外し

SD アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用の梱包材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

SD アダプターの交換

以下の情報を使用して、SD アダプターを交換します。

重要：プリロードされた VMware vSphere ESXi ソフトウェアに SD アダプター・オプションが付属している場合は、計算ノードに SD アダプターを取り付ける前に、システム UEFI の構成を変更する必要があります。詳細および手順については、SD アダプターに付属している資料および 31 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。

SD アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

SD アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します (180 ページの「PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し」を参照)。

ステップ 3. SD カードを SD アダプターに挿入します。

ステップ 4. SD アダプターを位置合わせピンおよびコネクタと位置合わせし、しっかりと装着されるまで押し下げます。

ステップ 5. 2 個のねじを締めます。

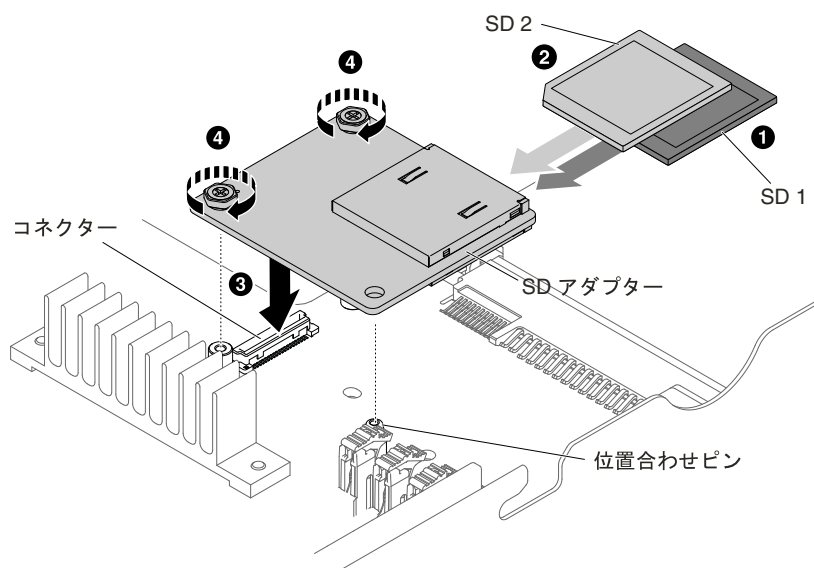


図 130. SD アダプターの取り付け

ステップ 6. SD アダプターの構成方法については、オプションに付属の <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5096845> を参照してください。

ステップ 7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 8. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ 9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

ステップ 10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外すには、この情報を使用します。

システム・ボードから SAS/SATA アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。

注：本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して *SAS/SATA* アダプターまたは *ServeRAID* アダプターと記載することがあります。

システム・ボードから SAS/SATA アダプターを取り外すには、次のステップを実行してください。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. ライザー・ケージの両側にあるタッチ・ポイントをつかみます。次に、計算ノードからライザー・ケージを持ち上げて取り外します。

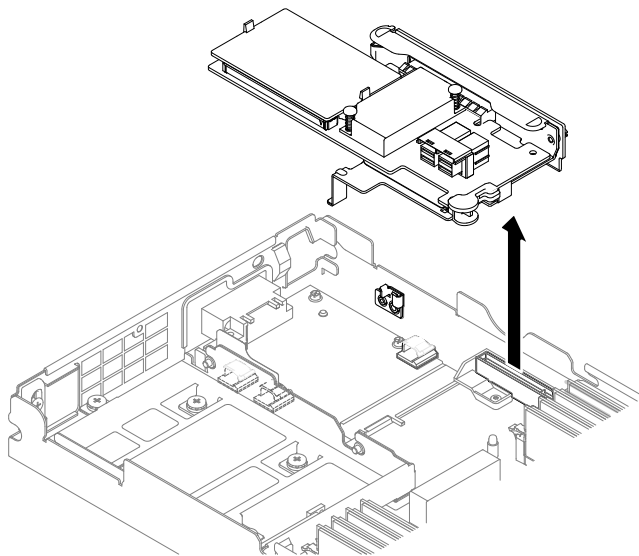


図 131. ServeRAID アダプターの取り外し

ステップ 3. SAS/SATA アダプターのコネクタから信号ケーブルを取り外し、位置をメモします。

ステップ 4. 保持ブラケットを開き、ライザー・ケージから SAS/SATA アダプターを取り外します。

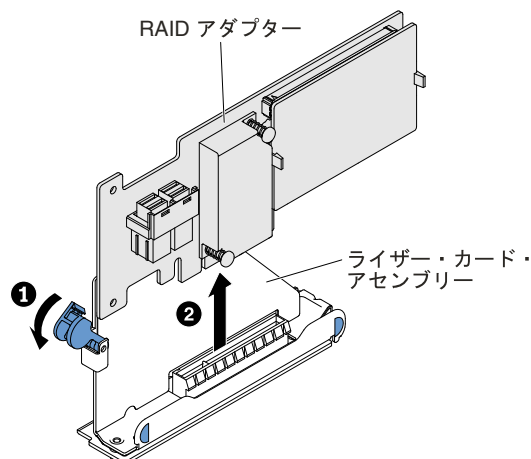


図 132. RAID アダプターの取り外し

SAS/SATA アダプターを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを交換するには、この情報を使用します。

システム・ボードに SAS/SATA アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「シャーシからの計算ノードの取り外し」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

サーバー・モデルによって、サーバーには ServeRAID N2215 または ServeRAID M5225 SAS/SATA アダプターのいずれかが取り付けられた状態で出荷されます。

注： ServeRAID M5225 アダプターをシステム・ボードの専用コネクタに取り付ける前に、付属の PCI ブラケットを取り外してください。

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。

注： 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して *SAS/SATA* アダプターまたは *ServeRAID* アダプターと記載することがあります。

SAS/SATA アダプターをシステム・ボードに取り付けるには、以下のステップを実行します。

注： 可能な場合はアダプターを交換する前に RAID 構成情報をバックアップまたは記録します。詳しい手順については、ご使用の RAID アダプターの資料を参照してください。ServeRAID アダプターの資料は <http://support.lenovo.com/> からダウンロードできます。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. SAS/SATA アダプターを新規に取り付けるまたは交換する場合、新しい SAS/SATA アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新しい SAS/SATA アダプターをパッケージから取り出します。

- ステップ 3. SAS/SATA アダプターをライザー・ケージに取り付け、保持ブラケットを閉じます。SAS/SATA アダプターがコネクタにしっかり収まると、保持ブラケットによってアダプターが所定の位置に固定されます。

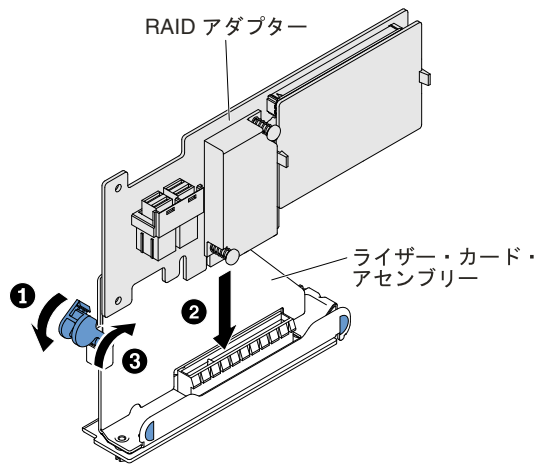


図 133. RAID アダプターの取り付け

- ステップ 4. バックプレーン信号ケーブルの配線を行います (222 ページの「ハードディスク・ドライブと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続」を参照)。
- ステップ 5. 信号ケーブルを SAS/SATA アダプターに接続します。
- ステップ 6. ライザー・カードの金色の接点部分とプレーナー RAID PCI スロットの位置を合わせます。
- ステップ 7. しっかり固定されるまで、アダプター・ライザー・ケージを RAID コネクタに挿入します。

注意：挿入が不完全な場合、サーバーまたはアダプターが損傷を受ける場合があります。

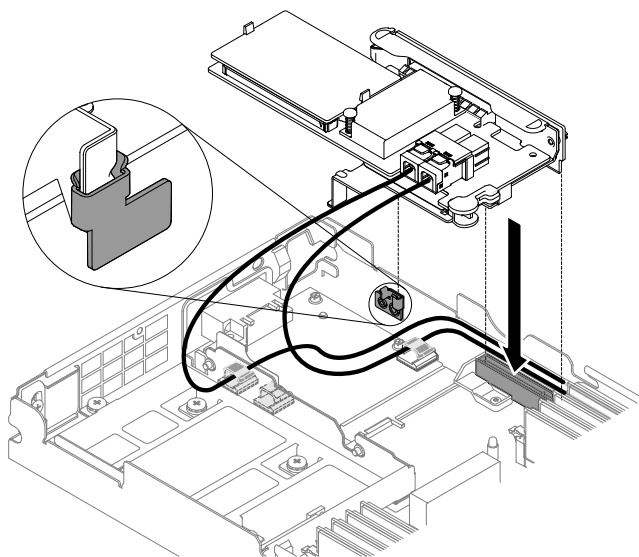


図 134. ServeRAID アダプターの取り付け

注：ServeRAID N2215 アダプターをシステム・ボードの専用コネクタに取り付ける前に、付属の PCI ブラケットを取り外してください。

ステップ 8. 取り外したすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 9. カバーを再び取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ 10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

注：サーバーの再始動時、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID アダプターにインポートするようにプロンプトが出されます。

USB フラッシュ・ドライブの取り外し

USB フラッシュ・ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

USB フラッシュ・ドライブを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

USB フラッシュ・ドライブを取り外すには、以下のステップを実行してください。

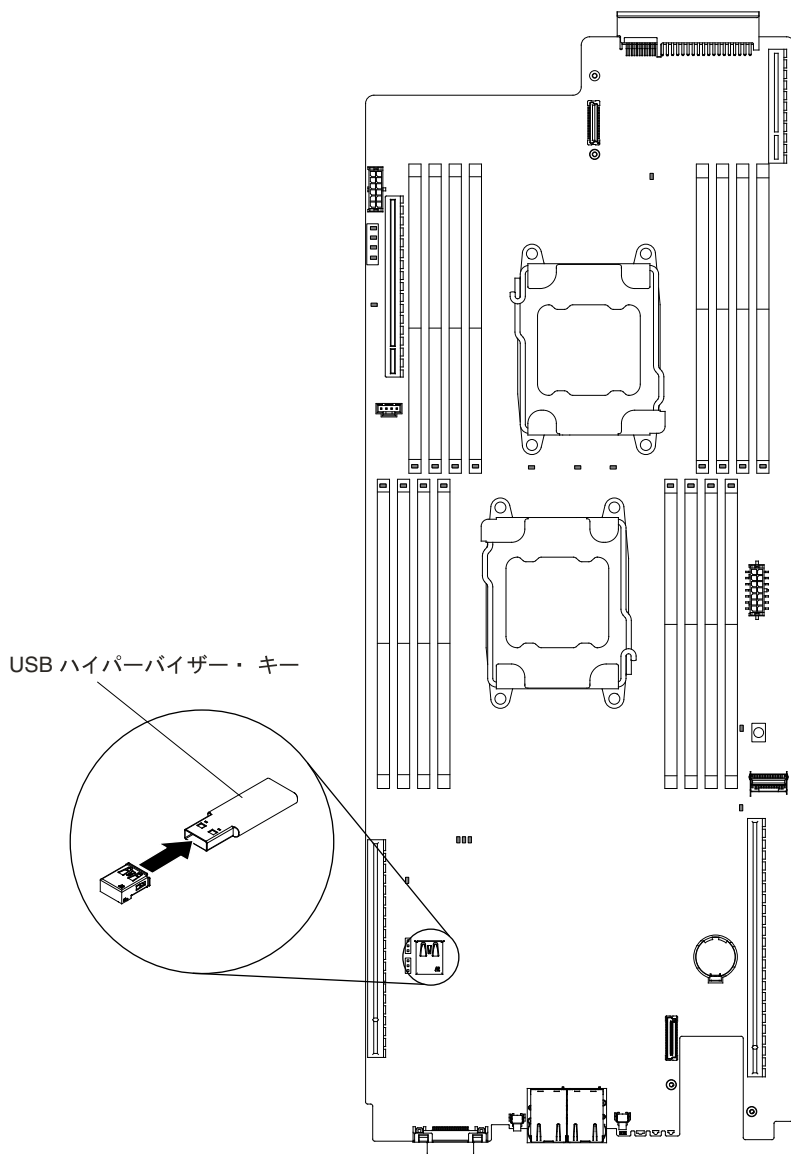


図 135. USB フラッシュ・ドライブの取り外し

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. システム・ボード上の USB コネクターを見つけます (21 ページの「システム・ボードの内部コネクター」を参照)。
- ステップ 3. USB フラッシュ・ドライブを引き、コネクターから取り外します。

USB フラッシュ・ドライブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用梱包材がある場合は、それを使用してください。

USB フラッシュ・ドライブの取り付け

USB フラッシュ・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

USB フラッシュ・ドライブを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosureに計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。

このコンポーネントは、オプションのデバイスまたはCRUとして取り付けすることができます。オプションのデバイスとCRUの取り付け手順は同じです。

USB フラッシュ・ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

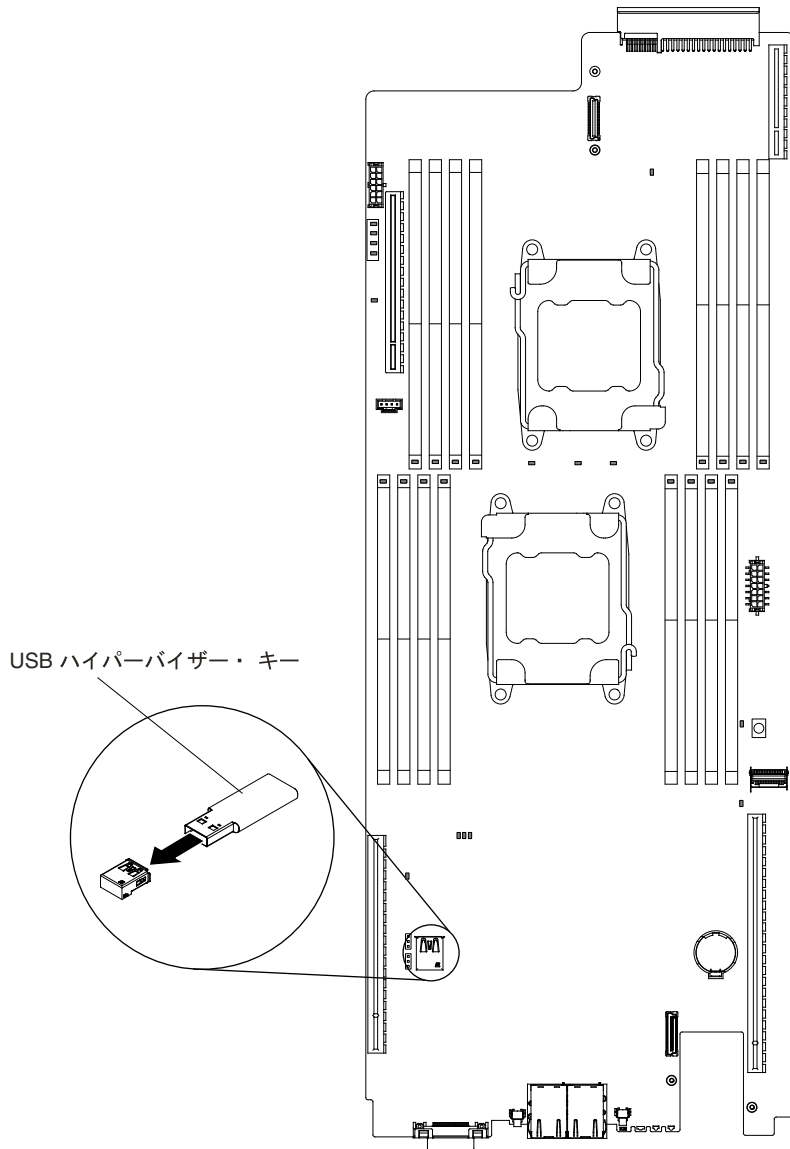


図 136. USB フラッシュ・ドライブの取り付け

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. システム・ボード上の USB コネクターを見つけます (21 ページの「システム・ボードの内部コネクター」を参照)。
- ステップ 3. USB フラッシュ・ドライブをコネクターに押し込みます。

USB フラッシュ・ドライブを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
 2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- マイクロプロセッサの取り外しは、トレーニングを受けた技術員のみが行うものとします。
重要：マイクロプロセッサを取り外す場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
 - マイクロプロセッサ・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサ・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサ接点またはマイクロプロセッサ・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
 - マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが汚れるおそれがあります。
 - マイクロプロセッサ・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
 - マイクロプロセッサの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
 - マイクロプロセッサの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサに付属の取り付けツールを使用してください。他のツールは使用しないでください。
 - 複数のマイクロプロセッサを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサ・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサ・ソケットの接点の損傷を防いでください。
 - マイクロプロセッサ取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサが取り付けられており、マイクロプロセッサには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

注：取り付けツールには、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する

「L」と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する「H」です。取り付けツールは、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを行います。

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. エアー・バッフルを取り外します (120 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照)。

ステップ 3. 取り外すマイクロプロセッサを見つけます (21 ページの「システム・ボードの内部コネクター」を参照)。

ステップ 4. ヒートシンクを取り外します。

注意： ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

a. マイクロプロセッサ保持器具の隅にある 4 つのねじを緩めます。

b. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。取り外したヒートシンクを (熱伝導グリース側を上にして) 清潔で平らな面に置きます。

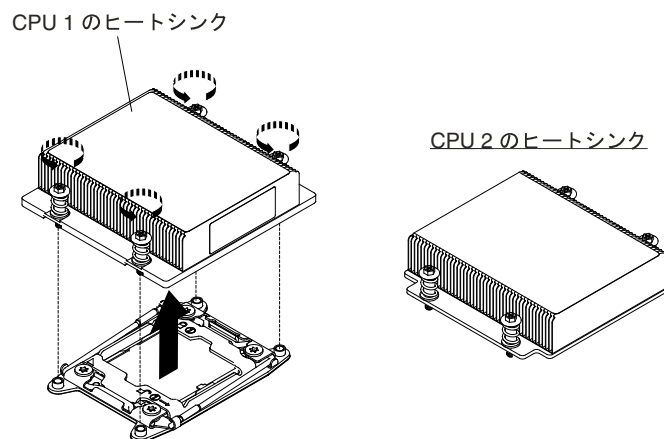


図 137. ヒートシンクの取り外し

ステップ 5. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

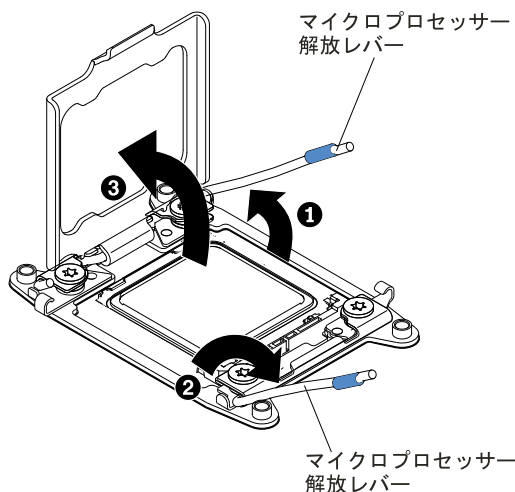


図 138. マイクロプロセッサ・ソケット・レバーと保持器具の開放

- どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
- マイクロプロセッサ・ソケットの2番目のリリース・レバーを開きます。
- マイクロプロセッサ保持器具を開きます。

注意： マイクロプロセッサ接点には触れないでください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

ステップ 6. マイクロプロセッサをソケットから取り外します。

- 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。取り付けツール・ハンドルがオープン位置にない場合、**1** インターロック・ラッチを持ち上げながら、**2** マイクロプロセッサ取り付けツールのハンドルを左回りに回転させてオープン位置にしてから、インターロック・ラッチを解放します。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示しています。

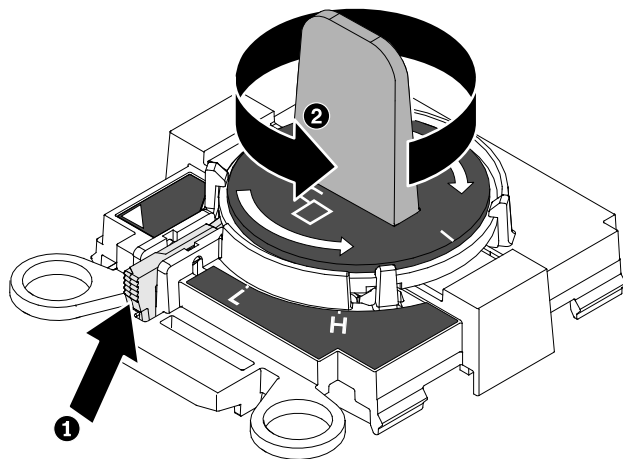


図 139. 取り付けツール・ハンドルの調整

- b. 取り付けツールをねじと位置合わせし、次の図に示すように、取り付けツールをマイクロプロセッサの上に下ろします。取り付けツールは、正しく位置合わせされた場合にのみ、ソケット上に平坦に載ります。

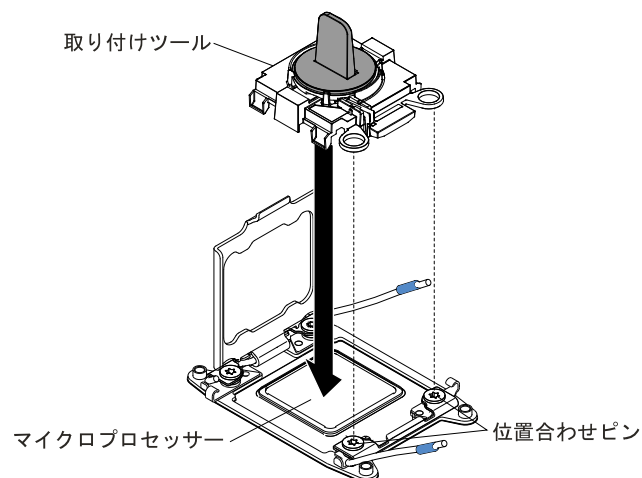


図 140. マイクロプロセッサの取り付け

- c. 取り付けツールのハンドルを慎重に右回りに、マイクロプロセッサのサイズに応じて「H」または「L」位置でロックするまで回転させてから、マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから抜きます。

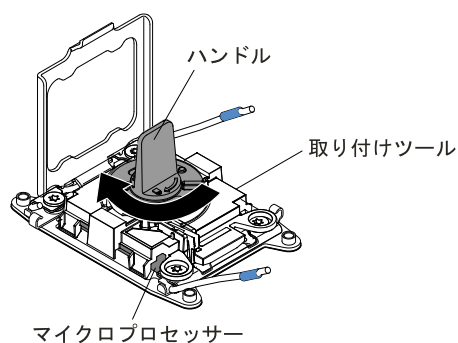


図 141. 取り付けツール・ハンドルの調整

- d. マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから取り外します。

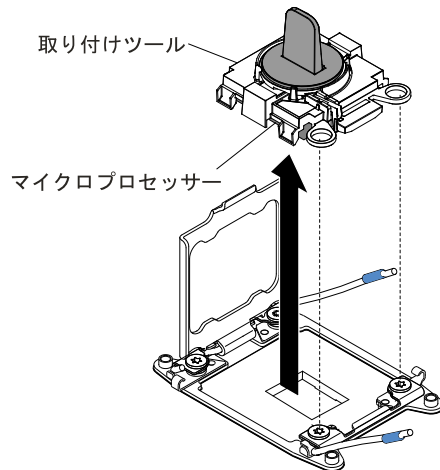


図 142. 取り付けツールの取り外し

ステップ 7. 新しいマイクロプロセッサを取り付けます (208 ページの「マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換」を参照)。

注意：マイクロプロセッサを交換する場合は、新規のマイクロプロセッサに付属の空の取り付けツールを使用してマイクロプロセッサを取り外します。

ステップ 8. マイクロプロセッサをソケットに取り付けない場合は、212 ページのステップ 6 で取り外したソケット・カバーをマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。

注意：ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

マイクロプロセッサを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプと、マイクロプロセッサとヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを再取り付けする前に、以下のステップを実行します。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
 2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
 3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
- マイクロプロセッサの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要：マイクロプロセッサを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサ・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサ・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサ接点またはマイクロプロセッサ・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサ・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサに付属の取り付けツールを使用してください。他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサを取り付ける場合には、1回に1個のマイクロプロセッサ・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサ・ソケットの接点の損傷を防いでください。
- マイクロプロセッサ取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサが取り付けられており、マイクロプロセッサには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

注：必ず、ご使用のマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。

- サーバーは最大2個のマルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> を参照してください。
- 最初のマイクロプロセッサは、必ず、システム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケット1に取り付ける必要があります。
- 1つのマイクロプロセッサが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するためにエア・バッフルを取り付ける必要があります。
- 2つ目のマイクロプロセッサを取り付ける際、最初のマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外さないでください。
- 2つ目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、追加のメモリーと4つ目および6つ目のファンも取り付ける必要があります。取り付け順序の詳細は、159ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサを混用しないでください。
- 追加のマイクロプロセッサを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサの混用はサポートされています。
- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサを混用する場合、マイクロプロセッサ・ソケット1に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサを取り付ける必要はありません。
- 両方のマイクロプロセッサ電圧調節モジュールがシステム・ボードに組み込まれています。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読み、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうか判断してください。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/>に進みます。
- このサーバーでは、マイクロプロセッサ速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサ周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリース保護カバー（たとえば、プラスチック・キャップやテープ裏打ちシール）がヒートシンクから外れている場合は、ヒートシンクの下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、215ページの「熱伝導グリース」を参照してください。

注： マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

- オプションの追加マイクロプロセッサを注文するには、Lenovo 営業担当員または Lenovo 販売店にお問い合わせください。

取り付けツールには、2つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための2つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する「L」と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する「H」です。取り付けツールは、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2の各マイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを再取り付けするには、以下の手順を実行してください。

- ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 2. エアー・バッフルを取り外します (120 ページの「エアー・バッフルの取り外し」を参照)。
- ステップ 3. マイクロプロセッサ保持器具の隅にある 4 つのねじを緩めます。
- ステップ 4. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

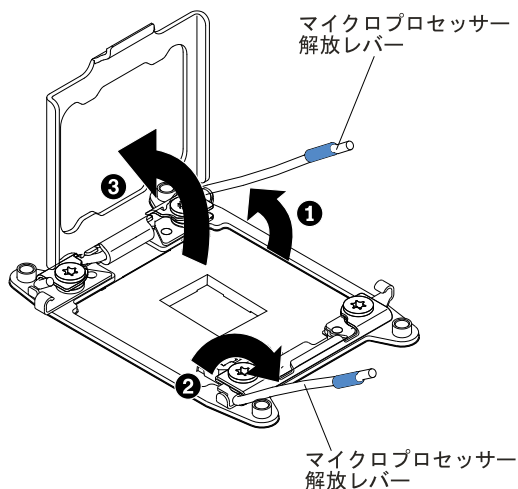


図 143. マイクロプロセッサ・ソケット・レバーと保持器具の開放

- a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
- b. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
- c. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。

注意： マイクロプロセッサおよびマイクロプロセッサ・ソケット上のコネクタには触らないでください。

ステップ 5. マイクロプロセッサ・ソケットにマイクロプロセッサを取り付けます。

- a. 新しいマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリーが入っているパッケージを開き、取り付けツール・アセンブリーをパッケージから慎重に取り出します。

注： マイクロプロセッサ接点には触れないでください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

- b. マイクロプロセッサに保護カバーが付いている場合は、そのカバーを取り外します。マイクロプロセッサは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

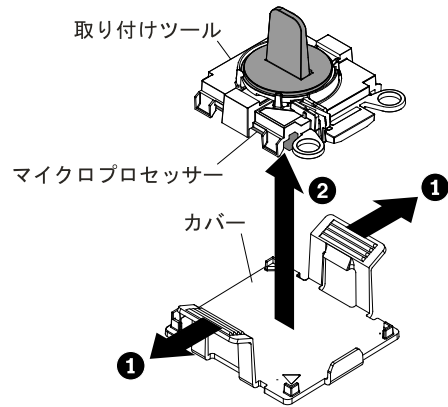


図 144. 取り付けツール・カバーの取り外し

- c. 取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

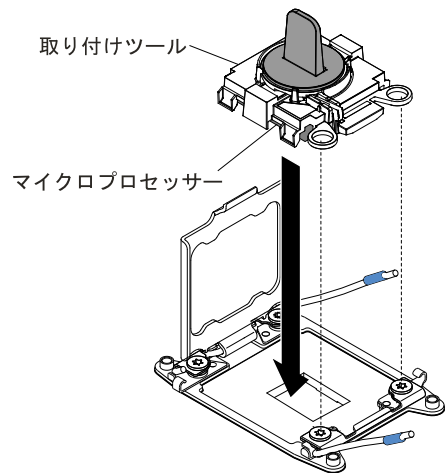


図 145. 取り付けツールの位置合わせ

- d. 取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

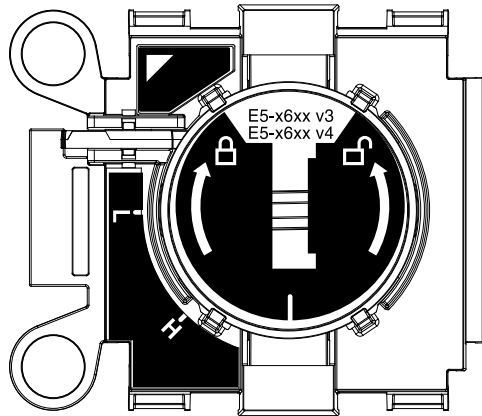


図 146. 取り付けツール

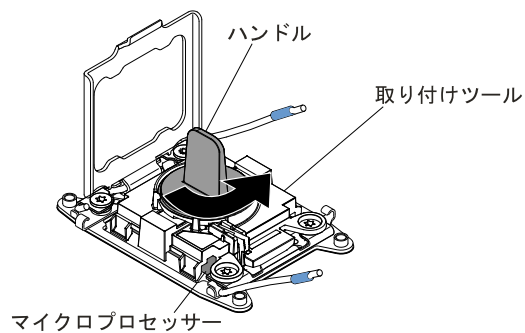


図 147. 取り付けツール・ハンドルの調整

注意：

- マイクロプロセッサをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサ保持器具を閉じる前に、ソケット内のマイクロプロセッサの向きと位置が正しいことを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサの上部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。

ステップ 6. マイクロプロセッサ・ソケットの表面にマイクロプロセッサ・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

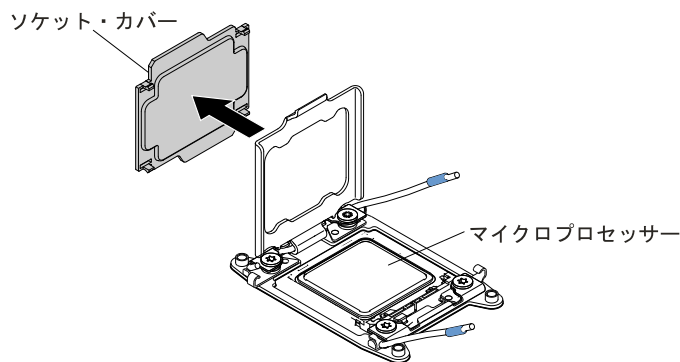


図 148. ソケット・カバーの取り外し

注意： 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合、静電気により損傷を受けないように注意してください。これらの部品の取り扱い方法については、107 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」を参照してください。

ステップ7. 次のように、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

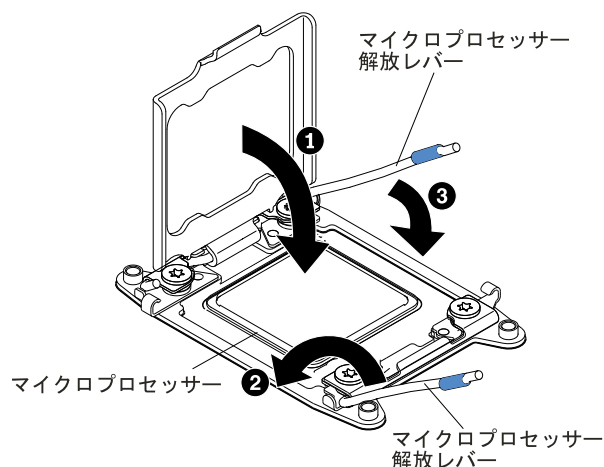


図 149. マイクロプロセッサ・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

- a. マイクロプロセッサ・ソケット上のマイクロプロセッサ保持器具を閉じます。
- b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
- c. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

注意：

- 新しいヒートシンクを取り付ける場合、プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。

ステップ8. ヒートシンクを取り付けます。

注意：

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。詳しくは、215 ページの「熱伝導グリース」を参照してください。

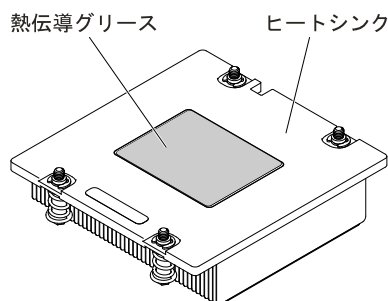


図 150. 熱伝導グリース

- a. ヒートシンクの下プラスチック保護カバーを取り除きます。
- b. マイクロプロセッサの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。

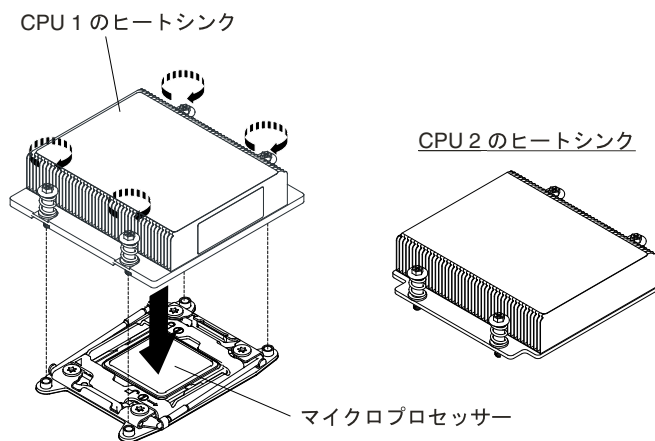


図 151. ヒートシンクの取り付け

- c. 熱伝導材側を下にして、保持ブラケット内のマイクロプロセッサ上にヒートシンクを位置合わせして置きます。
- d. ヒートシンクをしっかり押します。
- e. マイクロプロセッサ保持器具の隅にある 4 つのねじを締めます。

ステップ 9. エアー・バッフルを再び取り付けます (121 ページの「エアー・バッフルの交換」を参照)。

ステップ 10. カバーを取り付けます (119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。

ステップ 11. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

ステップ 12. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース

ヒートシンクをマイクロプロセッサ上部から取り外して再利用する場合、またはグリースにごみが付いている場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。

ヒートシンクが取り付けられていたマイクロプロセッサにそのヒートシンクを再取り付けする場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注：

- v ページの「安全について」で始まる『安全について』をお読みください。
- 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- 107 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」をお読みください。

マイクロプロセッサとヒートシンクの黒ずんだり汚れている熱伝導グリースを交換するには、次のステップを実行してください。

ステップ 1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。

ステップ 2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。

ステップ 3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注：すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

ステップ 4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。

ステップ 5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部に 0.02 ml の点を等間隔に 9 つ配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

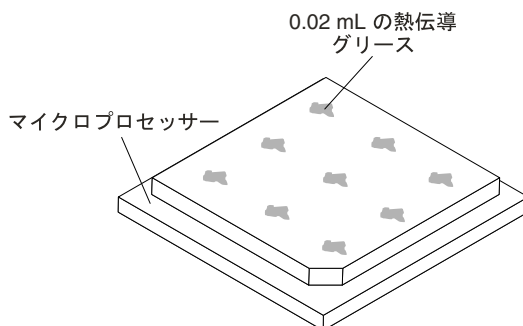


図 152. 熱伝導グリースの配分

注：グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

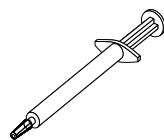


図 153. 注射器

ステップ 6. ヒートシンクをマイクロプロセッサに取り付けます (213 ページの ステップ 8 を参照)。

計算ノードの取り外し

計算ノードを取り外すには、この情報を使用します。

注：

1. 以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。
2. システム・ボードを交換する前に、必ず、使用可能にされていた Features on Demand (FoD) キーをバックアップしてください。システム・ボードを交換した後、すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*Lenovo Features on Demand ユーザーズ・ガイド*」に説明があります。資料をダウンロードするには、にアクセスしてログインし、「**Help** (ヘルプ)」をクリックします。
3. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様がディスクまたは CD イメージで用意する、既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
4. システム・ボードを交換する場合は、必ず、Integrated Management Module 拡張アップグレードを取り外し、それを新規システム・ボードに取り付けてください。拡張アップグレードについては、40 ページの「リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用」を参照してください。

注： システム・ボードを交換した後には、Features on Demand (FoD) を再アクティブ化する必要があります。

計算ノードを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します (89 ページの 第 4 章「部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード」を参照)。
 - アルコール・ワイプ (部品番号 59P4739)
 - RFID タグ (出荷時の計算ノードでベゼルに RFID タグが付いている場合のみ必要)
 - T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
 - 熱伝導グリース・キット (部品番号 41Y9292)

重要： システム・ボードを交換する場合、計算ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

システム・ボード上のコネクタ、ジャンパー、および LED の位置については、21 ページの「システム・ボードのレイアウト」を参照してください。

計算ノードを取り外すには、以下のステップを実行してください。

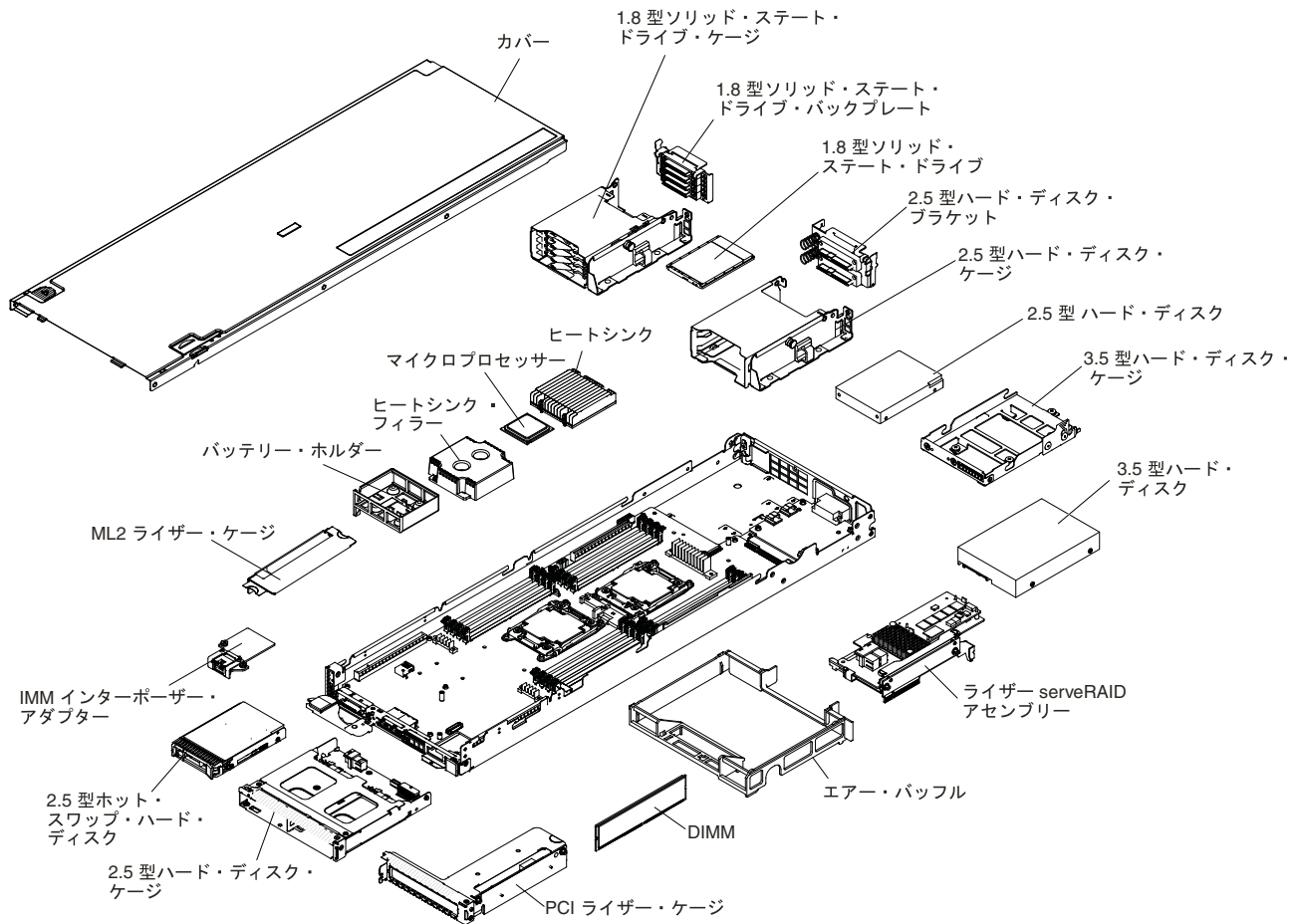


図 154. 計算ノードの主要コンポーネント

ステップ 1. カバーを取り外します (117 ページの「計算ノード・カバーの取り外し」を参照)。

ステップ 2. 以下にリストされているすべての取り付け済みコンポーネントを計算ノードから取り外し、それらのコンポーネントを帯電防止面に置くか、新しい計算ノードに取り付けます。

- エアー・パッフル (120 ページの「エアー・パッフルの取り外し」を参照)。
- DIMM (158 ページの「メモリー・モジュールの取り外し」を参照)。
- ハードディスク・ドライブおよびハードディスク・ドライブ・ベイ・ファイラー (169 ページの「3.5 型ハードディスク・ドライブの取り外し」、171 ページの「2.5 型ハードディスク・ドライブの取り外し」、および 174 ページの「1.8 型ハードディスク・ドライブの取り外し」を参照)。
- ハードディスク・ドライブ・ケージ (134 ページの「背面ハードディスク・ドライブ・ケージの取り外し」を参照)。
- マイクロプロセッサ、ヒートシンク、およびマイクロプロセッサ・ヒートシンク・ファイラー。交換用のマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、計算ノードから各マイクロプロセッサを取り外し、そのマイクロプロセッサをすぐに新規の計算ノードに取り付けます (204 ページの「マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し」および 208 ページの「マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換」を参照)。

- ハードディスク・ドライブ・バックプレート (166 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレートの取り外し」を参照)。

計算ノードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

計算ノードの取り付け

計算ノードを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

注：以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。

計算ノードを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. v ページの「安全について」および 105 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 108 ページの「 」を参照)。
3. 計算ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面に計算ノードを注意して置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します (89 ページの第 4 章「部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノード」を参照)。
 - アルコール・ワイプ (部品番号 59P4739)
 - ベゼル
 - RFID タグ (出荷時の計算ノードでベゼルに RFID タグが付いている場合にのみ必要)
 - T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
 - 熱伝導グリース・キット (部品番号 41Y9292)

重要：システム・ボードを交換する場合、計算ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳しくは、27 ページの「ファームウェアの更新」を参照してください。

計算ノードを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

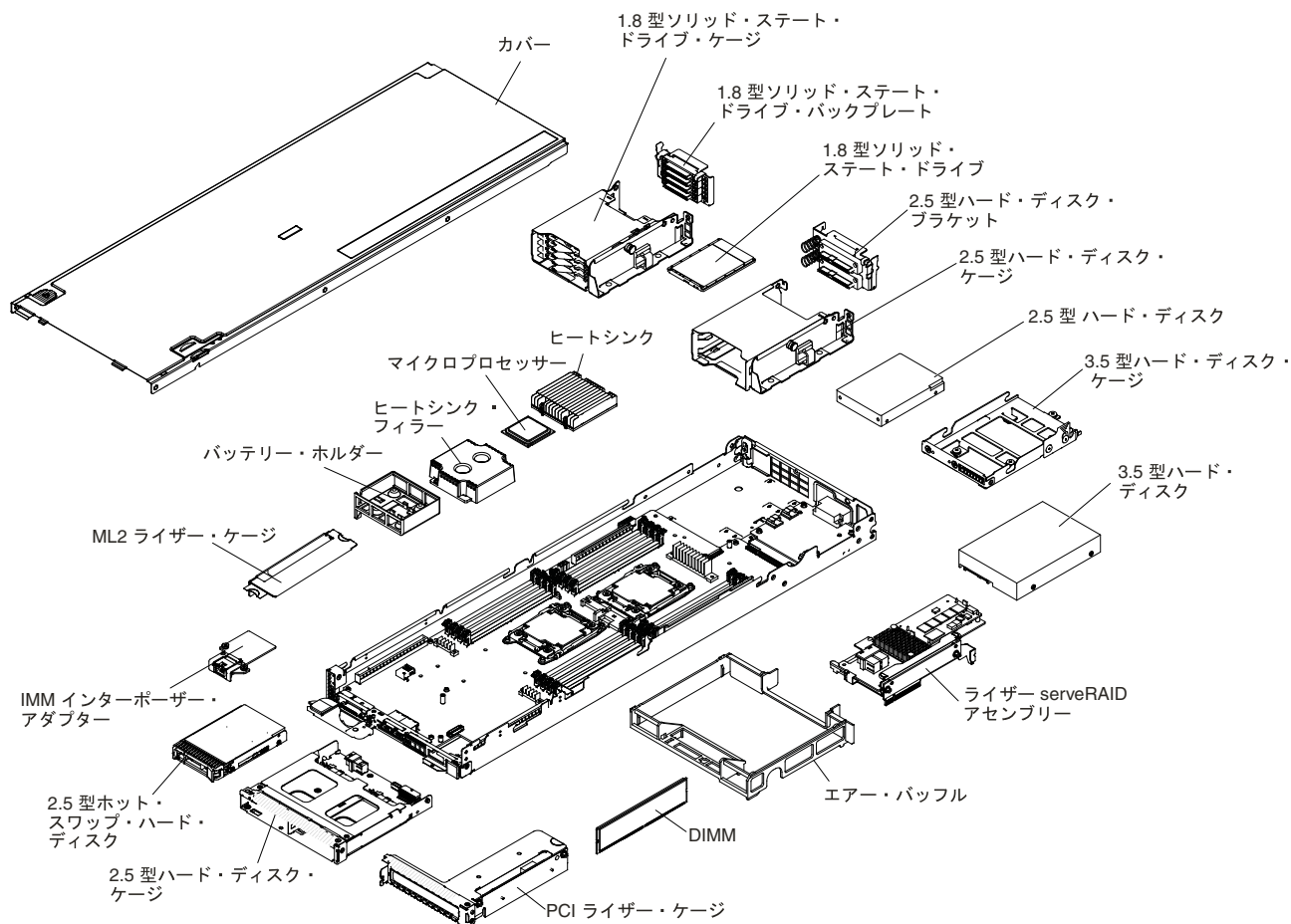


図 155. 計算ノードの主要コンポーネント

ステップ 1. 以下のリストにある、旧計算ノードから取り外したすべてのコンポーネントを、新しい計算ノードに取り付けます。

- エアー・バッフル (121 ページの「エアー・バッフルの交換」を参照)。
- DIMM (159 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照)。
- ハードディスク・ドライブおよびハードディスク・ドライブ・フィルラ (169 ページの「3.5 型ハードディスク・ドライブの取り付け」、172 ページの「2.5 型ハードディスク・ドライブの取り付け」、および 176 ページの「1.8 型ハードディスク・ドライブの取り付け」を参照)。
- ハードディスク・ドライブ・ケージ (136 ページの「背面ハードディスク・ドライブ・ケージの取り付け」を参照)。
- マイクロプロセッサ、ヒートシンク、およびマイクロプロセッサ・ヒートシンク・フィルラ。交換用のマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用して、計算ノードから各マイクロプロセッサを取り外し、そのマイクロプロセッサをすぐに新規の計算ノードに取り付けます (204 ページの「マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し」および 208 ページの「マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換」を参照)。
- ハードディスク・ドライブ・バックプレート (167 ページの「ハードディスク・ドライブ・バックプレートの取り付け」を参照)。

計算ノードを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. 計算ノードにカバーを取り付けます (手順については 119 ページの「計算ノード・カバーの取り付け」を参照)。
2. 計算ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、109 ページの「シャーシへの計算ノードの取り付け」を参照)。
3. 計算ノードに Features on Demand (FOD) フィーチャーが取り付けられている場合は、「*Lenovo Feature on Demand ユーザーズ・ガイド*」の説明を参照して、これらのフィーチャーを再びアクティブにします。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。
4. 汎用固有 ID (UUID) および重要プロダクト・データ (VPD) を更新します。Advanced Settings Utility を使用して、UEFI ベースの計算ノードの UUID および VPD を更新します (44 ページの「汎用固有 ID (UUID) の更新」を参照)。
5. 計算ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアします (詳しくは、27 ページの「ファームウェアの更新」を参照)。

内部ケーブルの配線およびコネクタ

このセクションでは、Lenovo NeXtScale nx360 M5 計算ノードに一部のコンポーネントを取り付ける際のケーブルの配線について説明します。

以下の注意事項では、ケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- ケーブルを取り外すには、ケーブルをプレーナー・トレイ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクタからケーブルを引いて取り外します。過剰な力でケーブルをコネクタから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクタが損傷する可能性があります。
- ケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押し、ケーブルあるいはコネクタが損傷する可能性があります。
- ケーブルが挟まっていないこと、コネクタを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認します。
- すべてのケーブルが電源パドル・カードの上で重なり合っていないことを確認します。

ケーブルおよびデバイス接続の要件について詳しくは、そのデバイスに付属の資料を参照してください。

プレーナー・ケーブルを使用したハードディスク・ドライブのケーブル接続

プレーナー・ケーブルを使用したハードディスク・ドライブの内部配線とコネクタ。

次の図は、プレーナー・ケーブルを使用したハードディスク・ドライブの内部配線とコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

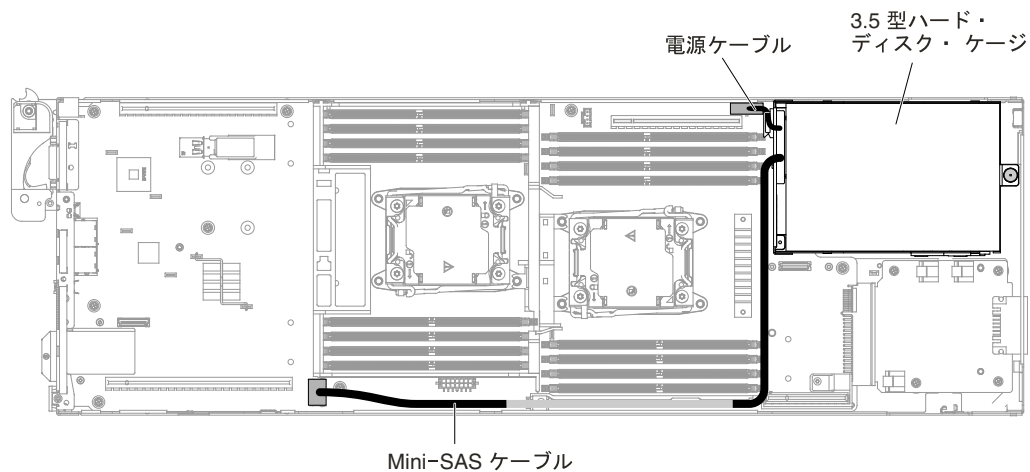


図 156. プレーナー・ケーブル接続を使用した 3.5 型ハードディスク・ドライブ

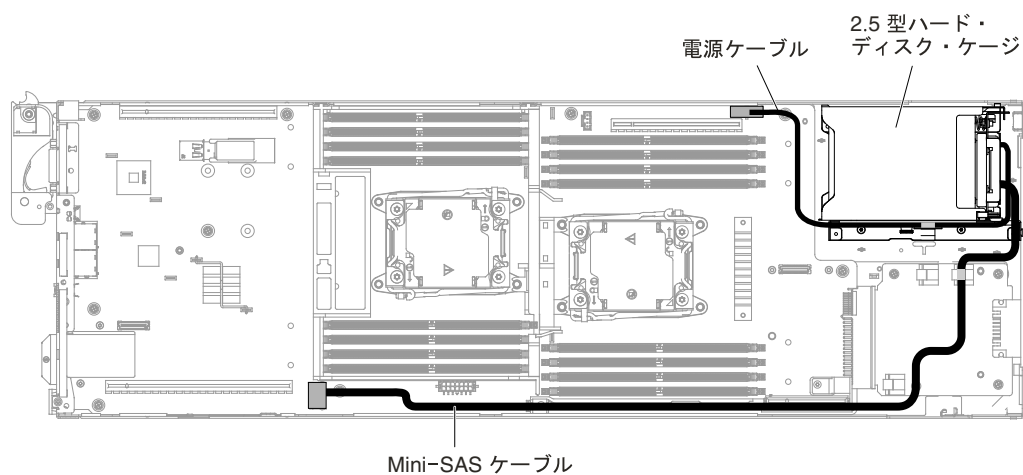


図 157. プレーナー・ケーブル接続を使用した 2.5 型ハードディスク・ドライブ

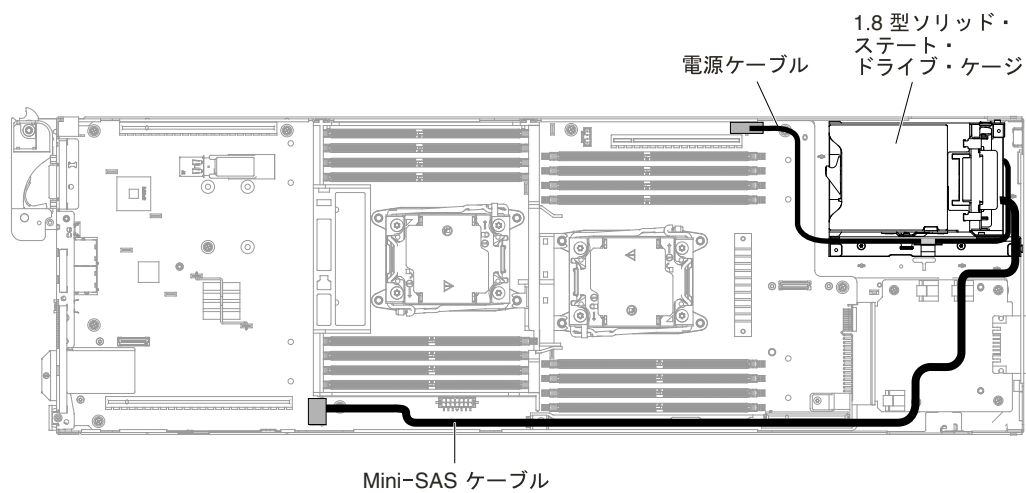


図 158. プレーナー・ケーブル接続を使用した 1.8 型ハードディスク・ドライブ

ハードディスク・ドライブと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続

ハードディスク・ドライブと ServeRAID SAS/SATA コントローラーを接続するための内部ルーティングとコネクタ

次の図は、2.5 型、2.5 型ホット・スワップ、および 1.8 型のハードディスク・ドライブ・モデルのそれぞれで、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを使用した場合の内部配線およびコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

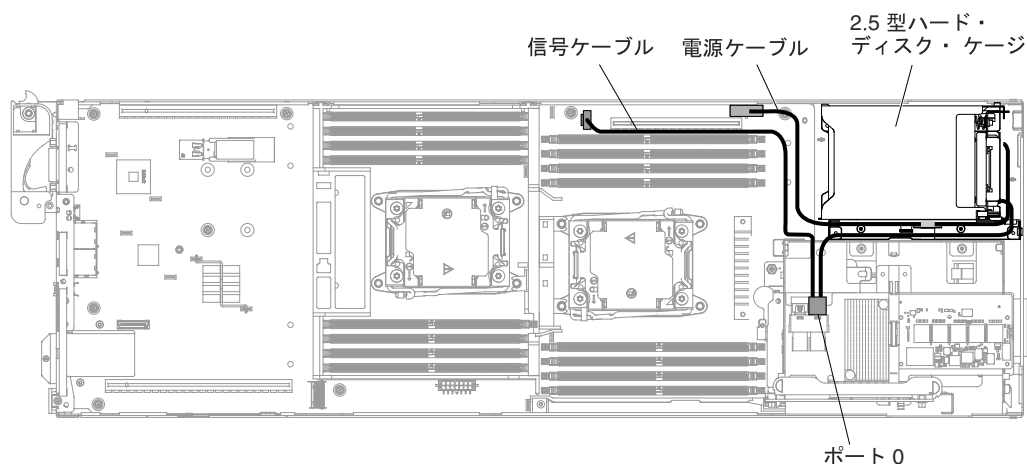


図 159. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブル接続を使用した 2.5 型ハードディスク・ドライブ (2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付けなし)

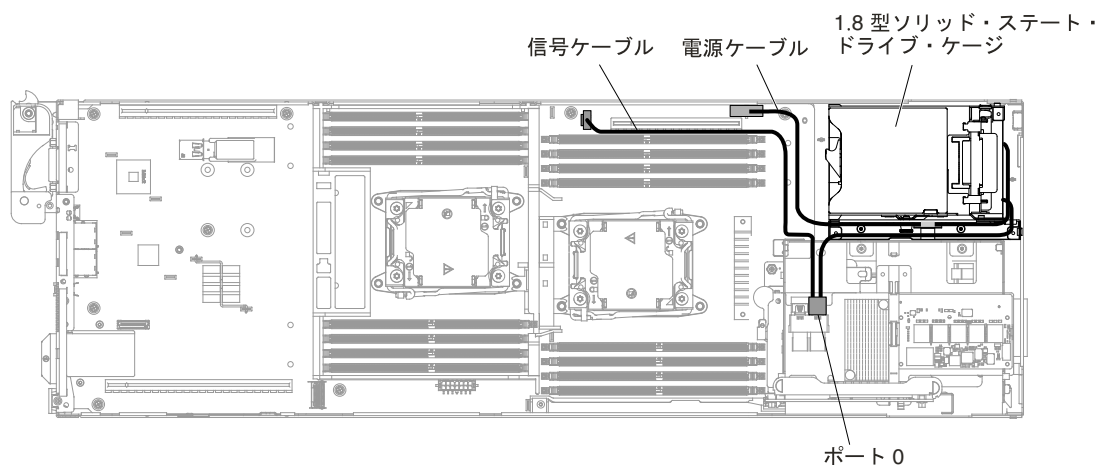


図 160. ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブル接続を使用した 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付けなし)

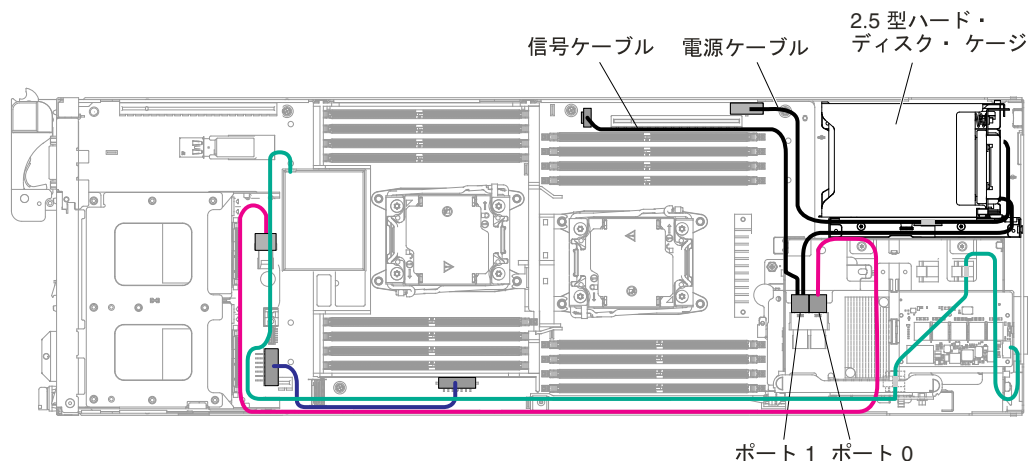


図 161. ServeRAID SAS コントローラ・ケーブル接続を使用した 2.5 型ハードディスク・ドライブ (2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付けなし)

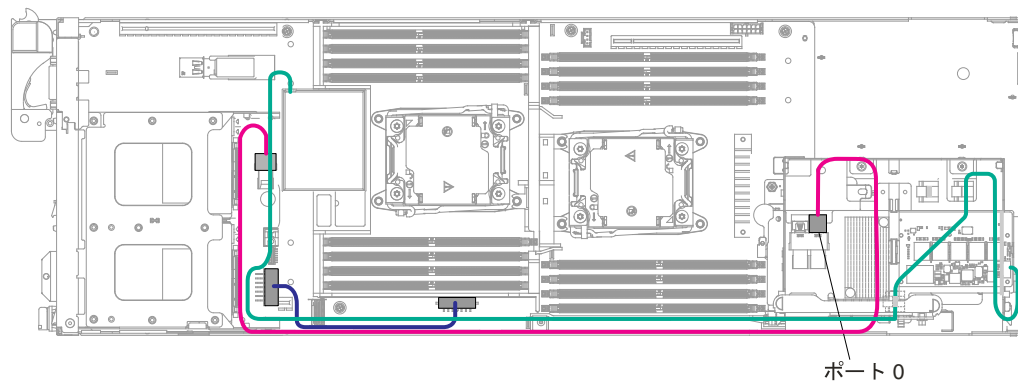


図 162. ServeRAID SAS コントローラ・ケーブル接続を使用した 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ (他のハードディスク・ドライブの取り付けなし)

2U GPU トレイ付きハードディスク・ドライブ・バックプレーンの配線

2U GPU トレイ 付きハードディスク・ドライブ・バックプレーンのケーブルの内部配線とコネクタ。

次の図は、2U GPU トレイ 付きハードディスク・ドライブ・バックプレーンの内部配線とコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

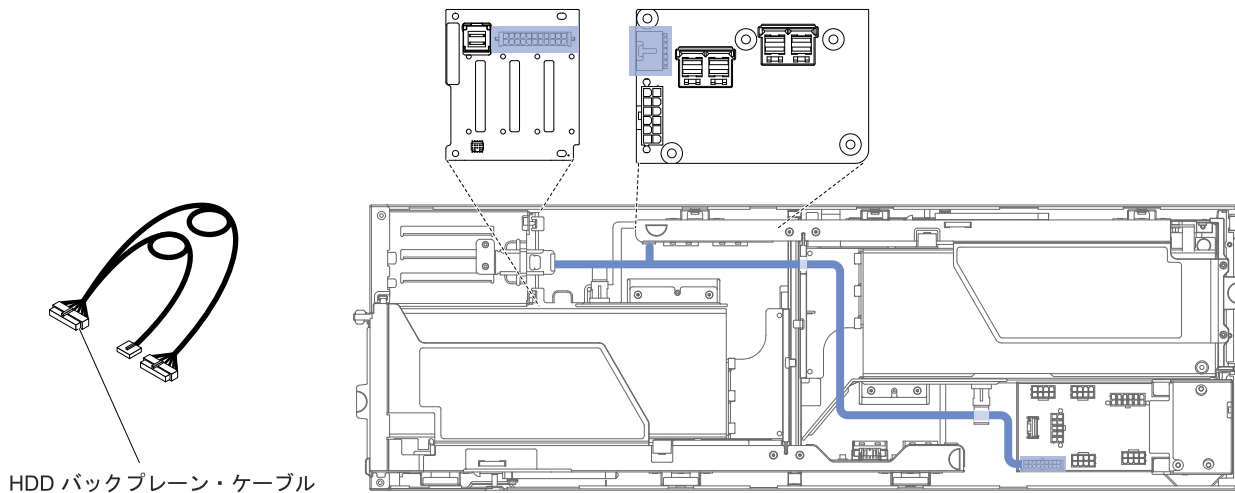


図 163. 2U GPU トレイ付きハードディスク・ドライブ・バックプレーンの接続

SAS ハードディスク・ドライブ・ケーブルを使用した 2U GPU トレイ付き前部 PCI ライザー・アセンブリの配線

SAS ハードディスク・ドライブ・ケーブルを使用した 2U GPU トレイ付き前部 PCI ライザー・アセンブリの内部配線とコネクタ。

次の手順は、SAS ハードディスク・ドライブ・ケーブルを使用した 2U GPU トレイ付き前部 PCI ライザー・アセンブリの内部配線とコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

1. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブルを次の図のように取り付けます。

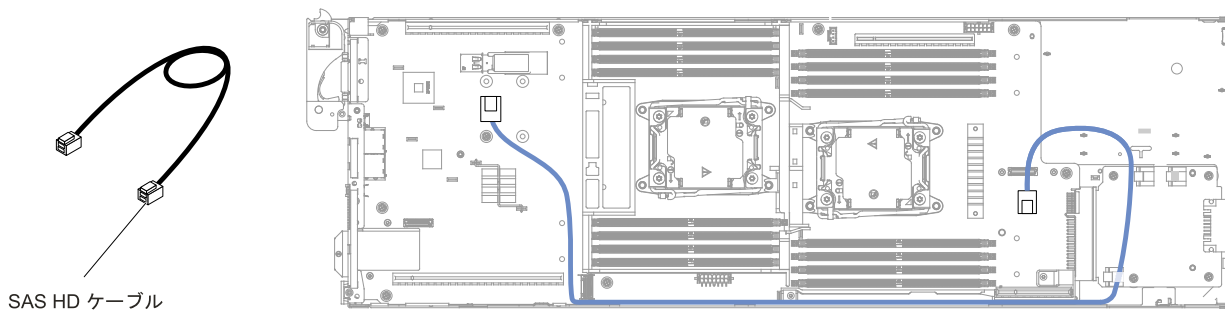


図 164. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブルの接続

2. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り付けます (199 ページの「ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換」を参照)。

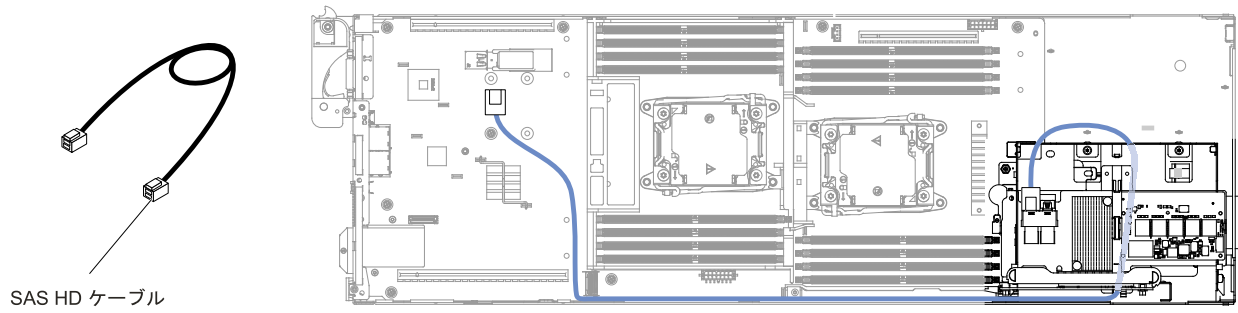


図 165. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブルの接続

3. 2U GPU トレイを取り付け、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンのケーブルを接続します (手順については、116 ページの「2U GPU トレイの計算ノードへの取り付け」を参照)。

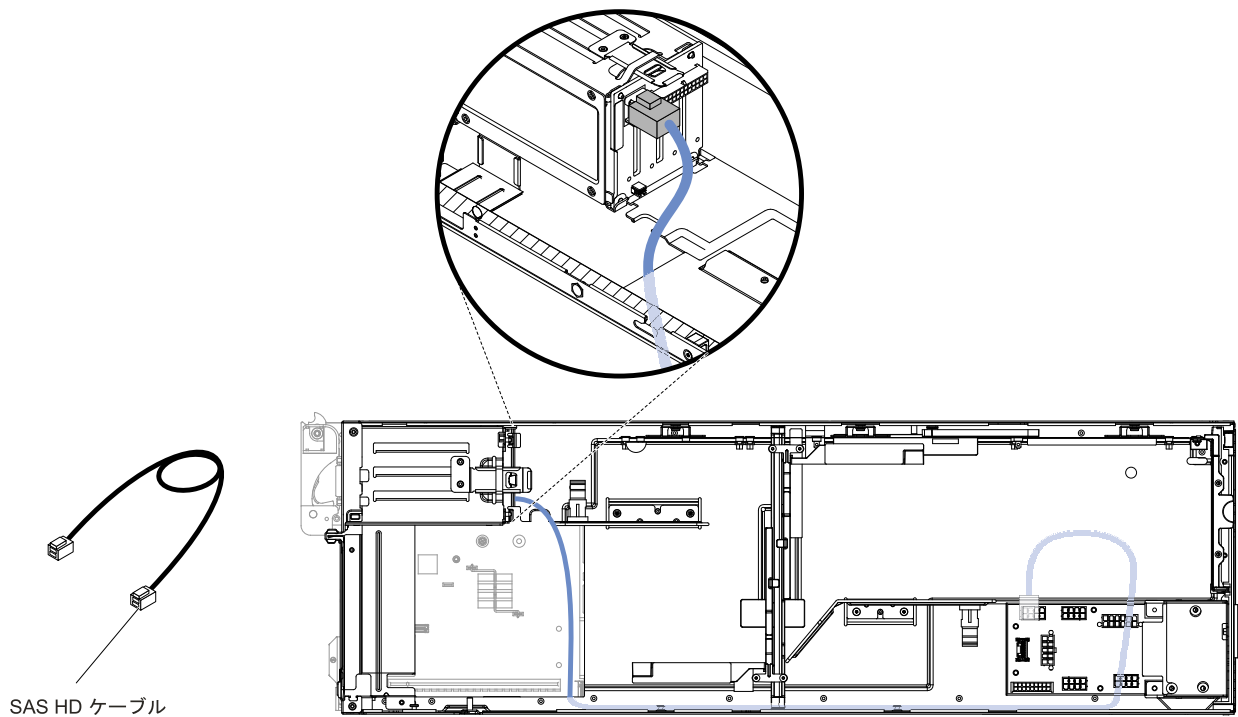


図 166. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブルの接続

4. ケーブルのもう一端を前部 PCI ライザー・アセンブリーに接続します。

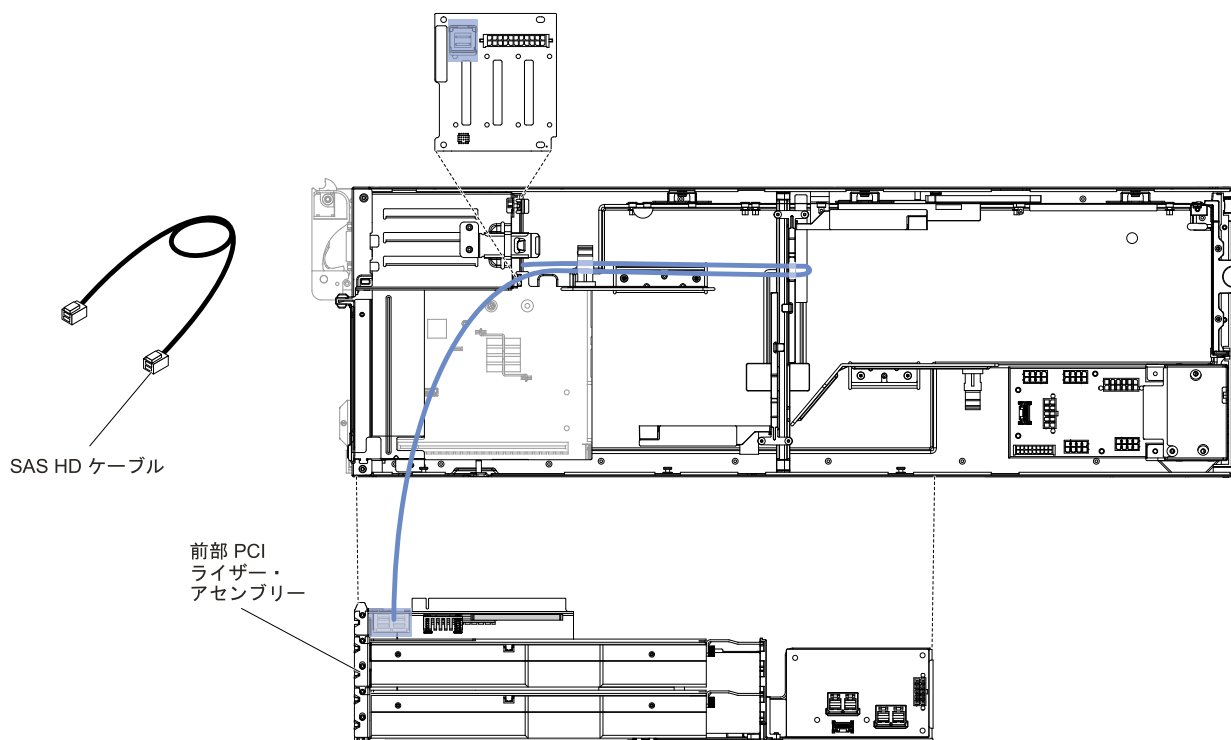


図 167. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブルの接続

GPU カード電源ケーブル付き 2U GPU トレイ の前部/後部 PCI アセンブリーの GPU アダプターの配線

GPU カード電源ケーブル付き 2U GPU トレイの前部/後部 PCI アセンブリーの GPU アダプターの内部配線とコネクタ。

次の図は、GPU カード電源ケーブル付き 2U GPU トレイの前部/後部 PCI アセンブリーの GPU アダプターの内部配線とコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

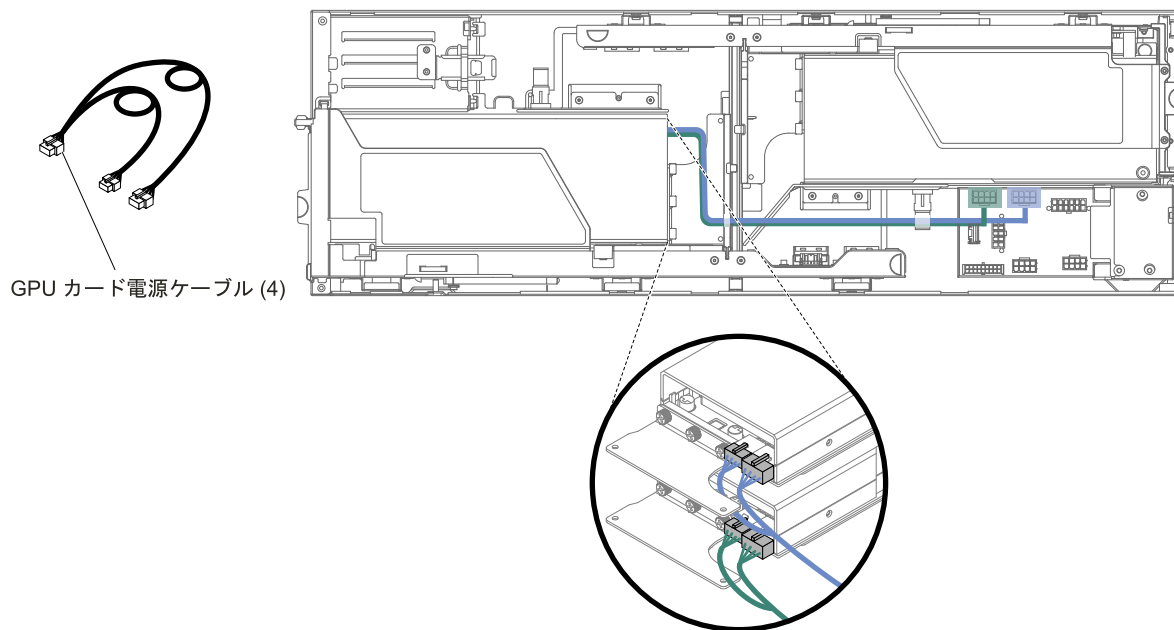


図 168. GPU カード電源ケーブル付き前部 PCI アセンブリーの GPU アダプターの接続

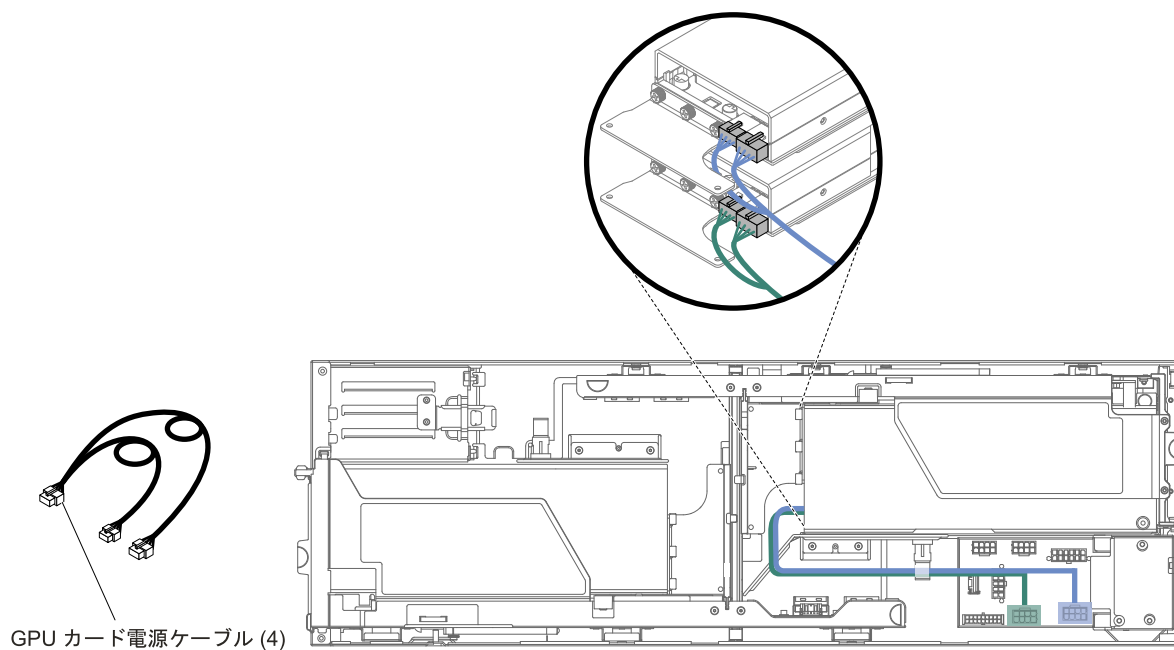


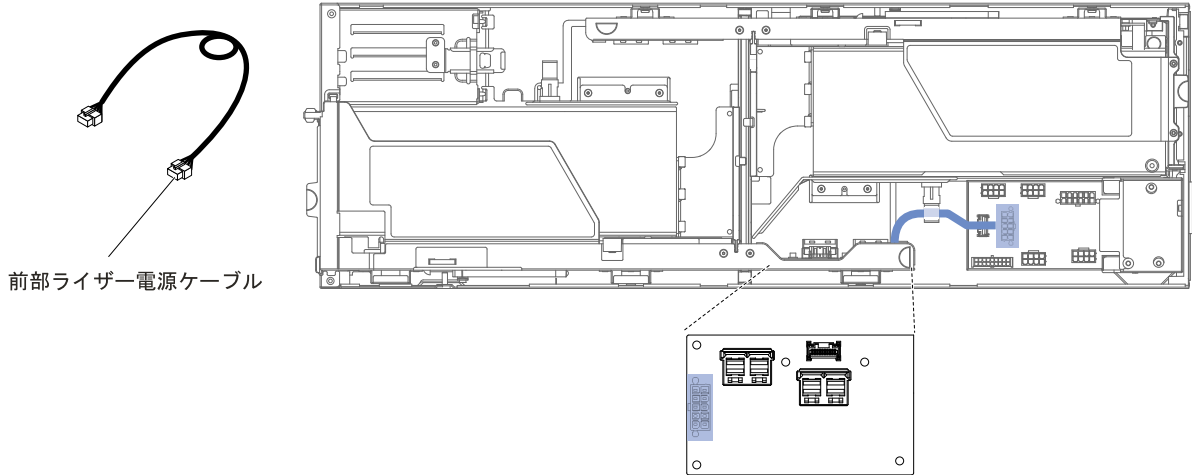
図 169. GPU カード電源ケーブル付き後部 PCI アセンブリーの GPU アダプターの接続

2U GPU トレイつき前部ライザー電源の配線

2U GPU トレイ付き前部ライザー電源ケーブルの内部配線およびコネクタ。

次の図は、2U GPU トレイを使用した前部ライザー電源の内部配線とコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。



前部ライザー電源ケーブル

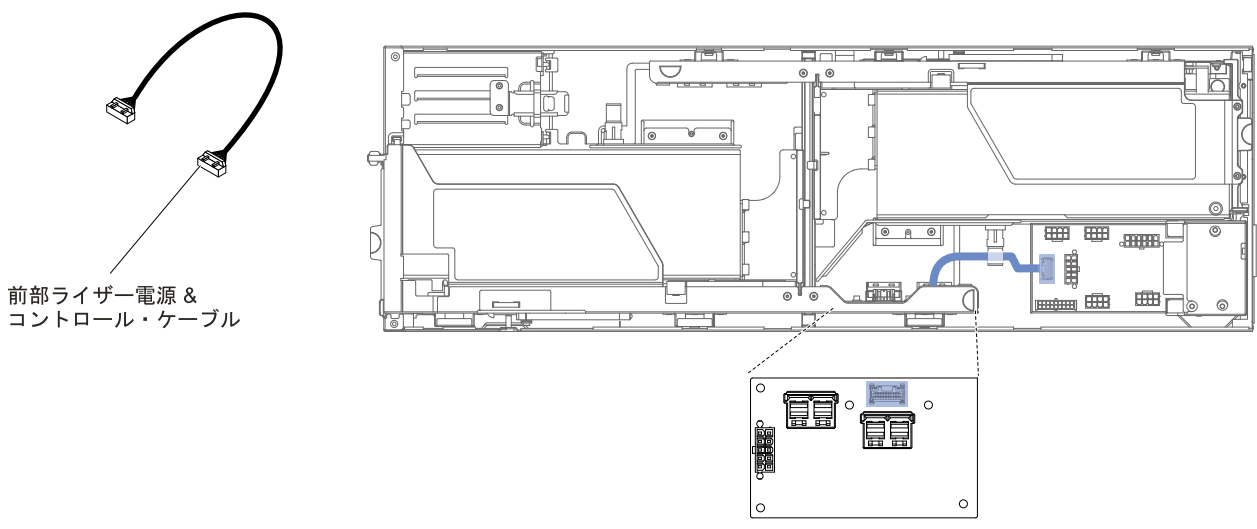
図 170. 2U GPU トレイ付き前部ライザー電源の接続

2U GPU トレイ付き前部ライザー電源およびコントロールの配線

2U GPU トレイ付き前部ライザー電源およびコントロールのケーブルの内部配線およびコネクタ。

次の図は、2U GPU トレイを使用した前部ライザー電源およびコントロール内部配線とコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。



前部ライザー電源 & コントロール・ケーブル

図 171. 2U GPU トレイ付き前部ライザー電源およびコントロールの接続

2U GPU トレイ付き後部ライザー電源およびコントロールの配線

2U GPU トレイ付き後部ライザー電源およびコントロールのケーブルの内部配線およびコネクタ。

次の図は、2U GPU トレイを使用した後部ライザー電源およびコントロール内部配線とコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

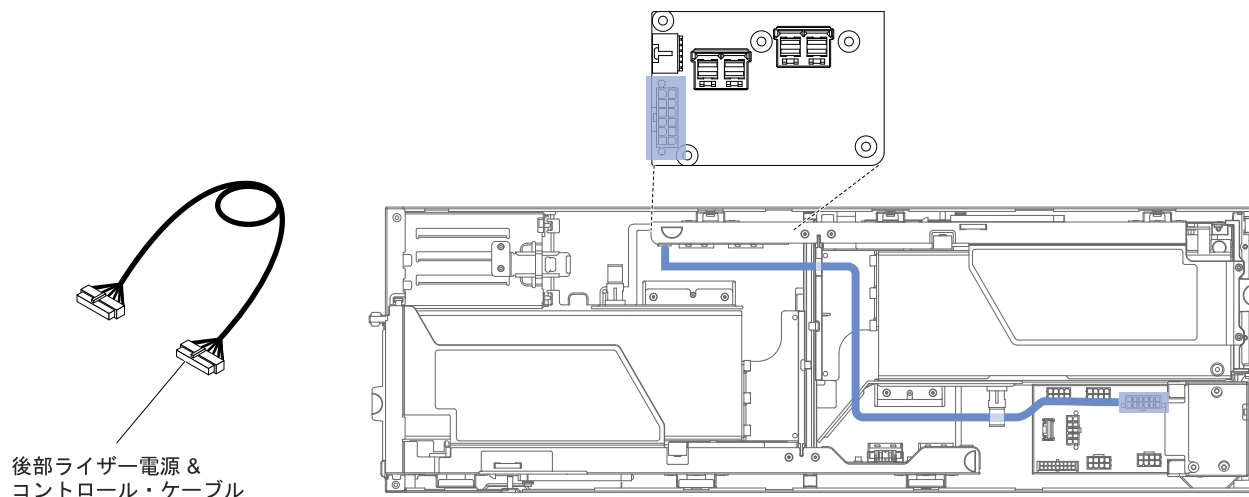


図 172. 2U GPU トレイ付き後部ライザー電源およびコントロールの接続

2U GPU トレイ付き PCIE ブリッジの配線

2U GPU トレイ付き PCIE ブリッジ・ケーブルの内部配線およびコネクター。

次の図は、2U GPU トレイを使用した PCIE ブリッジ・ケーブルの内部配線とコネクターを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

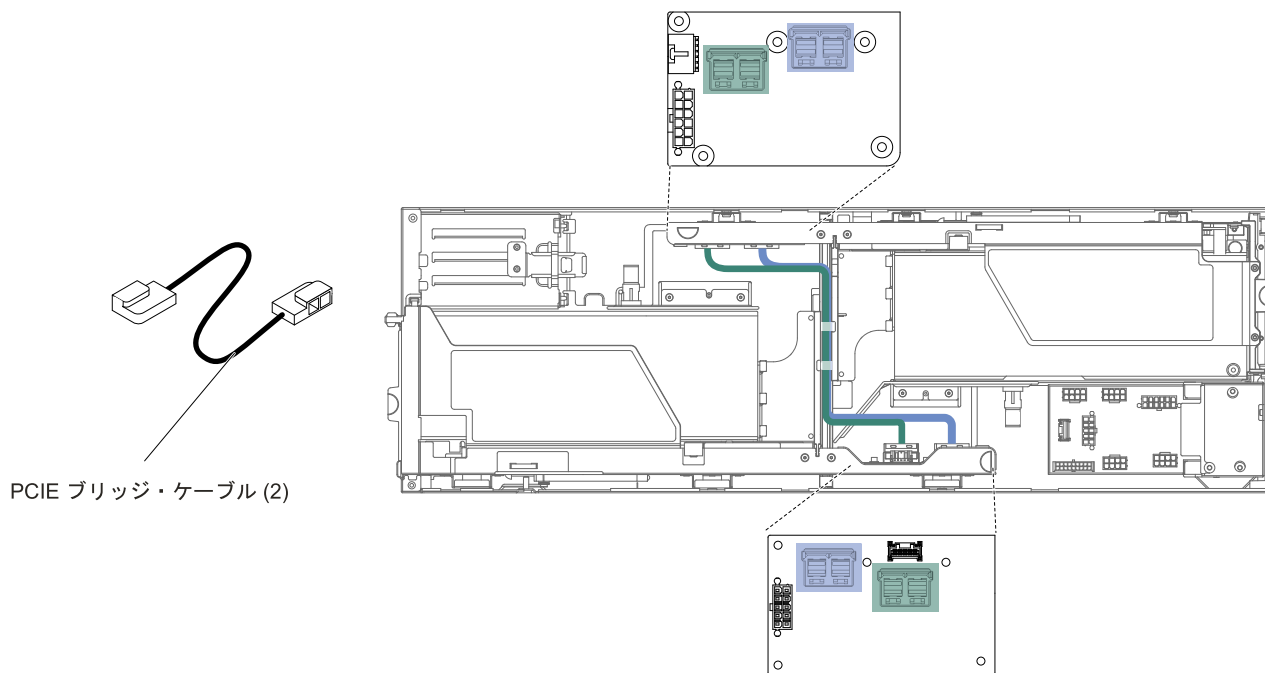


図 173. 2U GPU トレイ付き PCIE ブリッジの接続

2U GPU トレイ付き K80 GPU カード電源の配線

2U GPU トレイ付き K80 GPU カード電源ケーブルの内部配線およびコネクタ。

次の図は、2U GPU トレイを使用した K80 GPU カード電源の内部配線とコネクタを示しています。

注：適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

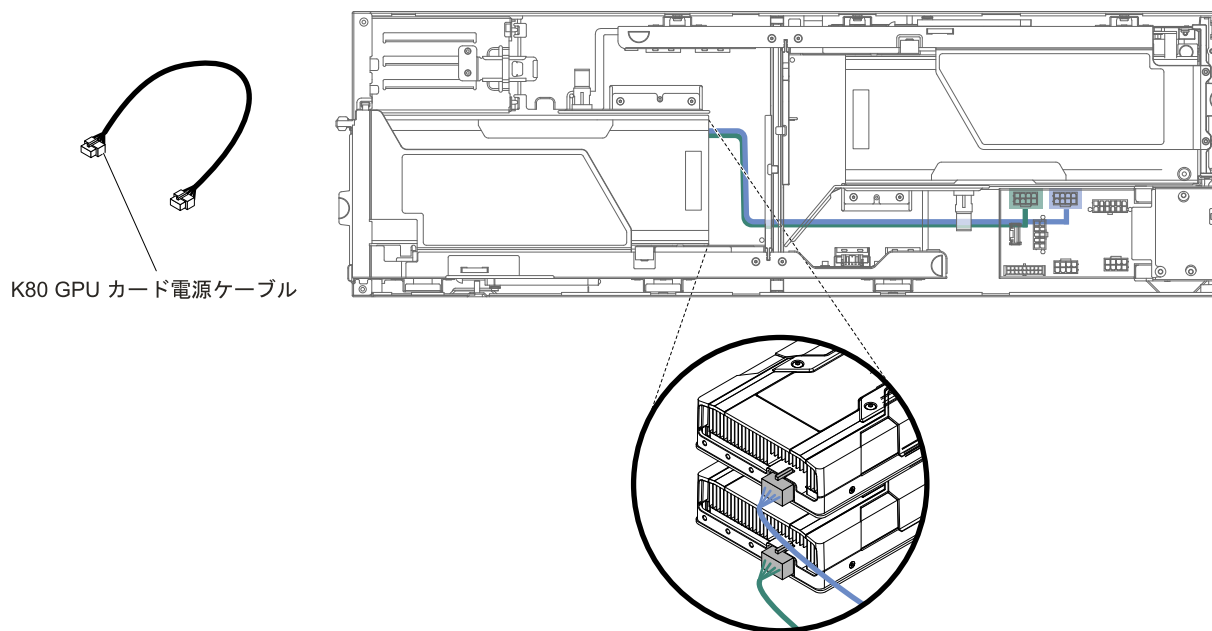


図 174. 2U GPU トレイ付き K80 GPU カード電源の接続

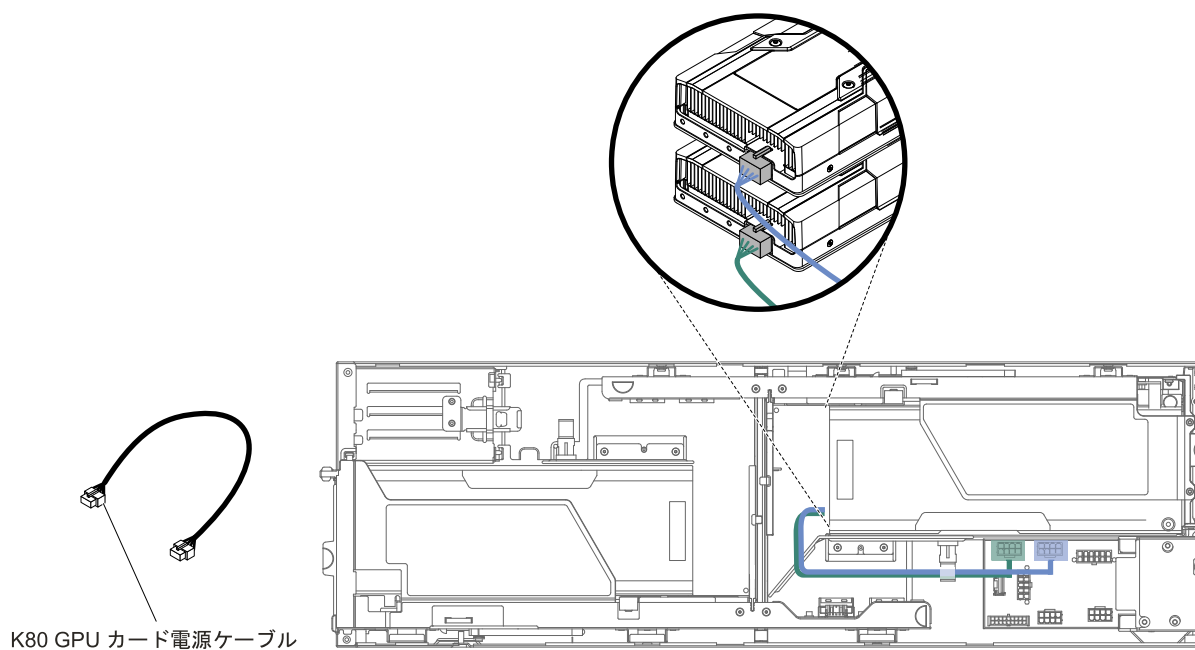


図 175. 2U GPU トレイ付き K80 GPU カード電源の接続

付録 A Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ

このセクションでは、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージについて詳しく説明します。

ハードウェア・イベントがサーバー上の Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) によって検出されると、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、この追加情報を変数で示します ([arg1]、[arg2] など)。

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知:

イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。

警告:

このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。

エラー:

このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

severity - device

重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

デバイスは、イベント生成の原因となったサーバー内の特定のデバイスです。

保守可能

問題を修正するためにユーザー操作が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP Trap ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP trap ID。

自動的にサービスに連絡

このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent (ESA) が有効になり、イベント生成時には Lenovo Support に自動的に通知されます。

Lenovo Support からの呼び出しを待つ間、イベントに関する推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、Lenovo Support にお問い合わせください。

注：このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) エラー・メッセージ、および検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) についての詳細は、<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346> の「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

IMM イベントのリスト

このセクションでは、IMM から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- **40000001-00000000：管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。()**

このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了したユース・ケースに使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0001

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000002-00000000** : 証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。()

このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラストド CA 証明書のエラーがあるユース・ケースに使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - SSL 認証

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0002

ユーザー応答

インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

- **40000003-00000000** : ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0003

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000004-00000000** : ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0004

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000005-00000000** : ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0005

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000006-00000000**: ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更したユース・ケースに使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0006

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000007-00000000**: ユーザー [arg2] によるイーサネット・インターフェース [arg1]。()

このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にするユース・ケースに使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0007

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000008-00000000** : ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更するユース・ケースに使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0008

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000009-00000000** : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0009

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000000a-00000000** : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0010

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000000b-00000000** : ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイ IP アドレスを変更するユース・ケースに使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0011

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000000c-00000000** : [arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。()

このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされたユー
ス・ケースに使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0012

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000000d-00000000** : DHCP [[arg1]] でエラーがありました。IP アドレスが割り当てられていません。()

このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができな
いユー・ケースに使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0013

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。

- **4000000e-00000000** : リモート・ログインに成功しました。IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID: [arg1] です。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインするユース・ケースに使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0014

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000000f-00000000** : ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行しているユース・ケースに使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0015

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000010-00000000** : セキュリティー: Userid: [arg1] は IP アドレス [arg3] の Web クライアントから [arg2] 回ログインを失敗しました。()

このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0016

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- **40000011-00000000** : セキュリティー: ログイン ID: [arg1] は [arg3] の CLI から [arg2] 回ログインを失敗しました。()

このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0017

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- **40000012-00000000**: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した **userid** またはパスワードが無効です。P アドレス [arg2] の Web ブラウザーからの Userid は [arg1] です。()

このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかったユース・ケースに使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0018

ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- **40000013-00000000**: リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信した **userid** またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントからの Userid は [arg1] です。()

このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0019

ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- **40000014-00000000**: システム [arg2] の [arg1] がユーザー [arg3] によりクリアされました。()

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去されたユース・ケースに使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0020

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000015-00000000**: ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。()

このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始されたユース・ケースに使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0021

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000016-00000000 : ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@[arg4], SN=[arg5], GW@[arg6], DNS1@[arg7].()**

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられたユース・ケースに使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0022

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000017-00000000 : ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@[arg3], NetMsk=[arg4], GW@[arg5].()**

このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられたユース・ケースに使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0023

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000018-00000000 : LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。()**

このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなったユース・ケースに使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0024

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000019-00000000 : LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。()**

このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになったユース・ケースに使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0025

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000001a-00000000**: ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。() このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更したユース・ケースに使用されます。4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0026

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000001b-00000000**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。() このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元したユース・ケースに使用されます。4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0027

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000001c-00000000**: ウォッチドッグ [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。()

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされたユース・ケースに使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0028

ユーザー応答

オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。

オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- **4000001d-00000000**: ウォッチドッグ [arg1] がスクリーン・キャプチャーに失敗しました。()

このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、スクリーン・キャプチャーが失敗したユース・ケースに使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0029

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- **4000001e-00000000**: バックアップ管理コントローラー [arg1] のメイン・アプリケーションを実行中です。()

このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いたユース・ケースに使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0030

ユーザー応答

IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- **4000001f-00000000**: 管理コントローラー [arg1] が正しいファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。()

このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しないユース・ケースに使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0031

ユーザー応答

IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- **40000020-00000000**: デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが発生しました。()

このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされたユース・ケースに使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0032

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000021-00000000** : 管理コントローラー [arg1] の時計が NTP サーバー [arg2] から設定されています。()

このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定されたユース・ケースに使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0033

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000022-00000000** : 管理コントローラー [arg1] 構成データの SSL データは無効です。構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしています。()

このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしているユース・ケースに使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0034

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

• 40000023-00000000 : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。()

このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレス (%d) からファームウェア・コンポーネント (MC メイン・アプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュしたユース・ケースに使用されます。

4000002300000000 または 0x4000002300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0035

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

• 40000024-00000000 : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。()

このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかったユース・ケースに使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0036

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000025-00000000** : システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。()

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルであるユーザー・ケースに使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - イベント・ログ 75% フル

SNMP Trap ID

35

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0037

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000026-00000000** : システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。()

このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルであるユーザー・ケースに使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - イベント・ログ 75% フル

SNMP Trap ID

35

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0038

ユーザー応答

古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、そのログを消去します。

- **40000027-00000000** : [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。()

このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - OS タイムアウト

SNMP Trap ID

21

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0039

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- **40000028-00000000** : [arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。()

このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成したユース・ケースに使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0040

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000029-00000000** : セキュリティー: Userid: [arg1] は IP アドレス [arg3] の SSH クライアントから [arg2] 回ログインを失敗しました。()

このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗したユース・ケースに使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0041

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- **4000002a-00000000** : [arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。 [arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。 ()

このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0042

ユーザー応答

IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

- **4000002b-00000000** : ドメイン名が [arg1] に設定されました。 ()

ユーザーによってドメイン名が設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0043

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000002c-00000000** : ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。 ()

ドメイン・ソースがユーザーによって変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0044

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000002d-00000000** : ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。()

DDNS 設定がユーザーによって変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0045

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000002e-00000000** : DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。()

DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0046

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000002f-00000000** : ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効にされました。()

ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0047

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000030-00000000** : ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。()

ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0048

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000031-00000000** : ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効にされました。() ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0049

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000032-00000000** : ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が有効化されました。() ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0050

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000033-00000000**: ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。() ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0051

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000034-00000000**: ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。() ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0052

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000035-00000000** : ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効化されました。() ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0053

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000036-00000000** : ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。() ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0054

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000037-00000000 : ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@[arg3], Pref=[arg4]()

IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0055

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000038-00000000 : ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@[arg3], Pref=[arg4], GW@[arg5].()

IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0056

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000039-00000000 : ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@[arg4], Pref=[arg5].()

IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0057

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003a-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 静的アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 静的アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0058

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000003b-00000000**: DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。() DHCPv6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0059

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
 2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。
- **4000003c-00000000**: [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。() 実装環境で OS ローター・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

System - ローター・タイムアウト

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0060

ユーザー応答

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
 2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
 3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
 4. ウォッチドッグを無効にします。
 5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
- **4000003d-00000000**: ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。() ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。
4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0061

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000003e-00000000**: ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。() ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。
4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0062

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000003f-00000000** : ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0063

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000040-00000000** : ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: IMM ID: 0064

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000041-00000000 : ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: IMM ID: 0065

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000042-00000000 : ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0066

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000043-00000000**: ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0067

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000044-00000000**: ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0068

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000045-00000000**: ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。() ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0069

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000046-00000000**: ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。()

ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0070

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000047-00000000** : [arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。()

ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0071

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000048-00000000** : デバイス [arg1] のインベントリー・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。()

何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0072

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000049-00000000** : ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効にされました。 ()
ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0073

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000004a-00000000** : ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。 ()
ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0074

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000004b-00000000** : ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。()

ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0075

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000004c-00000000** : ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、Server4=[arg7] です。()

ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0076

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000004d-00000000** : ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、GroupFilter=[arg7]、GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。()

ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0077

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000004e-00000000** : ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。()

ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0078

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000004f-00000000** : ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、Time=[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。()

ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0079

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000050-00000000** : ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。Name=[arg2]、Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7] です。()

ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0080

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000051-00000000** : ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。 ()
ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: IMM ID: 0081

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000052-00000000** : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケジュールされました。 ()

ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: IMM ID: 0082

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000053-00000000** : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケジュールされました。 ()

ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0083

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000054-00000000** : ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。 ()
ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0084

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000055-00000000** : ユーザーによる同期時刻設定 [arg1]: Mode=[arg2]、NTPServerHost=[arg3]:[arg4]、NTPUpdateFrequency=[arg5]。 ()

ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0085

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000056-00000000** : ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]: [arg3] に設定されました。 ()
ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0086

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000057-00000000** : ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。 ()
ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0087

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000058-00000000** : ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。()

ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0088

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000059-00000000** : ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。()

ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0089

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005a-00000000 : ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。()

ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0090

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005b-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュア Web サービス (HTTPS) [arg1] です。()

ユーザーが、セキュア Web サービスを有効または無効にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0091

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000005c-00000000**: ユーザー [arg2] によるセキュア CIM/XML(HTTPS) [arg1] です。()

ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0092

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000005d-00000000**: ユーザー [arg2] によるセキュア LDAP [arg1] です。()

ユーザーが、セキュア LDAP サービスを有効または無効にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0093

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000005e-00000000** : ユーザー [arg2] による SSH [arg1] です。()

ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0094

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000005f-00000000** : ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimeout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、LoaderTimeout=[arg5] です。()

ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0095

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000060-00000000**: ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。() ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0096

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000061-00000000**: ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。() ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0097

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000062-00000000** : ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの一般設定が設定されました。AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、SessionTimeout=[arg4] です。()

ユーザーが、グローバル・ログインの共通設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0098

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000063-00000000** : ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインのアカウント・セキュリティーが設定されました。PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、MinimumPasswordLength=[arg5]、MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、MaximumLoginFailures=[arg7]、LockoutAfterMaxFailures=[arg8]、MinimumDifferentCharacters=[arg9]、DefaultIDExpired=[arg10]、ChangePasswordFirstAccess=[arg11] です。()

ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0099

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000064-00000000** : ユーザー [arg1] が作成されました。()

ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0100

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000065-00000000** : ユーザー [arg1] が削除されました。()

ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0101

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000066-00000000 : ユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。()

ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0102

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000067-00000000 : ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。()

ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0103

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000068-00000000** : ユーザー [arg1] のカスタム権限セット: [arg2]。()

ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0104

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000069-00000000** : SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1]: AuthenticationProtocol=[arg2]、PrivacyProtocol=[arg3]、AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] です。()

ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0105

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000006a-00000000**: SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] に追加されました。()

ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0106

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000006b-00000000**: SSH クライアント・キーが [arg2] からユーザー [arg1] にインポートされました。()

ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0107

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000006c-00000000** : SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] から削除されました。 ()
ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0108

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000006d-00000000** : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。 ()

ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0109

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000006e-00000000**: ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定されました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。()

ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: IMM ID: 0110

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000006f-00000000**: アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、AllowedFilters=[arg8] です。()

ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: IMM ID: 0111

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000070-00000000**: ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効にされました。EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。()

ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0112

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000071-00000000**: ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。()

電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0113

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000072-00000000**: 電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。()

電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0114

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000073-00000000**: 電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。() 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0115

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000074-00000000**: 電源キャップのソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。() ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0116

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000075-00000000** : 計測電力値が電源キャップ値を超えました。()

電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0117

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000076-00000000** : 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。()

最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0118

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000077-00000000** : ユーザー [arg1] によって電源キャップがアクティブ化されました。() 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0119

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000078-00000000** : ユーザー [arg1] によって電源キャップが非アクティブ化されました。() 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0120

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000079-00000000**: ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。() ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0121

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000007a-00000000**: ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオフにされました。() ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0122

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000007b-00000000**: ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオンにされました。() ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0123

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000007c-00000000**: ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオフにされました。() ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0124

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000007d-00000000** : 電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。()
- 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0125

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000007e-00000000** : 外部スロットルが発生しました。()

外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0126

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **4000007f-00000000 : 電源キャップ・スロットルが発生しました。()**

電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000080-00000000 : ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。()**

リモート制御セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0128

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000081-00000000** : ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。()

PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: IMM ID: 0129

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000082-00000000** : 計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。()

電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000083-00000000** : 新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。() 最小電力上限が、回復された電力上限を超えています。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0131

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000084-00000000** : IMM ファームウェアがノード [arg1] とノード [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。()

ノード間で IMM ファームウェアの不マッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0132

ユーザー応答

すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

- **40000085-00000000** : FPGA ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。()

ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0133

ユーザー応答

すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

- **40000086-00000000** : ユーザー [arg1] によって、テスト用のコールホームが生成されました。()

ユーザーによって、テスト用のコール・ホームが生成されました。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0134

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000087-00000000** : ユーザー [arg1] による手動コールホーム : [arg2]。()

ユーザーによる手動コール・ホーム

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0135

ユーザー応答

IBM Support が問題に対応します。

- **40000088-00000000**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了しました。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユー
ス・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0136

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **40000089-00000000**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了できませんでした。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0137

ユーザー応答

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

- **4000008a-00000000**: 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を開始できませんでした。()

このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0138

ユーザー応答

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

- **4000008b-00000000** : 1 つ以上のストレージ管理 IP アドレスが変更されました。()

このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更されたユース・ケースに使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

接頭部: IMM ID: 0139

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **80010002-0701ffff** : Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS バッテリー)

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800100020701ffff または 0x800100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電圧

SNMP Trap ID

13

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0476

ユーザー応答

システム・バッテリーを交換します。

- **80010202-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。(CMOS バッテリー)**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800102020701ffff または 0x800102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

指定されたセンサーが CMOS バッテリーの場合は、システム・バッテリーを交換してください。
指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のある電源機構を取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- **80010701-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107012d01ffff または 0x800107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010701-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107013701ffff または 0x800107013701ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010701-3702ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PIB 周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107013702ffff または 0x800107013702ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010701-3703ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(HDD インレット温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107013703ffff または 0x800107013703ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010701-3704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCI ライザー 1 温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107013704ffff または 0x800107013704ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアークラウドが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010701-3705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCI ライザー 2 温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107013705ffff または 0x800107013705ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアークラウドが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010701-3706ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(GPU アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107013706ffff または 0x800107013706ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアークラウドが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010701-3707ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(HDD アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800107013707ffff または 0x800107013707ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109012d01ffff または 0x800109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010901-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800109013701ffff または 0x800109013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **80010901-3702ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PIB 周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

800109013702ffff または 0x800109013702ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010901-3703ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(HDD インレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザ・ケースに使用されます。

800109013703ffff または 0x800109013703ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. HDD が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010901-3704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCI ライザー 1 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザ・ケースに使用されます。

800109013704ffff または 0x800109013704ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **80010901-3705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCI ライザー 2 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

800109013705ffff または 0x800109013705ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアークラウドファンが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010901-3706ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(GPU アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

800109013706ffff または 0x800109013706ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアークラウドファンが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. GPU が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010901-3707ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(HDD アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

800109013707ffff または 0x800109013707ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
 3. HDD が正しく取り付けられていることを確認します。
 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **80010902-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。(SysBrd 12V)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

800109020701ffff または 0x800109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のある電源機構を取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- **80010b01-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCH 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたケース・ケースに使用されます。

80010b012d01ffff または 0x80010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010b01-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたケース・ケースに使用されます。

80010b013701ffff または 0x80010b013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **80010b01-3702ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(PIB 周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

80010b013702ffff または 0x80010b013702ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010b01-3703ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(HDD インレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザ・ケースに使用されます。

80010b013703ffff または 0x80010b013703ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. HDD が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010b01-3704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCI ライザー 1 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザ・ケースに使用されます。

80010b013704ffff または 0x80010b013704ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **80010b01-3705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(PCI ライザー 2 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザー・ケースに使用されます。

80010b013705ffff または 0x80010b013705ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010b01-3706ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(GPU アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザ・ケースに使用されます。

80010b013706ffff または 0x80010b013706ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. GPU が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80010b01-3707ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。(HDD アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出されたユーザ・ケースに使用されます。

80010b013707ffff または 0x80010b013707ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアークラウドが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. HDD が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• 80030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] が表明解除されました。(署名検査の失敗)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

800300062101ffff または 0x800300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **80030012-2301ffff**: センサー [SensorElementName] が表明解除されました。(OS リアルタイム・モジュール)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

800300122301ffff または 0x800300122301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8003010c-2581ffff**: センサー [SensorElementName] が表明されました。(純正以外の DIMM)

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

8003010c2581ffff または 0x8003010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. 通知メッセージ。認定 DIMM と交換することをお勧めします。

- **8003010d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] が表明されました。(FDIMM Config)**
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
8003010d2b81ffff または 0x8003010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知
保守可能
いいえ
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリ
システム - その他
SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0508
ユーザー応答

1. サポートされているコンポーネント・リストを確認してください。

- **8003010f-2101ffff: センサー [SensorElementName] が表明されました。(IMM FW の破損)**
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
8003010f2101ffff または 0x8003010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知
保守可能
いいえ
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリ
システム - その他
SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0508
ユーザー応答

1. 1 次コードを再消去します。
2. 電源コードを取り外して接続し直します。

3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合、システム・ボードを交換してください。

- **80030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] が表明されました。(SMM モード)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。

800301120601ffff または 0x800301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

1. 電源機構を、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

SMM モニター:

- **8005010d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] が限界を超えたことを示しました。(FDIMM 温度制限)**

このメッセージは、実装環境でセンサーの限界超過が検出されたユース・ケースに表示されます。

8005010d2b81ffff または 0x8005010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0512

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **80070101-0c01ffff**: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(周囲ステータス)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701010c01ffff または 0x800701010c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。

- **8007010d-0b01ffff**: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(RAID #1 ボリューム)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010d0b01ffff または 0x8007010d0b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 以下のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **8007010d-0b07ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(RAID #7 ボリューム)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010d0b07ffff または 0x8007010d0b07ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **8007010d-2b81ffff**: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(FDIMM 保証)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010d2b81ffff または 0x8007010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

なし

- **8007010f-2201ffff**: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(GPT ステータス)

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010f2201ffff または 0x8007010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

- **8007010f-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(I/O リソース)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007010f2582ffff または 0x8007010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

- **80070114-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(TPM 物理プレゼンス設定)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701142201ffff または 0x800701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
3. システムをリブートします。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

- **80070128-2e01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態に遷移しました。(ME リカバリー)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800701282e01ffff または 0x800701282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

なし

- **80070201-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702010301ffff または 0x800702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

CPU1 VR 温度過熱:

- **80070201-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(CPU 2 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702010302ffff または 0x800702010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

CPU2 VR 温度過熱:

- **80070201-1101ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(PCI 1 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702011101ffff または 0x800702011101ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070201-1102ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(PCI 2 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702011102ffff または 0x800702011102ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070201-1103ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(PCI 3 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702011103ffff または 0x800702011103ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070201-1104ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(PCI 4 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702011104ffff または 0x800702011104ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070201-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(Exlom 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702012c01ffff または 0x800702012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070202-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(SysBrd 電圧障害)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702020701ffff または 0x800702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80070202-1501ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(PIB 障害)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702021501ffff または 0x800702021501ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソ

リユーシヨンの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **80070202-1502ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(PDB 障害)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702021502ffff または 0x800702021502ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **8007020d-0b01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(RAID #1 ボリューム)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020d0b01ffff または 0x8007020d0b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 以下のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **8007020d-0b07ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(RAID #7 ボリューム)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020d0b07ffff または 0x8007020d0b07ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **8007020d-2b81ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(FDIMM 保証)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020d2b81ffff または 0x8007020d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

なし

- **8007020f-2201ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(TXT ACM モジュール)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020f2201ffff または 0x8007020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. TXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を使用不可にします。
2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup Utility から TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

- **8007020f-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(I/O リソース)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007020f2582ffff または 0x8007020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. TXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を使用不可にします。
2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup Utility から TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

- **80070214-2201ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(TPM ロック)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702142201ffff または 0x800702142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

- **80070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(SysBrd 障害)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702190701ffff または 0x800702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が

必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4. AC 電源コードのプラグをいったん抜いてから元に戻し、ステップ 1 と 2 を再度実行します。
5. 引き続き問題が発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **8007021b-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(CPU 1 QPILinkErr)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007021b0301ffff または 0x8007021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

- **8007021b-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(CPU 2 QPILinkErr)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007021b0302ffff または 0x8007021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

- **80070228-2e01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態から重大な状態に遷移しました。(ME エラー)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800702282e01ffff または 0x800702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

なし ME フラッシュ・エラー:

- **80070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703010301ffff または 0x800703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

CPU1 VR 温度過熱:

- **80070301-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(CPU 2 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703010302ffff または 0x800703010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

CPU2 VR 温度過熱:

- **80070301-1101ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(PCI 1 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703011101ffff または 0x800703011101ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070301-1102ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(PCI 2 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703011102ffff または 0x800703011102ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バフフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070301-1103ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(PCI 3 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703011103ffff または 0x800703011103ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ_n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ_n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070301-1104ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(PCI 4 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703011104ffff または 0x800703011104ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **80070301-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(Exlom 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703012c01ffff または 0x800703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **8007030d-0b01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(RAID #1 ボリューム)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007030d0b01ffff または 0x8007030d0b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **8007030d-0b07ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(RAID #7 ボリューム)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007030d0b07ffff または 0x8007030d0b07ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

なし

- **8007030d-2b81ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(FDIMM 保証)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8007030d2b81ffff または 0x8007030d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

なし

- **80070319-2201ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。(S3 再開失敗)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800703192201ffff または 0x800703192201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

なし

- **80070614-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。(TPM 物理プレゼンス設定)**

このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800706142201ffff または 0x800706142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

- **8008010f-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(物理プレゼンス・ジャンパー)**

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8008010f2101ffff または 0x8008010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **80080128-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。(低セキュリティー・ジャンパー)**

このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800801282101ffff または 0x800801282101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **800a030d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] がオンライン状態を示しました。(FDIMM モード)**

このメッセージは、センサーがオンライン状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800a030d2b81ffff または 0x800a030d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0546

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **800a040d-2b81ffff**: センサー [SensorElementName] がオフライン状態を示しました。(FDIMM モード)

このメッセージは、センサーがオフライン状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800a040d2b81ffff または 0x800a040d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0548

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **800a060d-2b81ffff**: センサー [SensorElementName] が機能低下状態を示しました。(FDIMM モード)

このメッセージは、センサーが機能低下状態に移行したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

800a060d2b81ffff または 0x800a060d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0552

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **800b010c-2581ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失が表明されました。(バックアップ・メモリー)**

このメッセージは、冗長性が失われたことが表明されたユース・ケースに使用されます

800b010c2581ffff または 0x800b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. セットアップ・ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にしてください。

- **800b030c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なりソース」が検出されました。(バックアップ・メモリー)**

このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化したユース・ケースに使用されます。

800b030c2581ffff または 0x800b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0806

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. セットアップ・ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にしてください。

- **800b050c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。(バックアップ・メモリー)**

このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化したユース・ケースに使用されます。

800b050c2581ffff または 0x800b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. セットアップ・ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にしてください。

- **806f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。(CPU 1)**

このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

806f00070301ffff または 0x806f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• 806f0007-0302ffff: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。(CPU 2)

このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出したユーザー・ケースに使用されます。

806f00070302ffff または 0x806f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0009-1301ffff: [PowerSupplyElementName] が電源オフになっています。(ホスト電源)**

このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301ffff または 0x806f00091301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 電源オフ

SNMP Trap ID

23

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0106

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(計算 HDD0 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0401ffff または 0x806f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(計算 HDD1 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0402ffff または 0x806f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(計算 HDD4 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0403ffff または 0x806f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(計算 HDD5 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0404ffff または 0x806f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(計算 HDD6 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0405ffff または 0x806f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(計算 HDD7 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0406ffff または 0x806f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(1U Stg HDD0 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0407ffff または 0x806f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0408ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(1U Stg HDD1 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0408ffff または 0x806f000d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0409ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(1U Stg HDD2 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0409ffff または 0x806f000d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-040affff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(1U Stg HDD3 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d040affff または 0x806f000d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-040bffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(1U Stg HDD4 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d040bffff または 0x806f000d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-040cffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(1U Stg HDD5 プレゼンス)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d040cffff または 0x806f000d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-040dffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(1U Stg HDD6 プレゼンス)

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d040dffff または 0x806f000d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-040effff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(1U Stg HDD7 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d040effff または 0x806f000d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 1)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0410ffff または 0x806f000d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0411ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0411ffff または 0x806f000d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0412ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 3)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0412ffff または 0x806f000d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0413ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0413ffff または 0x806f000d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0414ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0414ffff または 0x806f000d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0415ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0415ffff または 0x806f000d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0416ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0416ffff または 0x806f000d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0417ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 8)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0417ffff または 0x806f000d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0418ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 9)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0418ffff または 0x806f000d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-0419ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 10)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d0419ffff または 0x806f000d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-041affff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 11)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d041affff または 0x806f000d041affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-041bffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 12)
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d041bffff または 0x806f000d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-041cffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 13)
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d041cffff または 0x806f000d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-041dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 14)**
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d041dffff または 0x806f000d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-041effff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 15)**
このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d041effff または 0x806f000d041effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000d-041fffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が追加されました。(SDHV ドライブ 16)**

このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000d041ffff または 0x806f000d041ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f000f220101ff: システム [ComputerSystemElementName] は、システムにメモリーがないことを検出しました。(ABR ステータス)**

このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101ff または 0x806f000f220101ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0794

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクション

ンにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブートのステータス：

- **806f000f-220102ff**：サブシステム [MemoryElementName] に、操作に十分なメモリーがありません。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で使用可能メモリーが動作には不十分であることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220102ff または 0x806f000f220102ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0132

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブートのステータス：

- **806f000f-220103ff**：システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なブート・デバイスの障害です。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なブート・デバイス障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220103ff または 0x806f000f220103ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0770

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブートのステータス:

- **806f000f-220104ff: システム [ComputerSystemElementName] でマザーボードの障害が発生しました。(ABR ステータス)**

このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

806f000f220104ff または 0x806f000f220104ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0795

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブートのステータス:

- **806f000f-220107ff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なキーボード・エラーです。(ABR ステータス)**

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なキーボード障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220107ff または 0x806f000f220107ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0764

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブートのステータス:

- **806f000f-22010aff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。ビデオ・デバイスが検出されませんでした。(ABR ステータス)**

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラー (ビデオ・デバイスが見つかりません) の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010aff または 0x806f000f22010aff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0766

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブートのステータス:

- **806f000f-22010bff: POST 中にシステム [ComputerSystemElementName] でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。(ABR ステータス)**

POST 中に、システム上でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。

806f000f22010bff または 0x806f000f22010bff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0850

ユーザー応答

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再起動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。
重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブートのステータス:

- **806f000f-22010cff: [ProcessorElementName] で CPU 電圧不一致が検出されました。(ABR ステータス)**

このメッセージは、実装環境で CPU 電圧とソケット電圧のミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010cff または 0x806f000f22010cff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0050

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブートのステータス:

- **806f000f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。(ABR ステータス)**

このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0184

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブートのステータス:

- **806f0013-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] で診断割り込みが発生しました。(NMI 状態)**

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f00131701ffff または 0x806f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0222

ユーザー応答

NMI ボタンを押していない場合は、以下の手順を実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

- **806f001e-2201ffff**: システム [ComputerSystemElementName] に使用可能なブート可能メディアがありません。(ブート・デバイスなし)

このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f001e2201ffff または 0x806f001e2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0286

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0021-2201ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(Op ROM スペースなし)
このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。
806f00212201ffff または 0x806f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。**重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0021-2582ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(すべての PCI エラー)
このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。
806f00212582ffff または 0x806f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1つの PCI エラー:

- **806f0021-2c01ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(Exlom 障害)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212c01ffff または 0x806f00212c01ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整

整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

PCI RAID 障害 :

- **806f0021-3001ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 1)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213001ffff または 0x806f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0021-3002ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 2)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213002ffff または 0x806f00213002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
 2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 4. 対象のアダプターを交換します。
 5. ライザー・カードを交換します。
 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **806f0021-3003ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 3)
このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。
806f00213003ffff または 0x806f00213003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
 2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 4. 対象のアダプターを交換します。
 5. ライザー・カードを交換します。
 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **806f0021-3004ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 4)
このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。
806f00213004ffff または 0x806f00213004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0021-3005ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 5)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213005ffff または 0x806f00213005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0021-3006ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。(PCI 6)

このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213006ffff または 0x806f00213006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0023-2101ffff: [WatchdogElementName] のウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。(IPMI ウォッチドッグ)**

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101ffff または 0x806f00232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0368

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0028-2101ffff: 管理システム [ComputerSystemElementName] でセンサー [SensorElementName] が使用不可または機能低下状態です。(TPM コマンド障害)**

このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f00282101ffff または 0x806f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0398

ユーザー応答

1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サー
バーを再始動します。
2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換
します。

• **806f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で過熱状態が検出されました。(CPU 1)**

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f01070301ffff または 0x806f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0107-0302ffff: [ProcessorElementName] で過熱状態が検出されました。(CPU 2)**

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が検出されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01070302ffff または 0x806f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0108-1501ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。(HSC ステータス)**

このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01081501ffff または 0x806f01081501ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0086

ユーザー応答

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. 電源オン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = 電源機構番号)

• 806f0109-1301ffff: [PowerSupplyElementName] の電源が入れ直されました。(ホスト電源)

このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301ffff または 0x806f01091301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0108

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

• 806f010c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2001ffff または 0x806f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2002ffff または 0x806f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2003ffff または 0x806f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2004ffff または 0x806f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2005ffff または 0x806f010c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2006ffff または 0x806f010c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2007ffff または 0x806f010c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

• **806f010c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2008ffff または 0x806f010c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。

3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2009ffff または 0x806f010c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f010c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 10)**

このメッセージは、実装環境でメモリの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200affff または 0x806f010c200affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 11)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200bffff または 0x806f010c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 12)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200cffff または 0x806f010c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが

UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200dffff または 0x806f010c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 14)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200effff または 0x806f010c200effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c200fffff または 0x806f010c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f010c-2010ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2010ffff または 0x806f010c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

- **806f010c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で訂正不能エラーが検出されました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f010c2581ffff または 0x806f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM :

- **806f010d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(コンピューター HDD0)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたコース・ケースに使用されます。

806f010d0401ffff または 0x806f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(コンピューター HDD1)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0402ffff または 0x806f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(コンピューター HDD4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザ・ケースに使用されます。

806f010d0403ffff または 0x806f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(コンピューター HDD5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザ・ケースに使用されます。

806f010d0404ffff または 0x806f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたケース・ケースに使用されます。

806f010d0405ffff または 0x806f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0406ffff または 0x806f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

- ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(1U ストレージ HDD0)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0407ffff または 0x806f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0408ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(IU ストレージ HDD1)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0408ffff または 0x806f010d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0409ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(1U ストレージ HDD2)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d0409ffff または 0x806f010d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付
けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再
始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケー
ブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-040affff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされまし
た。(1U ストレージ HDD3)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d040affff または 0x806f010d040affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-040bffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(IU ストレージ HDD4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d040bffff または 0x806f010d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-040cffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(IU ストレージ HDD5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d040cffff または 0x806f010d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付
けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再
始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケー
ブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-040dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされまし
た。(1U ストレージ HDD6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d040dffff または 0x806f010d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-040effff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(IU ストレージ HDD7)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザ・ケースに使用されます。

806f010d040effff または 0x806f010d040effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 1)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザ・ケースに使用されます。

806f010d0410ffff または 0x806f010d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0411ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0411ffff または 0x806f010d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0412ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 3)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0412ffff または 0x806f010d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0413ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0413ffff または 0x806f010d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0414ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0414ffff または 0x806f010d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0415ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0415ffff または 0x806f010d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

- ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0416ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0416ffff または 0x806f010d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0417ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 8)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d0417ffff または 0x806f010d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0418ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 9)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d0418ffff または 0x806f010d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付
けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再
始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケー
ブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-0419ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされま
した。(SDHV ドライブ 10)

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d0419ffff または 0x806f010d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-041affff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 11)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザ・ケースに使用されます。

806f010d041affff または 0x806f010d041affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-041bffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 12)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d041bffff または 0x806f010d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付
けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再
始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケー
ブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-041cffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされま
した。(SDHV ドライブ 13)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d041cffff または 0x806f010d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-041dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 14)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d041dffff または 0x806f010d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-041effff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 15)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f010d041effff または 0x806f010d041effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-041fffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(SDHV ドライブ 16)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f010d041fffff または 0x806f010d041fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010d-2b81ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] は障害が検出されたため無効にされました。(FDIMM 状態)**

このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出されたユーザ・ケースに使用されます。

806f010d2b81ffff または 0x806f010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f010f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。(ファームウェア・エラー)**

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201ffff または 0x806f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - ブート障害

SNMP Trap ID

25

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0186

ユーザー応答

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **806f0113-0301ffff: システム [ComputerSystemElementName] でバス・タイムアウトが発生しました。(CPU 1 PECl)**
このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。806f01130301ffff または 0x806f01130301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0224

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0113-0302ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] でバス・タイムアウトが発生しました。
(CPU 2 PECl)

このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130302ffff または 0x806f01130302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0224

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0123-2101ffff**: [**WatchdogElementName**] によってシステム [**ComputerSystemElementName**] のリポートが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリポートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101ffff または 0x806f01232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0370

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0125-1001ffff: [ManagedElementName] が存在していないと検出されました。(PCI ライザー 1)**
このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01251001ffff または 0x806f01251001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0392

ユーザー応答

PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

- **806f0125-1002ffff: [ManagedElementName] が存在していないと検出されました。(PCI ライザー 2)**
このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01251002ffff または 0x806f01251002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0392

ユーザー応答

PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

- **806f0125-1f01ffff: [ManagedElementName] が存在していないと検出されました。(PDB ケーブル)**

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01251f01ffff または 0x806f01251f01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0392

ユーザー応答

PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

- **806f0125-2c01ffff: [ManagedElementName] が存在していないと検出されました。(Exlom カード)**

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f01252c01ffff または 0x806f01252c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0392

ユーザー応答

PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

- **806f0207-0301ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 1)**

このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f02070301ffff または 0x806f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0207-0302ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(CPU 2)**

このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f02070302ffff または 0x806f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 2. DSA プログラムを実行します。
 3. アダプターを取り付け直します。
 4. アダプターを交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **806f0207-2584ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。(すべての CPU)**
このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f02072584ffff または 0x806f02072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 2. DSA プログラムを実行します。
 3. アダプターを取り付け直します。
 4. アダプターを交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- 1つのCPU:

- **806f020d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(コンピューター HDD0)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401ffff または 0x806f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(コンピューター HDD1)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。
806f020d0402ffff または 0x806f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)
- **806f020d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(コンピューター HDD4)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。
806f020d0403ffff または 0x806f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(コンピューター HDD5)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404ffff または 0x806f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405ffff または 0x806f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406ffff または 0x806f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(IU ストレージ HDD0)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407ffff または 0x806f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

- ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
- 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0408ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(IU ストレージ HDD1)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0408ffff または 0x806f020d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0409ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(1U ストレージ HDD2)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0409ffff または 0x806f020d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-040affff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(1U ストレージ HDD3)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040affff または 0x806f020d040affff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-040bffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(1U ストレージ HDD4)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040bffff または 0x806f020d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-040cffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(1U ストレージ HDD5)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040cffff または 0x806f020d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-040dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(1U ストレージ HDD6)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040dffff または 0x806f020d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-040effff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(1U ストレージ HDD7)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040effff または 0x806f020d040effff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 1)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0410ffff または 0x806f020d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0411ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0411ffff または 0x806f020d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0412ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 3)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0412ffff または 0x806f020d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0413ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 4)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0413ffff または 0x806f020d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブb. システム・ボードからバックプレーンへのケーブルc. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン(n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0414ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 5)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0414ffff または 0x806f020d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0415ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 6)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0415ffff または 0x806f020d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0416ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 7)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0416ffff または 0x806f020d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0417ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 8)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0417ffff または 0x806f020d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0418ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 9)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0418ffff または 0x806f020d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-0419ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 10)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0419ffff または 0x806f020d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-041affff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 11)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041affff または 0x806f020d041affff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-041bffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 12)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041bffff または 0x806f020d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-041cffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 13)

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041cffff または 0x806f020d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-041dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 14)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041dffff または 0x806f020d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-041effff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 15)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041effff または 0x806f020d041effff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n = ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-041fffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(SDHV ドライブ 16)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041fffff または 0x806f020d041fffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f020d-2b81ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。(FDIMM 状態)**

このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d2b81ffff または 0x806f020d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

1. ドライブ n にハードディスク・ドライブの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハードディスク・ドライブ(ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます)b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に1つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハードディスク・ドライブ b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハードディスク・ドライブ・バックプレーン (n=ハードディスク・ドライブ番号)

- **806f0223-2101ffff: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源オフが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)**

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユーザー・ケースに表示されます。

806f02232101ffff または 0x806f02232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0372

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001ffff または 0x806f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002ffff または 0x806f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。
806f030c2003ffff または 0x806f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004ffff または 0x806f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2005ffff または 0x806f030c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2006ffff または 0x806f030c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。

4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2007ffff または 0x806f030c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2008ffff または 0x806f030c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2009ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2009ffff または 0x806f030c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 10)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200affff または 0x806f030c200affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200bffff または 0x806f030c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

• **806f030c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 12)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200cffff または 0x806f030c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200dffff または 0x806f030c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200effff または 0x806f030c200effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200fffff または 0x806f030c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2010ffff または 0x806f030c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- **806f030c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で消し込み障害が発生しました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2581ffff または 0x806f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM :

- **806f030d-0401ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(コンピューター HDD0)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0401ffff または 0x806f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-0402ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(コンピューター HDD1)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0402ffff または 0x806f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-0403ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(コンピューター HDD4)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0403ffff または 0x806f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-0404ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(コンピューター HDD5)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0404ffff または 0x806f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-0405ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0405ffff または 0x806f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-0406ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0406ffff または 0x806f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-0407ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(IU ストレージ HDD0)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0407ffff または 0x806f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-0408ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(IU ストレージ HDD1)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0408ffff または 0x806f030d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-0409ffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(IU ストレージ HDD2)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0409ffff または 0x806f030d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-040affff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(IU ストレージ HDD3)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040affff または 0x806f030d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-040bffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(IU ストレージ HDD4)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040bffff または 0x806f030d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-040cffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(IU ストレージ HDD5)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040cffff または 0x806f030d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-040dffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(IU ストレージ HDD6)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040dffff または 0x806f030d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f030d-040effff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。(IU ストレージ HDD7)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040effff または 0x806f030d040effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0170

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0313-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しました。(NMI 状態)**

このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f03131701ffff または 0x806f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0228

ユーザー応答

1. デバイス・ドライバーを検査します。
2. デバイス・ドライバーを再インストールします。
3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

- **806f0322-1301ffff: コンピューター・システム [ComputerSystemElementName] はスタンバイです。(ACPI 電源状態)**

このメッセージは、実装環境でシステムがスタンバイ・モードになっていることが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f03221301ffff または 0x806f03221301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0360

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0323-2101ffff: ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。(IPMI ウォッチドッグ)**

このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f03232101ffff または 0x806f03232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0374

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f040c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001ffff または 0x806f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002ffff または 0x806f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003ffff または 0x806f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2004ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004ffff または 0x806f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2005ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005ffff または 0x806f040c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006ffff または 0x806f040c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007ffff または 0x806f040c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008ffff または 0x806f040c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009ffff または 0x806f040c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200affff または 0x806f040c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bffff または 0x806f040c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-200cffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cffff または 0x806f040c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-200dffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200dffff または 0x806f040c200dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200effff または 0x806f040c200effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200fffff または 0x806f040c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2010ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2010ffff または 0x806f040c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

- **806f040c-2581ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。 (すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581ffff または 0x806f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリーのロギング限度に到達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び有効にすることができます。

1 つの DIMM :

- **806f0413-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI PERR が発生しました。(PCI)**

このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f04132582ffff または 0x806f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0232

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. PCIe アダプターを交換します。
6. ライザー・カードを交換します。

- **806f0507-0301ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。(CPU 1)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f05070301ffff または 0x806f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロ
プロセッサ番号)

- **806f0507-0302ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。(CPU 2)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f05070302ffff または 0x806f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0507-2584ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。(すべての CPU)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f05072584ffff または 0x806f05072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

1つの CPU:

- **806f0508-1501ffff: [PowerSupplyElementName] が範囲外の入力状態で動作しています。(HSC ステータス)**

このメッセージは、電源機構の入力が範囲外であることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f05081501ffff または 0x806f05081501ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0098

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f050c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001ffff または 0x806f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002ffff または 0x806f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f050c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003ffff または 0x806f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが

UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004ffff または 0x806f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005ffff または 0x806f050c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2006ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006ffff または 0x806f050c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007ffff または 0x806f050c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008ffff または 0x806f050c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009ffff または 0x806f050c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 10)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200affff または 0x806f050c200affff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 11)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bffff または 0x806f050c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
 2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f050c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 12)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200cffff または 0x806f050c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200dffff または 0x806f050c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

• **806f050c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 14)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200effff または 0x806f050c200effff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
- **806f050c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 15)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200fffff または 0x806f050c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。

3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2010ffff または 0x806f050c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

- **806f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581ffff または 0x806f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを電源から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM :

- **806f050d-0401ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(コンピューター HDD0)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0401ffff または 0x806f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0402ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(コンピューター HDD1)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0402ffff または 0x806f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
 5. RAID アダプターを交換します。
 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f050d-0403ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(コンピューター HDD4)**
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0403ffff または 0x806f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0404ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(コンピューター HDD5)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0404ffff または 0x806f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0405ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0405ffff または 0x806f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f050d-0406ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0406ffff または 0x806f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0407ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(1U ストレージ HDD0)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0407ffff または 0x806f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0408ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(1U ストレージ HDD1)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0408ffff または 0x806f050d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
 5. RAID アダプターを交換します。
 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f050d-0409ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(1U ストレージ HDD2)**
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0409ffff または 0x806f050d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-040affff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(1U ストレージ HDD3)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d040affff または 0x806f050d040affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-040bffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(1U ストレージ HDD4)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d040bffff または 0x806f050d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-040cffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(1U ストレージ HDD5)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d040cffff または 0x806f050d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-040dffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(1U ストレージ HDD6)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d040dffff または 0x806f050d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-040effff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(1U ストレージ HDD7)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d040effff または 0x806f050d040effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f050d-0410ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 1)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0410ffff または 0x806f050d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0411ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0411ffff または 0x806f050d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0412ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 3)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0412ffff または 0x806f050d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f050d-0413ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0413ffff または 0x806f050d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0414ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 5)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0414ffff または 0x806f050d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0415ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0415ffff または 0x806f050d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f050d-0416ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0416ffff または 0x806f050d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0417ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 8)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0417ffff または 0x806f050d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-0418ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 9)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0418ffff または 0x806f050d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
 5. RAID アダプターを交換します。
 6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f050d-0419ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 10)**
このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d0419ffff または 0x806f050d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-041affff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 11)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d041affff または 0x806f050d041affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-041bffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 12)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d041bffff または 0x806f050d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f050d-041cffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 13)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d041cffff または 0x806f050d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-041dffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 14)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d041dffff または 0x806f050d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f050d-041effff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 15)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d041effff または 0x806f050d041effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f050d-041ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が重大な状態です。(SDHV ドライブ 16)**

このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f050d041ffff または 0x806f050d041ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f0513-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] で PCI SERR が発生しました。(PCI)**

このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出されたユース・ケースに使用されます。

806f05132582ffff または 0x806f05132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0234

ユーザー応答

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

- **806f052b-2101ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていないファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。(IMM2 FW フェイルオーバー)

このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f052b2101ffff または 0x806f052b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0446

ユーザー応答

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. サーバーを再起動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に1つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0607-0301ffff**: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが表明されました。(CPU 1)

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます

806f06070301ffff または 0x806f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 2. DSA プログラムを実行します。
 3. アダプターを取り付け直します。
 4. アダプターを交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- **806f0607-0302ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが表明されました。(CPU 2)**
このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます。806f06070302ffff または 0x806f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• **806f0607-2584ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが表明されました。(すべての CPU)**

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明されたユース・ケースに使用されます。806f06072584ffff または 0x806f06072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1つのCPU:

• **806f060d-0401ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(コンピューター HDD0)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0401ffff または 0x806f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f060d-0402ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(コンピューター HDD1)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0402ffff または 0x806f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0403ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(コンピューター HDD4)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0403ffff または 0x806f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0404ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(コンピューター HDD5)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0404ffff または 0x806f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0405ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0405ffff または 0x806f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0406ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0406ffff または 0x806f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0407ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(1U ストレージ HDD0)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0407ffff または 0x806f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0408ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(1U ストレージ HDD1)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0408ffff または 0x806f060d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。

5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f060d-0409ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(1U ストレージ HDD2)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0409ffff または 0x806f060d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f060d-040affff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(1U ストレージ HDD3)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d040affff または 0x806f060d040affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-040bffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(1U ストレージ HDD4)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d040bffff または 0x806f060d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-040cffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(1U ストレージ HDD5)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d040cffff または 0x806f060d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

• **806f060d-040dffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(1U ストレージ HDD6)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d040dffff または 0x806f060d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-040effff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(1U ストレージ HDD7)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d040effff または 0x806f060d040effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0410ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 1)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0410ffff または 0x806f060d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0411ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0411ffff または 0x806f060d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。

5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0412ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 3)
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0412ffff または 0x806f060d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0413ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 4)
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0413ffff または 0x806f060d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0414ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 5)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0414ffff または 0x806f060d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-0415ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 6)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0415ffff または 0x806f060d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0416ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 7)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0416ffff または 0x806f060d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0417ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 8)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0417ffff または 0x806f060d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0418ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 9)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d0418ffff または 0x806f060d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-0419ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 10)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d0419ffff または 0x806f060d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。

5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-041affff**: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 11)
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d041affff または 0x806f060d041affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-041bffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 12)
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d041bffff または 0x806f060d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-041cffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 13)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d041cffff または 0x806f060d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-041dffff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 14)**
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d041dffff または 0x806f060d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

- **806f060d-041effff: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 15)**

このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f060d041effff または 0x806f060d041effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f060d-041ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。(SDHV ドライブ 16)
このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f060d041ffff または 0x806f060d041ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
 3. SAS ケーブルを交換します。
 4. RAID アダプターを交換します。
 5. 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- **806f070c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 1)
このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。
806f070c2001ffff または 0x806f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2002ffff または 0x806f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2003ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2003ffff または 0x806f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2004ffff または 0x806f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2005ffff または 0x806f070c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2006ffff または 0x806f070c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2007ffff または 0x806f070c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2008ffff または 0x806f070c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2009ffff または 0x806f070c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c200affff または 0x806f070c200affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

806f070c200bffff または 0x806f070c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 12)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c200cffff または 0x806f070c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c200dffff または 0x806f070c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c200effff または 0x806f070c200effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c200fffff または 0x806f070c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2010ffff または 0x806f070c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

- **806f070c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

806f070c2581ffff または 0x806f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。1つの DIMM:

- **806f070d-0401ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(コンピューター HDD0)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0401ffff または 0x806f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0402ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(コンピューター HDD1)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0402ffff または 0x806f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0403ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(コンピューター HDD4)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0403ffff または 0x806f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0404ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(コンピューター HDD5)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0404ffff または 0x806f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0405ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(コンピューター HDD6)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0405ffff または 0x806f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0406ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(コンピューター HDD7)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0406ffff または 0x806f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0407ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(1U ストレージ HDD0)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0407ffff または 0x806f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0408ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(1U ストレージ HDD1)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0408ffff または 0x806f070d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0409ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(1U ストレージ HDD2)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0409ffff または 0x806f070d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-040affff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(1U ストレージ HDD3)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d040affff または 0x806f070d040affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-040bffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(1U ストレージ HDD4)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d040bffff または 0x806f070d040bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-040cffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(1U ストレージ HDD5)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d040cffff または 0x806f070d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-040dffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(1U ストレージ HDD6)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d040dffff または 0x806f070d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-040effff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(1U ストレージ HDD7)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d040effff または 0x806f070d040effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0410ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0410ffff または 0x806f070d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0411ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0411ffff または 0x806f070d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0412ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0412ffff または 0x806f070d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0413ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0413ffff または 0x806f070d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0414ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0414ffff または 0x806f070d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0415ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0415ffff または 0x806f070d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0416ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0416ffff または 0x806f070d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0417ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 8)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0417ffff または 0x806f070d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0418ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 9)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0418ffff または 0x806f070d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-0419ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 10)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d0419ffff または 0x806f070d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-041affff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 11)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d041affff または 0x806f070d041affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-041bffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 12)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d041bffff または 0x806f070d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-041cffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 13)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d041cffff または 0x806f070d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-041dffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 14)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d041dffff または 0x806f070d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-041effff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 15)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d041effff または 0x806f070d041effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f070d-041ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。(SDHV ドライブ 16)

このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f070d041ffff または 0x806f070d041ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f072b-2101ffff**: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの正常な変更が検出されました。(IMM プロモーション)

このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f072b2101ffff または 0x806f072b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0450

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。 IMM リカバリー:

- **806f072b-2201ffff**: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの正常な変更が検出されました。(バックアップ自動更新)

このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f072b2201ffff または 0x806f072b2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0450

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ROM リカバリー:

- **806f0807-0301ffff**: [ProcessorElementName] が無効にされました。(CPU 1)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f08070301ffff または 0x806f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0807-0302ffff: [ProcessorElementName] が無効にされました。(CPU 2)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f08070302ffff または 0x806f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f0807-2584ffff: [ProcessorElementName] が無効にされました。(すべての CPU)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f08072584ffff または 0x806f08072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの CPU:

- **806f0813-2581ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(DIMM)

このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f08132581ffff または 0x806f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します(『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0813-2582ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(PCI)

このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f08132582ffff または 0x806f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します(『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0813-2584ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で訂正不能なバス・エラーが発生しました。(CPU)

このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f08132584ffff または 0x806f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します(『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- 2つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **806f0823-2101ffff: [WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。(IPMI ウォッチドッグ)**

このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101ffff または 0x806f08232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0376

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **806f090c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2001ffff または 0x806f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2002ffff または 0x806f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2003ffff または 0x806f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2004ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2004ffff または 0x806f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2005ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2005ffff または 0x806f090c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2006ffff または 0x806f090c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2007ffff または 0x806f090c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2008ffff または 0x806f090c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2009ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2009ffff または 0x806f090c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200affff または 0x806f090c200affff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200bffff または 0x806f090c200bffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-200cffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200cffff または 0x806f090c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200dffff または 0x806f090c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200effff または 0x806f090c200effff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c200fffff または 0x806f090c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f090c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f090c2010ffff または 0x806f090c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a07-0301ffff: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。(CPU 1)**

このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a070301ffff または 0x806f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

• **806f0a07-0302ffff: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。(CPU 2)**

このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出されたユーザ・ケースに使用されます。

806f0a070302ffff または 0x806f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0a0c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2001ffff または 0x806f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2002ffff または 0x806f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2003ffff または 0x806f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2004ffff または 0x806f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- **806f0a0c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2005ffff または 0x806f0a0c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2006ffff または 0x806f0a0c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2007ffff または 0x806f0a0c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2008ffff または 0x806f0a0c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2009ffff または 0x806f0a0c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 10)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200affff または 0x806f0a0c200affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- **806f0a0c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 11)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200bffff または 0x806f0a0c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 12)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200cffff または 0x806f0a0c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200dffff または 0x806f0a0c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
 2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)
- **806f0a0c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 14)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200effff または 0x806f0a0c200effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 15)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c200fffff または 0x806f0a0c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a0c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で過熱状態が検出されました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が検出されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a0c2010ffff または 0x806f0a0c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

- **806f0a13-0301ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で致命的なバス・エラーが発生しました。(CPU 1 PECCI)

このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a130301ffff または 0x806f0a130301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0244

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **806f0a13-0302ffff**: システム [ComputerSystemElementName] で致命的なバス・エラーが発生しました。(CPU 2 PECl)

このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出されたユース・ケースに使用されます。

806f0a130302ffff または 0x806f0a130302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0244

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **81010002-0701ffff**: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(CMOS バッテリー)

このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810100020701ffff または 0x810100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電圧

SNMP Trap ID

13

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0477

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010202-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状況の解消が検出されました。(CMOS バッテリー)**

このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810102020701ffff または 0x810102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- **81010701-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107012d01ffff または 0x810107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010701-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

810107013701ffff または 0x810107013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010701-3702ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PIB 周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

810107013702ffff または 0x810107013702ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010701-3703ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(HDD インレット温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

810107013703ffff または 0x810107013703ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010701-3704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCI ライザー 1 温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

810107013704ffff または 0x810107013704ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010701-3705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCI ライザー 2 温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

810107013705ffff または 0x810107013705ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010701-3706ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(GPU アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

810107013706ffff または 0x810107013706ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010701-3707ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(HDD アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810107013707ffff または 0x810107013707ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109012d01ffff または 0x810109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010901-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109013701ffff または 0x810109013701ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010901-3702ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PIB 周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109013702ffff または 0x810109013702ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010901-3703ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(HDD インレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109013703ffff または 0x810109013703ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010901-3704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCI ライザー 1 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109013704ffff または 0x810109013704ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010901-3705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCI ライザー 2 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109013705ffff または 0x810109013705ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010901-3706ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(GPU アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109013706ffff または 0x810109013706ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010901-3707ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(HDD アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109013707ffff または 0x810109013707ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010902-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(SysBrd 12V)**

このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810109020701ffff または 0x810109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

- **81010b01-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCH 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b012d01ffff または 0x81010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010b01-3701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b013701ffff または 0x81010b013701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010b01-3702ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PIB 周囲温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b013702ffff または 0x81010b013702ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010b01-3703ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(HDD インレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b013703ffff または 0x81010b013703ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010b01-3704ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCI ライザー 1 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b013704ffff または 0x81010b013704ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010b01-3705ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(PCI ライザー 2 温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b013705ffff または 0x81010b013705ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010b01-3706ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(GPU アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b013706ffff または 0x81010b013706ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81010b01-3707ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状況の解消が検出されました。(HDD アウトレット温度)**

このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

81010b013707ffff または 0x81010b013707ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報**接頭部:** PLAT ID: 0499**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] が表明されました。(署名検査の失敗)**
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
810300062101ffff または 0x810300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報****接頭部:** PLAT ID: 0508**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81030012-2301ffff: センサー [SensorElementName] が表明されました。(OS リアルタイム・モジュール)**
このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出されたユース・ケースに使用されます。
810300122301ffff または 0x810300122301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8103010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] が表明解除されました。(純正以外の DIMM)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

8103010c2581ffff または 0x8103010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8103010d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] が表明解除されました。(FDIMM Config)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

8103010d2b81ffff または 0x8103010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] が表明解除されました。(SMM モード)**

このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出されたユース・ケースに使用されます。

810301120601ffff または 0x810301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。 SMM モニター:

- **8105010d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] が限界を超えなくなったことを示しました。(FDIMM 温度制限)**

このメッセージは、センサーの限界超過がなくなったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8105010d2b81ffff または 0x8105010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0513

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070101-0c01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。(周囲ステータス)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701010c01ffff または 0x810701010c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107010d-0b01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。(RAID #1 ボリューム)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010d0b01ffff または 0x8107010d0b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107010d-0b07ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。(RAID #7 ボリューム)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010d0b07ffff または 0x8107010d0b07ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107010d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。(FDIMM 保証)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010d2b81ffff または 0x8107010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107010f-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。(GPT ステータス)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010f2201ffff または 0x8107010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107010f-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。(I/O リソース)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

8107010f2582ffff または 0x8107010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070128-2e01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から重大でない状態への遷移を表明解除しました。(ME リカバリー)**

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

810701282e01ffff または 0x810701282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070201-0301ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702010301ffff または 0x810702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。 CPU1 VR 温度過熱:

- **81070201-0302ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(CPU 2 温度過熱)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702010302ffff または 0x810702010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。 CPU2 VR 温度過熱:

- **81070201-1101ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(PCI 1 温度)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702011101ffff または 0x810702011101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070201-1102ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(PCI 2 温度)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702011102ffff または 0x810702011102ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070201-1103ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(PCI 3 温度)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702011103ffff または 0x810702011103ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070201-1104ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(PCI 4 温度)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702011104ffff または 0x810702011104ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070201-2c01ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(Exlom 温度)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702012c01ffff または 0x810702012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070202-0701ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(SysBrd 電圧障害)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702020701ffff または 0x810702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070202-1501ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(PIB 障害)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702021501ffff または 0x810702021501ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070202-1502ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(PDB 障害)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702021502ffff または 0x810702021502ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020d-0b01ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(RAID #1 ボリューム)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020d0b01ffff または 0x8107020d0b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020d-0b07ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(RAID #7 ボリューム)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020d0b07ffff または 0x8107020d0b07ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(FDIMM 保証)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020d2b81ffff または 0x8107020d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020f-2201ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(TXT ACM モジュール)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020f2201ffff または 0x8107020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107020f-2582ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(I/O リソース)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107020f2582ffff または 0x8107020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報**接頭部:** PLAT ID: 0523**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070214-2201ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(TPM ロック)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702142201ffff または 0x810702142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報**接頭部:** PLAT ID: 0523**ユーザー応答**

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(SysBrd 障害)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702190701ffff または 0x810702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107021b-0301ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(CPU 1 QPILinkErr)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107021b0301ffff または 0x8107021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107021b-0302ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(CPU 2 QPILinkErr)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

8107021b0302ffff または 0x8107021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070228-2e01ffff: センサー [SensorElementName] が重大な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。(ME エラー)**

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出されたユース・ケースに使用されます。

810702282e01ffff または 0x810702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ME フラッシュ・エラー:

- **81070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(CPU 1 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703010301ffff または 0x810703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。 CPU1 VR 温度過熱:

- **81070301-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(CPU 2 温度過熱)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703010302ffff または 0x810703010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。 CPU2 VR 温度過熱:

- **81070301-1101ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(PCI 1 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703011101ffff または 0x810703011101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070301-1102ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(PCI 2 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703011102ffff または 0x810703011102ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070301-1103ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(PCI 3 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703011103ffff または 0x810703011103ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070301-1104ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(PCI 4 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703011104ffff または 0x810703011104ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **81070301-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(Exlom 温度)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

810703012c01ffff または 0x810703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107030d-0b01ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(RAID #1 ボリューム)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8107030d0b01ffff または 0x8107030d0b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107030d-0b07ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(RAID #7 ボリューム)

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8107030d0b07ffff または 0x8107030d0b07ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **8107030d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移を表明解除しました。(FDIMM 保証)**

このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

8107030d2b81ffff または 0x8107030d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **810b010c-2581ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失が表明解除されました。(バックアップ・メモリー)**

このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

810b010c2581ffff または 0x810b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0803

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **810b030c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」の解消が検出されました。(バックアップ・メモリー)**

このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化したユース・ケースに使用されます。

810b030c2581ffff または 0x810b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0807

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **810b050c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が表明解除されました。(バックアップ・メモリー)**

このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化したユース・ケースに使用されます。

810b050c2581ffff または 0x810b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] が IERR からリカバリーしました。(CPU 1)**

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00070301ffff または 0x816f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0043

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0007-0302ffff: [ProcessorElementName] が IERR からリカバリーしました。(CPU 2)**

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00070302ffff または 0x816f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0043

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0009-1301ffff: [PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。(ホスト電源)**

このメッセージは、電源装置が使用可能にされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00091301ffff または 0x816f00091301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - 電源オン

SNMP Trap ID

24

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0107

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f000d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(計算 HDD0 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0401ffff または 0x816f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(計算 HDD1 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0402ffff または 0x816f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。

2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(計算 HDD4 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0403ffff または 0x816f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ *n* を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(計算 HDD5 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0404ffff または 0x816f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(計算 HDD6 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0405ffff または 0x816f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。

3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(計算 HDD7 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0406ffff または 0x816f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(1U Stg HDD0 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0407ffff または 0x816f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0408ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(1U Stg HDD1 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0408ffff または 0x816f000d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0409ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(1U Stg HDD2 プレゼンス)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0409ffff または 0x816f000d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-040affff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(1U Stg HDD3 プレゼンス)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d040affff または 0x816f000d040affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
 2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
 3. SAS ケーブルを確認します。
 4. ハードディスク・ドライブを交換します。
- **816f000d-040bffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(1U Stg HDD4 プレゼンス)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d040bffff または 0x816f000d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
 2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
 3. SAS ケーブルを確認します。
 4. ハードディスク・ドライブを交換します。
- **816f000d-040cffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(1U Stg HDD5 プレゼンス)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d040cffff または 0x816f000d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-040dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(1U Stg HDD6 プレゼンス)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d040dffff または 0x816f000d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-040effff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(1U Stg HDD7 プレゼンス)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d040effff または 0x816f000d040effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0410ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0410ffff または 0x816f000d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0411ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0411ffff または 0x816f000d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0412ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 3)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0412ffff または 0x816f000d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0413ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0413ffff または 0x816f000d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0414ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0414ffff または 0x816f000d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0415ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0415ffff または 0x816f000d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0416ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0416ffff または 0x816f000d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0417ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 8)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0417ffff または 0x816f000d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。

2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0418ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 9)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0418ffff または 0x816f000d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-0419ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 10)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d0419ffff または 0x816f000d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-041affff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 11)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d041affff または 0x816f000d041affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。

3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-041bffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 12)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d041bffff または 0x816f000d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-041cffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 13)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d041cffff または 0x816f000d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-041dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 14)**

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d041dffff または 0x816f000d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-041effff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 15)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d041effff または 0x816f000d041effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000d-041fffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。(SDHV ドライブ 16)

このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000d041fffff または 0x816f000d041fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ハードディスク・ドライブ **n** を取り付け直します。(n=ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に1分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

- **816f000f-2201ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] が POST エラーの表明解除を検出しました。(ABR ステータス)

このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0185

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。ファームウェア・エラー: システム・ブートのステータス:

- **816f0013-1701ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] が診断割り込みからリカバリーしました。(NMI 状態)

このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00131701ffff または 0x816f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0223

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(Op ROM スペースなし)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212201ffff または 0x816f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-2582ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(すべての PCI エラー)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212582ffff または 0x816f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの PCI エラー:

- **816f0021-2c01ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(Exlom 障害)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00212c01ffff または 0x816f00212c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。PCI RAID 障害:

- **816f0021-3001ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 1)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00213001ffff または 0x816f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-3002ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 2)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00213002ffff または 0x816f00213002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-3003ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 3)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00213003ffff または 0x816f00213003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-3004ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 4)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00213004ffff または 0x816f00213004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-3005ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 5)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00213005ffff または 0x816f00213005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0021-3006ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が取り除かれました。(PCI 6)**

このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f00213006ffff または 0x816f00213006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0028-2101ffff: 管理システム [ComputerSystemElementName] でセンサー [SensorElementName] が正常に戻りました。(TPM コマンド障害)**

このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに表示されます。

816f00282101ffff または 0x816f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0399

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で過熱状態が取り除かれました。(CPU 1)**

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたケース・ケースに使用されます。

816f01070301ffff または 0x816f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0037

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0107-0302ffff: [ProcessorElementName] で過熱状態が取り除かれました。(CPU 2)**

このメッセージは、プロセッサの温度過熱状態が除去されたことが実装環境で検出されたケース・ケースに使用されます。

816f01070302ffff または 0x816f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0037

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0108-1501ffff: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。(HSC ステータス)**

このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01081501ffff または 0x816f01081501ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0087

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2001ffff または 0x816f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2002ffff または 0x816f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2003ffff または 0x816f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2004ffff または 0x816f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2005ffff または 0x816f010c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2006ffff または 0x816f010c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2007ffff または 0x816f010c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2008ffff または 0x816f010c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2009ffff または 0x816f010c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200affff または 0x816f010c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200bffff または 0x816f010c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 12)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200cffff または 0x816f010c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200dffff または 0x816f010c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200effff または 0x816f010c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c200fffff または 0x816f010c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2010ffff または 0x816f010c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] において訂正不能エラーからのリカバリーが検出されました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010c2581ffff または 0x816f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0139

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM :

- **816f010d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(コンピューター HDD0)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0401ffff または 0x816f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(コンピューター HDD1)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0402ffff または 0x816f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(コンピューター HDD4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0403ffff または 0x816f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(コンピューター HDD5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0404ffff または 0x816f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0405ffff または 0x816f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0406ffff または 0x816f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(1U ストレージ HDD0)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0407ffff または 0x816f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0408ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(1U ストレージ HDD1)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0408ffff または 0x816f010d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0409ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(1U ストレージ HDD2)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0409ffff または 0x816f010d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-040affff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(1U ストレージ HDD3)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d040affff または 0x816f010d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-040bffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(1U ストレージ HDD4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d040bffff または 0x816f010d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-040cffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(1U ストレージ HDD5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d040cffff または 0x816f010d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-040dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(1U ストレージ HDD6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d040dffff または 0x816f010d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-040effff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(1U ストレージ HDD7)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d040effff または 0x816f010d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 1)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0410ffff または 0x816f010d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0411ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0411ffff または 0x816f010d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0412ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 3)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0412ffff または 0x816f010d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0413ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0413ffff または 0x816f010d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0414ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 5)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0414ffff または 0x816f010d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0415ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0415ffff または 0x816f010d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0416ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 7)**
このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0416ffff または 0x816f010d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0417ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 8)**
このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0417ffff または 0x816f010d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0418ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 9)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0418ffff または 0x816f010d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-0419ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 10)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d0419ffff または 0x816f010d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-041affff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 11)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d041affff または 0x816f010d041affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-041bffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 12)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d041bffff または 0x816f010d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-041cffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 13)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d041cffff または 0x816f010d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-041dffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 14)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d041dffff または 0x816f010d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-041effff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 15)
このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d041effff または 0x816f010d041effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-041fffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(SDHV ドライブ 16)
このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d041fffff または 0x816f010d041fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010d-2b81ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] が有効にされました。(FDIMM 状態)**

このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f010d2b81ffff または 0x816f010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f010f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] がファームウェア・ハングからリカバリーしました。(ファームウェア・エラー)**

このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f010f2201ffff または 0x816f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0187

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0113-0301ffff**: システム [ComputerSystemElementName] がバス・タイムアウトからリカバリーしました。(CPU 1 PECI)

このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01130301ffff または 0x816f01130301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0225

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **816f0113-0302ffff**: システム [ComputerSystemElementName] がバス・タイムアウトからリカバリーしました。(CPU 2 PECI)

このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01130302ffff または 0x816f01130302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0225

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』 および 『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』 を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』 および 『システム・ボードの交換』 を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

- **816f0125-1001ffff: [ManagedElementName] が存在していると検出されました。(PCI ライザー 1)**

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01251001ffff または 0x816f01251001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0390

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0125-1002ffff: [ManagedElementName] が存在していると検出されました。(PCI ライザー 2)**

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01251002ffff または 0x816f01251002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0390

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0125-1f01ffff: [ManagedElementName] が存在していると検出されました。(PDB ケーブル)**

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01251f01ffff または 0x816f01251f01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0390

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0125-2c01ffff: [ManagedElementName] が存在していると検出されました。(Exlom カード)**

このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f01252c01ffff または 0x816f01252c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0390

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0207-0301ffff: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態からリカバリーしました。(CPU 1)**

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f02070301ffff または 0x816f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0207-0302ffff: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態からリカバリーしました。(CPU 2)**

このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f02070302ffff または 0x816f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0045

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0207-2584ffff: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態からリカバリーしました。(すべての CPU)**
このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f02072584ffff または 0x816f02072584ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0045

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。1つの CPU:

- **816f020d-0401ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(コンピューター HDD0)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0401ffff または 0x816f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0402ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(コンピューター HDD1)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0402ffff または 0x816f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0403ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(コンピューター HDD4)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0403ffff または 0x816f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0404ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(コンピューター HDD5)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0404ffff または 0x816f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0405ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0405ffff または 0x816f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0406ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0406ffff または 0x816f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0407ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(1U ストレージ HDD0)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0407ffff または 0x816f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0408ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(1U ストレージ HDD1)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0408ffff または 0x816f020d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0409ffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(1U ストレージ HDD2)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0409ffff または 0x816f020d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-040affff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(1U ストレージ HDD3)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されることが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d040affff または 0x816f020d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-040bffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(1U ストレージ HDD4)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されることが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d040bffff または 0x816f020d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-040cffff:** ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(1U ストレージ HDD5)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d040cffff または 0x816f020d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-040dffff:** ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(1U ストレージ HDD6)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d040dffff または 0x816f020d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-040effff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(1U ストレージ HDD7)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d040effff または 0x816f020d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0410ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0410ffff または 0x816f020d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0411ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0411ffff または 0x816f020d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0412ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 3)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0412ffff または 0x816f020d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0413ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0413ffff または 0x816f020d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-0414ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0414ffff または 0x816f020d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0415ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0415ffff または 0x816f020d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0416ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0416ffff または 0x816f020d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0417ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 8)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0417ffff または 0x816f020d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0418ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 9)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0418ffff または 0x816f020d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-0419ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 10)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d0419ffff または 0x816f020d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-041affff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 11)**

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d041affff または 0x816f020d041affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-041bffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 12)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されることが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d041bffff または 0x816f020d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-041cffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 13)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されることが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d041cffff または 0x816f020d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-041dffff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 14)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d041dffff または 0x816f020d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f020d-041effff**: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 15)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d041effff または 0x816f020d041effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-041ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(SDHV ドライブ 16)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d041ffff または 0x816f020d041ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- 816f020d-2b81ffff: ドライブ [StorageVolumeElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。(FDIMM 状態)

このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f020d2b81ffff または 0x816f020d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2001ffff または 0x816f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2002ffff または 0x816f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2003ffff または 0x816f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2004ffff または 0x816f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2005ffff または 0x816f030c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2006ffff または 0x816f030c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2007ffff または 0x816f030c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2008ffff または 0x816f030c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2009ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2009ffff または 0x816f030c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200affff または 0x816f030c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200bffff または 0x816f030c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-200cffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200cffff または 0x816f030c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-200dffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200dffff または 0x816f030c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200effff または 0x816f030c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-200ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 15)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c200ffff または 0x816f030c200ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2010ffff または 0x816f030c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030c-2581ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における消し込み障害がリカバリーされました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリーのスクラブ障害のリカバリーが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030c2581ffff または 0x816f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM:

- **816f030d-0401ffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(コンピューター HDD0)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0401ffff または 0x816f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0402ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(コンピューター HDD1)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0402ffff または 0x816f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0403ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(コンピューター HDD4)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0403ffff または 0x816f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0404ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(コンピューター HDD5)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0404ffff または 0x816f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0405ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0405ffff または 0x816f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0406ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0406ffff または 0x816f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0407ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(IU ストレージ HDD0)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0407ffff または 0x816f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0408ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(IU ストレージ HDD1)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0408ffff または 0x816f030d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-0409ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(IU ストレージ HDD2)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d0409ffff または 0x816f030d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-040affff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(IU ストレージ HDD3)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d040affff または 0x816f030d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-040bffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(IU ストレージ HDD4)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d040bffff または 0x816f030d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-040cffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(IU ストレージ HDD5)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d040cffff または 0x816f030d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-040dffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(IU ストレージ HDD6)

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d040dffff または 0x816f030d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f030d-040effff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。(IU ストレージ HDD7)**

このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f030d040effff または 0x816f030d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0313-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] が NMI からリカバリーしました。(NMI 状態)**

このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f03131701ffff または 0x816f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0230

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2001ffff または 0x816f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2002ffff または 0x816f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2003ffff:** サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2003ffff または 0x816f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2004ffff:** サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2004ffff または 0x816f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2005ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2005ffff または 0x816f040c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2006ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2006ffff または 0x816f040c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2007ffff:** サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2007ffff または 0x816f040c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2008ffff:** サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2008ffff または 0x816f040c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2009ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2009ffff または 0x816f040c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c200affff または 0x816f040c200affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c200bffff または 0x816f040c200bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-200cffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c200cffff または 0x816f040c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-200dffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。 (DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c200dffff または 0x816f040c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。 (DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c200effff または 0x816f040c200effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。 (DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c200fffff または 0x816f040c200fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2010ffff**: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。 (DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2010ffff または 0x816f040c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f040c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。(すべての DIMM)**

このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f040c2581ffff または 0x816f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM:

- **816f0413-2582ffff: A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCI)**

このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f04132582ffff または 0x816f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0233

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0507-0301ffff: [ProcessorElementName] が構成不一致からリカバリーしました。(CPU 1)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f05070301ffff または 0x816f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0507-0302ffff: [ProcessorElementName] が構成不一致からリカバリーしました。(CPU 2)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f05070302ffff または 0x816f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0507-2584ffff: [ProcessorElementName] が構成不一致からリカバリーしました。(すべての CPU)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたユース・ケースに使用されます。

816f05072584ffff または 0x816f05072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの CPU:

- **816f0508-1501ffff: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。(HSC ステータス)**

このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f05081501ffff または 0x816f05081501ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0099

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2001ffff または 0x816f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2002ffff または 0x816f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2003ffff:** サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2003ffff または 0x816f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2004ffff:** サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2004ffff または 0x816f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2005ffff または 0x816f050c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2006ffff または 0x816f050c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2007ffff または 0x816f050c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2008ffff または 0x816f050c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2009ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 9)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2009ffff または 0x816f050c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200affff または 0x816f050c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200bffff または 0x816f050c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-200cffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200cffff または 0x816f050c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-200dffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 13)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200dffff または 0x816f050c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200effff または 0x816f050c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c200fffff または 0x816f050c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2010ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(DIMM 16)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2010ffff または 0x816f050c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050c-2581ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] においてメモリー・ロギング限度が取り除かれました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050c2581ffff または 0x816f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM:

- **816f050d-0401ffff**: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(コンピューター HDD0)

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0401ffff または 0x816f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0402ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(コンピューター HDD1)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0402ffff または 0x816f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0403ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(コンピューター HDD4)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0403ffff または 0x816f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0404ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(コンピューター HDD5)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0404ffff または 0x816f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0405ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(コンピューター HDD6)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0405ffff または 0x816f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0406ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(コンピューター HDD7)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0406ffff または 0x816f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0407ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(IU ストレージ HDD0)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0407ffff または 0x816f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0408ffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(IU ストレージ HDD1)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0408ffff または 0x816f050d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0409ffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(IU ストレージ HDD2)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0409ffff または 0x816f050d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-040affff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(IU ストレージ HDD3)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d040affff または 0x816f050d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-040bffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(IU ストレージ HDD4)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d040bffff または 0x816f050d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-040cffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(IU ストレージ HDD5)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d040cffff または 0x816f050d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-040dffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(IU ストレージ HDD6)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d040dffff または 0x816f050d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-040effff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(IU ストレージ HDD7)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d040effff または 0x816f050d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0410ffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 1)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0410ffff または 0x816f050d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0411ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 2)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0411ffff または 0x816f050d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0412ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 3)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0412ffff または 0x816f050d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0413ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 4)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0413ffff または 0x816f050d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0414ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 5)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0414ffff または 0x816f050d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0415ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 6)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0415ffff または 0x816f050d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0416ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 7)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0416ffff または 0x816f050d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0417ffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 8)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0417ffff または 0x816f050d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0418ffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 9)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0418ffff または 0x816f050d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-0419ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 10)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d0419ffff または 0x816f050d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-041affff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 11)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d041affff または 0x816f050d041affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-041bffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 12)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d041bffff または 0x816f050d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-041cffff: 重大な状態の阵列 [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 13)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルな阵列が表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d041cffff または 0x816f050d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-041dffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 14)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d041dffff または 0x816f050d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-041effff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 15)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d041effff または 0x816f050d041effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f050d-041ffff: 重大な状態のアレイ [ComputerSystemElementName] が表明解除されました。(SDHV ドライブ 16)**

このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f050d041ffff または 0x816f050d041ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0607-0301ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが表明解除されました。(CPU 1)**

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

816f06070301ffff または 0x816f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0607-0302ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが表明解除されました。(CPU 2)**

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

816f06070302ffff または 0x816f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0607-2584ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーが表明解除されました。(すべての CPU)**

このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除されたユース・ケースに使用されます。

816f06072584ffff または 0x816f06072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つのCPU:

- **816f060d-0401ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(コンピューター HDD0)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0401ffff または 0x816f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0402ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(コンピューター HDD1)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0402ffff または 0x816f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0403ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイが復元されました。(コンピューター HDD4)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0403ffff または 0x816f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0404ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイが復元されました。(コンピューター HDD5)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0404ffff または 0x816f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0405ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(コンピューター HDD6)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0405ffff または 0x816f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0406ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(コンピューター HDD7)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0406ffff または 0x816f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0407ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(IU ストレージ HDD0)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0407ffff または 0x816f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0408ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(IU ストレージ HDD1)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0408ffff または 0x816f060d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0409ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(1U ストレージ HDD2)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0409ffff または 0x816f060d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-040affff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(1U ストレージ HDD3)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d040affff または 0x816f060d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-040bffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(IU ストレージ HDD4)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d040bffff または 0x816f060d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-040cffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(IU ストレージ HDD5)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d040cffff または 0x816f060d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-040dffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(IU ストレージ HDD6)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d040dffff または 0x816f060d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-040effff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(IU ストレージ HDD7)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d040effff または 0x816f060d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0410ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 1)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0410ffff または 0x816f060d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0411ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 2)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0411ffff または 0x816f060d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0412ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 3)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0412ffff または 0x816f060d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0413ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 4)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0413ffff または 0x816f060d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0414ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 5)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0414ffff または 0x816f060d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0415ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 6)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0415ffff または 0x816f060d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0416ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 7)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0416ffff または 0x816f060d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0417ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 8)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0417ffff または 0x816f060d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0418ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 9)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0418ffff または 0x816f060d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-0419ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 10)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d0419ffff または 0x816f060d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-041affff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 11)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d041affff または 0x816f060d041affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-041bffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 12)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d041bffff または 0x816f060d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-041cffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 13)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d041cffff または 0x816f060d041cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-041dffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 14)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d041dffff または 0x816f060d041dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-041effff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 15)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d041effff または 0x816f060d041effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f060d-041fffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。(SDHV ドライブ 16)

このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f060d041fffff または 0x816f060d041fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2001ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 1)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2001ffff または 0x816f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2002ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 2)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2002ffff または 0x816f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2003ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 3)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2003ffff または 0x816f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2004ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 4)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2004ffff または 0x816f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2005ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 5)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2005ffff または 0x816f070c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2006ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2006ffff または 0x816f070c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2007ffff または 0x816f070c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2008ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 8)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2008ffff または 0x816f070c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2009ffff または 0x816f070c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 10)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c200affff または 0x816f070c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたケース・ケースに使用されます。

816f070c200bffff または 0x816f070c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-200cffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 12)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたケース・ケースに使用されます。

816f070c200cffff または 0x816f070c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c200dffff または 0x816f070c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-200effff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 14)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユー
ス・ケースに使用されます。

816f070c200effff または 0x816f070c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-200fffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 15)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c200fffff または 0x816f070c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f070c2010ffff または 0x816f070c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070c-2581ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが表明解除されました。(すべての DIMM)

このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070c2581ffff または 0x816f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つの DIMM:

- **816f070d-0401ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(コンピューター HDD0)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0401ffff または 0x816f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0402ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(コンピューター HDD1)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0402ffff または 0x816f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0403ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(コンピューター HDD4)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0403ffff または 0x816f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0404ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(コンピューター HDD5)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0404ffff または 0x816f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0405ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(コンピューター HDD6)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0405ffff または 0x816f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0406ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(コンピューター HDD7)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0406ffff または 0x816f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0407ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(1U ストレージ HDD0)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0407ffff または 0x816f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0408ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(IU ストレージ HDD1)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0408ffff または 0x816f070d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0409ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(IU ストレージ HDD2)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0409ffff または 0x816f070d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-040affff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(IU ストレージ HDD3)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d040affff または 0x816f070d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-040bffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(IU ストレージ HDD4)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d040bffff または 0x816f070d040bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-040cffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(IU ストレージ HDD5)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d040cffff または 0x816f070d040cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-040dffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(IU ストレージ HDD6)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d040dffff または 0x816f070d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-040effff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(IU ストレージ HDD7)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d040effff または 0x816f070d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0410ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 1)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0410ffff または 0x816f070d0410ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0411ffff:** システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 2)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0411ffff または 0x816f070d0411ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0412ffff:** システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 3)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0412ffff または 0x816f070d0412ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0413ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 4)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0413ffff または 0x816f070d0413ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0414ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 5)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0414ffff または 0x816f070d0414ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0415ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 6)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0415ffff または 0x816f070d0415ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0416ffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 7)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0416ffff または 0x816f070d0416ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0417ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 8)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0417ffff または 0x816f070d0417ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0418ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 9)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0418ffff または 0x816f070d0418ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-0419ffff:** システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 10)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d0419ffff または 0x816f070d0419ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-041affff:** システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 11)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d041affff または 0x816f070d041affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-041bffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 12)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d041bffff または 0x816f070d041bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-041cffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 13)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d041cffff または 0x816f070d041cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-041dffff:** システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 14)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d041dffff または 0x816f070d041dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-041effff:** システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 15)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d041effff または 0x816f070d041effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f070d-041fffff**: システム [**ComputerSystemElementName**] のアレイで再構築が完了しました。(SDHV ドライブ 16)

このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f070d041fffff または 0x816f070d041fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0807-0301ffff**: [**ProcessorElementName**] が有効にされました。(CPU 1)

このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08070301ffff または 0x816f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0060

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0807-0302ffff: [ProcessorElementName] が有効にされました。(CPU 2)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08070302ffff または 0x816f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0060

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0807-2584ffff: [ProcessorElementName] が有効にされました。(すべての CPU)**

このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08072584ffff または 0x816f08072584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0060

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。1つのCPU:

- **816f0813-2581ffff:** システム [ComputerSystemElementName] が訂正不能なバス・エラーからリカバリーしました。(DIMM)

このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08132581ffff または 0x816f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0241

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0813-2582ffff:** システム [ComputerSystemElementName] が訂正不能なバス・エラーからリカバリーしました。(PCI)

このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08132582ffff または 0x816f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0241

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0813-2584ffff: システム [ComputerSystemElementName] が訂正不能なバス・エラーからリカバリーしました。(CPU)**

このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f08132584ffff または 0x816f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0241

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2001ffff または 0x816f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2002ffff または 0x816f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2003ffff または 0x816f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2004ffff または 0x816f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2005ffff または 0x816f090c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2006ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 6)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2006ffff または 0x816f090c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2007ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 7)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2007ffff または 0x816f090c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2008ffff または 0x816f090c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2009ffff または 0x816f090c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-200affff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 10)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c200affff または 0x816f090c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-200bffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 11)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c200bffff または 0x816f090c200bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 12)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c200cffff または 0x816f090c200cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユーザー・ケースに使用されます。

816f090c200dffff または 0x816f090c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c200effff または 0x816f090c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID**CIM 情報**

接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c200fffff または 0x816f090c200fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f090c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f090c2010ffff または 0x816f090c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a07-0301ffff: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。(CPU 1)**

このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a070301ffff または 0x816f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0039

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a07-0302ffff: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。(CPU 2)**

このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a070302ffff または 0x816f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0039

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2001ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 1)**

このメッセージは、実装環境でメモリの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2001ffff または 0x816f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2002ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 2)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2002ffff または 0x816f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2003ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 3)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2003ffff または 0x816f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2004ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 4)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2004ffff または 0x816f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2005ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 5)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2005ffff または 0x816f0a0c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2006ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 6)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2006ffff または 0x816f0a0c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2007ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 7)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2007ffff または 0x816f0a0c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2008ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 8)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2008ffff または 0x816f0a0c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2009ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 9)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2009ffff または 0x816f0a0c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-200affff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 10)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200affff または 0x816f0a0c200affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-200bffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 11)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200bffff または 0x816f0a0c200bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-200cffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 12)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200cffff または 0x816f0a0c200cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-200dffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 13)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200dffff または 0x816f0a0c200dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-200effff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 14)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200effff または 0x816f0a0c200effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-200fffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 15)

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c200fffff または 0x816f0a0c200fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a0c-2010ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] における過熱状態が取り除かれました。(DIMM 16)**

このメッセージは、実装環境でメモリーの温度過熱状態が解除されたことが検出されたユース・ケースに使用されます。

816f0a0c2010ffff または 0x816f0a0c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

接頭部: PLAT ID: 0147

ユーザー応答

アクションは不要です。通知用のみです。

- **816f0a13-0301ffff: システム [ComputerSystemElementName] が致命的バス・エラーからリカバリーしました。(CPU 1 Peci)**

このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

816f0a130301ffff または 0x816f0a130301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0245

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。 (n = マイクロプロセッサ番号)

- **816f0a13-0302ffff: システム [ComputerSystemElementName] が致命的バス・エラーからリカバリーしました。(CPU 2 PECl)**

このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出したユース・ケースに使用されます。

816f0a130302ffff または 0x816f0a130302ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
接頭部: PLAT ID: 0245

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

付録 B UEFI (POST) エラー・コード

このセクションでは、UEFI (POST) エラー・コードについて詳しく説明します。

UEFI (POST) 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI (POST) コードは、サーバー内の Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) イベント・ログに記録されます。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

説明

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度

状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 17. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー操作あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するためにとるべき処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、Lenovo Support にお問い合わせください。

サーバーの F1 Setup メニューのブート

サーバーの F1 Setup メニューは、通常の方法 (<F1 Setup> が表示されているときに F1 を押す) のほかにも 2 種類の方法でブートできます。

• 方法 1

1. IMM2 Web サイトにアクセスします。
2. 「**Server Management**」 タブを選択します。
3. 「**Server Power Action (サーバー電源アクション)**」を選択します。
4. 「**Boot Server to F1 Setup**」を選択します。

- 方法 2 Advanced Settings Utility (ASU) プログラムを使用します。コマンド・ラインは次のとおりです。 **asu.exe set IMM.ForceBootToUefi enable**

注意：

1. F1 Setup メニュー・パネルで **Ctrl+Alt+Delete** を押すと、システムが自動的にリブートし、もう一度パスワードを入力するように求められます。
2. F1 Setup の設定は、デフォルトをロードするだけのチップ・セットに関する項目がほとんどで、ユーザー入力が必要な項目はあまりありません。ただし、iSCSI の設定を調整する場合は、iSCSI の構成についてはデフォルトに戻せないことに注意してください。これは、iSCSI の構成が失われるとオペレーティング・システムをブートできなくなる可能性があるため、それを回避するための措置です。

以下に、UEFI (POST) エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

UEFI イベントのリスト

このセクションでは、UEFI から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- **I.11002 [I.11002]**

説明: システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

- **I.1800A [I.1800A]**

説明: 複数のプロセッサ・パッケージで、QPI リンクに設定されている速度の不一致が検出されました。プロセッサのバス速度が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサを取り外し、Server Proven Web サイトにリストされているプロセッサを取り付けます。
2. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

• **I.1800C [I.1800C]**

説明: 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• **I.1800D [I.1800D]**

説明: 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• **I.1800E [I.1800E]**

説明: 1つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサの型式の不一致が検出されました。プロセッサの型式番号が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• I.1800F [I.1800F]

説明: 1つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました。プロセッサのファミリーが一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• I.18010 [I.18010]

説明: 1つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのステッピングの不一致が検出されました。同一モデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• I.2018002 [I.2018002]

説明: リソース制約のために、バス %、デバイス %、機能 % で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティを使用し、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. アダプターを別のスロットに移動します。スロットが利用不能であるか、エラーが再発する場合は、アダプターを交換します。
4. アダプターを別のスロットに移動させてエラーが再発生しなかった場合は、この問題がシステムの制限事項ではないことを確認します。次にシステム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが解決しない場合も、システム・ボードを交換します。

● I.2018003 [I.2018003]

説明: バス %、デバイス %、機能 % でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。ROM チェックサム・エラー

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティ・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
4. アダプターを交換します。

● I.3808004 [I.3808004]

説明: IMM システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログを消去します。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再起動します。

• **I.3818001 [I.3818001]**

説明: 現在ブートされているフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。プライマリー UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない、またはブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• **I.3818002 [I.3818002]**

説明: ブートされていないフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない、またはブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• **I.3818003 [I.3818003]**

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーは、セキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクをプライマリーにリセットします(必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートできない場合、またはファームウェアの更新が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• **I.3818009 [I.3818009]**

説明: TPM を正しく初期化できませんでした。TPMINIT: TPM チップを初期化できません。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. エラーが解決しない場合は、システム・ボード・アセンブリーを交換します (『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』および『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

• **I.3868000 [I.3868000]**

説明: IFM: アダプターをリセットするためのシステム・リセットが実行されました。IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

• **I.3868003 [I.3868003]**

説明: IFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。IFM: 互換モードには構成が大規模すぎです。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

• **I.5100B [I.5100B]**

説明: 適格でない DIMM シリアル番号が検出されました: シリアル番号 %、スロット %、メモリー・カード %。適格でない DIMM シリアル番号が検出されました。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この通知イベントが IMM イベント・ログに記録されている場合、サーバーに適格なメモリーが取り付けられていません。
2. 取り付けられているメモリーは、保証の対象にならない場合があります。

3. 適格なメモリーがない場合、業界標準を超えてサポートされている速度は使用可能になりません。
4. 貴社担当の営業担当員または Authorized Business Partner に連絡して、適格なメモリーを発注し、適格でない DIMM を交換してください。
5. 適格なメモリーを取り付けてサーバーの電源を入れた後、この通知イベントがログに再び記録されないことを確認してください。

- **I.58015 [I.58015]**

説明: メモリーのスペア・コピーが開始されました。スペア・コピーが開始されました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

- **I.580A4 [I.580A4]**

説明: メモリー装着の変化が検出されました。DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- **I.580A5 [I.580A5]**

説明: ミラーのフェイルオーバーが完了しました。DIMM 番号 % は、ミラーリングされたコピーにフェイルオーバーしました。DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- **I.580A6 [I.580A6]**

説明: メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。スペア・コピーが完了しました。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

• S.1100B [S.1100B]

説明: CATERR(IERR) がプロセッサー % で検出されました。プロセッサー CATERR(IERR) が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

• S.1100C [S.1100C]

説明: プロセッサー % で訂正不能エラーが検出されました。訂正不能プロセッサー・エラーが検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

• S.2011001 [S.2011001]

説明: 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。PCI SERR が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。b. デバイス・ドライバーを再ロードします。c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
3. 問題が解決しない場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

• S.2018001 [S.2018001]

説明: 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。デバイスのベンダー ID は % で、デバイス ID は % です。PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。b. デバイス・ドライバーを再ロードします。c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
3. 問題が解決しない場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

• S.3020007 [S.3020007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• S.3028002 [S.3028002]

説明: ブート許可のタイムアウトが検出されました。ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

• S.3030007 [S.3030007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• S.3040007 [S.3040007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

● **S.3050007 [S.3050007]**

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

● **S.3058004 [S.3058004]**

説明: 三振 (Three Strike) ブート障害が発生しました。システムはデフォルト UEFI 設定でブートしました。POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。成功すると、Setup Utility が表示されます。元の UEFI 設定はまだ残っています。
2. ユーザーが意図的にリブートを開始したのではない場合、ログで推定原因を確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを更新します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

● **S.3060007 [S.3060007]**

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• S.3070007 [S.3070007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• S.3108007 [S.3108007]

説明: デフォルトのシステム設定が復元されました。システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

• S.3818004 [S.3818004]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。障害が発生しました。CRTM 更新が失敗しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。

3. エラーが解決しない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの更新を続行します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• **S.3818007 [S.3818007]**

説明: 両方のフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセルを検査できませんでした。CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクをプライマリーにリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートできない場合、またはファームウェアの更新が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• **S.51003 [S.51003]**

説明: 訂正不能メモリー・エラーがランク % の DIMM スロット % で検出されました。[S.51003] プロセッサ % チャンネル % で、訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。チャンネル内の障害のある DIMM を判別できませんでした。[S.51003] 訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいは イベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を一度に 1 つずつ別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに入れ替えます。(スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、本製品のサービス情報または「インストール・ガイド」を参照してください)。異なるメモリー・チャンネルに移動した DIMM で問題が続く場合は、その DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップし

て、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが1つしかない場合) は、そのプロセッサを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 元の DIMM コネクタで問題が続く場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

- **S.51006 [S.51006]**

説明: メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。1つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいはアクションによって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを無効にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. DIMM を交換します。
6. プロセッサを交換します。

- **S.51009 [S.51009]**

説明: システム・メモリーが検出されませんでした。メモリーが検出されませんでした。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. これ以外にログに記録されているメモリー・エラーがある場合は、それらのコードで示されているアクションを最初に実行してください。
2. 他のメモリー診断コードがログに表示されていない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクタが有効になっていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、ノードをシャットダウンしてシャーシから取り外し、1つ以上の DIMM が取り付けられていること、およびすべての DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを物理的に確認してください。
4. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクタ LED がないかを確認し、ある場合は、その DIMM を取り付け直します。
5. ノードをシャーシに再取り付けして電源をオンにし、ログでメモリー診断コードを確認します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合は、プロセッサを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換します。

- **S.58008 [S.58008]**

説明: DIMM が POST メモリー・テストに失敗しました。DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクタを再度有効にするか、あるいは Setup Utility を使用して、手動で対象の DIMM コネクタを再度有効にします。
2. この計算ノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで問題が繰り返す場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を一度に1つずつ異なるメモリー・チャンネルまたはプロセッサに入れ替えます。異なるメモリー・チャンネルに移動した DIMM で問題が続く場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが1つしかない場合) は、そのプロセッサを交換します。
7. 元の DIMM コネクタで問題が解決しない場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

- **S.68005 [S.68005]**

説明: バス % で I/O コア・ロジックによってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータス・レジスタには % が含まれています。グローバルな非致命的エラー・ステータス・レジスタには % が含まれています。追加のダウンストリーム装置エラー・データがないか、エラー・ログを調べてください。クリティカル IOH-PCI エラー

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. I/O デバイスまたは PCIe アダプターを交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが報告されたシステム・ボードを交換します。

- **S.680B8 [S.680B8]**

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

- **S.680B9 [S.680B9]**

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。

- **W.11004 [W.11004]**

説明: システム内のプロセッサが BIST に失敗しました。プロセッサ自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。プロセッサを取り外すたびに、プロセッサ・ソケットを検査し、プロセッサ・ソケットが損傷している場合や位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを取り外すたびにプロセッサ・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

● **W.3048006 [W.3048006]**

説明: 自動ブート・リカバリー (ABR) イベントのため、UEFI はバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プライマリー UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

● **W.305000A [W.305000A]**

説明: 無効な日時が検出されました。RTC の日付と時刻が誤っています。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて解決します。
2. F1 Setup を使用して日時を再設定します。システム・リセットの後に問題が再発する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

● **W.3058009 [W.3058009]**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 「F1 Setup」 > 「System Settings」 > 「Settings」 > 「Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再起動します。

• **W.305800A [W.305800A]**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」ステータスのコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップUEFIに切り替えるか、現在のUEFIイメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• **W.305800B [W.305800B]**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. アクションは不要です。POSTの最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップUEFIイメージに切り替えるか、現在のUEFIイメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

• **W.305800C [W.305800C]**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」を必要とするコントローラーを報告しています。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

- **W.305800D [W.305800D]**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断が失敗しました。「リブート」が必要です。ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

- **W.305800E [W.305800E]**

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

- **W.3808000 [W.3808000]**

説明: IMM 通信障害が発生しました。IMM 通信に失敗しました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. CMM から IMM をリセットします。
2. CMM を使用して、計算ノードから補助電源を除去します。これによって、計算ノードがリブートされます。

3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **W.3808002 [W.3808002]**

説明: IMM への UEFI 設定の保存中にエラーが発生しました。IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Setup Utility を使用して、この設定を確認および保存します (設定がリカバリーされます)。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、計算ノードから補助電源を除去します。これによって、計算ノードがリブートされます。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを更新します。
6. CMOS クリア・ジャンパーを使用して CMOS をクリアします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **W.3808003 [W.3808003]**

説明: IMM からシステム構成を取得できません。IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. Setup Utility を使用して、この設定を確認および保存します (設定がリカバリーされます)。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、計算ノードから補助電源を除去します。これによって、計算ノードがリブートされます。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを更新します。
6. CMOS クリア・ジャンパーを使用して CMOS をクリアします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **W.3818005 [W.3818005]**

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。更新が異常終了しました。CRTM 更新が異常終了しました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. イベントが解決しない場合は、システムのブートおよびUEFI イメージの更新を続行します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

• W.3868001 [W.3868001]

説明: IFM: リセット・ループが回避されました。複数回のリセットは許可されていません。IFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

• W.3868002 [W.3868002]

説明: IFM: IMM との通信中にエラーが発生しました。IFM が正しくデプロイされていない可能性があります。IFM: IMM との通信でエラーが発生しました - IFM が正常にデプロイされない可能性があります。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

• W.3938002 [W.3938002]

説明: ブート構成エラーが検出されました。ブート構成エラー。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 「F1 Setup」->「Save Settings」

2. OOB 構成の更新を再試行します。

- **W.50001 [W.50001]**

説明: POST 時にエラーが検出されたため、DIMM が無効になりました。DIMM が無効です。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) を使用して DIMM を再度有効にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールから計算ノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを更新します。
7. 使用不可になったスロットからの DIMM を、一致する DIMM と交換/再取り付けします。スロットが使用不可のままである場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **W.58001 [W.58001]**

説明: PFA しきい値限界 (訂正可能エラー・ロギング限界) を、アドレス % の DIMM 番号 % で超えました。MC5 Status に % が含まれ、MC5 Misc に % が含まれます。DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この計算ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップを実行しても問題が解決しない場合は、次の保守の機会に、同じメモリー・チャンネル上の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に 1 つずつ入れ替えます。(スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、本製品のサービス情報または「インストール・ガイド」を参照してください)。PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
4. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。

5. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を一度に1つずつ別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに入れ替えます。(スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、本製品のサービス情報または「インストール・ガイド」を参照してください)。異なるメモリー・チャンネルに移動した DIMM で問題が続く場合は、その DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサに付随する場合(あるいは、プロセッサが1つしかない場合)は、そのプロセッサを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 元の DIMM コネクタで問題が続く場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

- **W.58007 [W.58007]**

説明: 無効なメモリー構成(サポートされない DIMM 装着)が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。サポートされていない DIMM 装着です。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。
2. uEFI セットアップ・メニューですべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
3. DIMM コネクタのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。

- **W.580A1 [W.580A1]**

説明: ミラー・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DIMM コネクタのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクタがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

- **W.580A2 [W.580A2]**

説明: スペアリング・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクターがスペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

• **W.68002 [W.68002]**

説明: CMOS バッテリー・エラーが検出されました。CMOS バッテリー障害。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Broadcom ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **405-000-000 : BRCM:TestControlRegisters** テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-001-000 : BRCM:TestMIIRegisters** テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-002-000 : BRCM:TestEEPROM** テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-003-000 : BRCM:TestInternalMemory** テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-004-000 : BRCM:TestInterrupt** テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-005-000 : BRCM:TestLoopbackMAC** テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-006-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical** テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-007-000 : BRCM:TestLEDs** テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-800-000 : BRCM:TestControlRegisters** テストが異常終了しました
制御レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-801-000 : BRCM:TestMIIRegisters** テストが異常終了しました
MII レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-802-000 : BRCM:TestEEPROM** テストが異常終了しました
EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-803-000 : BRCM:TestInternalMemory** テストが異常終了しました
内部メモリー・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-804-000 : BRCM:TestInterrupt** テストが異常終了しました
割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-805-000 : BRCM:TestLoopbackMAC** テストが異常終了しました
MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-806-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical** テストが異常終了しました
物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-807-000 : BRCM:TestLEDs** テストが異常終了しました
ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 405-900-000 : BRCM:TestControlRegisters テストが失敗しました

内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 405-901-000 : BRCM:TestMIIRegisters テストが失敗しました

内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 405-902-000 : BRCM:TestEEPROM テストが失敗しました

不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 405-903-000 : BRCM:TestInternalMemory テストが失敗しました

内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 405-904-000 : BRCM:TestInterrupt テストが失敗しました

割り込みのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

– 最新レベルの BMC/IMM

● **405-905-000 : BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました**

BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **405-906-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical テストが失敗しました**

物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **405-907-000 : BRCM:TestLEDs テストが失敗しました**

状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Brocade テストのテスト結果

DSA Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **218-000-000 : Brocade:MemoryTest に合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-001-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest に合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-002-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest に合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-003-000 : Brocade:PCILoopbackTest に合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-004-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest に合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-005-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest に合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
イベント

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-006-000 : Brocade:InternalLoopbackTest に合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-800-000 : Brocade:MemoryTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-801-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-802-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-803-000 : Brocade:PCILoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

– 最新レベルの BMC/IMM

- **218-804-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-805-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-806-000 : Brocade:InternalLoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 218-900-000 : Brocade:MemoryTest が失敗しました

アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 218-901-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 218-902-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 218-903-000 : Brocade:PCILoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-904-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が失敗しました**
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **218-905-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が失敗しました**
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 218-906-000 : Brocade:InternalLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA チェックポイント・パネル・テストのテスト結果

DSA チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **180-000-000: チェックポイント・パネル・テストに合格しました**

チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **180-801-000: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました**

チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **180-901-000: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました**

チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行します。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA CPU ストレス・テストのテスト結果

DSA CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **089-000-000: CPU ストレス・テストに合格しました**

CPU ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 089-801-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、以下の Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。IBM Support Web サイト。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 089-802-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 089-803-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **089-804-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました**

CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **089-901-000 : CPU ストレス・テストが失敗しました**

CPU ストレス・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Emulex アダプター・テストのテスト結果

DSA Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **516-000-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest にパスしました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **516-001-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest にパスしました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **516-002-000** : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test にパスしました
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **516-800-000** : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が異常終了しました
MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **516-801-000** : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が異常終了しました
物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **516-802-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が異常終了しました**
ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **516-900-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が失敗しました**
MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

- **516-901-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が失敗しました**
物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **516-902-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が失敗しました**
状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA EXA ポート ping テストのテスト結果

DSA EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **401-000-000 : EXA ポート ping テストに合格しました**

EXA ポート ping テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **401-801-000 : EXA ポート ping テストが異常終了しました**

EXA ポート ping テストが異常終了しました。デバイス基底アドレスを取得できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 401-802-000 : EXA ポート ping テストが異常終了しました

EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 401-901-001 : EXA ポート ping テストが失敗しました

EXA ポート ping テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティ・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果

ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果

DSA ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **217-000-000: HDD テストに合格しました**

HDD ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **217-800-000: HDD テストが異常終了しました**

HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハードディスク・ドライブが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 217-900-000 : HDD テストが失敗しました

HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **406-000-000 : IANet:Registers** テストに合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-001-000 : IANet:EEPROM** テストに合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-002-000 : IANet:FIFO** テストに合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **406-003-000 : IANet:Interrupts** テストに合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **406-004-000 : IANet:Loopback** テストに合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-800-000 : IANet:Registers** テストが異常終了しました
レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-801-000 : IANet:EEPROM** テストが異常終了しました
EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-802-000 : IANet:FIFO** テストが異常終了しました
FIFO テストは取り消されました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-803-000 : IANet:Interrupts** テストが異常終了しました
割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-804-000 : IANet:Loopback** テストが異常終了しました
ループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-900-000 : IANet:Registers** テストが失敗しました

レジスター・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 406-901-000 : IANet:EEPROM テストが失敗しました

EEPROM テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **406-902-000 : IANet:FIFO テストが失敗しました**

FIFO テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **406-903-000 : IANet:Interrupts テストが失敗しました**

割り込みテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネットデバイスが割り込みを共有している場合は、可能であれば、F1 Setup を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをそのデバイスに割り当てます。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **406-904-000 : IANet:Loopback テストが失敗しました**
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト結果

LSI ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA LSI hard driveoutputfilename=DSA_LSI_hard_drive テストのテスト結果

DSA LSI hard driveoutputfilename=DSA_LSI_hard_drive テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **407-000-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic** テストに合格しました

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **407-800-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic** テストが異常終了しました

テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **407-900-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic** テストが失敗しました

ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結果

DSA Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **408-000-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort** テストに合格しました
ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **408-001-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort** テストに合格しました

ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **408-800-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort** テストが異常終了しました
ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **408-801-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort** テストが異常終了しました
ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **408-900-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort** テストが失敗しました
ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **408-901-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort** テストが失敗しました
ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA メモリー分離テストのテスト結果

DSA メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **201-000-000: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました**
すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-000-001: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました**
CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-000-002**: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました
CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-000-003**: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました
CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-000-004**: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました
CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-811-000**: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-811-001**: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-811-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-811-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-812-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-812-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-812-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-812-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-813-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **201-813-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **201-813-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-813-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-814-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-814-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-814-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-814-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-815-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-815-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• **201-815-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• **201-815-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-816-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-816-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-816-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-816-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-818-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-818-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-818-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-818-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-819-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-819-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-819-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-819-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-820-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-820-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-820-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-820-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-821-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-821-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-821-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-821-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-822-000** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-822-001** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-822-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-822-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-824-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-824-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-824-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-824-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• **201-826-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• **201-826-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• **201-826-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-826-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-827-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-827-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-827-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-827-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-844-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-844-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-844-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-844-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-845-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-845-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-845-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-845-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-859-000** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-859-001** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-859-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-859-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-860-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-860-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-860-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-860-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-861-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-861-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-861-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-861-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-862-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-862-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-862-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-862-003** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-863-000** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-863-001** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-863-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-863-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-864-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-864-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-864-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-864-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-865-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEMO 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-865-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEMO 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-865-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-865-003** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEMO 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-866-000** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **201-866-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **201-866-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-866-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-867-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-867-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-867-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-867-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-868-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-868-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-868-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-868-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **201-869-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **201-869-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-869-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-869-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-870-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-870-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-870-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-870-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-871-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-871-001** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-871-002** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-871-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-877-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-877-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 201-877-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-877-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-878-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• **201-878-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能
いいえ

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-878-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-878-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-885-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-885-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-885-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-885-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-886-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-886-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-886-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-886-003** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-899-000** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-899-001** : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-899-002**: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-899-003**: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

– 最新レベルの BMC/IMM

- **201-901-000: スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました**
メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-901-001: スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました**
メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能
いいえ

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-901-002: スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **201-901-003: スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました**
メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA メモリー・ストレス・テストのテスト結果

DSA メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **202-000-000: メモリー・ストレス・テストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **202-801-000: メモリー・ストレス・テストが異常終了しました**
内部プログラム・エラー

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **202-802-000: メモリー・ストレス・テストが異常終了しました**
テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **202-803-000: メモリー・ストレス・テストが異常終了しました**
ユーザーが Ctrl-C を押しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **202-901-000: メモリー・ストレス・テストが失敗しました**
テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。

5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行します。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **202-902-000: メモリー・ストレス・テストが失敗しました**

テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが有効であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup Utility プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA Nvidia GPU テストのテスト結果

DSA Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **409-000-000 : NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました**

NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-003-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::帯域幅テストに合格しました**

Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-004-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::照会テストに合格しました**

Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-005-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::マトリックス・テストに合格しました**
Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-006-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial テストに合格しました**
Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-800-000 : NVIDIA ユーザー診断テストが異常終了しました**
NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-803-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::帯域幅テストが異常終了しました**
Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-804-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::照会テストが異常終了しました**
Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

– 最新レベルの BMC/IMM

- **409-805-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::マトリックス・テストが異常終了しました**
Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-806-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial テストが異常終了しました**
Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-900-000 : NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました**
NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 409-903-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::帯域幅テストが失敗しました

Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-904-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::照会テストが失敗しました**
Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **409-905-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::マトリックス・テストが失敗しました**
Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。

3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 409-906-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial テストが失敗しました

Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結果

DSA 光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **215-000-000** : 光学式ドライブ・テストに合格しました

光学式ドライブ・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **215-801-000** : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• **215-802-000: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました**

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• **215-803-000: 光学式ドライブ・テストが失敗しました**

光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システム・アクティビティが停止するのを待ちます。

2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 215-804-000: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 215-901-000: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しいCDまたはDVDをドライブに挿入し、メディアが認識されるまで15秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 215-902-000: 光学式ドライブ・テストが失敗しました

光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しいCDまたはDVDをドライブに挿入し、メディアが認識されるまで15秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **215-903-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました**

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。デバイスにアクセスできませんでした。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA システム管理テストのテスト結果

DSA システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **166-000-001 : IMM I2C テストに合格しました**

IMM I2C テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-801-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

IMM が誤った応答長を返しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-802-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

不明な理由によりテストが完了できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-803-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

ノードは使用中です。後で試行してください。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-804-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

無効なコマンド。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 166-805-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

指定された LUN に無効なコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 166-806-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-807-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

スペース不足。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-808-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-809-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

リクエスト・データが切り捨てられました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-810-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

リクエスト・データの長さが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-811-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

リクエスト・データ・フィールド長の限度を超えています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-812-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

範囲外のパラメーター。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-813-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-814-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-815-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

要求のデータ・フィールドが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-816-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-817-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-818-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

重複した要求は実行できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-819-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-820-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-821-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-822-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

宛先が使用不可です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-823-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-824-001 : IMM I2C テストが異常終了しました

コマンドを実行できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 166-903-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM が LM92 (PIB 温度センサー) バス (BUS 2) の障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 166-904-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM が LM92 (周囲温度センサー I2C バス (BUS 3)) における障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 166-905-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM は、PSOC IC I2C スイッチ・バス (BUS 4) 上での PSOC の障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

DSA テープ・ドライブ・テストのテスト結果

DSA テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **264-000-000** : テープ・テストに合格しました

テープ・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- **264-901-000** : テープ・テストが失敗しました

テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 264-902-000: テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 264-903-000: テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 264-904-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行します。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

• 264-905-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● **264-906-000: テープ・テストが失敗しました**

テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。

4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行します。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行します。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 264-907-000: テープ・テストが失敗しました

ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

● 264-908-000: テープ・テストが失敗しました

テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、Lenovo および Lenovo 製品に関する追加情報の入手、ご使用の Lenovo システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別を行います。

注：このセクションには、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要であると思われる場合は、連絡される前に準備をしていただくと、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。Lenovo 保証条件は、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://support.lenovo.com/> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを実際に受けられるようにします。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
 - マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン識別番号)
 - モデル番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報
- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。Lenovo 製品資料にも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

ご使用の Lenovo システム、およびプリインストール・ソフトウェア (ある場合)、あるいはオプションのデバイスに関する情報は、製品資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovo は、お客様が最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバや更新をダウンロードできるページを Web サイト上に設けています。これらのページにアクセスするには、<http://support.lenovo.com/> に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

Lenovo 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の <http://support.lenovo.com/> では、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。最新バージョンの製品資料は、次の製品固有のインフォメーション・センターにあります。

Flex System 製品:<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp>

System x 製品:<http://www.ibm.com/systems/x/>

NeXtScale System 製品:<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/nxtscale/documentation/index.jsp>

DSA データの送信方法

Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM へ診断データを送信できます。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www-05.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれの方法でも、診断データを送信できます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:** http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:** http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:** https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications/> にアクセスします。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

Lenovo Support ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについては詳しくは、<http://www.ibm.com/services/> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide/> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ハードウェアの保守は、Lenovo 販売店を通じて、あるいは IBM から受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld/pwhome.nsf/weblook/index_us.html にアクセスし、「**Business Partner Locator**」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide/> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1日24時間、週7日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前9時から午後6時までご利用いただけます。

台湾の製品サービス

この情報を使用して IBM 台湾の製品サービスに連絡します。

台灣 IBM 產品服務聯絡方式：
台灣國際商業機器股份有限公司
台北市松仁路7號3樓
電話：0800-016-888

IBM 台湾の製品サービスお問い合わせ先情報:

IBM Taiwan Corporation
3F, No 7, Song Ren Rd.
Taipei, Taiwan
電話番号: 0800-016-888

付録 D ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、Lenovo および Lenovo 製品に関する追加情報の入手、ご使用の Lenovo システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別を行います。

注：このセクションには、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要であると思われる場合は、連絡される前に準備をしていただくと、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。Lenovo 保証条件は、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.lenovo.com/us/en/serverproven/> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://support.lenovo.com/> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
 - マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン識別番号)
 - モデル番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報
- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。Lenovo 製品資料にも、お客様

が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

ご使用の Lenovo システム、およびプリインストール・ソフトウェア (ある場合)、あるいはオプションのデバイスに関する情報は、製品資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovo は、お客様が最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーや更新をダウンロードできるページを Web サイト上に設けています。これらのページにアクセスするには、<http://support.lenovo.com/> に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

Lenovo 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の <http://support.lenovo.com/> では、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。最新バージョンの製品資料は、次の製品固有のインフォメーション・センターにあります。

Flex System 製品:<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp>

System x 製品:<http://www.ibm.com/systems/x/>

NeXtScale System 製品:<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/nxtscale/documentation/index.jsp>

DSA データの送信方法

Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM へ診断データを送信できます。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www-05.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれの方法でも、診断データを送信できます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:** http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:** http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:** https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications/> にアクセスします。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

Lenovo Support ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについては、<http://www.ibm.com/services/> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide/> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ハードウェアの保守は、Lenovo 販売店を通じて、あるいは IBM から受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld/pwhome.nsf/weblook/index_us.html にアクセスし、「**Business Partner Locator**」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide/> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1日24時間、週7日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前9時から午後6時までご利用いただけます。

台湾の製品サービス

この情報を使用して IBM 台湾の製品サービスに連絡します。

台湾 IBM 産品服務聯絡方式：
台湾國際商業機器股份有限公司
台北市松仁路7號3樓
電話：0800-016-888

IBM 台湾の製品サービスお問い合わせ先情報:

IBM Taiwan Corporation
3F, No 7, Song Ren Rd.
Taipei, Taiwan
電話番号: 0800-016-888

付録 E 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System、System x、NeXtScale System、および x Architecture は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

インテル、および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハードディスク・ドライブの最大容量は、Lenovo から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハードディスク・ドライブの代わりに使用し、すべてのハードディスク・ドライブ・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに 응답できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

リサイクル情報

Lenovo では、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さ

さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、以下を参照してください。 <http://www.lenovo.com/recycling>

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されているデバイスにリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、デバイスの誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限として見なしたり、あるいは使用したりしてはなりません。温度や大気中の湿気など他の多くの要因が、粒子や環境腐食性およびガス状の汚染物質移動のインパクトに影響することがあるからです。本書で説明されている特定の制限が無い場合は、人体の健康と安全の保護に合致するよう、微粒子やガスのレベル維持のための慣例を実施する必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルがデバイス損傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、デバイスまたは部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 18. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	<ul style="list-style-type: none">室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)¹。データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	<ul style="list-style-type: none">銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³銀: 腐食率は 30 日間で 300 未満

¹ ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

³ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

本製品は、お客様の国で、いかなる方法においても公衆通信ネットワークのインターフェースへの接続について認定されていない可能性があります。このような接続を行う前に、法律による追加の認定が必要な場合があります。ご不明な点がある場合は、Lenovo 担当員または販売店にお問い合わせください。

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

連邦通信委員会 (FCC) 宣言書

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the

equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書

注意 : This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

EU EMC 指令適合性宣言書

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia

ドイツ Class A 宣言書

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden. Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland:

Einhaltung des Gesetzes ber die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln

Dieses Produkt entspricht dem Gesetz ber die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln EMVG (frher Gesetz ber die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG (frher 89/336/EWG) in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz ber die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (frher Gesetz ber die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten), bzw. der EMV EG Richtlinie 2004/108/EC (frher 89/336/EWG), fr Geräte der Klasse A.

Dieses Gerät ist berechtigt, in bereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu fhren. Verantwortlich fr die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Gropiusplatz 10, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

Nach der EN 55022: Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstrungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Manahmen durchzufhren und dafr aufzukommen.

Nach dem EMVG: Geräte drfen an Orten, fr die sie nicht ausreichend entstrt sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministers fr Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes fr Post und Telekommunikation betrieben werden. Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Strungen zu erwarten sind. (Auszug aus dem EMVG, Paragraph 3, Abs. 4). Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Anmerkung: Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen sind die Geräte, wie in den Handbchern angegeben, zu installieren und zu betreiben.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio interference may occur, in which case the user may be required to take corrective actions.

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

Japan Electronics and Information Technology Industries Association (JEITA) Confirmed Harmonics Guidelines with Modifications (products greater than 20 A per phase)

韓国通信委員会 (KCC) 宣言書

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로
서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기
바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목
적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для
снижения которых необходимы дополнительные меры

中華人民共和國 Class A 電子放出宣言書

声 明

此为 A 级产品。在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

台灣 Class A 適合性宣言書

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

台灣 BSMI RoHS 宣言

單元 Unit	限用物質及其化學符號 Restricted substances and its chemical symbols					
	鉛Lead (Pb)	汞Mercury (Hg)	鎘Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium (Cr ⁶⁺)	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
機架	○	○	○	○	○	○
外部蓋板	○	○	○	○	○	○
機械組合作件	○	○	○	○	○	○
空氣傳動設備	-	○	○	○	○	○
冷卻組合作件	-	○	○	○	○	○
內存模塊	-	○	○	○	○	○
處理器模塊	-	○	○	○	○	○
鍵盤	-	○	○	○	○	○
調製解調器	-	○	○	○	○	○
監視器	-	○	○	○	○	○
滑鼠	-	○	○	○	○	○
電纜組合作件	-	○	○	○	○	○
電源	-	○	○	○	○	○
儲備設備	-	○	○	○	○	○
電池匣組合作件	-	○	○	○	○	○
電池	-	○	○	○	○	○
有mech的電路卡	-	○	○	○	○	○
無mech的電路卡	-	○	○	○	○	○
激光器	-	○	○	○	○	○

備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。
 Note1 : “exceeding 0.1wt%” and “exceeding 0.01 wt%” indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition.

備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。
 Note2 : “○” indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence.

備考3. “-” 係指該項限用物質為排除項目。
 Note3 : The “-” indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.

付録 F 作業に関するドイツの条例文

The product is not suitable for use with visual display work place devices according to clause 2 of the German Ordinance for Work with Visual Display Units.

Das Produkt ist nicht für den Einsatz an Bildschirmarbeitsplätzen im Sinne § 2 der Bildschirmarbeitsverordnung geeignet.

索引

電源問題 79
方式 86
2U GPU トレイ 185, 187
 ケーブル・ルーティング 223, 227-230
 コンポーネント 16
 取り付け 116
 取り外し 115
2U GPU トレイの GPU 構成 195
2U GPU トレイのケーブル配線 223, 227-230

a

ABR、自動ブート・リカバリー 86
AC 電源
 LED 58
AC パワー・サプライ LED 58
ASM イベント・ログ 61

b

Boot Manager 38
Boot Manager プログラム 28

c

Chassis Management Module 9
Class A 電磁波放出の注記 1010

d

DIMM
 交換 164
 チャンネルあたり 1 つの DIMM 構成 (1DPC)
 要件 159
 取り付け 159
 取り外し 158
 メモリー
 チャンネルあたり 1 つの DIMM 構成 (1DPC) 159
DIMM の取り付け順序 162
 メモリー・ミラーリング・チャンネル 164
 ランク・スペアリング 162
Documentation CD 2
DSA
 エディション 64
 テキスト・メッセージ書式 65
 テスト・ログ、表示 65
 プログラム、概要 63
DSA プレブート 56, 64
DSA ポータブル 56, 64
DSA ログ 61
DSA、データの送信 mii, 1004

e

EU EMC 指令適合性宣言書 1010

f

FCC Class A の注記 1010

g

GPU アダプターの取り付け順序 194
GPU カード電源ケーブル配線 226
GPU カード電源ケーブル
 ケーブル・ルーティング 226
GPU トレイ 182-183
 コンポーネント 15
 取り付け 114
 取り外し 113
GPU トレイからのパドル・カードの
 取り外し 152
GPU トレイからのフィルター
 取り外し 130
GPU トレイへの電源パドル・カードの
 交換 154
GPU トレイへのフィルター
 交換 131
GPU トレイ・フィルター 114, 116

i

IMM web インターフェース 42
IMM インターポーザー・アセンブリー
 交換 151
 取り外し 150
IMM 用の IP アドレス 41
IMM ホスト名 41
IMM2 28
IMM2 ハートビート
 LED 60
Integrated Management Module
 使用 39
Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) イベント 231
Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) のエラー・
 メッセージ 231
Integrated Management Module II
 イベント・ログ 61
 プログラム 28
IPMI イベント・ログ 61
IPMItool 61

j

JEITA 表示 1011

l

LED
 AC 電源 58
 IMM2 ハートビート 60
 RTMM ハートビート 60

- 活動 17
- システム・エラー 17
- システム・ボード上の 25
- チェック・ログ 17
- 電源 17
- パワー・サプライ 58
- ロケーター 17
- Lenovo Advanced Settings Utility プログラム
 - 概要 44
- Lenovo Electronic Service Agent 66
- Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス 11
- Lenovo XClarity Administrator 12

m

- ML2
 - ライザー・ケージ・アセンブリー 178-179
- ML2 ライザー・ケージ・アセンブリー
 - 交換 179
 - 取り外し 178

n

- NOS の取り付け
 - ServerGuide を使用しないで 31
 - ServerGuide を使用する場合 30
- Nx 回ブート失敗 87
- nx360
 - 概要 1

p

- PCI
 - ライザー・ケージ・アセンブリー 180-183, 185, 187
- PCI 拡張スロット 6
- PCI ライザー・ケージ・アセンブリー
 - 交換 181, 183, 187
 - 取り外し 180, 182, 185
- PCI ライザー・スロット
 - サポートされる構成 191
 - 取り付け構成 191
- PCI ライザー・フィルター
 - 交換 123
 - 取り外し 122
- POST
 - イベント・ログ 61
 - エラー・コード 817
- POST イベント・ログ 61

r

- RAID アダプター
 - バッテリー
 - 交換 140
 - 取り外し 139
 - バッテリー・ホルダー
 - 交換 144
 - リモート・バッテリー・ホルダー
 - 取り外し 142

- RAID アレイ
 - 構成 44
- RAID コントローラー
 - 交換 199
 - 取り外し 198
- RTMM ハートビート
 - LED 60

S

- SAS ハードディスク・ドライブ・ケーブル
 - ケーブル・ルーティング 224
- SAS ハードディスク・ドライブ・ケーブル配線 224
- SAS または SATA ドライブ、取り付け 169
- SAS または SATA ハードディスク・ドライブ
 - 取り外し 169
- SAS/SATA コントローラー
 - 交換 199
 - 取り外し 198
- SD アダプター
 - 取り外し 196
- ServeRAID SAS/SATA コントローラー
 - ケーブル・ルーティング 222
- ServeRAID アダプター
 - 交換 199
 - 取り外し 198
- ServerGuide
 - NOS の取り付け 30
 - 機能 30
 - 使用 29
 - セットアップ 30
 - セットアップとインストール CD 27
- ServerGuide CD 9
- Service Bulletin 54
- Setup Utility 27-28
 - 開始 31
 - 使用 31
 - メニュー選択 32
- SW4 スイッチ・ブロックの説明 24

t

- Tier 2 CRU、交換 204

u

- UEFI
 - エラー・コード 817
 - ブート・リカバリー・ジャンパー 84
- Universal Serial Bus (USB) の問題 79
- UpdateXpress 27, 38
- USB フラッシュ・ドライブ (USB flash drive)
 - 取り付け 202
 - 取り外し 201
- Utility プログラム
 - Lenovo Advanced Settings 44

V

- VCCI クラス A 情報技術装置 1011

あ

- アウト・オブ・バンド 86
- アダプター/GPU アダプター
 - 交換 191
 - 取り外し 188
- 安全、点検 vi
- 安全と注意 4
- 安全について v, viii
- 安全情報 4

い

- 一般
 - 問題 67
- イベント、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 231
- イベント・ログ 61
 - 消去 63
 - 表示 61
- イベント・ログ、POST 61
- イベント・ログ、システム 61
- イベント・ログ、表示の方式 61
- イベント・ログの表示 61
- インバンド
 - 自動ブート・リカバリー方式 86
 - 手動リカバリー方式 84
- インフォメーション・センター mi, 1004
- イーサネット
 - コントローラー 81
- イーサネット・コントローラー 9
- イーサネット・コントローラーの構成 28

え

- エアー・バッフル
 - 交換 121
 - 取り外し 120
- エラー
 - 書式、DSA コード 65
- エラーの現象
 - ServerGuide 77
 - USB デバイス 69
 - USB ポート 79
 - 一般 67
 - オプションのデバイス 75
 - キーボード 69
 - 偶発的 68
 - シリアル・ポート 77
 - ソフトウェア 78
 - 電源 75
 - ネットワーク接続 74
 - ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 68
 - ハードディスク・ドライブ (hard disk drive) 67
 - ビデオ 72, 79
 - マイクロプロセッサ 71
 - マウス 69
 - メモリー 70

- モニター 72
- エラー・コードとメッセージ
 - Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 231
 - UEFI (POST) 817
- エラー・メッセージ 66
- エラー・メッセージ、Integrated Management Module 2.1 (IMM2.1) 231

お

- 汚染、微粒子およびガス 1009
- オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・ケージ
 - 取り付け 148
 - 取り外し 145
- オプションのデバイスの問題 75
- オプションのデバイスの取り付け 105
- オペレーティング・システム 2
- オペレーティング・システムのイベント・ログ 61
- 温度 6
- オンライン資料 3
- オンライン・ドキュメント 1
- オーストラリア Class A 宣言書 1010

か

- 開始
 - Setup Utility 31
 - バックアップ・ファームウェア 38
- 解消検出イベント、システム・イベント・ログ 61
- ガイドライン
 - オプションの取り付け 105
 - システム信頼性 107
 - 電気機器の保守 vii
 - トレーニングを受けたサービス技術員 vi
- 外部コネクタ 23
- 概要 1
- 拡張ベイ 5
- ガス汚染 1009
- カスタム・サポート Web ページ mii, 1004
- 活動 LED 17
- カナダ Class A 電子放出宣言書 1010
- カバー
 - 取り付け 119
 - 取り外し 117
- 環境 6
- 韓国 Class A 電子放出宣言書 1012
- 管理者
 - パスワード 38

き

- 危険な状況の検査 vi
- 危険の注記 4
- 機能
 - ServerGuide 30
- 機能、計算ノード 9

く

偶発的

- 問題 68
- 組み込みハイパーバイザー
使用 42
- グリース、熱伝導 215

け

計算ノード

- 取り付け 218
- 取り外し 216
- 計算ノード
取り付け 109
- 取り外し 108
- 計算ノードの停止 21
- 計算ノードの起動 20
- 計算ノードの電源オフ 21
- 計算ノードの電源オン 20
- 計算ノード・カバー
取り付け 119
- 取り外し 117

検索

- 更新された資料 3
- 検出イベント、システム・イベント・ログ 61
- ケーブル
内部配線 220
- ケーブル・ルーティング
GPU カード電源ケーブル 226
- SAS ハードディスク・ドライブ・ケーブル 224
- ServeRAID SAS/SATA コントローラー 222
- プレーナー・ケーブル 220
- ケーブル・ルーティング2U GPU トレイ 223, 227-230

こ

交換

- GPU トレイへの電源パドル・カードの 154
- GPU トレイへのフィルター 131
- IMM インターポーザー・アSEMBリー 151
- RAID アダプター・バッテリー 140
- RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 144
- RAID コントローラー 199
- SAS/SATA コントローラー 199
- ServeRAID アダプター 199
- Tier 1 CRU 139
- Tier 1 CRU、交換 139
- Tier 2 CRU 204
- アダプター/GPU アダプター 191
- 構造部品 117
- バッテリー、システム 156
- ヒートシンク 208
- マイクロプロセッサ 208
- 交換
2U GPU トレイ 187
- DIMM 164
- GPU トレイ 183
- ML2 ライザー・ケージ・アSEMBリー 179
- PCI ライザー・ケージ・アSEMBリー 181, 183, 187

- PCI ライザー・フィルター 123
- SD アダプター 197
- エアー・バッフル 121
- コンポーネント 105
- ベゼル 127
- 交換可能なサーバー・コンポーネント 89
- 更新
汎用固有 ID (UUID) 45, 47
- ファームウェア 27
- 更新
構成 108
- 構成
Nx 回ブート失敗 87
- RAID アレイ 44
- ServerGuide セットアップとインストール CD 27
- ServerGuide を使用する場合 30
- Setup Utility 27
- 情報 27
- 手順 27
- 構成
更新 108
- 構成プログラム 28
- 構造部品 102
- コネクタ
外部 23
- 内部 22, 220
- コネクタ、内部、システム・ボード 22
- 個別設定したサポート Web ページの作成 mii, 1004
- コンソール・ブレイクアウト・ケーブル 20
- コントローラー
イーサネット 9, 43
- ビデオ 9
- メモリー 9
- コンポーネント
サーバー 89
- システム・ボード (system board) 21
- 図示 14-16
- コール・ホーム機能
Lenovo Electronic Service Agent 66
- コール・ホーム・ツール 66

さ

- 作業に関するドイツの条例文 1015
- サポート、入手 mi, 1003
- サポート Web ページ、カスタム mii, 1004
- サーバーの構成 27
- サーバー、バックアップ・ファームウェア
開始 38
- サーバー・コンポーネント 89
- サーバー・ファームウェア、回復 84
- サーバー・ファームウェアの回復 84
- サービスおよびサポート
依頼する前に mi, 1003
- ソフトウェア mii, 1005
- ハードウェア mii, 1005

し

- 事項、重要 1008

システム管理 9
Chassis Management Module 9
システムの信頼性に関するガイドライン 107
システム・イベント・ログ 61
システム・イベント・ログ、解消検出イベント 61
システム・イベント・ログ、検出イベント 61
システム・エラー LED 17
システム・パルス LED 60
システム・ボード
外部コネクタ 23
システム・ボード (system board)
LED 25
始動パスワード・スイッチ 36
スイッチとジャンパー 24
内部コネクタ 22
レイアウト 21
システム・ボードの内部コネクタ 22
システム・ボード・アセンブリー
コンポーネント 14
湿度 6
自動ブート・リカバリー (ABR) 86
ジャンパー
UEFI ブート・リカバリー 84
システム・ボード (system board) 24
重要な注 4, 1008
取得 41
主要コンポーネント
2U GPUトレイ 16
GPUトレイ 15
システム・ボード (system board) 14
ストレージ・トレイ 14
使用
Integrated Management Module 39
Setup Utility 31
組み込みハイパーバイザー 42
リモート・プレゼンス機能 40
商標 1008
シリアル番号
のロケーション 82
シリアル・ポートの問題 77
資料
Documentation Browser 3
使用 mi, 1004
ドキュメンテーション CD 2
資料、更新された
検索 3
診断
オンボード・プログラム、開始 65
ツール、概要 56
診断
プログラムの概要 63
診断データの送信 mii, 1004
信頼性
RAS 機能 13
機能 13

す

スイッチ
システム・ボード (system board) 24

スイッチ・ブロック 24
ストレージ・トレイ
コンポーネント 14
取り付け 112
取り外し 111
ストレージ・トレイ・フィルター 112
スロット
PCI 拡張 6

せ

静電気の影響を受けやすいデバイス
取り扱い 107
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い 107
製品サービス、台湾 mii, 1005
前面ハンドル
取り付け 133
取り外し 132

そ

ソフトウェア要件 2
ソフトウェアの問題 78
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 mii, 1005

た

台湾 BSMI RoHS 宣言 1013
台湾 Class A 電子放出宣言書 1012
台湾の製品サービス mii, 1005

ち

チェックアウト手順 54
実行 55
チェック・ログ LED 17
注 4
注意の注記 4
中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書 1012
注記 4, 1007
FCC、Class A 1010
電磁波放出 1010
中国 Class A 電子放出宣言書 1012

つ

通信規制の注記 1009
ツール、診断 56
ツール、コール・ホーム 66

て

ディスプレイの問題 72
手順、チェックアウト 55
テスト・ログ、表示 65
デバイス、静電気の影響を受けやすい
取り扱い 107

デバイス・ドライバー 38
電気機器、保守 vii
電気機器の保守 vii
電源 39
仕様 6
スロットル 9
電源 LED 17
電源コード 102
電源ボタン 17
電源入力 6
電源問題 75
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示 1011
電磁波放出 Class A の注記 1010
電話番号 mii, 1005
データ収集 51
データの収集 51

と

ドイツ Class A 宣言書 1010
ドライブ
取り付け 168
取り外し 168
ドライブ、SAS または SATA、取り付け 169
ドライブの取り付け 169
ドライブ・ベイ、内部 168
トラブルシューティング 51
現象 66
取り付け 1
DIMM 159
SAS または SATA ドライブ 169
オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード
ディスク・ドライブ・ケージ 148
ドライブ 168
メモリー・モジュール 159
取り付け
2U GPU トレイ 116
GPU トレイ 114
ガイドライン 105
計算ノード 109
ストレージ・トレイ 112
ハードディスク・ドライブ (hard disk drive) 172, 176
取り付けツール 105
取り付けのガイドライン 105
取り外し
3.5 型ハードディスク・ドライブ 169
DIMM 158
GPU トレイ 113
GPU トレイからのパドル・カードの 152
GPU トレイからのフィルター 130
RAID アダプター・バッテリー 139
オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード
ディスク・ドライブ・ケージ 145
ドライブ 168
マイクロプロセッサ 204
取り外し
2U GPU トレイ 115, 185
GPU トレイ 182
IMM インターポーザー・アセンブリー 150
ML2 ライザー・ケージ・アセンブリー 178

PCI ライザー・ケージ・アセンブリー 180, 182, 185
PCI ライザー・フィルター 122
RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 142
RAID コントローラー 198
SAS/SATA コントローラー 198
SD アダプター 196
ServeRAID アダプター 198
アダプター/GPU アダプター 188
エアー・バップル 120
計算ノード 108
コンポーネント 105
ストレージ・トレイ 111
前面ハンドル 132
バッテリー、システム 155
ハードディスク・ドライブ (hard disk drive) 171, 175
ヒートシンク 204
ベゼル 124
メモリー・モジュール 158
トレーニングを受けたサービス技術員、ガイドライン vi

な

内蔵機能 5
内部ケーブル配線 220
内部コネクタ 22
内部、システム・ボード・コネクタ 22

に

ニュージーランド Class A 宣言書 1010

ね

熱伝導グリース 215

の

ノード・ベイ・フィルター 109

は

ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス
問題 68
背面ハードディスク・ドライブ・ケージ
取り付け 136
取り外し 134
パスワード 36
管理者 36
始動 36
パスワード、始動
スイッチ、システム・ボード上の 36
バックアップ・ファームウェア
開始 38
バッテリー、RAID アダプター
交換 140
取り外し 139
バッテリー、システム
交換 156
取り外し 155
バッテリー・ホルダー、RAID アダプター

- 交換 144
- パワー・サブライ
 - LED 58
- パワー・サブライ LED 58
- ハンドル、前面
 - 取り付け 133
 - 取り外し 132
- ハードウェア、構成 28
- ハードウェア要件 2
- ハードウェアの構成 28
- ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 mii, 1005
- ハードディスク・ドライブ
 - SAS または SATA、取り付け 169
 - サポート 9
 - 仕様 9
- ハードディスク・ドライブ (hard disk drive)
 - SAS または SATA、取り外し 169
 - サポート 9
 - 仕様 9
 - タイプ 171–172, 175–176
 - 問題 67
- ハードディスク・ドライブ、取り付け 172, 176
- ハードディスク・ドライブ、取り外し 169, 171, 175
- ハードディスク・ドライブ・バックプレート
 - 取り付け 167
 - 取り外し 166

ひ

- ヒートシンク
 - 交換 208
 - 取り外し 204

ふ

- ファームウェア、更新 27
- ファームウェア更新 1
- ファームウェアの回復、サーバー 84
- フィルター、GPU トレイ 114, 116
- フィルター、ストレージ・トレイ 112
- フィルター、ノード・ベイ 109
- 負荷分配
 - 電力スロットル 9
- 部品、構造 102
- 部品リスト 89
- ブルー・スクリーン機能 40
- ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
 - 概要 40
- プレーナー・ケーブル
 - ケーブル・ルーティング 220
- プレーナー・ケーブルの配線 220
- 文書化されていない問題 54

へ

- ベイ 5
- 米国 FCC Class A の注記 1010
- ベゼル
 - 交換 127
 - 取り外し 124

ヘルプ

- WWW から mi–mii, 1004
- 診断データの送信 mii, 1004
- ソース mi, 1003
- 返却
 - コンポーネント 108
 - デバイス 108

ほ

- 方式、イベント・ログの表示 61
- ボタン、電源 17
- ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ・バックプレート
 - 取り付け 167
 - 取り外し 166
- ポリシー・オプション 39

ま

- マイクロプロセッサ
 - 交換 208
 - 仕様 5
 - 取り外し 204
 - 問題 71

み

- 未解決問題 82
- ミラーリング・チャンネル・モード 164

め

- メッセージ、エラー
 - POST 817
- メニュー選択
 - Setup Utility 32
- メモリー
 - 仕様 5
- メモリー・ミラーリング・チャンネル
 - DIMM 取り付け順序 164
 - の説明 164
- メモリー・モジュール
 - 仕様 9
 - 取り付け 159
 - 取り外し 158
- メモリー・ランク・スペアリング
 - の説明 162

も

- モデル名
 - のロケーション 82
- 問題
 - ServerGuide 77
 - USB ポート 79
 - 一般 67
 - オプションのデバイス 75

- キーボード 69
- シリアル・ポート 77
- ソフトウェア 78
- 電源 75, 79
- ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 68
- ハードディスク・ドライブ (hard disk drive) 67
- ビデオ 72, 79
- マイクロプロセッサ 71
- マウス 69
- 未解決 82
- メモリー 70
- モニター 72
- 問題
 - イーサネット・コントローラー 81
 - 偶発的 68
 - ネットワーク接続 74

ゆ

- 有効化
 - Features on Demand
 - RAID ソフトウェア 44
- ユーティリティ、Setup 28
 - 開始 31
 - 使用 31

よ

- 要件
 - ソフトウェア 2
 - ハードウェア 2

ら

- ランク・スペアリング
 - DIMM 取り付け順序 162
- ランク・スペアリング・モード 162

り

- リモート・バッテリー・ホルダー、RAID アダプター
 - 取り外し 142
- リモート・プレゼンス機能
 - 使用 40
- 粒子汚染 1009

れ

- レガシー・オペレーティング・システム
 - 要件 30
- レガシー・オペレーティング・システムをインストールする前に 30

ろ

- ロギング 42
- ロケーター LED 17
- ロシア Class A 電子放出宣言書 1012



部品番号: 00MV789

Printed in China

(1P) P/N: 00MV789

